

2-1001 【愛知県、30代】

県議会への意見

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

一度、切り替わってしまうと、今後従来のお米が全て駆逐されてしまうと思います。

あとで、何か問題になった場合、誰も責任が取れないと思います。

遺伝子変異させた米を長期的に摂取した場合、将来どのような影響が出るか分からないので反対します。

2-1002 【秋田市、70代】

いままでの「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

2-1003 【山形県、80代以上】

反対ですね。従来法と新製法は、しっかり区別すべきです。

2-1004 【東京都、50代】

反対です。消費者で買わなくなる人が増えます。私もよく購入してましたが、今後は買いません。せっかくの人気米が売れ残ればダメージも大きくなります。消費者にも生産者にもダメージが生じるものは、避けるべきです。

2-1005 【東京都、30代】

農家さんも消費者も「選べない」のは本当に怖いことだと思います。

なぜ、カドミウム汚染されていない地域まで使わなくてはならないのか。まず大事なのは食の安全なのではないのか。少なくとも私には安全な食品だと思わないし、大切な人に食べさせたくない。お米は日本人の主食です。これ以上、日本の大切な食を壊すのか…これはとても怖いことです。是非、ちゃんと国民に説明して欲しい。最低でも私達に選択を。

2-1006 【愛知県、40代】

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲は、それをその特性を補う為に農薬散布や自家採取禁止に当たる品種である事から農家さんの負担がさらに増える事と思います。

環境にも、人にも優しくない、持続可能とは思えない取組みだと思えます。

従来の品種を作り続けることが大事です。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

2-1007 【東京都、40代】

我が家はあきたこまちが大好きで毎日食べております。

私たちの命のお米に放射線を浴びさせるなんてやめてください。誰も望んでないです。そんなことをしたらもうあきたこまちは食べられません。

2-1008 【秋田市、30代】

あきたこまちRに対しての転換に大反対します。

2-1009 【沖縄県、30代】

温暖な沖縄とは違って、秋田のお米は、ふっくらしてて大変美味しいです。

しかし、遺伝子組み換えを進めているとの事で大変ショックを受けています。

遺伝子組み換えによる健康被害、農業運営が、将来どのような形で影響が出るのかわかりません。

責任の所在もわからないので、消費者がその事実を知ってお米を選択するしかありません。あきたこまちの美味しさ、食の安心安全を担ってきたことにプライドをもって、今後も日本の食卓を守り続けて欲しいです。あきたこまちが大好きだから、今後も安心安全を信じて、食べ続けていきたいから、どうかお願いします。あきたこまちRへの変換をやめて下さい。

2-1010 【山口県、40代】

放射線育種米の安全性は担保されていますか？

あなたの孫、ひ孫、子々孫々に食べさせる自信がありますか？

あなたの意思で、この改革が必要と思っているのですか？

あなたの選挙公約ですか？

それとも、何処かの誰かに提案されたことの代行ですか？

もう、悪い事や嘘はバレる時代です。

もう、わかっている国民は多くいます。

実際に、秋田県がこのような政策をしている事に対して、他県から多くの意見が集められていませんか？

どうか、他人に言われた政策をするのではなく、あなたの良心に従い、

子々孫々に誇れる秋田県政に期待しております。

2-1011 【埼玉県、50代】

これから先もずっと変わらず、今までの『あきたこまち』であって欲しいですし、今までの『あきたこまち』を食べて行きたいです。

自然の生物に対して、人が手を加えても良い範疇を超えています。生物に対して人としてのモラルを持って欲しいですし、日本国として国民を護る政策をしていただきたいと思います。

これ以上安全性が確認出来ていない物を、作る事も流通させる事にも断固として反対いたします。

2-1012 【岡山県、60代】

放射能を浴びたようなお米を食べたくありません。

「あきたこまち」を守ってください。

2-1013 【東京都、30代】

反対です。お米は国の宝です。それを安易に一部の都合のいいように作り替える、しかも全ての人にそれを強要するなどもってのほかです。秋田県には賢明な判断をしていただくことを希望します。米も野菜も、自然全体の一部として育つことができるものです。人間が小手先で自然の重要な部分に手を加えていいものではないと思います。

2-1014 【東京都、40代】

放射線育種由来のものしかなくなるということは、消費者にとって恐ろしいことです。

もう、あきたこまちは買えません。

農家さんが、自家採取ができなくなるということについても、とても心配です。

農家が栽培したいものを自由に栽培できる、守りたい品種を守っていけるように、改善を求めます。

日本人にとって大事なお米です。

日本人の健康を壊し、日本という国を滅ぼすような政策が進められていることが、とても怖いです。

カドミウム汚染の問題のために、すべてのお米が放射線育種由来になるのはおかしいです。

2-1015 【東京都、50代】

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1016 【東京都、40代】

今まで通りのあきたこまちを食べていきたいです。
種を変えていくことは取り返しのつかない作業だと感じます。
日本を代表する米所の秋田です。
慎重な決断をお願いします。

2-1017 【宮崎県、50代】

2025年から放射線育種後代交配種に全量転換とはどういう事でしょうか？せめて選ばせて頂きたいです。

2-1018 【秋田市、50代】

全量転換により、農や食の選択の自由がなくなるのではないのでしょうか？
100%安全とは言い切れないものに、実施後に深刻な問題が生じた時 どうするのでしょうか。

2-1019 【宮城県、40代】

あきたこまち改良品の情報入ってます
人体に無害とは言い切れない仕組みのものを流通させないでください
不買運動にもなりかねません

2-1020 【東京都、40代】

東京都在住ですが、毎日美味しいあきたこまちを頂いています。
購入させて頂いてる農家さんは、無農薬無肥料で、工夫して毎年美味しいお米を作っています。
それを自家採種を禁止し、独自に工夫してお客様に喜んで頂けるように努力している農家さんを切り捨てるという事でしょうか？
放射線育種米は安全性に疑問が残り、子ども達に安心して食べさせられません。
放射線育種米のあきたこまちではなく、昔からあるあきたこまちを守ってほしいです。
よろしくをお願いします。

2-1021 【茨城県、30代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。
Rは食べたくありません！子どもたちにも

食べさせたくありません。
消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で
全量転換を決めてしまったことは大問題で、
期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1022 【神奈川県、40代】

耳障りの良いように聞こえても、破壊しても良い遺伝子なんてないと思います。
それをすでに決定し、2025年度から作付けを開始されると知り、本当にこれは由々しき
事態だと感じ県外の間人ですが意見させていただきたいと思いました。
私の義父が秋田県出身です。
義父の同級生が米農家の為、毎年あきたこまちを送っていただき、本当に美味しく頂い
ておりました。
義父もみんなが喜ぶならと重たい30キロのお米を何袋も精米して色んな方に送ってい
ます。
しかし、あきたこまちRになるのなら今後はもう食べることはしません。
義父との同居の為、秋田への移住も考えていましたがそんな不自然なお米が作られる秋
田へは移住する事はリスクと考え辞めることにします。
本当に残念でなりません。
どうか今一度、本気で未来の事を考えて検討していただきたいです。
長文お許し下さいませ。

2-1023 【オーストラリア、60代】

絶対に反対です。人体への影響の実験結果はあるのですか？
「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、
秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

2-1024 【東京都、50代】

自然が必要があって備えているものを、人間の勝手に変えて良いものではありません。
小麦も品種改良され続けた結果、アレルギー発症してる方が多くいます。
私たちの主食であるお米をそんな風にしてもらいたくないです。
実際、モチモチ美味しいお米を求めて品種改良された結果、お米でアレルギー起こす人
も増えています。現代日本は飽食で食べるものには困らないですが、栄養価のないものが
多く、質的栄養失調の人が多数います。キチンと栄養が摂れていれば、身体の中の機能が
キチンと排出してくれますが、それができない人が多くなっています。そこに人間の勝手に
で作られたお米が主食として入っていけば、人間の機能で追いつかないことが多々出てく

ると思います。

子供たちの健康を守るために、本当にやめてもらいたい。

2-1025 【東京都、40代】

そういうお米は買いません。

決定されてしまった場合、あきたこまちは2度と買いません。

2-1026 【東京都、30代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも提言してください。

2-1027 【愛知県、20代】

従来なあきたこまちを守ってください。

社会保障関係費が増え続けるなか、

給与は上がらないのに税金は増えるなか、

自分たちの健康は自分たちで守らなければ

なりません。国がセルフメディテーションを

おすのなら、安心安全な食の確保も必要だと思います

2-1028 【鳥取県、30代】

「あきたこまち」は大変有名な品種です。

生産する事自体、人手の足りない地域は大変だとは存じますが、品種の転換などせず、皆様の誇りと技術を結集して従来「あきたこまち」を残していただきたく思います。

2-1029 【大阪府、30代】

食の安全性がこれ以上脅かされるのは反対です。
あきたこまち R への全量転換の撤廃を求めます

2-1030 【神奈川県、30代】

自然なお米が食べたいです。種がつけないのはおかしいです。
大事なお米を守ってください。

2-1031 【京都府、50代】

放射線育種米は食べません。これからは、秋田こまちは食べません。
これは風評被害ではありません。皆んなが知った上で購入するべきだからです。
消費者には選ぶ権利があります。

2-1032 【茨城県、40代】

あなたたちは自分の家族、子ども、
孫たちに不自然なものを食べさせるのか？
それでなくても農業を潰して自給力を下げてる事に
何の違和感も持たないか？
これからの子どもたちの食と安全を命がけで
考え守る覚悟をもって仕事ができず、
今だけの自分しか見えないなら議員など辞めるべきだ。

2-1033 【茨城県、50代】

あきたこまち」から全面切替に反対します。
その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さ

ないための国や県のロードマップを県議会でも考えてください。

2-1034 【東京都、40代】

安心安全な無農薬有機栽培のあきたこまち玄米を購入し続けてきた七久保勝と申します。
あきたこまちRへの全量転換に反対いたします。

理由はいままで有機無農薬栽培あきたこまちで健康上の問題はまったくないこと、一部転換ならまだしも、全量転換の必要性が無いことです。

今後全量転換がなされた場合、大変残念な事ですが、あきたこまちの購入は終了とさせていただきます。

全量転換の停止をよろしくお願いいたします。

2-1035 【能代市、20代】

私はこれまであきたこまちを食べて育ちました。秋田にはきりたんぼやだまっこなど、お米を使った伝統的な食文化がありますが、これを支えて来たのは、あきたこまちだと思います。そして、私たちが美味しく安全に食べられるよう、日々努力している生産者さんたちも、秋田県の誇りだと思います。この秋田の伝統や誇りは次世代にも引き継ぐべき財産だと感じています。

「あきたこまちR」はその秋田県の財産を崩すものになるのではないかと、危機感を覚えました。土壌が汚染されれば、安全安心なお米は生産できません。遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安です。作物が穫れなかったとき、被害を被るのは、生産者さん達です。そして、「あきたこまちR」を子ども達が口にしてしまったらどうなるのか、健康被害はないのか、心配でなりません。従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

本当に秋田の伝統、誇りを次世代にこれから引き継ぐためには、今、大人が真剣に考え、先を示す事が大事だと思います。目先のことではなく、さらに先の未来を考え、英断して欲しいと切に願っております。

2-1036 【京都府、40代】

あきたこまちは、日本の代表ブランドの品種です。

我々日本人は主食であるあらゆる米の品種を守っていく使命があります。

全量転換して後々問題や不具合や健康問題が発覚した場合、責任の所在はどこでしょうか？

みつひかり問題をご存知ですか？

種子法廃止により採用された品種ですが、今年種子に問題が発覚し作付けできない問題が発生しています。

詳しくは元農林水産省大臣、山田正彦先生にお問い合わせ下さい。

不自然な種は一時は良くても、必ず次世代に禍根を残してきたのは歴史に学べば一目瞭然ではありませんか？繰り返しますが、米は日本人の主食です。

安易に新しい技術に依存してはいけません。

《今だけ金だけ自分だけ》ではなく、

《未来のために、地球のため、次世代のため》になる稲作を強く望みます！

2-1037 【東京都、40代】

お米放射線照射に反対します。このようなお米をわざわざ食べたいと思われる方がどの程度いるのでしょうか。せっかく積み上げてきたあきたこまちブランドはそのままでの自然なお米の環境で育ててほしいです。

2-1038 【大阪府、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1039 【兵庫県、30代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本

を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1040 【兵庫県、40代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。

Rは食べたくありません。

2-1041 【新潟県、30代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・ 「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1042 【東京都、40代】

様々な研究を通してより良い新しいものへの変換を考えているのだと思います。

我が家は主人の実家である秋田県大館を応援する意味で、お米はふるさと納税でいただいております。

その中でも真正米という有機栽培をしてくださっているお米を選んでおります。

美味しいことはもちろん、安心、安全と信じて選んでまいりました。

すべてを変えてしまうことは、選択肢がなくなるということかと不安な気持ちになり、ご意見させていただきました。

2-1043 【羽後町、50代】

「あきたこまちR」への全量転換に反対します。

1. あきたこまち誕生地である秋田県が全国に先駆けて全量転換する事で受ける風評被害は現時点で予測もつきません。全国でも生産されているあきたこまちを、「放射線照射米」を選んで買う人はいないでしょう。生産しても消費者に拒否されるリスクのあるお米をわざわざ作る意味が理解できません。

2. 生産者の選択の余地もない事は大問題です。

「R」に転換すれば、さらに農薬代など負担がかさむとも言われています。

少なくとも農家が選択できる体制にしてからにして下さい。

従来のおきたこまちの種籾も残して下さい。大事な財産です。

3. 周知が不十分な状態での実施には反対です。

実施すると決まってから知る方も多く、沢山の方が「おかしい」、

「食べたくない」と言ってます。

4. 安全性に一番疑問を持っています。

絶対的な安全性など、誰も証明する事はできません。

私たちの世代だけの問題でもありません。

私はR米は食べたくないです。

自身の子供やその先の世代にもR米を食べさせたいとは思いません。

2-1044 【東京都、50代】

放射線を当てたお米は将来への影響が不明です。

消費者や生産者に十分な説明がされているとは思えません。

反対します。

2-1045 【東京都、40代】

秋田県民ではありませんが、放射線育種米ではない、従来のお米が食べたいです。
あきたこまちRを購入することはありません。
どうか日本の農業の自立・自給を守ってください。

2-1046 【東京都、50代】

秋田出身の為、家庭での食事の際はあきたこまちを必ず食しています。
しかし「あきたこまちR」への全量転換が行われるなら安全性を考えて残念ながら選択しないことにします。

2-1047 【東京都、40代】

私は貴県のあきたこまちの一ファンです。
利益に大きく貢献はしていませんし、強い発言力もありません。
ですが、一消費者の声としてお目に留まることを祈り、メッセージさせていただきます。
放射能で遺伝子が壊れた米を食べて、本当に体に影響がないと言い切れますか？
かつて無害と言われたフロンガスがオゾン層を壊したように、何年、何十年経過しないと影響はわからないはずです。
放射能の恐ろしさは被爆国である日本人なら誰でも認識しているはずです。
米も生物です。素人ながら、人体に有害で米に無害という論理は破綻していると考えます。
秋田の皆さんは放射能で遺伝子を破壊された米を子どもに、家族に食べさせることを本当に是としているのでしょうか？
そもそも、この方針を認識していますか？
また、近年『未曾有』と言われる災害が頻発しており、先日貴県も大変な水害に見舞われたかと思えます。
それでも環境に合わせて進化するのが生物です。
放射能を浴びた米は、気候変動を乗り越えられるのでしょうか？
非常に疑問です。
私は今後も安心してあきたこまちを食べただけです。
ぜひ熟考いただきたいです。

2-1048 【大阪府、20代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

2-1049 【東京都、50代】

主食である米を安易に新しいものに変えないでください。
昔ながらの食べ物がなくなることには、かなりの拒否
反応があります。子育て中ですが、今後はあきたこまち
という馴染みある品種を避けなければなりません。
成長期の子どもにとって、食の大切さは言うまでもあり
ません。実験などさせられませんから。どうか一切の流
通をやめてください。一部でも変更されその表示もない
場合は、すべて秋田のお米を拒否する以外ないのですから。
よろしくお願いします。

2-1050 【愛知県、60代】

愛知県から連絡しています。「あきたこまちR」への全量転換は大反対です。我が家にと
っても安全で甘くて美味しいあきたこまちを食べる幸せを奪い取られる大事件です。

友人が栽培しているあきたこまちを長年美味しく食しています。友人は安全で調和取れ
た美味しいお米を幅広く食べてもらいたい、という熱い思いからあきたこまちを無農薬や
減農薬で栽培しています。おかげで、我が家は、安全であると共に、甘くて香り良く、こ
んな美味しいお米を安心して食べれるとは、日本人ならではの幸せだと日々感じています。

あきたこまちRに全量転換することになれば、友人は安全なお米を提供できなくなるた
め、栽培を辞めざるを得ません。日本人としての幸せを感じてお米を噛みしめている我が
家の幸せも、食べる幸せを奪い取られてしまいます。

あきたこまち、本当に美味しいです。秋田の誇り、日本の誇りです。文化です。どうか、
この幸せを奪わないでください。

2-1051 【青森県、40代】

反対です。農家さんの自家採種禁止はやめて下さい。

2-1052 【埼玉県、40代】

毎食美味しいあきたこまちを食べさせていただいてます。

それを放射線育種米に変えるなんて冗談じゃないです！

人体にも影響が出るかもしれない物を食べさせようなんて、何を考えてるんですか！

金だか利権だか知りませんが政府の言うとおりにしてたら政府に殺されますよ。

我々日本人の大切なお米を放射線なんかで汚染しないでいただきたい。

2-1053 【福岡県、30代】

あきたこまち R への全量転換絶対反対です

2-1054 【福岡県、40代】

『あきたこまち』から放射線育種米である ” あきたこまち R ” への全面切替に断固反対です。

理由として以下に示します。

1. 自家採種による米の生産ができなくなることは日本人の未来を脅かす危険な選択です。放射線育種米は特許の兼ね合いから、農家の方が毎年種籾を購入する必要があります。そうすると販売する側の意見一つで価格が変更され、そこに意見を言おうものなら売らないといった行動をとられる可能性があります。それは国や自治体が管理すると仮に言われても今の日本の現状から鑑みても信用できません。

2. 自然に逆らって人間の軽率で勝手な遺伝子操作は危険です。放射線育種米をこれから一生食べ続けた場合のリスクをきちんと評価しなければ到底受け入れられない。カドミウム汚染地域の対策としてこの放射線育種米の必要性を言われているが、風評被害？意味がわかりません。現実的にその地域のお米を食べることが人体にとって影響が起り得る可能性があるのであればそれは ” 風評被害 ” とは言わないと思います。その様な汚染地域になってしまった経緯があるのではないですか？そしてそれは国がきちんと保障すべきである。他国に莫大な金額を寄付する前に自国にきちんとお金を出すように県は国に訴えるべきです。

3. 農水省は日本のお米を全て放射線育種米にしようとしていると示唆されるような行動が見られています。秋田県も日本の誇る『あきたこまち』を全て、全てですよ。放射線育種米にするなんて先人の県民農家の方々を侮辱しています。一番引っかかるのは毎年放射線育種米でも無料で種籾が手に入ることができるわけではなく購入する。それはなぜなら特許があるから？そんな営利的思惑がありありの考えが見え隠れする話が日本の大事な主食であるお米に向けられていることに危機感が拭えません。全てを変えてしまっただけでは後悔しても後戻りできなくなる可能性があります。

4. 全てを放射線育種米へ秋田県議会の方々が進めてしまえばそれは民主主義国家でなくなる。全てを一部の者が残り多くの県民、国民の思いに反する思いを踏み躪り押し付ける行動は民主主義国家ではありません。

どうか秋田県議会の方々には正しい判断を強く希望しております。日本人を幸せにしていただけ行動をどうかよろしく願いいたします。

2-1055 【山梨県、30代】

種取りが禁止されてしまい、全て改良品種になってしまったら、日本の農業もデジタル化・国の管理下に全て置かれ、国民の自由と、歴史ある農業自体が変わってしまうと思います。それは、食料を奪われた戦争のようなものと言っても過言ではないと思います。伝統あるあきたこまちの生産を守ってください。日本の農業を守ってください。それは、日本国民を守ることだと思えます。遺伝子組み換え作物、ゲノム編集が出回って来ている中、昔ながらの農業、日本の稲を変えることは、これからの日本人の健康を脅かすことに繋がって行くと思います。食べることは生きることです。よろしくお願いします。

2-1056 【神奈川県、50代】

日本人の大切な主食であるお米、従来のお米が食べたいです。Rは食べたくありません。

2-1057 【新潟県、70代】

米どころ新潟県からです。

貴県において、放射線にて遺伝子操作(選別)した米に全面切り替えの計画との事。

放射線で人工的に遺伝子をいじった米は、将来に禍根を残すと考えられます。

自然に選別育種でなく、人工的に放射線を使ってというのはやめた方が良いでしょう。

2-1058 【長野県、50代】

秋田県のあきたこまちが、放射線育種されたものに全量変わる、と聞きました。説明文も読みましたが、種がとれないものを安全です、すべてそちらに変えます、というのはとても違和感だと感じました。イメージとして、長野で買うとしても、とりあえずあきたこまちを避けようか、と考えてしまいました。消費者としての気持ちです。

2-1059 【東京都、30代】

わたしは、「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由は、

従来「あきたこまち」を食べたいです。

「あきたこまちR」は食べたくありません。

秋田県が作り出した「あきたこまち」は、

日本中で愛されている日本を代表するお米です。

その「あきたこまち」を守ってください。

消費者にも

生産者にも

ほとんど情報がない中で

全量転換を決めてしまったことは大問題です。
デメリットとメリットを、消費者・生産者が知った上で、
個人個人がどんなお米を食べたいか選択できる
自由があるべきです。

「あきたこまちR」への全量転換について
期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

自然本来の「あきたこまち」を子供たちに
繋げられるように
どうぞ宜しくお願いします。

2-1060 【神奈川県、40代】

あきたこまちRへの全量転換について、断固反対します。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でもよく議論し、国民に提示してください。

2-1061 【岐阜県、40代】

あきたこま치의種子に放射線を照射するのはやめてください。

出来る限り自然な方法でお米を作ってください。

不自然で安全性が不明な「あきたこまちR」は食べたくありません。

どうぞよろしく願いいたします。

2-1062 【静岡県、60代】

あまりにも、私達国民が、知らないまま、重大な事が、進められ過ぎます。生産者さえも、本当の事が、きちんと伝わっていないようですね。私達日本人にとって大事なお米の事。皆で、知識をもって議論していただきたいです。

2-1063 【福岡県、50代】

「あきたこまち」を2025年から放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換

することを決定しました

とのことですが絶対やめてください。

こういうお米が販売されるのならお米は食べないし購入しません。

日本の食の安全を守ってください。

よろしくお願いします。

2-1064 【群馬県、30代】

選択肢を残す方向性はないのでしょうか、美味しく安全な種類を守る活動をお願いします。

多様性を廃止する取り決めには断固反対です。

2-1065 【愛知県、40代】

これから生まれてくる子供たちに本当に安心できるお米を食べさせたい
ゲノム編集したり、していない農薬もいらない

自然の中でできたお米

体は食べたもので作られる

農薬撒いたり、遺伝子組み換えたり照射したり、

そんなことしなくても 作物は育ちます

日本の健康を取り戻したいです

2-1066 【東京都、60代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

2-1067 【和歌山県、50代】

秋田こまち初めて食べた時

美味しくて感動しました。

そんな秋田こまちに放射線

あてて品種改良したら

安心して食べれなくなります。

そんな恐ろしい品種改良やめて下さい！

2-1068 【千葉県、30代】

遺伝子を破壊されたお米を食べる事に不安を感じます。

長期的に食べて安全なのでしょうか？

カドミウムに汚染された地域は全体の3%未満と聞きます。

その3%のためにわざわざ遺伝子を壊されたお米に切り替えるというのは、おかしいと思います。

考え直していただきたいです。

2-1069 【東京都、30代】

放射線育種米は、安全性が確保できていないと思います。

本来人が死んでしまうレベルの放射線を当て続けた、お米が、体にいいとは思えません。

子供や家族、大切なひとに食べてもらう事を考えると、

遺伝子を操作していない、無農薬、有機栽培のお米を食べてもらいたいです。

マンガンの吸収も無くしてしまうという事で、

栄養面でも、不安があります。

遺伝子を壊したり、捜査したりしたもので、

動物実験で安全だったものが無いことも心配の一つです。

どうか放射線育種米に変える前に、

今安全とされているお米の大切さに目を向けてください。

お願い致します。

2-1070 【神奈川県、60代】

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

国民にとって将来永きにわたる安全な食糧自給の政策が、必ず国民から明確に支持されるときが来ます。

逆にいうと、目先の判断や一時的な経済効果だけで安全性・永続性を手放すことを、我々の子や孫は決して評価しないでしょう。

もちろん農業生産者の方々にだけ負担を強いる状況は変えなければなりません。国策としてせめて他国と同レベルの、農業生産者への十分な援助が必要であり、我々有権者が声を上げる責任があります。

そのうえで秋田県議会に、この国を憂い、身を張って立ち上がる侍や大和なでしこを期待して止みません。

2-1071 【神奈川県、30代】

全量転換やめてください。

安心で安全なお米を食べたいです。

あなた達が日本人で日本の食を守りたいと思ってるならやめてくれると信じています。

2-1072 【東京都、40代】

あきたこまちRは

自信を持ってあきたこまちRとして販売して欲しいし

これからも研究を続けて欲しいと思います。

あきたこまちは

あきたこまちとして残して

販売、種の保存が出来ることを望みます。

全量転換やあきたこまちRをあきたこまちと

名前を偽ることに不信感をいただきます。

2-1073 【神奈川県、40代】

研究や調査では、想定しない事柄が問題ないか？は評価きませんので、30年くらいの長期の時間をかけて比較できるように従来品種を維持すべきである。特に今回は特定の機能を破壊しているので、想定外の機能が破壊されている事を否定できない。人体に及ぼす影響だけでなく、自然にどんな影響があるかも分からないという視点が必要。経済性より私達が伝統的に1000年以上の間食べ続け適応している米の価値を大切にすべきと考えます。

2-1074 【埼玉県、50代】

秋田県産のあきたこまちはとても美味しく、毎年家族で食べています。

そのあきたこまちが2025年度から放射線育種後代交配種に代えられると聞き、居ても立っても居られずコメントしました。

食の安全性の面から今後どのような影響があるのかわからない点が心配で、あきたこまちRではなく、今までのあきたこまちを残して欲しいと思っています。

昔から日本人にとってとても大事な「米」を守るためにも秋田県議会の皆様方に力を貸していただけないでしょうか。

日本の「食」の未来が皆様方にかかっています。宜しくお願い致します。

2-1075 【福岡県、50代】

反対します。遺伝子組み換えではないとしても 重要な部分を切ったり抜いたりしたものが将来的にどんな作用を起こすかわかりません。そんなリスクのあるものを 未来あるごどもに食べさせることかどんなに危険なことであるか、もっと調べて下さい。古来からあるものをもっと大切に していくことこそが未来の安心安全な農業へ繋がっていくんだと思います。お米の美味しい秋田県から 安全なものをお願いいたします。

2-1076 【神奈川県、60代】

私は何年も前から、あきたこまちの無農薬無肥料栽培のお米を買って食べています。2025年から放射能をかけるあきたこまちRに全てかわると知って、ショックを受けています。放射能をかけて変異した遺伝子のお米を食べたくありません。農家さんがあきたこまちR以外の種を選択できるならまだしも全てとは！そうならば、私はあきたこまちは食べられません。いつも買っていた農家さんには残念ですが、他のお米を探すしかありません

2-1077 【神奈川県、50代】

放射線米を食べたくありません。
従来なあきたこまちをお守り下さい！

2-1078 【長野県、40代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全面切替に反対します。長野でお米作りをしている者です。今回のことは秋田だけの問題ではなく、これから全国に波及するものと感じています。古来より大事にされてきた日本のお米が不自然なものに変わっていくことは望みません。私たち生産者にさえ情報が乏しく、消費者に至ってはほとんど知らされていない中での断行はいかかなもののでしょうか？

全面転換を一時保留し、議論する場を設けて欲しいです。

また、カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。
お米を変える前に先にやるのがたくさんあるように思います。

2-1079 【神奈川県、30代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。

大量の放射線を浴び、遺伝子レベルで操作された食べ物を私は子ども達に食べさせたくない。

食べ続けた結果どうなるか保証もない。

また、マンガンは子供を授かるためには必要なミネラルのひとつです。

そんなお米を食べたら、日本中少子化がますます進みます。

少なくとももう、『あきたこまち』は買わないし、家族、親戚、友達には伝えます。

私の母は東北出身ですが、同じ東北でこのような事を押し進めようとしている事、本当に怖く悲しく思っています。

どうか今一度立ち止まってください。

日本の子ども達のために…

2-1080 【福島県、30代】

あきたこまち全量転換へ反対します！

食の安全を守って頂きたいです。

ただでさえ、農薬や化学肥料によって

栄養のない食べ物が増えていたり

遺伝子組み換え等で様々な影響が出てきております。

からだは食べた物で作られます。

消費者にわからない（表示されない）安心して食べられないものを、世の中に出さないで頂きたいです。

放射線育成米や、遺伝子組み換え、農薬使用のお米を

これらを推進されてる方々は、喜んで召し上がりますか？

安心、安全と言いきれますか？

今一度しっかりとご検討頂きたいと思います！

2-1081 【神奈川県、60代】

あきたこまちR この お米調べましたが、自然からかけ離れた お米など食べたくありません。

秋田こまち、だいずきなお米でしたが、R に 変わったら、もう食べることはしません。やめて下さい。

2-1082 【神奈川県、40代】

あきたこまちR への転換を中止してください。

放射線照射して遺伝子を変えられたお米は、不自然なものであり、人体に対する安全性にも懸念があります。

また、リスクもわからないのに全面に変えてしまう必要性がわかりません。

自家採種がてきなくなることも、農業にとってはマイナスです。

これまでのあきたこまちを守って欲しいです。

2-1083 【埼玉県、50代】

あきたこまちを購入して食べていますが、苗に放射能を当てるのは、反対です。

安心安全なお米を食べたいです。日本の食卓が崩壊してしまいます。

2-1084 【奈良県、50代】

にほんが誇る美味しいもの、あきたこまちに放射線を照射し、カドミウムを吸収しにくいこめにするとゆう、一見良いことのようにおもえますが、不自然な余分な手間をかけてしまうことのメリットより、失われることのほうが多いと直感的に感じます。

大事な日本の米農家の方が安心して米を作りいままでどうり太陽や水の恵みをうけた自然な米を未来の子供たちに食べて欲しい、あきたこまちRなるものへの推進はぜひ取り止めていただきたいと意見させていただきました。

稚拙な文章ですが、読んでくださり感謝します

2-1085 【東京都、50代】

「あきたこまち」はよく購入しているのでびっくりしています。お米は日本の食の基本です。不自然な食べ物は食べたくありません。「あきたこまちR」になったらもう買わないと思います。やめてください。お願いします。

2-1086 【秋田市、40代】

秋田市在住40代主婦です。

テーマ2（あきたこまちR）への全量転換について意見失礼致します。

家族で毎日主食とするお米（あきたこまち）、秋田県、全国でも代表されるお米ですが、秋田県が2025年から（あきたこまち）を放射線育種後代交配種（あきたこまちR）に全量転換をする決定に驚きました。

富国強兵政策の下、政府は財閥系企業に鉱山開発をさせ、満足な環境対策もなく、現在も鉱山周辺にはカドミウム汚染が残る地域が存在するが、汚染地域は限られ、3%に満たないと言われる。

わずかな汚染地対策のためにすべての地域で汚染対策米（低吸収カドミウム米）を栽培させることは、

そうしないと「一部地域のみ風評被害になる」という方針なのだが、そこは一旦立ち止まって頂きたい。

汚染企業や国の責任は明らかで、企業はろくに責任を問われることなく、国も汚染米の買収事業から撤退、

秋田県（地方自治体）にその負担がかかるのも気の毒ではあるが・・・

重イオンビームという放射線をあてて、遺伝子を破壊した低カドミウム米は、1塩基を壊すことでその遺伝子はそれまでとは異なるタンパク質を作る（フレームシフト）。

長期的に食べた時、健康にどんな影響をもたらすか、実験は行われていないし、安全は確かめられていないなか、

放射線育種米を毎日食べ続けるということ、10年後、20年後、続けたらどんな影響が起きるか、誰も予想できない。

世間はそんなお米は受け入れず、風評被害による販売不振は避けられないうえ、自家採取禁止などで農家自己負担増になる。

この一連の決定は農家も消費者もまったく関わることなく、農水省一秋田県の独断で行われた。

一部の農産物検査機関や流通企業の同意のみが求められ、農家や消費者は蚊帳の外である。

以上を踏まえ、あきたこまちRへの全量転換をまことしやかに推し進めるのではなく、今一度メディア（テレビ・新聞等）で大きく報じ、全量方針期間を延長の上、今一度議論する場を頂きたい。

2-1087 【栃木県、30代】

激しく反対です。Instagramで知り、何て恐ろしいことが実施されようとしているのか

と、そして一体どれほどの農家さんがそれを望んでいるのかと、実際に育てる農家さん、消費者の声を第一に考えたら、放射線処理されたお米を全県で採用という意見にはならないのではないかと思います。

原発の放射能や放射線量等は東日本大地震以降とても気にするのに、人工的に放射線を浴びたお米を食べたいなんて、私は思いませんし、育てる側も求めていないと思います。

どうか、今までの美味しく安全な“あきたこまち”をこれからも食べられるように、長期的な安全性も不明なあきたこまちRが現れませんように願います。

私は農業関係者でもありませんが、一消費者として強く反対です。

2-1088 【東京都、50代】

日本の食、日本の優秀な米をなぜそんな風に規制し、改良してしまうのでしょうか？

これから未来の子供達や人類をどんな風にしたいのでしょうか？

人間や動物、生き物に必要なものが自然界にあります。

そのバランスを人工的に無くすことは、この生き物に必要なものが摂取出来ない状態を作ることになります。

身体に害のある物を作れない作らない食物ではなく、それらが無い環境を整備する方がさきではないでしょうか？

もし、自主採取不可にして失敗した時、あきたこまちはどうなるのでしょうか？日本の米はどうなるのでしょうか？日本人の主食は？自給自足(自分の国で作る)は？

絶対に反対です。

未来の人類のためにも反対です。

2-1089 【神奈川県、40代】

あきたこまちは私が1番好きな品種です。

これぞ日本米というモチモチ感、おかずを盛り立ててくれる

美味しい品種を育ててくださっている農家さんにいつも感謝しております。

美味しい品種とは安全安心な品種と同義だと思っています。

秋田の、お米のことを大切に育ててくださった農家さんからのお米は

未来の子どもが大きく育つようにとの思いを込めてくださっている

と認識しております。「量」を確保しなければならない側面も

ありますが、やろうと思えば米の自給率が上げられる日本では

安全な品種を作り続けて「質」の確保を第一目的にしていきたいと思います。

私は今までのあきたこまちでないともう食べることはないです。

2-1090 【東京都、30代】

あきたこまちを全て放射線を照射する品種のみにしてしまうのはやめて欲しいです。人体に影響がない安全な米を食べたいです。放射線をあてて体に無害な作物ができるとは思えません。体に必要な栄養素がなくなったお米なんて食べたくないです。宜しくお願いします。

2-1091 【東京都、70代】

秋田こまちに放射線をあてるのに反対です。ミネラルがなくなると言われている。

2-1092 【東京都、40代】

あきたこまちRへの全量転換には反対です。米は日本の主食であり、宝です。どうか日本の宝を守ってください。私たちの健康や命は、食べ物にかかっています。

2-1093 【埼玉県、40代】

埼玉県の農家です。秋田県と言えば「あきたこまち」というほど評判の良いお米が、あきたこまちRという放射線処理された新品种のお米になるという事で非常に危険を感じています。かなりお米の評判が落ちると思います。カドミウム対策という事であれば、土壌検査をしっかりと行い、土壌をきれいにする対策をまずは取るべきかと思います。カドミウムがお米に入っていないければいいという対策では、カドミウム自体が消えるわけではなく、土壌汚染はそのままという事ですよね。土壌に残るカドミウムはやがて河川などにも流れ込み、他の生き物や飲み水などへの重大な環境汚染の元になってしまいます。また、あきたこまちRという米自体の病気への弱さも指摘されていますね。そのような弱い品種を育てることで収量が落ちたり、品質が低下したりして、困るのは農家です。そして、新品种は自家採種も出来ないそうですね。種もみは一体どこが販売するのですか？病気に弱い品種の場合、充分種もみが準備出来ず、種もみがない！という状況になることが危惧されます。実際、ミツヒカリだったと記憶しますが自家採種できない、F1米の種もみが、収量不足で販売できなくなり、ミツヒカリを専門に契約して育てていた米農家が窮地に追い込まれた話もあります。全量転換はかなりリスクが高いです。本気でやめるべきだと思います。また、あきたこまちを時々購入して食べている消費者の立場でお話させていただきますと、正直、放射線をあてられたお米は食べたくないです。作ってほしくもありません。また「あきたこまちR」なのか「あきたこまち」なのか、パッケージにはっきり判るように表示されないとお聞きしました。これは消費者にとって選択の自由を侵害されているに等しいことです。万が一販売される際は、放射線照射米であることを表示されるよう強く希望します。これは、秋田県の全国民に対する良心が問われていると言っても過言ではない

ことですので、しっかりと表示なさって下さい。また、秋田県内の米農家さんと消費者の皆さんを含めた誰もが参加でき、傍聴できる協議会を設け、充分討議すべき案件かと思えます。国のしもべではなく、秋田県のプライドをかけて自分たちの米を守り抜いて下さい！今のあきたこまちをどんなことをしても手放さないで下さい！！一度失ってしまえば、それまでです。遺伝子を傷つけられたお米が健全だと言えるでしょうか。安全性の保障はありません。急ぐことなく議論に議論を重ね、まずは土壌をきれいにする対策を講じてください。

2-1094 【宮城県、70代】

米は日本人の大切な主食。

大切な主食のお米を人為的に改変して、食べ続けた場合の人体・環境・昆虫などへの長期的な観測もなく進めようという行為はあまりにも愚かな行為です。

まして改変の手段が重イオンビームなどという、自然界を破壊する行為は即時中止して下さい。

2-1095 【神奈川県、50代】

転換するのは自由ですが、そんなにいいお米であれば明確に放射能米と分かるようにして販売してください。

私はあきたこまちは購入しません。

2-1096 【東京都、30代】

家族とともに安全で美味しいお米をこれからも食べていきたいです。

2-1097 【神奈川県、40代】

いつもあきたこまちを楽しみにしております

これは非常に良い取り組みだと思います

これまでカドミウムの土壌汚染を気にしながら栽培していた農家さんの心労を考えると、種籾の段階でそのストレスが低減し、消費者としても安心して食べられる事にさらなる喜びを感じます

一部の自然派が放射線を浴びた危険な種籾として、おかしな情報を流布しているようですが、その様な声に負けず推進される事を望みます

2-1098 【神奈川県、40代】

反対です！秋田の代表的な農作物を汚さないで！！

2-1099 【大阪府、40代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1100 【仙北市、40代】

公式ウェブサイトで「あきたこまちR」についての、安全性への見解を拝見しましたが説明不足だと思います。旬のある野菜や果物と違いお米は乳児期から毎日食べ続けるものです。そのような遺伝子操作された物で本当に大丈夫という実証データはあるのでしょうか？

この安全性が保証されない限り、個人的には学校給食への供給は反対します。

あきたこまちRが栽培された際には学校給食の食材についてはお米の品種の開示をお願いしたいと思います。

自家採種禁止と、マンガン不足（マンガンの追加）について。

こちらは農家への金銭面、労働面とも実質的な負担増になると思われますが、

「あきたこまちR」を採用した農家への金銭的補助等が出るのでしょうか？又は何か対策が準備されているのでしょうか？それにかかる費用は県民の税金より負担する事になるのでしょうか？

また、マンガン不足のコメが病気になった時に、農薬の使用量の増加も考えられます。これを消費者は受け入れるのでしょうか？

我が県を支える農家の方々に負担をかける選択をするのはなぜですか？国からの補助が多額なのですか？実は秋田県の大半の土地がカドミウムで汚染されているのでしょうか？

この雄大な秋田の大自然の中に議員の皆様は生活し、自然を自然のまま、受け入れることの豊かさと健全性を身を持って学んできた方々だと思います。なのになぜ、この選択はなんなんなのでしょうか？秋田県はいったいどこに向かおうとしているのか教えてください。

安心安全な食料への関心が高まっているのは全国的な傾向かと思います。遺伝子操作、化学肥料増、農薬増、微量栄養素不足、自家採種禁止のお米が今の消費者に売れると考える根拠もお願いします。

この SNS の時代です。あきたこまち R への全量転換への風評被害はすでに始まっているようです。栽培がスタートすれば従来の「あきたこまち」生産者もろとも風評被害に合うことは容易に想像できます。そのリスクを負ってまで政策を進めるのであれば、その場合は全ての米農家への十分な補償を県民の税金を使う事なくお願いしたいと存じます。

よろしくお願い申し上げます。

2-1101 【東京都、40代】

放射線育種米あきたこまち R は買いません、食べたくないです。

安全安心なお米を作りづけられるよう、どうかお願いいたします。

2-1102 【神奈川県、50代】

: 県外の者ですが、遺伝子操作をしたお米の問題については、どうしても見過ごすことができません。

なぜ、安全性の保障のないものを導入するのでしょうか？

長期的に何が起こるかわからないのに、食べる人は実験対象ですか？

お米は、日本人の命です。

そもそも、遺伝子操作をするなど、罰当たりです。

身内が、秋田県産あきたこまちを購入していますが、もしあきたこまち R に全面切り替えになったら、他の県の銘柄に変えるように説得します。

食と健康に関心を持つ人は、みな心配しています。

秋田県だけではなく、日本全体の問題です。

禍根を残さぬよう、よろしくお願いいたします。

2-1103 【岐阜県、40代】

反対です。

安全な食とは何か、賛否両論様々な意見や情報を受け、今一度、考えていただきたいです。

2-1104 【東京都、50代】

従来の秋田こまちを食べ続けたいので、R への全面変更はやめて欲しいです。全国に向けて説明をしてください。

2-1105 【埼玉県、40代】

県民ではありませんが、出生は秋田県です。

普通にそのままで美味しい「あきたこまち」を、なぜ放射線育種後代交配種にする必要があるのでしょうか。せめて選択制なら理解ができますが、全量転換というのも全く理解できません。風評被害云々という事情だと聞きましたが、おそらく消費者は秋田のお米は買わなくなってしまうでしょう。「あきたこまちR」への全量転換、全面的に反対です。

2-1106 【香川県、50代】

「コシヒカリ環1号」と同等の放射線育種米である「アキタコマチR」は同じ問題をもったままで、安全性が確かめられていません。

消費者や生産者の中にも知らない人が多いまま、そして情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大きな問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきだと思います。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

米どころとして四国でも有名な秋田。残念なことをやめてください！

2-1107 【神奈川県、60代】

県議会の皆様 日本の子供たちのいのちと健康を考え誤った判断をしないでください。日々農家の方々には感謝しております。日本人は誰も望んでいないと思います。効率化により安く食べたいとも思っておりません。お願いですから安全なお米を作ってください。私たちが当然必要な負担はするべきと考えています。秋田から全国に声をあげてください。
以上

2-1108 【大阪府、50代】

もう、行政も信用してませんが、
大切な米までどんどん 危険で栄養も阻害されたものに変えられていくのは反対です。

有機農法 さらに、無農薬を推進して従来の米に戻していくべきです。

そんな危険なコメは買いません まわりにも拡散します

2-1109 【長野県、40代】

放射線育種米は食べたくありません。より自然な種をどうか守って下さい。

2-1110 【東京都、20代】

「あきたこまち」からの全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1111 【滋賀県、50代】

人工的に手をくわえた食品は食べたくありません。

私はあきたこまちをネットで購入していますが、もしあきたこまちRに変えたらもう購入しません。

遺伝子組み換え、ゲノム編集、浸透性農薬、なぜ自然に悪いものしか育成できないのですか？

なぜ体に悪いものを作るのですか？

子や孫の代に日本の良い物を残しませんか？

金だけ今だけ自分だけの考えを止めませんか？

効率ばかりを追い続けても良い事はありません。

伝統と文化を守ってください。

2-1112 【愛知県、30代】

印やくともやさんのSNSでどんな問題か、要点を書いてあったものがあったのでこちらに載せさせていただきます。

・ 重イオンビームという放射線をあてて、遺伝子の1塩基を破壊した低カドミウム米を今後の日本の主要な品種にしていこうという方針を農水省が2018年に決定した。

・ 農水省はすべてのお米を汚染されていない地域含めて、100%放射線育種米に転換さ

せる方針を立て、それをもっとも忠実に実行しようとしているのが秋田県。秋田県は 2025 年から放射線育種「コシヒカリ環 1 号」の後代交配種「あきたこまち R」に全量転換させる計画。このままでは、従来の「あきたこまち」は秋田県では 2024 年で終わりになってしまう。

- ・ なぜ、わずかな汚染地対策のためにすべての地域で汚染対策米を栽培させるかという
と、そうしないと「風評被害になるから」という理屈である。
- ・ 富国強兵政策の下、政府は財閥系企業に鉱山開発をやらせたが、満足な環境対策もなく、
鉱山周辺にはカドミウム汚染が残る地域がまだ存在する。
- ・ 汚染企業や国の責任は明らかだが、企業はろくに責任を問われることなく、国も汚染
米の買収事業から撤退、地方自治体にその負担がかかっている。
- ・ カドミウムは自然に存在する元素だが、人体に入ると腎臓に影響を与え、カルシウム
分が体外に出され、骨や神経に影響が出る。イタイイタイ病の原因ともなる。特に女性に
深刻な影響が及ぶ可能性がある。主に鉱山活動によって地中のカドミウムが大量に地上に
出て、汚染につながった。
- ・ 現在、カドミウム汚染地域は限られていて、3%に満たないと考えられる。しっかり
国が責任を取り、汚染調査をして、被害者の救済、そして、汚染地域をしっかり支え、今
後汚染させない政策があれば、この問題は解決可能だ。今回の隠れた主役は実はヒ素であ
るが、この汚染についても同様のことが言える。
- ・ 「風評被害」ではなく、被害対策をしっかりやっていないことこそが最大の問題点であ
り、それがないために、実際には被害にあっても声をあげられていない犠牲者がまだいる
可能性もある。鎌田慧『隠された公害—イタイイタイ病を追って』参照
- ・ 重要なのはカドミウム汚染地をなくすこと。しかし、その問題よりも米に入らなけれ
ばいい、という問題だけに矮小化にされようとしていることに懸念せざるをえない。低カ
ドミウム米の栽培ではカドミウム汚染はそのまま残り、さらに下水汚泥肥料などによって、
カドミウム汚染が高まる可能性もある。
- ・ この問題は秋田県の問題に留まらない。農水省は全国でやれと号令を出し、すでに全
国での 200 品種を超える品種の放射線育種版が作られつつある。つまり、この問題は日本
全体に及ぶ。
- ・ 政府は放射線育種は問題ないと言っているが、これまで世界で行われてきたガンマ線
照射による放射線育種は世界ではほぼ終わっていて、施設は閉鎖されている。やっている
のは日本くらい（中国の動向は不明）。そして今回使われているのは従来のガンマ線ではな
く、はるかに強いエネルギーを集中的にあてる重イオンビームである。その安全性を裏付
けるデータや実験は存在していない。
- ・ 確かにかなり前から「原子力の平和利用」という名目のもとで、放射線をあてて突然
変異させた品種は作られて、市場に出回ってきた。しかし、その品種ばかり 100%になった

事例はなく、毎日そればかり食べてきた人もいない。もし、放射線育種米だけしかなくなると、それを毎日食べ続けるということ、10年後、20年後、続けたらどんな影響が起きるか、誰も予想できない。

- ・放射線育種によって作られた「コシヒカリ環1号」やその後代交配種である「あきたこまちR」はOsNramp5という遺伝子が破壊されたことによってカドミウムを吸収しないと同時に生物の成長にとって欠かせないマンガンも吸収しにくくなっている。そのためこの品種はごま葉枯病になりやすい（これは農水省も確認済み）。マンガンが豊富でない水田では余計にマンガン不足を足してやらなければならない。「あきたこまちR」でなければ不要な対策を多くの農家が負担しなければならない。

- ・遺伝子が1つ壊れていて、人の手を使ってマンガン不足を足してやらないと育たない生命力の弱い品種がこの気候変動が激化する今後の気候に耐えられるという保障はない。ごま葉枯病以外の病気も出てくる可能性がある。その品種を100%にするというのは食料保障の観点からもありえない。

- ・「遺伝子の1塩基しか壊れていないので安全」というが、1塩基を壊すことでその遺伝子はそれまでとは異なるタンパク質を作る（フレームシフト）。長期的に食べた時に健康にどんな影響をもたらすか、実験は行われていない。安全は確かめられていない。

- ・「あきたこまちR」は自家採種禁止。他の秋田県品種もすべて放射線育種の後代交配種とする計画であるため、秋田県ではほとんどのお米が自家採種禁止となる。県から提供可能なのは遺伝子特許が取られた米だけになり、その中での選択の余地はなくなる。

- ・放射線育種米を作るのは日本くらいだから、世界の消費者はそんなお米は受け入れないだろう。農水省は放射線育種米も有機認証OKだと言っているが、EUでは種苗に放射線をかけることは有機としては認められない。

そもそも人びとは安心して有機を買っているのだから、日本の有機がそうなら、有機に対する信用はがた落ちになるだけ。また世界の消費者の理解も得られないので、日本米は海外市場も失うことになる。すべての有機農業関係者にとっての脅威となる。

- ・放射線育種は効率は「ゲノム編集」に劣り、この放射線育種米がいつの日か知らぬ間に「ゲノム編集」に代わってしまうというのは十分ありうるシナリオだ。

- ・この一連の決定は農家も消費者もまったく関わることなく、農水省一秋田県の独断で行われた。一部の農産物検査機関や流通企業の同意のみが求められ、農家や消費者は蚊帳の外である。

- ・秋田県だけで動けば、農水省のロジックでいえば秋田県産米への「風評被害」必至となる。それを考えれば今回の秋田県の動きは拙速が過ぎる。切り替えの延期は不可欠だろう。

- ・低カドミウム対策米は放射線を使わなくても、在来種を活用することは可能。

以上

「あきたこまち」は日本を代表する品種となり、全国の人に愛されており、昨年のデータでは31府県での栽培が確認できます。個人的にも秋田産の「あきたこまち」を毎日食べています。従来の「あきたこまち」を守ろうという大きな動きを作り出し、この全量転換という愚策を止めたいと思います。

この問題は対岸の火事ではすみません。秋田がこの動きを止めることは日本全国にとって大きな朗報となるでしょう。

2-1113 【神奈川県、50代】

放射線育種米への転換に反対です。

なぜ転換する必要があるのですか？

長期的健康リスクについて、十分に検討されましたか？

また、遺伝子特許が取られており、自家採種もすべて禁

止される事について、農家への説明は十分にされていますか？

インドで自家採種が禁止になった結末について、

勉強されていますか？

私は放射線育種米になったら、全力で買わないように頑張ります。

2-1114 【東京都、50代】

いままでの日本の誇るべき「あきたこまち」を食べたいです。

「あきたこまちR」は食べたくありません。

これからの体のことも心配です。

ご検討よろしくお願ひ致します。

2-1115 【岡山県、30代】

放射線育種米への全量転換について。

放射線育種米の安全性が担保されていない、

また、県から県議会への説明が行われていないと聞いております。

今、日本の至る所で説明されずに物事が進んでいると感じております。

安芸高田市に関して、説明責任についてYouTubeで取り上げられております。

それほど、今の行政の動きが注目されていると思います。
行政の方々の業務があつての国民生活だと思っており、
県は違いますが、助かっております。感謝申し上げます。
一方で、国民あつての行政だとも思います。お互い様だと考えます。
ぜひ、県議会への説明、県民への説明を行なっただけですと嬉しいです。
個人的な思いですが、安心安全なあきたこまちを、放射線育種米ではない
、在来種(非遺伝子組み換え)のあきたこまちを購入したいです。
米どころ秋田県の美味しいお米、安心安全なお米を残してください。
よろしく申し上げます。

2-1116 【山口県、60代】

今や時代は、世界は、SDGS へと、オーガニックな農業へと転換しています。学校給食もオーガニックなものに切り替えられようとしている時代に、遺伝子組み換えの米に切り替えるというのは、とんでもない話です。遺伝子組み換えが人間の体にとってどれだけ有害か、わかってやろうとしてるんですか？時代遅れすぎて悪い冗談としか思えません。秋田県にそんな時代に逆行するようなことをされたら、全国に波及してしまわないとも限りません。絶対に絶対に、反対です。撤回を強く求めます。よろしくお願ひいたします。

2-1117 【京都府、30代】

この度のテーマにつきましては特に懸念している事が二点あります。
まずは自家採取の廃止については、みなが同じ種を使用することにより
多様性の喪失があり、何かが起きた際に強く生き残れる個体がないと気候変動などに対応が難しく
たいへん危険な傾向があります。
つぎに、あきたこまちRにももちろんデメリットがあり、
到来の品種では含有されている栄養素がRに関しては含有できないという点です。
カドミウムに関しては白米の外側の部分に主に蓄積するため、品種改良までしなくとも
今までのように精米して食するという事で基本的には解決できる許容量だと考えます。
その点、品種改良による損失部分についてはカバーに費用や手間が発生するので、冷静
に検討して何が有意義に解決できる方法になるのかを精査していただきたく
意見をご高覧いただきたくお願ひいたします。

2-1118 【埼玉県、50代】

秋田出身です。なぜ？わざわざ遺伝子組換えの『あきたこまちR』
へ全量転換？？？

それより、せっかくおいしい『あきたこまち』を作ってくれている農家さんたちにもっとお金を出して作り続けて若い人にも農業をしてもらいやすくする為にお金を使ったらどうですか？

身体に入れる物です。なぜですか？

どんな利権があるのですか？

いつもお米を買う時は『あきたこまち』を選んで買っていました。安いお米があっても、少し高くても自分が育った秋田県で作った美味しいあきたこまちが大好きです。

そんなものにならなくなったらもう買いたくないです！

2-1119 【大阪府、50代】

もし、これが実施された場合、もう、秋田県産のものはできるだけ買わないようにします。

お米以外にもですし、旅行に行くこともないと思います。

今まで連綿と続いてきた農業への冒涇、命への冒涇だと思います。

どのような組織から指示されたのか、もしくは、県独自で研究、開発されたのかわかりませんが、

それに反論できず実行しようとする「県議会」を持つ「秋田県」というものを信頼することはできません。

2-1120 【愛知県、50代】

カドミウムを吸収しにくくなる種類の遺伝子組み換え米にするそうですが、同時に人体に必要な栄養素であるマンガン等も吸収しにくくなると聞いています。しかもカドミウムに汚染された地域は全体のたった3パーセントと聞いています。その限られた地域の為にリスクのある組み換え米に全量転換する事は必要なのですか？また遺伝子組み換えによる予期せぬ欠陥が見つかった場合、全量転換することにより元に戻すことが不可能になるので絶対すべきではない。全量転換でなくとも、遺伝子組み換え米を一定程度導入するだけでも組み換え米を望まない従来の米を育てている農家の米に花粉が飛んできたりなど混入したりして従来の稲作への汚染も懸念される。米は守り伝えることが神勅であるほど重要な作物で日本が有史以来育ててきた特別な作物です。日本の次世代にも米は受け継がれていかなければならないものであり、遺伝情報を欠損させた米にどんな不具合が生じるかも未知数である危険な物で一旦導入したら取り返しのつかない事になる事が懸念される以上安易に導入すべきではない。

2-1121 【福岡県、50代】

どういった影響があるかわからない放射線米を食べたくありません。
未来ある子供達にも食べさせたくありません。
日本の安心安全なあきたこまちを大事に守ってください。

2-1122 【神奈川県、50代】

あきたこまち好きですが、人体にどんな影響あるかも解らない放射能育種米は、反対です。
海外では、農薬や遺伝子組み換えゲノム編集なども問題になっているのに、これ以上、日本の食を壊さないでください。

2-1123 【千葉県、50代】

秋田県議会様、標記の件、全面的に反対いたします
食の安全性が脅かされる事案と考えています
遺伝子をむやみにさわる事は、
神を冒瀆する行為ではないでしょうか
また、安全性は十分に検証されているのでしょうか
少なくとも本件10年以上の検証期間は必要と考えます
未来の子供達に胸をはって提供出来る種ではないと思います
マンガン不足は何で補うつもりですか？
化成肥料の追加を行うつもりでしょうか？
再度、全面的に説明した上で再審議を希望をいたします
一般の方がわかりやすい政治をお願いいたします

2-1124 【東京都、50代】

県外からですが、あきたこまちを愛する一消費者として意見させていただきます。
まず、秋田県における放射線育種あきたこまちRへの全量転換に断固反対いたします。
理由は、遺伝子組換え等の技術に人体や環境にかかる安全性が担保されていないからです。
遺伝子組換え等の技術で作られた作物が安全であるかどうか、誰か正確に答えられる人がいるのでしょうか。安全か安全ではないか、それは何十年、何百年といった長いスパンでの検証が必要です。また放射線育種で有害なカドミウムを吸収しにくいお米をつくることで逆に病気になりやすいお米となったり、カドミウムではない他の問題が生じる可能性もあります。環境負荷、生態系破壊、そして一番大事なことは小さい子供たちへの成長に

どんな影響を与えるかもわかりません。

また、カドミウム汚染地域は全体の3%と聞いております。非汚染地域が圧倒的にも関わらず、風評被害が生まれるからという理由から全量転換をすることで、あきたこまちのブランド、秋田米への信頼が失われていくことは明らかです。秋田のお米を買いたい、食べたいという人は確実に減ることになるでしょう。放射線育種であることを明記しないようにするという話もありますが、そうなれば消費者は自己防衛として秋田米を買わない選択しかありません。

この国はいったいどこへいくのでしょうか。地方の議会議員さんたちにはまずは地元を必死で護っていただきたい。今だけ金だけ自分だけで政治をしないでいただきたいです。日本人として生まれ、よき日本を後世に渡すことが私たち大人の役目ではないでしょうか。

どうか今一度、問題点をよく議論していただきますよう宜しくお願いいたします。日本全国で秋田県議会の動向を注視しております。あきたこまちRへの全量転換はやめていただきたいと存じます。秋田の子供たちは優秀です。この政策が本当に子供たちのためになるのか、子供の未来のために、ここはじっくりと時間をかけて多角的に議論し、また県民や消費者である私たちの意見も生かしていただき、賢明なご判断をお願いいたします。

2-1125 【兵庫県、50代】

目的は、人体に害であるカドミウム残留量を低減させる為ですがしかしカドミウム濃度は下がる傾向にあり、2010年には国際基準値0.4ppmを越える米は出ていない。

農水省の調査。

日本の米のカドミウム残留量は0.1ppm以下9割。0.2ppm以下は98%以上。日本は殆ど安全な米です。

秋田県を皮切りに汚染されていない地域まで普及されてしまいます。問題点をあげますのでどうか止めてください。

問題点①

40~700グレイの高放射線による突然変異で人為的にDNAを破壊。カドミウムの他、必要なマンガン、たんぱく質の吸収も抑制する。高過ぎる放射線でのDNA一部破壊、未知の害を懸念します。

問題点②

収穫量が減る。石川県での調査によると、2020年6t 2021年3t 2022年 データなし。年々減っている。

マンガン不足で稲がごま葉枯病に。水田にマンガンを追加投入する必要があり余計なコストと手間が発生。

問題点③

低吸収カドミウム米は、従来の交配でも開発が可能と聞く。そちらも検討されるべきでは。

問題点④

放射線育種はいつれゲノム編集米へと品種がスライドされていくと思われる。

問題点⑤

今のコシヒカリ、あきたこまちは登録品種ではないため自家採種が可能。それが今後自治体が全量切り替えすると、不可能になる。

しかし品名は変わらず表示もないため、消費者は放射線育種米であると気付けない。選べない。

問題点⑥

放射線育種の花粉が純正稲と交雑してしまう。

もっと農家さんの事を真剣に考えて欲しいです。

以上、よろしくお願いします！！

2-1126 【東京都、60代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。

Rは食べたくありません。

2-1127 【愛知県、30代】

あきたこまちRになったら、食べたくないのでは選ばなくなるので、やめてほしいです。

2-1128 【千葉県、40代】

県外のものですが、秋田のお米を普段から食べています。

あきたこまちR全面切り替えをどうか中止してください。

放射線育種米が人間に与える影響はまだ全貌が解明されていませんよね？

カドミウム吸収が少ないという一点においてメリットがあっても、

長期で食べた場合人体に有害な可能性があります。

食べたい人は食べてもいいと思いますが、食べない選択肢を奪わないでください。

全面切り替えされるなら、秋田のお米は買いません。

また、切り替えされるのならば絶対に放射線育種米である表示はさせてください。

表示なしで販売は消費者への裏切りです。

2-1129 【東京都、50代】

先月、秋田に旅行に行きました。田畑が豊富でとても美しい土地でした。旅行後も、秋田こまちと秋田のお酒を購入し、秋田を楽しんでいます。放射線育種米への転換には大反対です。なんのためにやるのですか。

2-1130 【東京都、50代】

県外から失礼致します。

毎日ご飯を食べている立場として、これは秋田県だけの問題ではなく、もっと全国にしっかりと広報していくべき課題ではないかと考えます。

この課題を知っている消費者が、全国にいったいどれくらいいるのでしょうか？

私たちは、知らせられないまま、気づかないまま口に運ぶことになります。

知らなければ選ぶことすらできません。

国も県も、本当に国民にとって大切なことは、コッソリ進めてしまうように感じます。

Rに変わったら、あきたこまちは買いません。

どうぞ、賢明なご判断をお願いいたします。

2-1131 【茨城県、50代】

「あきたこまちR」への全量転換に強く反対します！

自然をこれ以上壊さないでください！

一部の傲慢な人間の都合だけで自然やわたしたちを破滅に追い込むのはやめてください！

「あきたこまち」を守ってください！

大好きな「あきたこまち」そして日本のお米を守ってください！

心からのお願いです。

2-1132 【京都府、40代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全面切替に反対します。

再考してください。

放射線育種後代交配種というものを、

人間が、摂取を継続することは

未知のことで、安全性が不明のものです。

そもそも、今までの

あきたこまちのように、成育するのか？というところも

全量切り替えをすることで、日本の食糧不足にも影響する、リスクがあると考えます。

日本でも、本当に大切なコメ作りにかかわることなので他地域ではありますが、ご意見送らせていただいています。どうぞ、受け止めて、全量転換の決議を保留して、消費者にも生産者にも、考えて、選択する知識を得られる情報と機会をください。

2-1133 【東京都、40代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。
私は、普段からあきたこまちを食べたり、あきたこまちで糀を醸したりしていますが、放射線で遺伝子操作されたらあきたこまちは絶対に食べたくありません。遺伝子操作された食べ物は、見た目や味では見分けがつかなく、分かりませんが、細胞レベルではその違いを察知し、体が誤作動を起こし、アレルギーなどの体調不良として現れる事が多いからです。(香料などと同じです)また種をとることが出来ないと言うのも、利権を優先していると思えないので、苦勞してお米を育てている農家さんを苦しめるだけなのではないでしょうか？
有機栽培米や自然農法のお米を選んでいますが、今回のあきたこまちRのように、放射線で遺伝子操作されたお米も、有機栽培米とされるのならば、安全なお米とは言えないので、世界的にも日本米の安全性の評価が下がると思います。
あきたこまちRに全量転換されたら、私は絶対にあきたこまちは買いたくないです。
今まであきたこまちは好きな品種でしたのでとても残念な気持ちでいっぱいなので、こちらに意見させていただきます。
どうか思い止まってくれますように。

切に願います。

2-1134 【神奈川県、60代】

どうして、安心な今までのお米を辞めて放射線に関わりあるお米に変えて、今までのお米を全て変える必要があるのか、分からない。ただ秋田のあきたこまちだけでなく、秋田県は安心出来ない考えが県政を作っているという事、今後は秋田県の生産品は全て買えない。これは、知り合いに拡散した方がいいと考えます。

2-1135 【埼玉県、40代】

安全でおいしいお米を食べ続けられるよう、お願い致します。

放射線によって栄養価も落ちるし、病気にもかかりやすいお米となるようです。

2-1136 【埼玉県、40代】

あきたこまちRの件を聞きました。私は他県ではありますが、今後の日本全体の食料について非常に危機感を感じました。お米の生産に適さない土地における対策であることは理解しました。また土地自体も改良が進み、多くのエリアで従来のお米を育てることが問題なくなっているそうです。

その手法に全体を切り替える必要性はあるのでしょうか。日本の自分たちのお米の種を取るのにいちいち特許にかかることは、いいことなのでしょうか。誰のための転換なのでしょう。新しい金儲け先（外資）をつくる目的のようにしか思えません。あきたこまちは他県でも有名です。これまでの先人たちの努力の塊です。どうか今だけ金だけの安易な考えで全量転換することは、見直していただきたいです。日本の子供の世代、孫の世代のことを真剣に考えていただきたいです。

2-1137 【東京都、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

理由以下

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問

題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

以上

2-1138 【埼玉県、40代】

お米は日本の食のいちばんたいせつなものです

自家採種できないということがどういうことか、政治家のかたにはおわかりなのでしょう
うか？

タネを握る企業に日本の食が左右されるということですか

企業はいつまでも日本のものとは限りません

国が管理するとすれば、日本中すみずみまで大小の農家がある中、天候、災害、人災、
すべて把握し素早く管理できますか？

全品種を変えるということは、今後何かの病気や天候不順のうち、生き残る品種をあえて減らすことを意味します

生物として間違った方向です

多品種、多様性こそが生命の力です

そしてお米を食べる私たちの気持ちをお考えですか？

安全かそうでないかではありません

放射線で遺伝子をいじったお米は食べたくないのです！！！！！！

わかりませんか？

安全なら良いというものではありません

安全でも嫌です

ましてや安全だなんて、どうして言えるのでしょうか

特許をもった誰かにコントロールされた、今後食べ続けたらどんな影響があるかわからない米、しかもひとが遺伝子に手を加えてしまったお米の突然変異にどうやって対応する
のですか？

遺伝子組み換え作物だって、永遠に同じ性質でいるわけではありません

必ず変異します

自然の変異なら？

でも人が手を加えてしまったものが変異したら??

すでにウイルスや菌のなかには薬が効かないものがたくさん出ています

あれは人の手がつくりだした、スーパー耐性菌です

私たちはそれに勝てないかもしれないのですよ

地球に生きているのは人間だけではありません
どうぞ、政治家であるならば地球すべてのことを
考え得る限り長い未来のことも考慮に入れて政策をおこなってください
ことはお米なのですよ
私には食べたいものを食べる権利があります
どうぞそれをとりあげないでください

2-1139 【埼玉県、60代】

放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」への全量転換は、もしも放射線育種後代交配種に不具合があった場合、食べている消費者にも大きな問題だし、それしか選択肢がないとなれば、農業従事者にとっても大きな問題になる。

さらに遺伝子特許がとられている場合、遺伝子特許を誰も所有しているかも大きな問題になる。

今は政府関係だとしても、いつ民間に移行するか分からない現代、遺伝子特許が特定の企業に所有された場合、日本の食を特定の個人、企業に握られてしまう危険性がある。

なぜ全量転換なのか、その理由を知りたい。

2-1140 【東京都、30代】

はっきり言って、怖いです。

お米、という日本人の最も大切な食を、

しかも伝統あるあきたこまちを、

大した広報もなく放射線育成米へと全量転換するだなんて前代未聞です。

最近の激しい気候変動に耐えうるかも心配ですし、

「低カドミウム」にだけ着目したはよいがその後の長期的な稲穂の成育や、人体への影響についても考えられているとはとても思えません。

稲がカドミウムを吸わなくなった分、土壌にはカドミウムが残るわけで、ではそれらの除去についてはどうするのか検討されているのでしょうか？

あらゆる面にて納得行くような説明を、出して頂きたいです。

従来米が食べられなくなるのも嫌です！

2-1141 【広島県、50代】

放射線育種米とは、単純に遺伝子が放射線により改変された種籾。人体、環境への影響は未知数。将来に渡って考えると、導入すべき出ないと考える。

2-1142 【不明、80代以上】

秋田が誇る秋田こまちの遺伝子組み換え作物にすることに反対します。

あなたたちは日本人ですか？

目を覚ましてください。日本がなくなっていていいですか？

2-1143 【神奈川県、50代】

美味しいあきたこまちを守る為にした事が

却って、食の安心に疑いと疑念をもたらす事にならないでしょう。

カドミウムを吸収しないお米にする事は本末転倒であり、土壌汚染を起こさない事が大切な事だと思います。

是非とも、全量転換は止めていただきたいと思います。

2-1144 【岐阜県、40代】

今までのあきたこまちが食べたいです。

そして、子どもを産んでみて種の重要性を感じています。

野菜もそうですが、遺伝子の組み換えなど

不自然なものを身体に入れることは健康から遠ざかるのではないのでしょうか？

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事だと感じます！

2-1145 【神奈川県、50代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全面切替に反対です。

「あきたこまち」は、日本中で愛されて、日本を代表するお米です。

その「あきたこまち」を守ってください。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。「あきたこまちR」は食べたくありません。

「風評被害」が起きるから全量転換というのなら、先行して行うというのは拙速で、時期尚早ではないですか。

消費者にも生産者にもほとんど情報が少ない中で、全量転換を決めてしまうことは大問題です。

時期を延期の上、議論する場を設けて下さい。強く要望します。

2-1146 【東京都、40代】

遺伝子組み換えを含む新しい種を生み出す研究については、否定しませんが、これまでの種を守りつつ新しいことを取り組むべきであると考えます。

そもそも、種は過去から未来へ長い時間をかけて育てられてきた愛しむものです。それを全て否定し、未だ子々孫々への安全性が解明されていないものへ全量転換することは反対です。

あきたこまちは大好きなお米で、子供にもよく食べさせていますが、これではあきたこまちを買うことはなくなるでしょう。

2-1147 【埼玉県、50代】

こんにちは。

「あきたこまち」がファンですが、放射線はいけません。

「あきたこまち」を購入したく無くなります。

科学は万全ではありません。

普段食べているお米の事なので、黙って要られませんでした。

2-1148 【群馬県、40代】

今までのあきたこまちが食べたいので全量転換でなく、少しずつ様子を見ながらにすべき。不具合が起きたときに取り返しがつかない！

2-1149 【埼玉県、40代】

「あきたこまちR」は放射線育種米であり、その影響についての説明や開示が不十分なため、品質や安全性に関する情報について、説明や開示を農家や県民等に十分に行った上で決めるのが筋ではないでしょうか。

また、「あきたこまちR」という放射線育種米の長期的な影響についての検討や報告、責任の所在についての明確化を求めます。

通常「あきたこまち」を食べ続けたい理由は、うちの家族はあきたこまちが大好きだからです。もし放射線育種米「あきたこまちR」になった場合は、買うのを辞めます。

放射線育種米「あきたこまちR」に全量転換することで、自家採取が禁止される可能性があります。ルールを変える事で自家採取が減ってしまい結果的に農家さん自身の経営がなくなるのではないかと考えています。

また責任の所在を明確化してください。全量転換した場合は、後戻り出来なくなりますが、半量転換などの選択肢があれば、農家さんも消費者も元の状態に戻すことが出来ます。半量転換ならば、放射線育種米の「あきたこまちR」に問題があった場合でも通常「あきたこまち」に戻せます。

固定種や在来種のお米を大事にしてきた農家さんの思いや心、これまで何世代にも渡って大事に育ててきた農家さんの通常のお米「あきたこまち」を私は守りたいからです。また、現在のあきたこまちで何の問題も無く、美味しく頂くことが出来るのに農家さんが何世代も大事にしてきた「あきたこまち」を全量変換する必要性を感じません。

そのため、半量転換などの方法をとると良いと思います。

2-1150 【京都府、50代】

あきたこまちRについて

放射能育種米とのことで、人体への放射能の悪影響はないのか心配です。

他の遺伝子組み換え作物で、発がん性が指摘されています。

本来の作物に手を加える事で人体への影響をよくよく検証してもらいたいと思います。

カドミウムの量や病気の発現率を考えても、全てを放射能育種米にする必要もないと思います。

放射能育種米には反対です。

2-1151 【神奈川県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

従来の「あきたこまち」を食べたいです。

Rは食べたくありません。

こんなに美味しいあきたこまちに

放射線を浴びさせる必要はないです。

今のままで十分です。

2-1152 【東京都、30代】

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは問題があります。不安があるなかで、食べたくありません。従来のあきたこまちを守るべきです。

2-1153 【広島県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

理由は以下です。

◎「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日

本を代表するお米になりました。

その「あきたこまち」を守ってほしい。

◎遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安です。

人工的な操作をせず、従来品種を作り続けることが大切と思う。

◎従来「あきたこまち」を食べたい。

Rは食べたくありません。

◎「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば、日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で時期尚早。

◎消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題と捉える。

期間を延期の上、できるだけ多くの人達が話し合う場を設けて、理に適った選択をしてほしい。

◎カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できない。

カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会を出してほしい。

2-1154 【大阪府、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

秋田県民ではありませんが。消費者として秋田のお米を食べています。

放射線育種米といってもイオンビーム照射による品種改良は遺伝子に与える影響が大きく、遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けて欲しいと思います。

低カドミウム米はイオンビーム照射による放射線育種米以外にも選択肢があります。いたずらに遺伝子を破壊する技術に全面的に切り替えるのではなく、今ある低カドミウム米（インドの Pokkai）との交配による改良をすすめて欲しいと思います。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換。

「あきたこまち R」を選択しないことができない状況になれば「あきたこまち R」を食べたくない人は「あきたこまち」買わない選択をします。

消費者の目線に立って、全量転換に対する危惧を考えて頂きたいです。

2-1155 【千葉県、40代】

私は、国民として、医師として、また癌を研究する研究者として、あきたこまち R への

全量転換に反対します。動物であれ植物であれ遺伝子を操作することの長期的な影響は不明です。カドミウムは確かに有害と言われていますが、避けるためにはほかの方法をとるべきです。また今回操作された遺伝子は、マンガン吸収に係わっているともいわれており、長期的にマンガン欠乏のリスクもあります。私はこれからも通常のあきたこまちを始め、秋田県のおいしく遺伝子操作されていないお米を、いただきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

2-1156 【湯沢市、60代】

「あきたこまちR」とは？

「あきたこまち」と「あきたこまちR」と、どう違うのですか？

私が農家ではないので分からないことで、農家さんは皆さん違いが分かるのでしょうか。

「あきたこまちR」は、とてもいいものなので、全面切替になるのですよね。

一般人にも理解出来るように、メリット、デメリットを表にして詳しく教えていただけますでしょうか。

よろしく願いいたします。

2-1157 【東京都、40代】

ずっと秋田県のお米を購入しておりましたが、

遺伝子操作されたお米は怖いので、

今後はこのような事をしていない、

安心安全なお米を他県から購入します。

ワクチンの接種率の高さとといい、

遺伝子操作なんて簡単にやってはいけないんです。

秋田県にはがっかりしっぱなしです。

全量転換は大反対です！！

2-1158 【埼玉県、70代】

放射線育種米を100%にする必要があるのでしょうか？その前に考えることはたくさんありますご、消費者が選ぶことが出来なくなるのは大問題です。そして、有機を目指して来た農業はどうなるのでしょうか？方向を間違わないで考えて欲しい。

2-1159 【東京都、30代】

あきたこまちを愛する一人として、提出させて頂きます。

あきたこまち R への全量転換に反対します。

理由↓

遺伝子を破壊された稲が人体や環境に後にどのような影響があるか

しっかり検討しないまま進めるのは危険です。

また、従来品種をなくすという事は、Rに何かあった時に全滅する可能性があります。

破壊されて良い遺伝子など、何ひとつ無く、放射能を浴びた稲から作られた R は食べたくありません。

最初は農家も知らされないで知らないかもしれませんが

いずれ SNS 等で拡散され、避難される事になると思います。

せめて全量転換は辞めて欲しいです。

消費者、生産者への理解、議論が無いまま進めるというのは後々叩かれると思います。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。

メリットよりリスクの方が高いです。

このまま秋田県が進めてしまえば、全国に拡がり、取り返しのつかない事になります。

古くからご先祖様達が種取りして繋いだものを、こんなに簡単に捨てて良いのでしょうか。

この件を進めて、稲の権利を掌握して利益を得るのは誰なのか考えれば分かります。

一部の権力では無く、未来を担う人達の方を選んで頂きたいです。

良心のある方、どうかお願い致します。

2-1160 【千葉県、40代】

あきたこまちが全量放射線育種米に切り替わるかもしれないと聞き、県外の者ですが、お米を食べる消費者として意見を言わずにおれずこちらに書かせていただきます。

東日本大震災で、原発事故のあった福島県では、放射線量の検査を今でも自主的に行っているところがあります。それは、放射線が国の定めた基準だけでは心配という消費者の懸念を払しょくするためです。私も福島県のお米を買うときはその検査を行っているところからお米を買っています。原発事故からもう 12 年目になりますが、生産者はそれでもまだこうした努力をしているのです。放射線が体に影響があることはわかっていますし、少なくとも放射線育種米が中長期にわたって体にどう影響が出るかはわかっていないのに、どうして全てのお米にわざわざ放射線を照射するのでしょうか？カドミウムを吸収しにくくするのなら、カドミウムを多く含む下水汚泥肥料を使わないなど、根本的な対応をすることがまず先ではないでしょうか。もし、あきたこまち R を食べてから人々に何かあったら、秋田県は責任をとれるのでしょうか？

農薬のように表示義務もないことから、選ぶときにはわかりませんから、全量切り替え

になるのならもう「あきたこまち」は買いたいと思いませんし、取り扱うところには取り扱わないように意見をしたいと思います。

2-1161 【神奈川県、50代】

放射線育種米になることは止めて頂きたい。

野菜も自家採種を出来なくなりつつある、現状で、どんどん農家さんが大変な立場に追い込まれています。

又、カドミウムの吸収を懸念するのであれば、土壌に問題があるのでは、土壌改良に着手すべきです。

農薬散布により、どんどん濁水している土壌。

それでなくても、そんな安全確認出来ていないあきたこまちRなど、問題外です。断固として反対します。

2-1162 【東京都、50代】

安全なお米が食べたいです。

2-1163 【福岡県、40代】

「あきたこまち」からの全面切替に反対致します。

理由としては、

秋田県が作り出した「あきたこまち」は、

日本中で愛され、31都道府県で生産される

日本を代表するお米であり、

その「あきたこまち」をぜひ守ってほしいからです。

今後も従来の「あきたこまち」を食べたいです。

長いスパンで、環境や人体にどのような影響がでるかも

分からないような、Rは食べたくありません。

もし全量転換され、表記の義務がなくなるとすれば、

悲しいですが、消費者として

あきたこまちを二度と選びません。

農水省は放射線育種でも有機認証可能だとしていますが、

それが世界的な支持が得られるのでしょうか。

また、遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった

稲がこの気候危機の中、生き延びれるのでしょうか。

自家採取含め、気候の変化に耐えうる従来の品種を

作り続けてほしいです。
これからも、今まで作り続けられ、
多くの人々から愛されてきた、あきたこまちを
応援していきたいです。
ご検討よろしくおねがいします。

2-1164 【東京都、50代】

他県ですが、秋田県が皮切りに、300種の品種の200種が、
このゲノム編集なるということ知ってます。
3%のカドニウム汚染の田んぼのために、
なぜ、全国の水田が犠牲ならないといけないのでしょうか？
だったら、汚染地域をなくすようよう努力することはできないのでしょうか？
県議会の方は、この「あきたこまちR」をどこまで理解してるのでしょうか？
もっと調べてください。考えて考えて、調べて調べて、仕事をしてください。
そして、このお米の生産をやめていただきたいです。
県議会の内容が、あまりにも勉強不足であるなら、その情報を拡散しなくていけないと
思っています。
もっと、真剣に取り組んでください。お願いします。

2-1165 【茨城県、60代】

子どものアレルギーで大変だった我が家は、もうこういう異質なたんぱく質をも、形成
させてしまう可能性の高い米をお作りに成ることを止めて頂きたいと強く思うのです。
ある米どころでは、安全安心のブランド化で、孫にも食べさせられると自慢されていま
したので、その地域に旅行へ行ったときは、旅館のご飯も楽しみでしたし、美味しかった
ので、お土産にお米製品を購入しましたね。
スーパーでは、あきたこまちを指定して買う事もありますし、このR化は残念だなあと
思います。
レストランで、安心して、お米を食べられなくなるのは、残念です。
肥料が高いがゆえに、汚泥を肥料とせざるを得なくて、カドミウム汚染が心配ならば、
どうもカドミウムをお米まで吸い上げない自然進化されたお米もあるようですし、四季の
自然の流れを受けての進化と、放射線と言うもので、人為的に傷をつけての進化は、・・・。
可愛がられて育った子と、壊れた家庭で恐ろしい思いをして生きて来た子を見ているか
のようです。

ぜひとも、R化はお止めに成られて頂きたいなと思うのです。
よろしくお願いします。

2-1166 【静岡県、40代】

放射線による品種改良には問題があるとする専門家の声も多数あります。特に、重イオンビームをもちいた改良には安全性に対する懸念もあり諸外国ではもはや使われていない技術となっているようです。予防原則にのっとり確実でないものは使わないのが望ましいと考えます。また、それ自体の問題より消費者が従来のあきたこまちと区別がつかないのが問題です。育成者権の強化されるなか農家も自前で増殖できず、種を毎年買わなくてはならないのはさらなる問題かと思われまます。この動きが全国に飛び火しないよう秋田県には適切な対応をお願いしたいと思ひます。

2-1167 【羽後町、50代】

あきたこまちの全量転換には反対します。
放射線をあてた、あきたこまちRは食べたいと思ひません。
従来のあきたこまちは、秋田の代表ブランドです。
従来のあきたこまちを守っていただきたいです。

2-1168 【東京都、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。
理由としては、
日本の従来のお米、農業をもっと大切にしたいです。
これ以上、不自然なものは子どもたちに食べさせたくありません。
食べれるものがなくなってしまう。
遺伝子を破壊されたお米を、人が摂取した時の影響がはかりしれません。
どうか、日本の未来のため、子どもたちの未来のため、
「あきたこまちR」への全量転換が廃止となることを切に望みます。

2-1169 【神奈川県、70代】

テーマ2について
全面的にあきたこまちRだけにするのではなく、
生産者がそれぞれの農法や農地にあった種籾を自由に選べる自由を残しておいていただきたいと思ひます。

2-1170 【広島県、40代】

放射線育種米のあきたこまちなんて食べたくありません。もちろん子供達にも食べさせません。

2-1171 【湯沢市、40代】

お世話になります。

湯沢市で無農薬のお米を作っている〇〇〇〇と申します。

今回の「あきたこまちR」について個人的な意見を述べさせていただきますと、やはり普及には反対です。

理由はカドミウムがそれほど悪影響を及ぼす地域が少ないからです。

カドミウムが多い地域はそんなにはないはずと思っているからです。

自家採取した種籾で無農薬栽培で作ったお米は「あきたこまち」として受け入れてもらえなくなる可能性があります。

まだまだ検討の余地があると思います。

どうかよろしくお願いします。

2-1172 【埼玉県、50代】

私はあきたこまちを愛する消費者ですが、

あきたこまちRへの全量転換には反対です。

あきたこまちに限らず、放射線育種された品種は、

安全性の懸念から、食べたくありませんし、

そうした声は、周囲でもよく耳にしています。

重イオンビームなどの強力な放射線を浴びせることで、

カドミウムとは無関係なマンガンの吸収に関わる遺伝子も破壊されていることも分かっています。

他の遺伝子にもどのような影響があるのか、

食べ続けることでどんな健康への悪影響が出てくるのか、

誰にも分かりません。

全量転換されれば、消費者は選ぶことすら出来なくなるため

あきたこまちの購入は、悲しいですが今後はやめざるをえません。

カドミウム汚染対策が必要な農地は、全体のわずか3%と聞いています。

安全性に不安しかないあきたこまちRに全量転換するのではなく、

非食用作物の栽培(例えば麻など)に切り替えるなど、
他の方法で対処し、
従来のあきたこまちを今後も残して頂きたいと、
切に願っています。
どうか再考をお願い致します。

2-1173 【東京都、50代】

秋田県議会の皆様にお尋ねします。皆様の大切なご家族に、本当にこのお米を食べて頂きたいとお考えになりますか？

あきたこまちは日本が誇る素晴らしいお米です。どうかその産地であられる事への誇りを、失わないでください。

2-1174 【千葉県、40代】

あきたこまちを購入させて頂く機会が多いので意見を送らせて頂きます。

表示でRかそうでないかの判別がつくようにして頂きたいです。選べるようにして頂きたいです。自家採取がなぜいけないのか農業が衰退していく気がしています。放射線の安全性がわからないのに食品に使うのは不安に思います。子供に安全なあきたこまちを食べさせたいと思っております。よろしくお願い致します。

2-1175 【千葉県、50代】

カドミウム以上に未知の遺伝子操作の方が怖くて食べたくありません。

もし人体に悪影響が出ても証明が難しいとなれば責任の所在が不明となるのではないかと不安もあります。

遺伝子操作には断固反対です。

2-1176 【京都、50代】

未来の子供達に健康被害が出ないように願います。

今まで、「あきたこまち」は買っていましたが、
これからは買うのを控えてようと思います。

2-1177 【大仙市、40代】

今日放射線育種米あきたこまちRについて知りました。2025年には全量転換するとのこと。

県民にほとんど知らされずに、このような重要なことが進んでいくことに不安を感じました。

また安全性についても不安があります。放射線育種米に転換することは反対です。

秋田県は美味しいお米の産地です。どうか安心安全で美味しいお米を作って頂きたいと思います。未来のためにどうかよろしくお願いします。

2-1178 【福岡県、70代】

国民に安全なお米を提供して下さい。

自然な農法で自然なタネ作りをお願いします。

2-1179 【千葉県、40代】

あきたこまちRは放射線育種米であるが、このお米を主食として毎日食べた大人や子供、食べた大人から生まれた子供に対する長期的な安全性は担保されているのか不安を感じる。また、このお米は遺伝子特許を取得しているため、自家採種が禁じられると聞いたが、稲作農家はお米を栽培するのに毎年種もみを種苗会社から購入することになるのであれば、主食の穀物ですらも種苗会社から種を買わないと栽培できなくなることで得られる利点は何か、食糧安全保障に対する貴議会の意見を伺いたい。

2-1180 【小坂町、20代】

あきたこまちRへの転換は下記事項を事前に検討して頂きたいと考えています。

○カドミウム低減メリットは、あきたこまちRへの転換に伴うデメリットを十分上回るのか。

・・・カドミウム摂取量を低減させることは、健康寿命を延ばすために賛成です。一方で、

厚生労働省「食品に含まれるカドミウムに関するQ&A」
(<https://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/12/h1209-1c.html>)によれば、

「1日摂取量の約4割は米から摂取されているものと推定」「世界の各地域の食品の消費量とカドミウム濃度から得られた地域ごとの平均的なカドミウム摂取量は2.8~4.2 μ g/kg 体重/週となっており、我が国の摂取量(2.8 μ g/kg 体重/週)は比較的低い状況」とされており、現状より更にカドミウム低減を目指すメリットが、それに伴うデメリットに対してどれ程大きいかを検討頂きたいです。

<予想されるデメリット>

・農家は種子購入が必須になるため、種子売り手が優位的立場となり、農家の金銭的負担、精神的負担の増加につながる可能性がある。それに伴い、米農家担い手の減少の可能性もある。

- ・放射線による遺伝子改変に関して、見逃している健康への悪影響の可能性がある。
 - ・農家、消費者はあきたこまちRを生産/消費するしかなく、従来にあきたこまちにとどまるという選択の余地がない。他県も秋田県の施策に追従することにより、放射線育種後代交配種しか購入できない状況下になれば、個人の信条によらず放射線育種後代交配種しか消費する他なく、食の自由を損なうものである。
 - ・土壌中に残留するカドミウム量は増えるが、これによる悪影響はないのか。生態系への影響、食物連鎖による別の食物への蓄積など。
- 以上、ご検討を宜しくお願い致します。

2-1181 【東京都、50代】

とても悲しいです。放射線をあてて遺伝子改変して
そのお米をいただいて何十年か後に身体に影響が無いのか？とても不安です。
これから来る子供たちへの影響が1番気がかりに思います、
どうか全量改変は思いとどまって頂きたいです。

2-1182 【熊本県、40代】

あきたこまちRへの全量転換に断固として反対します。
なぜなら、人間の身体は食べた物でできています。先祖代々受け継がれてきた遺伝子は
とても貴重な物でありその遺伝子を人間の都合で勝手に操作するのは辞めるべきです。
ましてや放射線を浴びたお米に栄養価があるとは思えません。
将来を担う子供達の健康のためにも目先の判断ではなく、未来を見据えた先見の眼で判
断して頂きたいです。

2-1183 【静岡県、40代】

「あきたこまち」から全量転換に反対いたします。
放射線を浴びせて、人為的に操作をした「あきたこまちR」は、どんなふうに人体に影響
があるか分かりません。
私も食べたくないですし、子供たちにも食べさせたいと思えません。
従来までの「あきたこまち」を守ってください。
私の周囲の方で、多くの方は、そんなものを食べたくないし、買いたくないと言ってい
ます。

「あきたこまち」は秋田県だけで栽培されているものではなく、全国31県で栽培され、
国レベルで影響が大きい内容だと思います。ですので、全国に情報公開をして、もっと話

し合うべきだと思います。本当に「あきたこまちR」を日本に導入すべきなのか。それを子供たちに自信を持って食べさせられるのか。

何卒、再考してくださいませよう、お願い申し上げます。

テレビのニュースでも、農業のことはまったく取り上げられず、知らない間に、種子法が変わったり種苗法が変わって、沖縄のさとうきびも、自家採取してはいけない、したら法律違反であり罰金が課せられると知りました。日本の農家が食べていけなくなり、どんどん苦しくなり、種の販売元である一部の外国資本ばかりが儲かる内容が知らない間に推し進められていると、認識しています。

お米が自家採取できなくなり、農業をする人もいなくなり、安全に食べられるものがなくなってしまったら、日本は立ち直れなくなってしまうのではないかと思います。どうか、考え直してください。よろしく願いいたします。

2-1184 【埼玉県、40代】

今回の「あきたこまちR」への全量転換の事を知り大変ショックを受けております。

いままで好きで「あきたこまち」のお米を購入しておりましたが、全量転換する目的が理解できません。

遺伝子操作した食物が何をもたすかわからないのに、私たちの身体に安全と言いきれないのになぜ推し進めるのですか？

農家の方々が長い時間かけて守り育ててきた銘柄になんてことをするのでしょう。

人体実験ですか？環境や生態系、人間の身体に被害がでたら責任取れますか？

大反対ですし、中止を求めます。

今後は怖いので「あきたこまち」銘柄のお米は一生、買いません。

2-1185 【千葉県、30代】

「あきたこまちR」への全量転換ではなく、従来の「あきたこまち」も、遺していただきたいです。

「あきたこまち」は日本の宝です。

よろしく願いいたします。

2-1186 【東京都、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。以下に理由を示します。

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲はごま葉枯病などの病気にかかり

やすく、また遺伝子を編集した影響も明らかではないので、従来の品種を作り続けることが大切と考えます。

- ・従来の「あきたこまち」は食べていますが、Rなら絶対に食べません。

- ・「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

- ・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

- ・カドミウム米は、昔から対策がなされており、土壌改良をしながら、カドミウムの吸収を少なくすることを農水省の補助事業でやっていました。自然界に存在するものは仕方がないので、土壌検査をやり、基準値をオーバーすれば、淡々と国の補助金で土壌改良をやるやり方でよいと思います。

2-1187 【京都府、40代】

遺伝子組み換えは、まだ健康影響がなぞ。ただちにやめろ。

2-1188 【大阪府、40代】

あきたこまちを購入しいつも家族で食べております。

あきたこまちRの生産方法についてもほんとに安心なのか？疑問が残りますし、あきたこまちとして表示して販売されるのならあきたこまちは今後買わないと思います。

安心してお米を食べたいです。

全量転換は反対です。

2-1189 【東京都、50代】

「あきたこまちR」や「コシヒカリ環1号」はカドミウムをほとんど吸わないので、地域のカドミウム汚染を減らすことには役に立たないと伺いました。全量転換は時期尚早であり、反対です。ぜひ慎重に検討していただきたいです。どうぞよろしく願いいたします。

2-1190 【兵庫県、30代】

まずは「あきたこまち」からRへの全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びる

か不安であり、従来の品種を作り続けることが大切です。

そのためには品種改良ではなく、土壌改良こそ重要であり、菌ちゃん先生こと吉田さんの提唱する土作りこそ問題の解決策であると思います。

- ・何の為に、誰のために、全量転換するのかその理由を明確に示してください。
- ・安全性が明確でないお米を子どもたちに食べさせることが、子どもたちの未来を守ることになるのでしょうか。
- ・全量転換することで一番儲かる企業はどここの国の企業か明確に示してください。
- ・全量転換することで一番儲かる人は誰か明確に示してください。

<https://kinchan.ocnk.net/phone/>

- ・従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

関連情報

河田昌東さん「放射線照射による品種改良 何が問題か」 学習会報告

<https://okseed.jp/news/entry-179.html>

あきたこまち R にもの申す！

<https://project.inyaku.net/archives/9357>

2-1191 【長野県、50代】

あきたこまち R への全量転換に反対します。

カドミウムの吸収の問題は、米だけで解決するのでしょうか？

選択肢のない改良は、しいてはあきたこまちの消費を下げる
のではないのでしょうか？

少なくとも、私はこのような米は食べたくありません。

2-1192 【石川県、30代】

「あきたこまち R」への全面切替に反対します。その理由としては3つあります

①放射線により遺伝子操作されたものを食べたくないし、子どもたちにも食べさせたくない。何よりそれが表示されず農家にも消費者にも流通するというのが大問題で、食の安全を全く考慮していない。

②消費者にも生産者にもほとんど情報がない。切り替えについての報道は全く見かけま

せん。今後何年にも渡って育種したり摂取していく中で自然への影響、人体への影響など計り知れないことが沢山あります。

全量転換を決めてしまったことは大問題で、上記のことを掘り下げて議論する場を設けるべきです。

③自家採種ができなくなる

ことにより、農家への負担が膨大なものになる。この国でお米を作る人がまた減ってしまう。食料自給率が下がる。どんどん国力の弱い国になる。

世界からみても放射線育種米は禁止されている。日本はまた危険な道を歩むのか。絶対に止めるべきだと考えます。

2-1193 【湯沢市、50代】

まずは「あきたこまち」から全面切替には断固反対します。

その理由としては

- ・100%安全安心と言い切れるのか？

何代も先になってから問題が派生する可能性だってあります。

- ・消費者や農家が、これを望んでいるのか？

大きなニーズがあるのなら仕方がないのかもしれない。

でも到底そうとは思えない。

広く情報公開して議論を尽くすべき。

- ・稲作だけでなく、自然環境にも大きく影響を及ぼすことです。

目先のことを求めて、もっと大きなものを失う可能性が大きいことを考えてください。

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

- ・従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1194 【三重県、40代】

放射線育種されたあきたこまちRは食べたくありません、そして消費者は、買いません。

2-1195 【埼玉県、60代】

埼玉で田畑を耕し日常、稲作をしてきたものです。

品種はコシヒカリを作っています。

今回、秋田県でのR種に全力転換する案について、無用なことであるという思いをお伝えします。これまでの種の発展が現代の稲作を支えている、収量の増加や自然、病気に強い品種に、変えてきたことは事実です。

しかし、今回の新品種は交配ではなく、人為的な自然界にない操作による、遺伝子にまで影響する可能性のあるものであり、そうした米を食すと、どうなるか知れません。

全量、切り替える、その判断も、耳を疑わざるえない。

在来種を排除し、新種にする意味が理解できません。

来るべき将来の世の中の変化に対応出来るように、先を見越しての品種改良だとしても、行き過ぎた決断にしか思えません。

全量切り替えるということは、在来種を排除することにもなり、何か、問題が起こった時、戻しようにも戻せない。

食べた人に、異常があった時に、責任など、取れるもので

はなく、遺伝子組み換え、の恐ろしさを、後世に残す最悪の切り替え判断にならないことを、強く望みます。

全量切り替えを、中止されますこと、お願い致します。

2-1196 【北海道、50代】

農業者としての意見ですが、食の安全をこれだでも無視してきた国が今度はこのような形での品種改良は最悪と思う。カドミウム問題解決とは聞こえがいいですが、このような植物を育てる事は、我々人類にも自然環境にも計り知れない事が起きる可能性があると思います。国がそこまでの権利、立場があるのでしょうか。この問題は秋田県だけでなく全国に広まるきっかけを作る事となるでしょう。どうかそのような事態を防ぐ動きをして頂きたい。安全な食料の確保は国の義務、海外は第一に考えていますが我が国は、何か違うようですが変えて頂きたいと思います。より良い世界の為に。

2-1197 【青森県、60代】

あきたこまち R に全量転換は絶対反対です。
あきたこまち、大好きです。しかし放射線育種米あきたこまちは、食べたくないし購入したくありません。
カドミウムで汚染されている地域はどこですか？汚染の場所、原因を調べて改善させれば良いと思います。
自然に沿ったお米が一番です。よろしくお願いします。

2-1198 【神奈川県、60代】

多くの銘柄の中で特に
あきたこまちは大好きなお米です。
より安全により美味しい改革は
歓迎しますが
今回の転換は到底受け入れられません。
多くのファンを持つ秋田こまちは
改悪から守ってください。
心からお願い申し上げます。

2-1199 【東京都、40代】

遺伝子操作された不自然なコメを食べたくない。全量転換し、遺伝子組み換えされたコメしか選べないのなら、もう「あきたこまち」は買わない。

2-1200 【石川県、30代】

あきたこまち R は、本当に必要なのでしょうか。
放射線育種米で虫が付く事が防げても、
また別の虫がついたり稲が別の病気になるのではないのでしょうか。
そして、消費者側への安全性の説明は生産する前に
県民に理解できるようにしっかりとされていますか？
議会で審議されたのでしょうか？
市民の理解を得ていないまま推し進める事は民主主義なのでしょうか。
是非、市民への意思確認をお願いいたします。
未来ある子どもたちの為に、食糧自給率が市内で維持できる
政策を考える事をしてください。
よろしくお願いします。

2-1201 【石川県、40代】

あきたこまちの放射線育種米への転換に反対します。

「美味しいお米」といえば連想するのは東北地方。

秋田県は日本有数の米所。その秋田県が長期的な安全性など調査していない放射線育種米へ全面転換というのは、県民を初め、

あきたこまちを楽しみにしている全国のファンに説明がつくのでしょうか。

この決定は、秋田県内の農家さん達にも知らされていないと伺いました。

県の一部の方の決定で、秋田県の美味しいお米が、安全かどうか分からないものに知らぬ間に置き換わってしまってよいのでしょうか。

私は秋田県民ではありませんが、だからこそお伝えしたいです。

秋田の美味しいお米を放射線育種米に変えないでください。

切り替われば、私は今後秋田県のお米は買いません。買えません。

小さな我が子のことを思えば仕方ありません。きっとそう考える方はたくさんいます。

不買運動が起こり、一度嫌なイメージがつけば、それ払拭するのは容易ではありません。

どうか、県議会の皆さんで、この県の決定を撤回してください。

日本の食の安全を守ってくださることを切に願います！

2-1202 【徳島県、60代】

あきたこまちRは、直接放射線を照射はしていませんが、一部を破壊された遺伝子を引き継いでいることに不安を感じます。安心な従来の「あきたこまち」を食べたいです。

2-1203 【福岡県、40代】

県議会への意見：

「あきたこまち」からの全量転換に反対します。

その理由としては2つあります。

1つは、「あきたこまち」はここ福岡をはじめ

全国で売られており、日本を代表する

美味しいお米です。

その「あきたこまち」を守ってほしいです。

一気に全量転換してしまったら、生育不良など

何か想定外のことが起きたときに取り返しが

つかなくなります。

もう1つは、この「あきたこまちR」が

カドミウム汚染対策だということですが、

カドミウム汚染対策であれば従来の

「あきたこまち」を作って米に吸収させ、
土壌を浄化していくほうが効果的ではないかと
考えるからです。

その汚染地で作ったお米は売れないでしょうから、
補助金などを出して国や県が買い上げる、
とすればよいのではないのでしょうか。
汚染地の割合は3%未満だということですから、
そんなに量も多くないと考えます。
今一度、再検討をお願いいたします。

2-1204 【石川県、40代】

食の安心、安全は、国民、県民の暮らしの安心安全に直結しています。ハイリスクが予測される放射能育種米への転換をやめてください。

秋田県民、日本国民のためにどうぞよろしくお願いします。

因果関係がわかってからでは遅いことがあるように、リスクを回避するごく自然な判断をどうかよろしくお願いします。

2-1205 【にかほ市、50代】

放射線が必要とありますが、やめてほしいです。できるだけ自然な形で食品を摂りたいです。消費者が不安に思って離れるのは当然のことだと思います。

2-1206 【神奈川県、40代】

反対します。そのようなあきたこまち食べたくないです。

もし、

放射線米になってしまうことあれば買いません

2-1207 【東京都、50代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。

あきたこまちRは食べたく無いです。

2-1208 【愛知県、40代】

国の種苗法もですが、国民や県民の健康、食の安全を守ってほしいと本気で考えられて

いるのでしょうか？

ご自分の子供達や孫達が10年後、20年後に健康被害を受けるかもしれません。もっと早く気候変動による

不作なども起きるかもしれません。もっと慎重に、真剣に幅広い専門家からの意見を聴いて、検証して判断してください。

あとから、こんなことになるとは思わなかったという言い訳をする状況が生じないくらい、徹底的に話し合ってください。

2-1209 【秋田市、50代】

放射線育種のお米は食べたくありません。

お米は、自家採種が基本です。

有機米がなくなってしまうたら、日本人の食事はどうなるのでしょうか！お米が日本人の命だと思います。大事な『あきたこまち』のお米は、放射線育種でないものを消費者が選択できるようにしてください。よろしくお願いします。

2-1210 【岡山県、60代】

「あきたこまちR」は放射線育種後代交配種です。

この放射線育種後代交配種には、安全性や多様性に問題が有ると思っています。

放射線育種米「コシヒカリ環1号」と「あきたこまち」から作られた「あきたこまちR」。

カドミウムを吸収しない事しか知らされていませんが、同時にマンガンも吸収しないとされています。

放射線育種米は、

①DNAの2本鎖切断の際に起こる遺伝子の変異が複雑。

②未知のタンパク質ができている可能性がある。

☆他の遺伝子に与える影響が明らかではない。

事が問題だと思っています。

放射線育種に頼らずカドミウム低吸収米は開発されています。

岡山大学の馬建鋒氏(植物ストレス学グループ)により、「Pokkali」とコシヒカリを交配して「低カドミウム吸収米」の開発に成功。

放射線育種については、OKシードプロジェクトHPをご参照ください。

どうぞ秋田県が先頭を切って放射線育種米を広めませんように！

これまで通り美味しい「あきたこまち」を育ててください！

2-1211 【秋田市、30代】

あきたこまちRへの全量転換反対します。

長期的な安全性も分からず、古来からある文化を破壊するような行為かと思います。放射線はもともと安全性も問題ですし、人に向けるのも怖いものを植物に対して行うこと自体疑問です。たしかに品種改良などはこれまで行われてきた行為ですが、子どもたちに安心して食べさせられるものにならないと思います。しなければいけない理由も理解できませんし、反対致します。

2-1212 【滋賀県、50代】

「あきたこまちR」への全量転換へ反対します。遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなったお米を子どもたちへ食べさせることは不安です。長期的にどのような影響があるか未知のものです。

また消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題です。本当に国民がそれを望んでいるのか、議論する場を設けるべきです。

2-1213 【大阪府、50代】

あきたこまちが25年から放射線育種に変わると聞きましたが大変遺憾です。

なぜ日本人の主食であるお米に放射能を当てる必要があるのか？放射能がどれ程危険なものか理解された上での決定ですか？農家の方の被曝やそれを流通させることにより放射能汚染がとても心配です。日本の食文化を衰退させないで下さい。日本人を絶滅させるおつもりですか？一刻も早く決定を取り消していただきたく意見させていただきました。

2-1214 【東京都、50代】

食と健康が大きな課題となっている中、安全なお米が食べたいです。ほとんど米食の我が家です。近くのスーパーには「あきたこまち」が沢山積まれています、これまでずっと「あきたこまち」を買っていましたが、「あきたこまちR」になる事を聞き、他の銘柄を選んでしまいました。いずれ他にも同じ様になってしまうでしょう、そうならない為に今止めなくては後悔します。八十八の手間がある、お米農家さんの苦勞も分かります。是非、これからの子供、孫の世代に安全な食を残したい。安全なお米をお願い致します。

2-1215 【千葉県、60代】

遺伝子をいじったものは総じて人体に悪い影響を与えます。県議会の方々は信用信頼を得居たのでは無いのですか？

このような反自然的な事をしていけば、いずれお米農家のみならず、秋田県自体の信用も信頼も無くすでしょう。

秋田県を潰したければ導入されればいいでしょうが、果たして一般の県民はそれを望んでいるのでしょうか？

お金や利権ではなく、利他の精神で動けばいずれ秋田は豊かになるでしょう。そういう時代になっています。

ちなみに、Rが導入されたらあきたこまちは買いません。

2-1216 【東京都、40代】

カドミウム米は、昔から対策がなされていると聞いています。

土壌改良をしながら、カドミウムの吸収を少なくすることを農水省の補助事業でやっています。

土壌検査をやりながら、基準値をオーバーすれば、国の補助金で土壌改良をやるやり方でよいのではと、思います。

予算の問題が、と言う意見もあるかもしれませんが、国会などでも財務省や日銀が認めた通り、国の借金問題はありません。

農水省の方々は、財務省を相手に予算確保が大変だとは思いますが、そこを諦めてあきたこまちを無くしてしまうことはあってはならないはずです。

放射線育種は遺伝子を一部破壊することで、その種の性質を変えるものと認識しています。

「従来のあきたこまち」を大好きな人、これまであきたこまちを食べ続けた人に、「これからは遺伝子改良したあきたこまちだけです」と言うのでしょうか？

秋田県で始まると、蟻の一穴となり全国に広まるでしょう。

先人が築いてきた、あきたこまちをこれからも食べたいです。

2-1217 【和歌山県、20代】

放射線育種米になってしまうのは反対します。お米の安全性もさることながら、今後の激しくなる環境変化に耐えられるのかわからないし、その自家採種も禁止になりますので、日本のお米はすべて自家採種禁止となってしまうんですね。

2-1218 【三重県、50代】

あきたこまちに

R はいりません。

昔からの日本の米を守って下さい よろしくお願い致します。

2-1219 【アメリカ、50代】

お米は日本の農業の最も代表的なものです。その稲の自家採取が将来できなくなるというのはおかしいと思います。あきたこまちを守ってください！

2-1220 【兵庫県、50代】

あきたこまちに限らず今後すべての放射線育種後代交配種米に反対します。

放射線育種米は食べたくありません。安全性に問題があると思います。

コロナワクチン、HPV ワクチンのこともあり、政府、お役所が強引に進めるものは信用できません。

2-1221 【静岡県、50代】

遺伝子特許があるから、自家採種してはいけないのであれば、放射線育種米を国が推進すること自体が、日本という国の自殺行為に等しいと言えるのではないのでしょうか。ご存知のように、現在の日本は一見独立国の体裁をしていますが、傀儡政権を介したアメリカの植民地なのです。本国アメリカが衰退していく過程において、その植民地である日本だけが繁栄することは、アメリカの支配者たちからすれば許しがたいことなのでしょう。国が放射線育種米を推進するのは、日米合同委員会での指示があるのだと思います。指示に逆らえば、暗殺ということもちらつかせているのでしょう。放射線育種米により、日本の食料の首根っこを押さえ、更に白人支配者にとって忌々しい日本人の健康を損なわせることができる。そういう邪悪な政策を、日本はアメリカから押し付けられているという現実を知るべきなのです。県を、国を良くしたい。そういう希望を持って政治家を目指してこられたあなた方が、この現実を知らずして、どうやったら県や国が良くなるのでしょうか？まずは、農作物の自家採種を全て可能とすることが日本の滅亡を食い止めることになると知るべき。

2-1222 【東京都、50代】

従来のあきたこまちが食べたいです。Rは食べたくないです。

2-1223 【静岡県、40代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1224 【東京都、50代】

いつも美味しい あきたこまち をお作り下さる秋田県様に御礼申し上げます。

炊きたてはもちろん、冷めても美味しいのでお昼ごはんに、おにぎりにして毎日食べてます。

無農薬や特別米の あきたこまち を長年取り寄せて購入しています。

一愛好者、一購入者の願いとして、あきたこまちR について 以下の意見をお送り申し上げます。

1) 遺伝子操作された あきたこまちR は すごく怖いので、購入したくありません
お米が好きな多くの友人、多くのレストラン経営者も同じ意見でした

遺伝子操作された作物は危険性があるので、食生活に気を使っている消費者は絶対には買わないです。

せっかく美味しくて大ファンの あきたこまち が買えなくなるのは本当に悲しいので、ぜひ遺伝子操作を止めて欲しいです

2) 放射能汚染への対策は、お米を操作するのではなく、土壌など元々の原因を取り除く対策を望みます

県外から誠に失礼申し上げますが、どうぞご検討のほどよろしく願いいたします。

2-1225 【滋賀県、30代】

他府県からのコメント失礼いたします。

あきたこまちRのことを拝見いたしましたが、何故全量なのでしょう？

安全を謳われていましたが、長期にわたっての摂取により人体への影響がなく安全と言われるのは疑問がのこります。

また、秋田県が初めたからと他府県でも放射線米が全量転換されてしまうことも予測できてしまうのでどうにか考え直していただく事はできないのでしょうか？

もしそうなって、10年後放射線米によりガンなどが見られた場合秋田県の判断が招い

たと言ったことにならないのでしょうか、そうなったら責任は取られるのでしょうか？

さらにはほとんどの国民が知らないのに決定されたとの事なので、日本は、民主主義国家のはずなのでせめて民意を聞いてからご判断いただきたく思います。

私もあきたこまちを食べるので従来のものがなくなってしまうのがどうしても考えられないのでどうかよろしく願いいたします。

長文失礼いたします。

2-1226 【埼玉県、60代】

あきたこまちRのような不自然なお米を全量転換するのは、反対です。

今まで作っていたあきたこまちでいいでわないですか？

何処から圧力かかったか知りませんが、日本の為、日本人の為を考えるなら、

このような放射線をあてたお米を作らせるのは辞めてください。

2-1227 【京都府、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由は以下になります。

- ・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。

カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質問してください。

2-1228 【埼玉県、50代】

日本のお米を守ってください！

こんな安全性を無視されたお米になるようなら、今後あきたこまちは購入しません。

2-1229 【高知県、50代】

放射線育種 は健康への影響があるのではないかと思います。気がつかないうちにわが国では従来育種として多くの作物に使われていました。国は何十年も実績があり、安全性に問題はないと言っていますが、本当にそうでしょうか？ こんなにも国民にアレルギー等慢性疾患が多い現状から、放射線育種が関係していない、とはいえないのではないのでしょうか。小麦アレルギーの方も、古代小麦だとアレルギーが出ない、など聞くと、アレルギー

ーが出るのは小麦そのものではなく、人工的に作物をつくりだしているからなのだと思います。あきたこまちRは必要ありません。安心して今まで通りのあきたこまちを食べたいです。

2-1230 【東京都、50代】

従来なあきたこまちの栽培を強く希望します！！

Rに反対します！！

2-1231 【北海道、40代】

大反対です。やめてください。危険なコメを作らないでください。

2-1232 【広島県、60代】

生産者や消費者に、詳しい説明も正しい情報も伝えられないまま、大切なことを拙速に決められることに、大きな不安と危険を感じます。作る人、買う人、食べる人、つまり全国民に、真実を伝え、十分に議論することがとても重要だと考えますので、現時点での、「あきたこまちR」への全量切り替えは、到底納得できないし、賛成もできません。関わる人すべてを交えて、慎重に議論を重ねることを強く希望します。

2-1233 【宮城県、30代】

ご意見聞いてくださり感謝いたします。

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては、長期的に見て人体にどのような影響がでるかわからないため、強い不安があります。子供にも従来なあきたこまちを食べさせ続けたいです！

私も家庭菜園をはじめたので、愛情をもって育てた種子は子供のようなものです。自家採取禁止も反対です。

国からの要請で、大変な立場かと思いますが、是非日本国民を守ってください。よろしくをお願いします。

2-1234 【由利本荘市、40代】

ゲノム編集された米が本当に安全なのでしょうか？

この米が市場に出回るとするならば、この米を一切食べないよう努力します。

2-1235 【熊本県、50代】

日本人の主食であるお米まで、遺伝子組み換えにすると、よほど国民を病気にさせた

いんだらう。

利権ばかり追い求めるのは、いいかげんにやめてほしい。

これ以上からの指示に従うのはやめていただきたいです

2-1236 【東京都、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1237 【愛知県、50代】

2025年から放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換すること、日本のお米はすべて自家採種禁止されるようですが、その決定に関わった人たちは悪魔の下僕です。毒を食べなさいと言うようなものです。自治体そのものがヤクザ化し、自治体の存在意義がもはや悪でしかないのです。もう必要ありませんね。この3年間、いろんな悪が炙り出されました。新型コロナワクチンによる被害がどんどん大きくなっても、止めることなく推進しましたね。それが自治体の考えであり、国民の命をお粗末にしました。そんな自治体など、誰が頼りになれましようか？ただ上からの指示に従うだけの議員や公務員はもう必要ありません。悪の組織WHO・日本政府にぶら下がっている、あなたの自治体ですから。

<https://gettr.com/post/plwc31j370a>

欧州議会の方が、あなたの自治体よりも遥かに健全です。これこそ、国民に奉仕する本来の姿です。

それに引き換え、あなた達議員や公務員は保身しか考えないのでしょうか。器が小さいですね。

2-1238 【京都府、60代】

日本人の主食はお米です。

大切なお米、毎日食べるお米が放射線かけられてるお米だなんて…絶対やめてください。

そんななったら、あきたこまちを買いません！

日本の米を守りたい！

2-1239 【東京都、50代】

放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」への全量転換につきましては、長期的な視点で再検討をお願いします。壊してもいい遺伝子など無いはずです。あまりにも短期的な研究、視点での判断のように感じます。

あきたこまち、及びお米のユーザーとしてのお願いです。

自家採種も残して下さい。日本の伝統米を残して下さい。

2-1240 【大分県、40代】

放射線育種米の問題について

日本人の主食である米になってことをするんですか？

やめてください。

2-1241 【和歌山県、40代】

まずは「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全面切替に反対します。

理由は以下の通りです。

・生き物や自然にとって大きな影響のある放射線を、大量に浴びさせた種でできた不自然なお米を食べたくありません。

・「あきたこまち」秋田県が作り出し、農家さんが代々受け継いできた大切な品種です。日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になった「あきたこまち」を守る必要があると考えるからです。

・遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安です。従来品種を作り続けることが自然順応であり、日本の食と健康を守るために必要なことだと考えます。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題であり、最低でも延期した上、議論する場を設けるべきです。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質して下さい。

2-1242 【群馬県、40代】

種を守ることとはかけはなれています
カドミウムだけにスポットをあてるのですか？
なぜ健康とは真逆のことをするのですか？
必要性が全く感じられません
人類発のコロナワクチンの mRNA のように、
安全性も有益性も、
ましてや長期の観察もなされていないことを
なぜ勝手に推し進めるのでしょうか？
土壌改良へ尽力して欲しいです

2-1243 【岩手県、40代】

普段あきたこまちを食べてる隣の県のものですが放射使用した米になるというなら買うのやめます。

なるべく自然の方のほうが害がなさそうなので。

2-1244 【愛知県、40代】

何でわざわざ有毒な米を食わされなければならないのか。ふざけるな！農家の人にも放射線米のことを説明しない、消費者にも放射線米のことを知らせない。食べた者を殺す気か？食の安全を乱すどころの話ではない。放射線米を作る、流通させるのをやめさせろ！

2-1245 【広島県、30代】

放射能で遺伝子組み替えしたものを県が主導で強制的に張替えさせられるのはおかしい
ましてや新しいもので安全性も確認できていないものを
本当に良いものであれば
農家さんと消費者が選択して買えるようにすべきである
選択をさせてください
押し付けは結構です
自分でどっちが良いか判断して買いたい
マンガンを吸収しにくいお米で健康ではないと考えます
一つの側面で良いものという押し付けはやめて頂きたい
この政策は米を主食とする日本国民全員に関わることだと考えます
秋田県の判断だけで、しかも一気に全面張替えは反対です

2-1246 【東京都、40代】

あきたこまちが全量、放射線照射されるというお話を聞きました。理由として、カドミウム汚染対策ということですが（理解が間違っていたら申し訳ございません）、そもそも下水道汚泥肥料が問題なのではないでしょうか。わたくし自身サラリーマンですが、休日は埼玉県の有機肥料・無農薬の田んぼに手伝いに行っています。肥料を使えば使うほど土地はやせていくことを目の当たりにしています。

せっかくのブランド米であるあきたこまちを遺伝子操作という方法によってマンガンを吸収しにくくさせ、他の病気を招いてしまい、ミネラル不足に陥ってしまうことで、消費者が望まないお米になってしまい、もう元に戻せないような事態になってしまうことを心より危惧しております。なにとぞ踏みとどまっていたいただきたくお願い申し上げます。

2-1247 【北秋田市、40代】

2025年から、秋田県の作付7割を占めるあきたこまちを放射線育種米あきたこまちRに全量切り替える予定である。

また、全国的にも米の主要品種200以上の放射線育種米を展開する予定であるとのこと。これは重大懸念事項であり、由々しき事態であると考えます。

カドミウム汚染地域が全体の3%にも関わらず、

全てのお米、農家を対象に拡大するというのは早計ではないでしょうか。

安全性が疑問である放射線育種米を、なぜ全国的に展開するのでしょうか。

また、農家にはマンガンが不足しないようにするため、負担が課されるとのこと。

農家にとって、自家採種が禁止となること、また、消費者にとっては「表示義務がない」ことも問題だと考えます。

【放射線育種米は、不自然に遺伝子を破壊した品種です】

[問題1]

①数年後、放射線育種米を全国的に植える予定であること。

②放射線の一種である重イオンビームを人為的に照射すること。これは、これまでの放射線(ガンマ線)よりもずっと強力で、恐ろしいものです。鉄砲と大砲くらい威力が違います。

不自然に遺伝子を破壊した品種コシヒカリ環1号と、各地の主要銘柄を後代交配させた米作りの推進する。

秋田県の主要銘柄あきたこまちは、後代交配させたあきたこまちRになってしまう。

この米はカドミウムを吸収しないが、マンガンをはじめ他のミネラルも吸収しない。

マンガンが不足すると、家畜では子どもができない、できても子どもが流れてしまう。

人間も同じ。ミネラル不足で流産が否めない。

出生率の低下、少子化対策ができていないにも関わらず、子どものできにくくする方策をこれ以上進めていくのか。

[問題 2]

重イオンビーム照射で米の遺伝子が欠損されることにより、未知の(異常な)タンパク質が合成され、食べると自己免疫疾患、アレルギーを引き起こす可能性がある。

[問題 3]

あきたこまち R は有機 JAS 認定される可能性がある。放射線育種米を有機米に認定してしまっても良いのか。

[問題 4]

なぜ、高濃度のカドミウムが田んぼに入ったか。採掘、精錬事業による可能性がある。なぜ、採掘精錬事業者の後始末を農家がしなければならないのか。放射線育種米を進めても、カドミウム汚染の解決にはならない。

[問題 5]

自家採種で固定種を守り抜いてきた粳米が汚染される、そのような農家が困る。

[問題 6]

それを食べることで、お互いが助け合ったり、信頼し合ったり、尊敬し合ったり、慈しんだりすることがなくなってしまう。殺伐とした人間関係になってしまう、戦争が起きやすくなる。

自然な種はそのままで完璧、自然に任せておけばいい。人間が人為的に手を加えることが大きな問題である。

【自然はそのもので完璧である】

よろしくお願い致します。

2-1248 【埼玉県、40代】

せっかく皆さんが築いてきた「あきたこまち」のブランドを壊すようなことは残念です。安全性について広く公開した場で検証し、その上で安全が担保出来たなら進めてください。

現状はそのやり方に沿っていないと感じます。繰り返します、ブランドを壊さないでください。

2-1249 【神奈川県、40代】

全量転換に絶対反対いたします。

健康被害が碌に検討されていないでしょう。ラウンドアップはなぜ日本でだけ大量に使

えますか？

マーガリンはなぜ日本でだけ子供の給食にまで出されますか？

世界一日本で食品添加物が大量消費されているのはなぜですか？

日本でだけがん患者が膨大に増え続けているのはなぜですか？

いい加減にきなさい。これを進めたら良い加減あなた方許されませんよ。

もう限界だ。覚悟していなさい。

2-1250 【神奈川県、50代】

放射線育種米を食べたいとは思わない。

既存の安全で安心な米を手放し、あきたこまちRへ全量転換する意図も不明。

市場にはすでにあきたこまちRが出回っている可能性も考慮し、

長年購入してきた『あきたこまち』を米の選択肢から外した。

農家さんや消費者、食の安全を守ることに力を注いでほしい。

高い放射線量をあてて作られた米に不安があるのは当然であるし、

既存の種との自然交雑も心配される。

あきたこまちRへの全量転換には反対。

2-1251 【滋賀県、60代】

あきたこまちRに全量転換するのはやめてください。

日本の米は昔から気候の変動や台風に備えて、

コシヒカリ、日本晴れ、ささにしきなど

一軒の農家でも時期をずらし、品種を変えて植えています。

カドニウムだけを考慮して全てを一つの品種にするのは、

その品種が対応できない気候や病気の時、

米の収穫が極端に減って食料不足になります。

また、すべての田が基準値以上のカドニウム汚染

があるわけではありません。

カドニウムの高い田んぼは改良された品種にを植えて

他は今まで通りでいいと思います。

またカドニウムを吸収しないイネはマンガンも

吸収しないといます。

問題のない田んぼにそのようなイネを植えたなら、

マンガンも不足します。

よって全量転換する必要はないと思いますし、

全量転換は食料不足につながるので

反対です。

2-1252 【兵庫県、50代】

不安が残ります。

安全性の議論は平行線になると思うので、消費者が選択できるよう表示をするようにしてください。

また、岡山大学で品種改良した低カドミウム米が開発されましたが、その品種改良についても、追及をして下さい。

河田昌東氏 講演録

<https://okseed.jp/news/radiation/entry-179.html>

岡山大学ニュース

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000836.000072793.html>

2-1253 【秋田市、40代】

あきたこまちだけではなく、日本酒も、米どころ酒どころの秋田ではなくなってしまう。

秋田の美味しいお米作りをやめないでください。

2-1254 【東京都、60代】

消費者の意見を述べる機会は無いのですか？

消費者を疎かにするなら、二度とあきたこまちは購入しません。

2-1255 【鹿児島県、40代】

あきたこまちRへの全量転換に、断固反対します。

これ以上、食料自給率を下げる政策は辞めて下さい！！

2-1256 【京都府、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための

国や県のロードマップを県議会でも質してください。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

2-1257 【岩手県、20代】

あきたこまち R への全量転換は反対です。

今まで通り美味しいあきたこまちを食べさせてください。

放射線で強制的に遺伝子操作・ゲノム編集されたお米は食べたくありません。

2-1258 【神奈川県、50代】

「あきたこまち」から「あきたこまち R」への全面切替に反対します。

その理由としては「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31 都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。「あきたこまち R」は食べたくありません。

「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

どうか宜しくお願いいたします。

2-1259 【東京都、50代】

やめていただきたい！人体への悪影響が危惧されます。

守り育てた、秋田こまち、のブランドを汚さないでください。

2-1260 【東京都、30代】

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。従来の「あきたこまち」を食べたいです。R は食べたくありません。自分の子供たちへも、日本の美味しく安全な米を未来永劫食べさせたいです。

2-1261 【神奈川県、40代】

消費者及び生産者への十分な説明がなされないまま全量切り替えに移行する事に決定した事は問題があると感じています。あきたこまちは全国的にも愛されています。安心感を持って購入していた消費者に不安を抱かせる形で進めるべきではないと思います。消費者、生産者にもきちんとした情報を提供を行った上で消費者、生産者も交えた十分な議論を行なって欲しいと切に希望します。

2-1262 【東京都、50代】

秋田県の「あきたこまち」大好きな
東京の人間です
あきたこまちRへの全量転換に”絶対反対”です
そんなことは日本の農業を破滅に導きますよ
農法も種も善良な農家さんにおまかせして
安心して安全な美味しい秋田こまちを
これまで通りに食したいです

2-1263 【石川県、30代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。
その理由としては遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、
従来品種を作り続けることが大事だと思うからです。
各都道府県に先駆けて新しい取り組みをする事は素晴らしい事ですが、
長期的な目線を持たずに判断する事は恐ろしいと思います。

2-1264 【東京都、40代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。
その理由は
・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1265 【東京都、50代】

・従来の「あきたこまち」を食べたいです。放射線育種後代交配種のRは食べたくありません。

・秋田県側の説明として、放射線育種後代交配種であるとの説明があったのでしょうか？無いのであれば前提が異なるため、再度の議論が必要ではないかと存じます。

・「風評被害」が起きるから全量転換と聞いてます。風評被害が起きるからいうのであれば日本全国で一斉にやる必要があります、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

2-1266 【大阪府、40代】

カドミウム汚染地域は3%未満で、なぜ全てのあきたこまちを放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」にする必要があるのでしょうか。

風評被害は、放射線育種後代交配種を使ったお米であり、まずは汚染地域のカドミウムを除去し、その問題の根源である、汚染地域の人たちの救済と除去、賠償、そして同じことを二度と繰り返さないという反省をして、未来へどうすれば豊かな自然を守り、安全な食料を栽培し、国民へ手渡していけるかが、今私たちがすべきことです。

お金、経済ではなく命優先で物事を本気で決めてください。

これ以上、自然を破壊し、命の根源である種をなくさないでください。

あなたもあなたの子どもたち、家族もその米を食べて生きていくことを忘れないでください。

再度の検討をお願いします。

2-1267 【愛知県、50代】

県議会への意見

あきたこまちRというゲノム編集米に全量切り替え

して、国民にもそれを知らないうちに

切り替えるとのことですが、その周知もなしに切り替えると言うのは、何か後ろめたいことでもあるのでしょうか。

ゲノム編集米なんて誰も求めていませんので、従来のあきたこまちの米を作ってください。

またいつものアメリカの命令ですか？そういうの、ウンザリなんですけど。

ご対応の程、よろしくお願い申し上げます。

2-1268 【宮崎県、30代】

あきたこまちは、九州の私でも最高級のお米と認識しています。そして後世に残していくべき日本の財産です。

それを放射線で育成なんて、自然と生き物を侮辱する行為です。

そんなに楽しんで儲けたいですか？

25年からは、残念ですがもう秋田のお米は絶対に買いません。

2-1269 【千葉県、50代】

基本的に自然な物以外は口には入れない。ワクチンでも薬でも食べられる物以外は口に入れない。DNAを触った米など2度と買わないし、茨城産の某米も買ってないし、出すレストランなどには意見と拒否を通告している。米所として恥ずかしくない、模範となるような選択をお願いいたします。

2-1270 【宮城県、40代】

放射線育種米の作付けに反対します。秋田県議会のみなさんが「あきたこまち」を守ってください。

2-1271 【大阪府、40代】

あきたこま치의全量転換に断固として反対いたします！！

日本人を育ててきた世界に誇れる大切なお米を破壊するような行為は即刻中止させてください。

カドミウム汚染への対処のために米に放射線を当てて破壊するということですが、そんなお米は絶対に食べたくありませんし、買いたくありません。

3%のカドミウム汚染地域の風評被害を懸念して全てを放射線育種米にするなんて、そんなのは全く理由にはなりません。おかし過ぎます。

カドミウム汚染が危険だというなら、食べ物の遺伝子を破壊するのではなく、汚染された原因を無くしていく、変えていくことが先決ではないでしょうか。

それに、お米をカドミウム米にしたところで低カドミウム汚染は解決できるものではありません。

むしろ、お米に放射線を浴びせて遺伝子破壊することの方が悪影響です。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。

私は秋田県民ではありませんが、あきたこまちは大好きです。

日本人は自然と共にあるお米に育まれ護られてきました。

お米は日本人の「心」そのものであり、日本全国に美味しいお米を提供し続けている秋田県のお米は県の誇りではないでしょうか。

その「あきたこまち」を、往来のあきたこまちは、どうか本来の姿のまま守ってください。

ゲノム編集や遺伝子組み換え、野菜や魚、あらゆるものが勝手に遺伝子操作をされ、消費者に示すことなく売られています。

あきたこまちは、いずれは「R」という表示を無くす方向に持って行くそうですね。

望んでもいない遺伝子破壊をされ、しかも致死量を超える放射線量を浴びせるというあり得ない方法なのに、こんな大事なことがあまり伝えられておらず、ほとんどの人が知らないでいる。

そして私たち消費者はどんなお米を食べさせられているのかわからず、買う時にそれを選択する権利も無くなる。

おかし過ぎます。

私の周りでも放射線育種米を食べたいという人は1人も居ませんでした。

当然のことだと思えます。

必死に働いて稼いだお金でそんなお米を買いたい人なんて居ません。

日本人を育ててきた大切なお米を破壊しないでください。

どうか自然のまま継承して行ってください。

お願いします。

往来のあきたこまちは壊さないでください。

2-1272 【鳥取県、60代】

安全性が確認されていない品種に変更するのは行政の怠慢でしかない。県民だけでなく国民の生命に関わる事である事をもっと自覚すべき。カドニウム汚染が心配であるなら根本的な解決法である土壌を取除くのが正しいと考えるのであきたこまちRへの転換はやめてもらいたいと思い、他県民ではありますが意見させていただきました。

2-1273 【大阪府、40代】

これ以上日本の食を壊さないでほしい。自然が一番良いに決まっています。また危険な食料を給食などから導入するのですか？

今回のコロナワクチンの薬害でも気づいた人は多いと思います。自然が一番なんです。

日本人殺すつもりなんですね。

やめることができないなら、はっきりと放射能育種米と書いてとはっきり販売してほしいです。体に悪いと分かれば誰も買いません。日本国民はどれほど危険なものを食べているが気付かれていません。フェアでないです。

よろしく願いいたします。

2-1274 【奈良県、40代】

『県議会への意見：あきたこまちRの件』

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば

日本全国で一斉にやる必要があります、秋田県だけが先行するとは時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、

期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。

カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

・ 放射線米による生態系や種、人体への影響について懸念は大きいのに、

転換するメリットも安全面も不透明すぎます。

これをやるほどの意味も、従来種の問題点もまるで見えてきません。

2-1275 【東京都、40代】

土壌や肥料がカドミウムに汚染されているのであれば、そちらを安全で自然なものに変えていく努力をするべきだと思います。なぜ稲に放射線という発想になるのでしょうか。

1つの遺伝子は多くの機能を持つことが多く、1つの遺伝子の機能が損なわれればその影響は多方面に及ぶ可能性があります。

また、表示の義務づけがないため、流通に乗ってしまえば消費者が放射線育種米を識別することは不可能と聞きました。そのようなお米は食べたくないです。

秋田県は県民から安全な食物を奪い、不健康にさせようとしているように見えます。

2-1276 【東京都、30代】

- ①今までのあきたこまちを引き続け食べ続けたいから。
- ②全面切り替えた後に、問題があってもやめる時の責任の所在が明確でないから。
- ③あきたこまちは秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産する日本を代表するお米になっているので、そのお米をこれからも大事にしていきたい人の気持ちを完全に無視しているから
- ④遺伝子組み換えを行った食物において、生態系、土壌の汚染、人体への影響が計り知れないため

2-1277 【神奈川県、40代】

放射線照射に反対致します。
照射したお米を、買いたい、食べたいと思いません。
照射無しでお願いします。

2-1278 【愛知県、50代】

県民への説明不足ではないでしょうか？

2-1279 【東京都、50代】

秋田こまちの放射線照射による品種改良は何故必要何でしょうか？
品種改良されたお米の安全性は立証されているのでしょうか？
放射線照射は国民が望んだ事でしょうか？
これは秋田県の方々だけの問題ではありません。秋田こまちは日本を代表する国民にとっては最も身近な大切なお米です。日々食卓に登ることが多い、最も親しまれたお米です。ササ錦も美味しくて有名ですが、秋田こまちはササ錦よりも糖質が低く体に良いとの事から、私も毎日いただいております。
国民の納得がいく説明もなく、安全性も確認されないまま始めてもいいのでしょうか？
国民の声を無視して強行に進める事は許されないと 생각합니다。
秋田県議会の皆様！国民の安全な食を守ってください！
秋田県議会の皆様は、秋田県民の代表ですよ？
どうぞ県民、国民の声を良く聞いてください！
日本全国では学校給食にも有機栽培の食物を使う市町村が増えてきております。
日本の将来を担う、大切な子ども達の健康の為にも、安全なお米を守ってください！

2-1280 【羽後町、40代】

今まで通りの、あきたこまちを子供達に食べさせていきたい。

2-1281 【愛知県、50代】

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

従来通りの米が食べたい

自然の恵みに勝るものは皆無です

工程はシンプルであるべきです

2-1282 【京都府、60代】

いきなりの報道で知り、驚きと不安を覚えています。

日本の主食『米』は、全国民にとってとても大事なものです。

安全性について消費者の理解を得ていないということ、

栽培について、安定性があるのか検証が不十分であること、

全量転換という植物界にとって重要な『多様性』を損なうこと、

販売段階で、「あきたこまちR」とは分からない表示となること、

など様々な問題点がある中、拙速な決定を行わないでください。

政治的に判断すべき問題ではありません。

農業者、消費者などとともに、予防原則のもと、十分な検討が行われて始めて県議会での議論が始まるのではないのでしょうか。

長い長い歴史の中で培われてきた米作りを、根底からひっくり返し、

一旦、全量転換すれば、元に戻すことは容易ではない、この選択を

今の状況で行わないようにお願いします。

2-1283 【北海道、50代】

あきたこまちRを広めていくことに反対です。

秋田県だけのことに留まらないと思います。

種の自家採取ができないなど、おかしいです。

種は次の世代を繋ぐためにあるものです。

そこを規制しててお金を払わないと食べ物

作られないようにしていくことは、自分の命を

大切にしないのと同じことです。

無くして良い遺伝子など、あるのでしょうか。
必要あって長い時間かけて育んできた遺伝子を
短絡的にいじって変えてしまうことに
もっと慎重になってほしいです。
人間の科学では、自然界のバランスをつくりあげる
ことはできないと思います。
一つのピースを変えてしまうことで
何十億年もかけてバランスを取ってきた
自然界を壊しても人間には修復はできません。
愚かなことです。
先月、生まれて初めて秋田県に行きました。
田んぼがどこまでも続く景色に圧倒されました。
人も温かくとても、素晴らしいところです。
大雨の災害にも耐え、おおらかに立ち直っていく。
素晴らしい秋田県に、このような先例となって
欲しくありません。
あきたらこまちRを広めないでください。

2-1284 【群馬県、50代】

ずっとあきたこまちを購入していました。
Rに全量転換するとのことで、もう購入することは無いと思います。
従来の「あきたこまち」を食べたいです。
Rは食べたくありません。

2-1285 【神奈川県、50代】

秋田県産のお米を定期購入している者です。
あきたこまちRに全量転換するというのは危険で愚かな行為と言わざるを得ません。
今進められている農業政策は海外資本により日本農業を潰そうとしているのだと思いま
す。
どのように作られたか広まれば買う人は激減すると思います。
どうか、お米をはじめ、素晴らしい秋田の農作物を守ってください。
これからも伝統を受け継いだ安全なお米を作ってください。
もし圧力に屈して作らざるを得ないとしても、どうか従来の品種に戻せるように残して

おいてください。

どうか、どうか、お願いします。

2-1286 【大阪府、50代】

一部のカドミウム問題の為に全量、いずれは日本中のお米に手を加えることに反対です。

何でも自然のままが安全で美味しいのです。

その一部をどうするか考えてください。

日本のお米を大切にしてください！お願いします！

2-1287 【新潟県、50代】

私は米どころ新潟県在住です。新潟のお米も美味しいですが、

秋田へ訪れた時の秋田米の美味しさに感動しました。

それからこちらでも秋田米を購入しています。

そんな秋田米の不穏なニュースを耳にし、この度ご意見を

言わせて頂こうと思った次第です。今まで通りの秋田米で

製造して下さい。あきたこまちRって必要ですか？なぜわざわざ

放射線浴びせる必要がありますか？お願いです。これからも

安心安全なあきたこまちを製造して下さい。

私は政府のそういう施策は間違っていると思います。

日本人の安心安全な食を取り上げないで下さい。

どうぞ宜しくお願い致します。

2-1288 【北海道、60代】

カドミウムが問題であるなら、先ずはカドミウムで汚染された土地を浄化すべきではないでしょうか。

人類は遺伝子について知り始めたばかりであり、まだまだわからないことが多い段階にあります。

その遺伝子を放射線照射によって変化させることによって、将来予期せぬことが起きる可能性があります。

そうなるからでは遅すぎます。

日本人にとってお米は天照大神から賜った一番大切なものです。

それを安易に操作してはいけません。

今まであきたこまちのファンで食べてきましたが、このまま開発を進めるのであれば二度と食べることはありません。

悲しいですが、仕方ありません。

どうかもう一度食の原点に立ち帰り、考え直していただきたいです。

どうぞよろしく願いいたします。

2-1289 【兵庫県、40代】

お米は日本の宝ですね。

安心安全ないお米を食べれることは未来の子供達の安全でもあります。日本の良さを奪わないで下さい。

2-1290 【由利本荘市、40代】

従来のおきたこまちが食べたいです。放射線を当てたお米は風評被害を受ける可能性があります。

秋田県の米農家を守るためにもお願いします。

2-1291 【宮城県、40代】

放射線照射は危険性が高いため、中止願います。

放射線照射がされたかどうかの表示もされないの、消費者は避ける事もできません。

どうか今の安全な食を守ってください。

2-1292 【茨城県、40代】

安心安全なお米が食べたい。

しかし秋田県は流通するお米を放射線育種米に全量転換しようとしています。イオンビームといった強力な力を加えて一部の遺伝子を働かなくする政策をとって、安全な食の提供が確約できますか。人に十分説明できるほど調査しましたか？

さらに問題が起きたとき私財を投げ売って償う覚悟を決めていますか？←それほど重要なことです

秋田は日本が誇る米所です。大潟村のお米やお餅が大好きでしょっちゅう取り寄せています。それは美味しいだけでなく、安全だと信じているから。

あなたたちがやろうとしていることは、人々から美味しく安全な食料を奪うことであり、ご自分の子孫に安全性の分からない食品を与えることです。

いまいちど立ち止まって、提出された議案を右から左へ流して、取り返しの付かない

決定をしないでください。

食は日本の最大の武器であり、防衛手段です。私たちの大切なお米を奪わないで。

2-1293 【福岡県、40代】

「あきたこまち」からの全面切り替えに反対です。

限られたカドミウム汚染地域のために、放射線育種後代交配種に全部変えてしまうのはおかしいです。

カドミウム汚染地域の対策をしっかりとやることが大切だと思う。

確かにかなり前から「原子力の平和利用」という名目のもとで、放射線をあてて突然変異させた品種は作られて、市場に出回ってきた。しかし、その品種ばかり100%になった事例はなく、毎日そればかり食べてきた人もいない。もし、放射線育種米だけしかなくなって、それを毎日食べ続けるということ、10年後、20年後、続けたらどんな影響が起きるか、誰も予想できない。

この気候変動が激化する今後の気候に耐えられるという保障はない。ごま葉枯病以外の病気も出てくる可能性がある。その品種を100%にするというのは食料保障の観点からもありえない。

2-1294 【福井県、50代】

放射線照射！絶対反対です。日本人の最も大事な食に不自然な手を加えないでください。長期の安全も保証されていないものを誰が食べます？そもそも何故このような話になるのか？怒りさえ感じます。日本を壊さないで下さい。先人たちが伝えてきたそのままで食を守っていきましょうよ！

ネオニコチノイド系などの農薬使用もやめていただきたい。

今こそ自然な形で農作物を作ることが求められているのではないのでしょうか？どうぞよろしくお願い致します。

2-1295 【愛知県、60代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

・放射線照射されたお米が人体にどれだけの影響を及ぼすか、全く未知の中で転換するのは危険です。

人体にどれだけの影響を与えるかもわからないのに遺伝子組み換え、ゲノム編集、放射線照射された農作物、ましてや日本の主食でありソウルフードのお米に人間の100%致死量7グレイ以上を照射した新種を作り出すことに反対します。

日本のお米、農業を守ってください。私たちは健康な市民生活を送る権利を認められています。食生活はその根幹となるものです。食を破壊するのは止めてください。

2-1296 【神奈川県、40代】

「あきたこまちR」への全量転換に反対します。

普通のあきたこまちが好きです。

「あきたこまちR」は食べたくありません。

全生産者が希望しているのでしょうか？

2-1297 【宮城県、40代】

放射線育種は、遺伝子操作の一つであり、目的としていなかった作用もあり（あきたこまちRの場合、カドミウムだけでなく、マンガンを吸収しにくい、病気に弱い）、「あきたこまち」をすべて「あきたこまちR」に転換する必要はないと思います。お米は、主食として多く食べるものなので健康影響も不安です。また、自家採種できないことも農業の持続可能性に影響があると思います。秋田での全面転換が前例となることで、全国的にも、土壌汚染を解決するよりも放射線育種米を使おう、となることを心配しています。十分な情報開示のうえで慎重に検討されることをお願いいたします。

2-1298 【秋田市、30代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

2-1299 【長野県、60代】

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論してからです。

2-1300 【愛知県、60代】

反対します。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1301 【東京都、60代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・放射線で遺伝子に手を加えたお米が絶対に安全という保証はありません。消費者として食べたくないです。

・遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・自家採種ができなくなると、本当の食糧危機が来た時に対応できません。自給率を高め食の安全を守るためにも従来のお米を守ってください。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1302 【京都府、40代】

「あきたこまちR」への全量転換については反対します。

遺伝子操作されたものが環境や人体へ与える影響が気になるからです。

この操作により、今後の気候変動に対応できるものなのか、

人体その他への影響はどうなのか、本当に未知数です。

特に、これからが楽しみな子どもたちへの影響が本当に気になります。

また、遺伝子特許の関係から自家採取ができなくなるということも、稲作の自由度を低くして、発展がなくなってしまう。

安心、安全を第一に考えて、慎重になっていただきたいです。

ご検討のほど、よろしく願いいたします。

2-1303 【大阪府、50代】

あきたこまちは、とても美味しくいただきました。

今回のあきたこまちRへの全量転換は、安全性に不安があり信用もなくなると思います。ぜひやめていただきたいです。よろしく願いいたします。

2-1304 【能代市、60代】

『県議会への意見』

放射線育種米あきたこまちRについて

日本では食品に放射線をあてるのは北海道の馬鈴薯の芽止め用のみですが、それも最近、廃止されたようです。欧米でも放射線による育種は禁止のようです。

そんなものをほんの一部の汚染地区だけでなく、

全県で採用するのは頭がおかしいとしか思えません！

汚染地区(たったの3%)での米作を諦めて貰うのが筋でしょう

しかも、F1種にするとはもってのほかです。日本の米、しかも秋田県を代表する品種を亡くすなんて異常でしかない。種苗メーカーに支配されます。

2-1305 【秋田市、30代】

なぜ遺伝子組み換えまでして病気に弱くミネラル不足な品種に変えなくてはいけないのか。

全量転換の前にきちんと子どもたちへの影響や安全性を示すデータを提示して人体への影響がない安全なものだと証明し、県民に説明してからスタートして欲しい。よってあきたこまちRへの全量転換には反対です。

2-1306 【静岡県、40代】

放射線育種米への切り替えに明確に反対します。

身体への影響が無いと言うエビデンスは、将来の子孫に渡っての安全性が確立されたものでは到底無いでしょう。

安全な食べ物を作って下さい。

明石市の様に、市民、ひいては日本人の為になる選択をして下さい。

目の前にぶら下がるいつかの利に飛びつかない様にして下さい。

安全なお米を手放したら、二度と戻ってくる事は無いでしょう。

2-1307 【和歌山県、60代】

これは改悪です。反対です。乳牛を殺傷したり、コオロギを食べさせたり、いったい国は何を考えているのか。お米は守ってほしいです。がんじがらめにして、日本人をどうしたいのですか。国民の命と財産を守るのが、政治家の役目ではないのでしょうか。

2-1308 【東京都、30代】

あきたこまちRに関してですが、あきたこまちRはカドミウム汚染対策にはならないとの結果がでているとの事の様で、それを普及させる事は、印鑰智也氏の調査結果を読む限りはリスクだらけの様気がします。おそらく、効果の無い低カドミウム米を普及させるよりも、玄米食によるカドミウムのデトックス効果（カドミウムだけで無く水銀等の対策にも成るようです）に期待したり、有機栽培を普及させていった方がカドミウム汚染米対策にはなるのではないかとはい思うので、是非、今一度、この事をふまえて検討してもらいたいもの、とは思います。

2-1309 【宮城県、60代】

稲の遺伝子の一部を放射線で破壊し、目的の性質を持たせたお米に表示義務なし

「放射線育種米」というものは「稲に放射線を放射して、突然変異を引き起こさせて作ったお米」

「人間にとっての致死量の境界値が1.5グレイで、7グレイで100%が死ぬと言われますが、それを上回る放射線（40～300グレイ）を照射して、稲の遺伝子に損傷を与え、育てた中から従来にはない性格を持つ品種が生まれるというもの」とあります。

現在、稲を育てる土壌や肥料のカドミウム汚染が深刻化していることを理由として、稲の遺伝子の一部を破壊してカドミウムを吸収させにくくする目的だそうですが、こうして出来た「コシヒカリ環1号」「あきたこまちR」が、元々のコシヒカリやあきたこまちから全量切り替えになっていくとのこと。

土壌や肥料がカドミウムに汚染されているのであれば、そちらを安全で自然なものに変えていく努力をする方がまともだと思うのですが、なぜ稲に放射線という発想になるのでしょうか？

表示の義務づけがないため、流通に乗ってしまえば消費者が放射線育種米を識別することは不可能です。

効率化を優先しようとして安全でないお米を食べることにより、不健康になって行く気がしてなりません。

再度精査をお願いいたします。

2-1310 【兵庫県、50代】

この先の影響が分からないあきたこまちRより、
従来のあきたこまちが食べたいです。
未来ある子どもたちの為にもよろしくお願いします。

2-1311 【秋田市、30代】

断固反対です。
私の実家は農家です。
親はこのことを知りません。
まず、県内全農家に郵送して当事者達に意志を確認すべきと思います。
高齢でスマホなんて難しいので。
こんなお米(放射能による組み換え)が出て、誰が買うのでしょうか。
子どもたちには食べさせられない上に、
せつかく米どころ秋田と謳っているのに
台無しになり消費も下がりますよ。
冷静な判断をお願いします。

2-1312 【神奈川県、60代】

『県議会への意見』

安全性が明確に保証されない米を全国展開する
足掛かりになる動きに断固反対します。
食の安全、食料安全保障を揺るがし子供達の未来に
不安しか見えません。目先の利益で動いているように
感じます。今後も農薬肥料が高騰している状況は
止まらないでしょう。農家は自家採取出来ないで毎年稲を買う。
負担増で離農される可能性が増える。
日本の農業破壊になりますね。
だからこそ自然の摂理に反する農業技術は
不要です。再考をお願い致します。

2-1313 【京都府、40代】

いつもおいしいあきたこまちを購入しています。
311の時の秋田県の保守姿勢は、検出下限値を独自に設定しており、とても安全重視
で尊敬できました。

しかし、今回のあきたこまちRへの全量転換へは疑問です。

人間の致死量以上の放射線を照射したお米を食べて、健康維持できるとは思えません。

と、同時自家採種した苗も使えなくなるとのこと。秋田県が先陣を切ってしまったら他県もその流れを追ってしまいます。

どうか県議会で採択されないよう、お願いいたします。

2-1314 【東京都、50代】

Rの転換に反対します。

従来のあきたこまちか食べたいです。

2-1315 【静岡県、50代】

安全なお米を提供してください。

放射性なものなど安全ではないと思います。

未来の子供たちに負の遺産を残さないようにお願いします

2-1316 【千葉県、40代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

従来の「あきたこまち」を食べたいです。

Rは食べたくありません。

難しいかもしれませんが、極力、

遺伝子組み換えや品種改良していない、

食物を食べたいです。

子どもたちにも食べさせたいです。

2-1317 【大阪府、30代】

放射線育種を子供に食べさせたくありません。どうか、子供の食の安全のためにも辞めてください。

2-1318 【滋賀県、40代】

県議会へのご意見

放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」の導入に反対します。

私も農家で、あきたこまちを栽培していますが、現状でカドミウムの被害米は、頻繁に出

ている訳ではなく、ごく一部に出ているに過ぎないと思います。また、農家の立場として、カドミウムを吸収しない利点が「あきたこまち R」にはあるのかもしれませんが、栽培する側として、特定成分を吸収しない放射線育種米が、本当に安全かどうか不安がぬぐえません。あきたこまちの一大産地である秋田県で、全量転換されてしまうと、全国でも波及するのは必至なので、長期の安全性が確保されるまで、全量転換は再考して頂ければと考えます。どうかよろしくお願ひします。

2-1319 【岩手県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1320 【東京都、40代】

秋田はカドミウムが深刻な問題となっている地域ではないのに、どうして転換する必要があるのですか？

こんな安全かどうかもわからない状態なのに、全面的に転換するっておかしくないですか？

どうか政府の言いなりにしないでください！！

秋田伝統の美味しいお米あきたこまちを死守してください！！！！

自分達は生い先短いからいいって問題じゃないですよ！子供達が大きくなった未来の事を考えてください！ワクチン洗脳でどんどん人口減っているのに、食べ物まで安全じゃなくなったら日本人は全滅します！

2-1321 【群馬県、60代】

- ・ 現行の「あきたこまち」を食べたいです。

Rは食べたくありません。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなったお米を子どもたちへ食べさせることは不安です。

もし、Rに切り替わったら秋田県のお米を選択しません。

長期的にどのような影響があるか未知のものです。

昔からある自然のものを子どもたちへは食べさせたい、議論する場を設けるべきです。

2-1322 【東京都、50代】

【テーマ2】「あきたこまちR」への全量転換

令和7年度に「あきたこまち」から全面切替となり、一般作付が開始されるが、このことをどう考えるか。

日本の食料危機へつながるので大反対です。

あきたこまちRになったら絶対に買いません。

2-1323 【秋田市、30代】

あきたこまちから全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

あきたこまちRにするならあきたこまちの購入をやめますし、県外の友達や家族への贈答はしません。

- ・ 子どもには絶対に食べさせたくないです。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会できちんと議論してください。

2-1324 【兵庫県、30代】

放射線育種米に反対します。

2-1325 【広島県、30代】

広島市から失礼します。日本を代表するといっても過言では無いあきたこまちを変えていくのは反対です。

カドミウムが減らないとありましたが、それは食べるとどうなるのか、安心、安全性を考えて、これらを試してみるのではなく

実行しないで欲しいです。体内に残った場合どうなるのでしょうか。子供たちの未来は？安心安全なものを与えたいと母ながらに思ってしまいます。あきたこまちがやってしまうと他の農家さんもやらざるを得なくなりもう、食べられるお米が無くなってしまいます。本当に悲しいことです。お願いします。やらないで下さい

2-1326 【大館市、50代】

3%のカドミウムの対策で放射線米にする事は大反対です。

安心して米を食する事、米を作る事に不安しかありません

2-1327 【兵庫県、60代】

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1328 【長野県、50代】

放射線育種後代交配種は絶対に安全と言えるのでしょうか？

もちろん食べて半年や1年で影響が出るとは思いません。

しかしそれを10年や20年食べた時に絶対に安全と言えるのでしょうか？

私は絶対に反対です。

2-1329 【宮城県、60代】

大事なブランド米に放射線を当てて品種改良するなどもってのほか。流通時消費者が区別できない流通の仕方もダメ

消費者が選別できるようにしないとあきたこまちは絶対に買わない

2-1330 【宮城県、40代】

秋田県議の皆さん、あきたこまちを守って下さい。美味しい従来のあきたこまちをなくさないで下さい。あきたこまちRになったら買いません。

2-1331 【福岡県、40代】

秋田は大切な米どころです。このようなことをして、本当に日本の未来のためになるのか科学的根拠を国民に提示していただきたい。

まずは、このような実験的なことをするより前に、やるべきことがあると思わないのでしょうか。カドミウムが気になるなら、工場から排出しないよう規制すべきでしょう。それでも実行するならまずは、国会議員、県議会議員、職員のあなたたちが自らの子や孫に毎日与えられるか考えてみてください。そして、なぜ、県内全体に強制するのでしょうか。選択の自由までなくす意味がわかりません。

秋田は2022年、出生率も死亡率も一位だったようですね。このような考え方では引き続きそうなるような気がしてなりません。このような意見を無視するようであれば、消費者側も「あきたこまちR」を選ばない選択をするよう働きかけるのみです。

2-1332 【鹿児島県、50代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。

Rは食べたくありません。

2-1333 【福島県、50代】

あきたこまちは素晴らしいお米です。

(私も米どころの福島に住んでいますが、時々贅沢してあきたこまちを購入しています。)

それをやめて、遺伝子操作をした『あきたこまちR』に切り替えるのは、長い目で見た場合、危険性が高いのではないのでしょうか。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事ではないかと思えます。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

また、カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。
より慎重な議論をお願いいたします。

拙い意見ですが、『あきたこまち』ファンとして意見を申し上げます。

2-1334 【福島県、50代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

2-1335 【神奈川県、30代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては、消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で、安全性や持続可能性について十分な議論がなされないままに全量転換を決めてしまったことは大問題であり、期間を延期の上、説明と議論の場を設けるべきです。

日本の食卓の中心であり最も重要と言えるお米のことなのに、半ば強引に決定されたのは倫理的とは言えず遺憾です。

以上の理由からあきたこまちRやコシヒカリ環1号は食べたくないので購入しません。

2-1336 【静岡県、50代】

数年来、無農薬のあきたこまちを食べています。

今まで同様、従来のあきたこまちを食べたいです。

あきたこまちRは食べません。

日本人の主食である大切なお米の事なのに、放射線育種米について、国民は全く知りません。

安全性などを、きちんと説明して下さい。

訳のわからないお米を食べたくありません。特に子供には食べさせたくありません。

どうぞよろしく申し上げます。

2-1337 【長野県、40代】

自然のあり方から離れた行動は、その一部である人間へ不自然な形でかえってきます。

あきたこまちRへの全量転換はやめてください。お願いします。

2-1338 【山口県、20代】

いつもあきたこまちにはお世話になっております。

この度はあきたこまちRにすべて転換されると聞き、不安になり、こちらのリンクに訪れた次第であります。

不安な点が3つあります。

一つめは本当に安全ですかということです。遺伝子組み換え食品の発ガン性が確認されているなか、こちらのあきたこまちは完全に大丈夫と言えるのでしょうか。マウスでの実験などされていますでしょうか。日本人の主食は米です。すべての人が食べることを想定していますか?赤ちゃんから体の弱ったお年寄りまで食べて安全でしょうか。

二つめは土壌の汚染です。カドミウムのある地域にはこちらは有効と感じますが、できれば食べたくありません。

すべてこちらに置き換えると、それまでなにも問題のなかった土壌に問題が起きてしまうと考えます。それまで問題のなかった地域に新たにマンガンが大量に残ってしまい、一方で子どもはマンガン不足に陥り、子どもの成長が阻害されるのではないのでしょうか。

三つめは選択できないことへの不安です。全量転換を秋田県がなされると他の都道府県でも同じように実施されることと思います。現在、遺伝子組み換え食品を避けることは容易ではありませんが、探して選択できる余地はあります。全量となると探しても無いということになります。また、遺伝子学的に、すべて同じ特徴をもったとき、ある病気が流行ると一斉に病気にかかるのではないのでしょうか。いろんな遺伝子があるから生き残って生育できているのではないのでしょうか。

以上が不安な点です。私は今年初めての子どもを出産し、子どもというかけ替えの無い宝物と出会いました。皆さんもご経験があるはずです。子どものために主人と長生きしようとして固く決意し、健康的な食生活を模索中です。あきたこまちRを子どもに食べさせても本当に大丈夫と言い切れますか?信頼できるエビデンスに基づき説明がないとこの不安は拭いきれません。この度は私の大好きなあきたこまちが転換されると聞き、どうにか不安を伝えたいと思い、キーボードを叩いた次第です。

拙い文章ですが、読んでくださりありがとうございます。どうかお米の代表、日本人の代表として議論して頂きたいです。

その決定に日本人の未来がかかっています。どうか賢明なご決定よろしく願いいたします。

2-1339 【兵庫県、20代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては、遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

また、消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1340 【埼玉県、40代】

この全量転換を説明する時に放射線育種米であることは説明しておらず、県議会で改めて議論することがとても重要と思う。

数年後、農家も消費者も大損で、誰が得をするのか？となる可能性がある。

じゃがいもの放射線照射の種芋は市場で不評が続き、ひっそりと北海道の施設が取り壊されました。

もし補助金目当てであれば、長期目線で秋田の農業そのものが終わってしまう可能性も存在していることを議論してほしい。

そして、この補助金で甘い汁を奪い、トンズラする詐欺師の笑顔を見破れることを願います。

善良な人が未来で大損をする、遺伝子組み換え、遺伝子改良、遺伝子破壊の導入に断固反対です。

2-1341 【広島県、50代】

通信販売で秋田県産あきたこまちを購入させて頂いています。

放射線照射による品種改良米の長期な安全性に不安を感じています。

本当に切り替えが進むなら、今後は購入しません。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1342 【石川県、20代】

あきたこまちRへの全量転換に反対です。

理由はいままで有機無農薬栽培あきたこまちで

健康上の問題はまったくないこと、

一部転換ならまだしも、全量転換の必要性が無いことです。

全量転換の停止をよろしくお願いいたします。

2-1343 【大阪府、40代】

人体への健康は、食と直結しています。

自然の中でそのまま育てた米だからこそ価値があるのに、

遺伝子組み換えなんてしたら何の魅力もなくなります。

誰も買いません！

お米こそ魅力である秋田で、こんなことをしたら

終わりです。

絶対に遺伝子組み換えの米にすることに反対です！

2-1344 【三重県、50代】

「秋田県産あきたこまち」を永く愛食してありますが「あきたこまちR」になれば購入することを止めます。

理由は「あきたこまちR」がどのような種苗か調べればわかります。

2-1345 【北海道、40代】

県外に住んでいますが、スーパーで秋田小町を買うこともあります。意見させてください。

放射線育種のお米に全面切替は反対です。

①やはり、今までと違うものを食べるのは不安です。

放射線育種のものに切り替わったら秋田小町を買うことはないと思います。

毎日食べるものですし、子供たちはこれから長いことそれを食べていきます。引き継がれてきたものと違って、これが安全かどうかの結果が出るのはずいぶん先のこと。

やはり怖いので食べたくないです。

②オーガニック国ヨーロッパでは受け入れられないと思います。

グルテンフリーも手伝ってお米が脚光を浴びています。

海外経験のあるわたしが思ったのは、特に日本のジャポニカ米は塩でおむすびにするだけで美味しく価値のあるもの。

美味しく安心できる、そんなものでなければ、世界に誇るの難しいと思います。

美味しいお米を胸を張って紹介したいです。

何よりも先祖が食べてきたお米を安心して食べたいので、放射線を浴びたものは食べたくないです。

我が子に安心して食べさせられるものを作ってください。

2-1346 【岡山県、20代】

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1347 【北海道、40代】

あきたこまちRへの全量転換を全面的に反対します。

なにが起こるかわからないものを全量転換など、とても秋田県の稲作農家の総意とは思えません。作ってからではなく、先に消費者にどうゆうメリット、デメリットあるかを全国に説明が必要だと思います。

2-1348 【神奈川県、30代】

転換は反対します。単純に、放射線育種になるようなお米食べたくないです。

有機栽培されたお米が食べたいです。食物は天から与えられた物で人間がとやかくいじくるものではないと思います。

太陽が東から西に沈むのと同じように食物も自然の営みがあるのでは？

化学・科学と便利を追求して行った先に健康被害や地球環境に悪影響になることは目に見えているのでは？

2-1349 【長野県、50代】

カドミウムの為に放射能米を食べるとは、おかしい事だと感じてます。

今まで、人の手により、森羅万象のいのちがどれだけなくなってしまったのか。

絶滅しているいのちは、人間の不自然な生き方から生まれたと思っている。

いよいよ人間も自らのいのちを絶滅に追い込むのかとも思えてきます。

わたしは買わない。放射能米。

やめてください。

2-1350 【湯沢市、50代】

安全性を熟慮されます事を希望します。

2-1351 【愛知県、50代】

何をやろうとしているのか今一度考えなさい。放射能米なんて必要無い。害でしか無い。食べた人に何かあったら責任取れますか？良心は無いのですか？今一度冷静に考えこの様な政策はやめなさい。

放射能米、秋田こまちRの生産を反対します。人の命に関わる事ですよ。今一度いろいろ調査して冷静な判断をして下さい。

2-1352 【三重県、50代】

お米大好きです。

放射線育成米はやめてください。

昔から日本にあるやり方で、自然なものを食したいです。

2-1353 【長野県、40代】

県議会への意見

日本が誇る米文化、あきたこまちを、子供達へ、そのまた子供達へ、必ず残し食べさせて下さい。あきたこまちRは絶対にやめて下さい。お願いします。

2-1354 【大阪府、30代】

あきたこまちをRへ全量転換することを反対します。

これからも、これから育つ子供たちにも

従来なあきたこまちを食べさせたいです。

2-1355 【愛知県、50代】

主婦です。家族の健康維持のため食への安全は非常に大切な事だと考えています。

一部汚染地域のためだけに放射線米に全て置き換える政策は問題があると思います。

従来あきたこまちを何故大切にしないのか、化学肥料、農薬が従来より必要な稲を推進させるのか、本当に疑問です。

私は安心して食べられるお米を望みます。

2-1356 【神奈川県、30代】

あきたこまちRへの転換に強く反対します。

昆虫食、ゲノム編集した魚や肉など、最近では日本の食文化を壊し、日本人の健康を害する食に変容させられています。

昆虫食として最近有名なコオロギはゴキブリと同じ兄弟の様な存在です。有名会社がこぞってコオロギを食用にしているのは、国から助成金が出るからです。これほど危険な食べ物はありません。

ゲノム編集された牛は歩くこともできぬほど太らされ、魚は不自然に早く太く成長します。

人間の体は自然で出来ています。私達も自然界の一部です。こんな不自然なものを食べていたら、今より病気になる人が増えるでしょう。

そして極めつけは日本人の心であるお米。それをあなた達は放射線育種米に変えようとしています。

お米は日本の宝です。これを変えたら日本人はおしまいです。

日本の種はR1に変えられ、さらに種子法、種苗法が変えられたことで、今後種は外資系企業が管理していくことになるでしょう。日本は外国なしには食べられなくなってしまいます。

食の危機なのです。

お米の種に放射線をかけて変異をさせたものは自然界において「不自然」です。壊されて良い遺伝子などありません。

実際に放射線をあてて変異させられたお米の種には、必要な遺伝子が壊されています。それは稲の成長にも子どもの成育にも重要なマンガンを吸収する上で役立っている遺伝子だそうです。マンガンを吸収しにくいお米になることで、ごま葉枯病などの病気にかかりやすく、ミネラル不足のお米になることも懸念されます。

自家採種が禁止されすべてのお米が同じでなければならなくなるのもおかしいです。

どうか日本の食を守って下さい。

あきたこまちR（放射線育種米）への全量転換に強く反対します。

2-1357 【神奈川県、30代】

全面的に反対します。

日本本来の品種を破壊する行為であり、文化をも破壊することになり得ます。

日本が日本を守るため、必要なことが成されているかの現場や消費者の声も聞かず、今後起こりうる問題にも対処することができない、

完全に一方的に行われる政策には不信感しかありません。

私たちは今までの「あきたこまち」が食べたいのです。

そのため、全量転換には断固反対です。

2-1358 【神奈川県、60代】

「あきたこまちR」は「コシヒカリ環1号」だと伺いました。

放射線育種米の安全性は検証されていないものと承知しております。

このような検証不足のお米を、ブランドとなった「あきたこまち」の名を付けて販売することは、非常に残念なことだと思います。

もし、健康被害等が報告されたら（含む風評被害）、折角作り上げたブランドが瓦解しないとも限りません。

長期の安全性を検証し、保証を付けた上で別ブランドで販売されるのが良いのでは無いでしょうか。

将来に禍根を残さないことを願っています。

2-1359 【千葉県、60代】

あきたこまちRは、聞くとところによると、マグネシウム欠乏米(微量要素欠乏米)との事です。

正常な米で無い物を、全県下で栽培するとは、いささか性急と感じ、再考をいただきたく存じます。

ちなみに、秋田県のあきたこまちは少量ですが、家族で使用させていただいています。

2-1360 【東京都、70代】

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

2-1361 【栃木県、50代】

遺伝子をいじるのは人間の傲慢さゆえだと思います。米袋の全面に放射線をあてた種子から出来たお米であることを表示してください。そうすれば騙されて買う危険が減ります。これ以上人体を汚染したくありません。

2-1362 【長野県、30代】

県議会への意見

日本を代表するお米である「あきたこまち」。

あきたこまちを守りたい。

2025年から放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換することを決定したと聞きましたが反対です。

「あきたこまち」だけでなく、

他の秋田県が提供しているすべての品種が

放射線育種後代交配種に代えられようとしており、

このままでは秋田県のお米のほとんどが放射線育種米

になってしまいます。これらには遺伝子特許が取られ

ており、自家採種もすべて禁止されます。

古来より秋田県民、日本人が守ってきた「お米」の文化を破壊しないでください。

2-1363 【東京都、40代】

消費者を

侮り過ぎてます

秋田県の農業崩壊を
崩壊させることが
目的でしょうか？
全てが売れなくなりますよ

2-1364 【兵庫県、60代】

県外ですがあきたこまちはずっと食べて来ましたが遺伝子操作するのでしたら今後一切食べません。自然のものが一番です。

2-1365 【埼玉県、50代】

あきたこまち美味しくてずっと購入していましたが、Rになったら二度と購入しません！

農家さんの総意でもなく、また中長期にわたる安全性も確立されていないこのような愚策に呆れてしまいます。

2-1366 【能代市、40代】

2年後、あきたこまちはあきたこまちRに切り替わると知り、素人ながら、勉強しました。率直に、食べ続けることは大丈夫なものなのか、心配と不安を感じました。あきたこまちRに切り替わった場合、40年以上食べ続けてきたあきたこまちですが、あきたこまちは食べることは辞めると思います。まして、成長期にある子ども達に食べさせることはしたくありません。微量ミネラルについて心配だからです。マンガンは米以外からも摂取できるとは思いますが、毎日食べる主食からの摂取は大きいと思います。微量だからこそ、心配があります。食べ慣れたあきたこまちですが、食べたいと思わなくなることが、残念です。私のように食べることを辞める人が全国や海外も、多くいると思います。あきたこま치의風評被害も相当なものになるのではないかと心配です。

2-1367 【東京都、50代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1368 【岡山県、50代】

あきたこまちは好きで、よく食べています。

あきたこまちRが放射線育種米になってしまうということで、自家採取もできなくなり、

環境変化にも対応ができるかもわからず、農家の方への大きな負担になってしまうことが考えられますので、反対です。

また、消費者としても、放射線育種米になってしまうのであれば、今後は別のお米を食べようと思います。

是非とも「あきたこまち」を守ってください。お願いします。

2-1369 【沖縄県、50代】

食の安全が騒がれている昨今何故やるのですか、しかも、全量転換するのあれば、今後あきたこまちは不買する事になります。秋田県の米農家を潰す政策は辞めて下さい。

2-1370 【東京都、50代】

日本人の主食である美味しいお米を産出してくれる秋田県を尊敬しています。しかしあきたこまちRの話聞いて耳を疑いました。本当にそれでいいんでしょうか？目先のことに飛び付いて大切なものを損なう方向に進んでいるようにしか見えません。問題があるなら根本解決を目指すべきで、大切なお米をいじくり回すことでは止めていただきたいです。それは禁忌です。少なくとも私は変な米など食べたくありません。再考をお願いします。

2-1371 【東京都、50代】

食の安全と健康を考えたら絶対に行ってはいけないことです。

絶対にやめていただきたい。

2-1372 【山梨県、50代】

私は「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事だと考えます。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さ

ないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1373 【東京都、50代】

安心な食をお願いします。

2-1374 【三重県、30代】

日本人のために米の安全性の確保をお願いします。

既に安心できる物が少なくなっている中での全量転換は納得できるわけもなく、せめて一定量に留め消費者に選択できるようにするべきです。

また、自家採種禁止となってしまう事の危険性をもっと考える必要があります。

日本を思うなら、今すぐに全量転換を廃止し自分たちの子孫のためになる事を考え行動に移して下さい。お願いします

2-1375 【東京都、50代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。

従来なあきたこまちを食べたいと思っても

それが不可能になるのは、悲しいですし、

あきたこまちRの予測し難い脆弱性が

明らかになった場合は、どうするのでしょうか？

生物は多様性を持って、厳しい環境を

生き抜いてきました。

単一品種への、しかも新しい技術へ

一気に切り替えることへの

危惧を覚えます。

2-1376 【神奈川県、50代】

放射線のかかった米を国民に食べさせるのですか？

おそらく不妊が増えて人口が減少の助けになることでしょう

秋田県は日本人を減らして日本を外国人に売りたいのですね

あきたこまちはもう食べることはなくなるでしょう

家族友人知人にも知らせます。

2-1377 【大阪府、50代】

お米は日本の宝であり文化の礎です。

大阪府に住んでいますが「あきたこまち」は安価で販売されています。

最近では農薬や遺伝子組み換えの物を出来るだけ摂取したくない気持ちが増えて少し高めですが特別栽培米を購入しています。

あきたこまち、日本の米どころの本拠地として大切な価値と文化を守って下さい。

あきたこまち R への全量転換に反対します。

2-1378 【東京都、50代】

放射線育種米である「あきたこまち R」への全量転換に反対します。

もし実行されるなら、あきたこまちは今後一切購入しません。

長期的に見て、人体、並びに、自然へどのような影響が及ぶか分かりません。

また、自家採取禁止になるということは、食糧自給の権利が奪われ、

ずっと搾取され続けるということです。これは、秋田県だけの問題ではありません。

どうぞ全量転換の廃止をお願いします。

2-1379 【愛知県、40代】

絶対反対です。

放射線育種米について調べ、その怖さを知りました。

人の手を不自然に加えたものを食べ続けて、この先みんなの体がどうなっていくのか、誰にもわかりません。

特に、いろいろなものを吸収しながら育っていく成長期の子どもたちへの影響が心配です。

このままでは秋田県産の米は絶対に買うことができません。

考え直してください。

2-1380 【静岡県、50代】

美味しいあきたこまち、放射線米になるなら食べないし買わない。

これからの時代健康志向に転換され、無農薬、有機農法安心安全な食べ物が流行る

あきたこまちが昔のやり方を守り受け継いで行けたなら世界中から人気のお米になるのは間違いない。命は1つ。ジャパン魂残して欲しい。農家さんも冷静に考えて欲しいです。静岡の鰹だしは科学だしは売上が下がり無添加の鰹だしが軒並み売上上昇してるそうです。健康被害が出てからでは遅い。農家さんを守る為にも県議さん冷静なご判断を。

2-1381 【滋賀県、40代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。Rになってしまった

ら秋田県産の購入を諦めます。科学の進歩、時代の流れってあるから、と、という考えもあるかも知れませんが、私は自然に生まれた変化であれば受け入れますが、人の手によって不自然に改変された食べ物を食べたくありません。しかも毎日食べるお米です。日本人の基本です。守って頂きたいです。

2-1382 【大阪府、50代】

放射線を当てたお米など食べたくありません。

カドミウム対策としてなら、そうする前にまず土壌を汚さない、改良することが先ではないでしょうか。

長期的安全は確立されているのでしょうか。

表示の義務がなければ、消費者が選別出来ないというのも不誠実だと思います。

日本人の根幹である米の安心安全を死守して頂きますよう、お願いいたします。

2-1383 【東京都、60代】

「あきたこまちR」への全量転換に反対します。

R米の長期的な人体への影響が不安なので、R米に切り替わったら「あきたこまち」は食べません。

この施策を進めるのであれば、

(1) R米に切り替えることのメリットを広く周知する。(現状では全く不十分だと思います。)

(2) 生産者や消費者に「R米」と「非R米」の選択の余地を残す。

形で進めて頂きたいです。

ありがとうございました。

2-1384 【愛知県、50代】

放射線育種米の身体影響がわからないのに全量転換するというのは無謀ではないだろうか？

他府県民としても あきたこまちR が只の あきたこまち と表記されていた場合購入は躊躇します。

一部転換で！表記名もハッキリ分別して頂きたい。

2025年以降全量転換が確定なのであれば… 今後は秋田以外の地域から米の購入をしようと思っています。

2-1385 【福岡県、70代】

放射線育種米には反対です。

ブランド米が日本中のファンから見放されてしまいます。

2-1386 【千葉県、50代】

人体への影響が、良くわかっていない技術の採用には、賛同できません。

美味しい「あきたこまち」は、好きな品種の一つでしたが、安全か分からないものになるならば、今後、秋田産のお米自体、購入を控えたいと思います。

2-1387 【大阪府、30代】

あきたこまちRについて。

放射線育種米に反対です。

日本のお米を変えないでください。

2-1388 【京都府、30代】

放射線を照射して突然変異を起こさせた米とか本当に食べたくない。

従来のおきたこまちが好きだったので残してほしい。

あきたこまちRに全量転換した際には秋田の米もあきたこまちも二度と食べないと申し上げておきたいと思う。

自分が購入しないのは当然の事、和食を食べる際もあきたこまち及び秋田の米を使っているなら行かない等徹底的に忌避し続ける事を消費者として申し上げておきたい。

カドミウムを吸収しづらい米を作るよりカドミウム汚染のない土壌を作る事こそが行政のなすべきことでしょう。

2-1389 【東京都、50代】

秋田のお米を今まで生協で買ってまいりましたが全量転換するとは農家さんと消費者の多様性、選択肢を無視することです！環境に留意して安全なお米を作ってください。

あきたこまちRの全量転換に反対します！

2-1390 【静岡県、40代】

何故Rに変えるのでしょうか？

変えた場合の人体への影響は検証されているのでしょうか？

従来のおきたこまちを食したいです。

全量転換に断固反対致します。

2-1391 【岡山県、40代】

遺伝子操作は絶対だめです。

今まで 否 今までよりも もっと安全なものを目指してください。

2-1392 【東京都、40代】

はじめまして、いつもありがとうございます。

可愛い秋田犬や、美味しい食材で有名な秋田県が大好きです。

さて、従来のおきたこまちが「あきたこまちR」という、放射線を用いた品種改良の結果生まれた新品種に秋田県内で全量切替予定と知り、大変驚き、悲しんでおります。

「あきたこまちR」は、お米にカドミウムが蓄積されがちな地域の米農家さんへの支援のため、米の遺伝子をひとつ欠損させてカドミウムを吸収しづらいようにしたそうで、

それは、そのような新品種を、カドミウムの害が大きい地域で実験的に導入するのは良いと思います。

しかし、秋田県内のお米を全てその新品種である「あきたこまちR」に切り替えるのはそもそも意味不明だと思いませんか？

カドミウムの害が大きい地域の風評被害を避けるため、という理由のようですが、

もし風評を気にするのであれば、まだまだ、その安全性が未知数である「あきたこまちR」の方が一般人の目で見たらよほど怖いです。

そもそも、現在は、カドミウムについては厳しい基準値があり、それを上回る濃度のお米は国内流通してないので、私はカドミウムについて産地がどこか等まったく気にしておりません。

また、「あきたこまちR」の安全性の担保が非常に軽視されている印象なのも気になります。

「ただひとつの塩基を欠損させただけだから、あきたこまちRは大丈夫」と主張する科学ジャーナリストさんの記事を読みましたが、この方は、自然に感謝し敬う心をまさかお忘れになられたのでしょうか？

とても悲しくなります。

秋田県議会の皆さまも、ご自身のお子さんやお孫さん達、近隣の子供達が食べるお米が、人間の手により塩基を欠損させ、その長期的な人体への影響が検証されることもなく、一律に転換された品種になることを、悲しいとは思われませんか？

もし、このまま、秋田県が「あきたこまちR」への全量転換を強行される場合は、申し訳ないのですが、「あきたこまちR」は買いませんし、家族・親族や飲食店等にもできるだけ避けてほしいと伝えるつもりです。

その理由は、以下となります。

・塩基を人為的に欠損させることへの懸念（まだ、一部地域で実験的に導入する等の段階と思います）

・現在、国内を基準値上のカドミウムを含むお米が流通してないのに関わらず、そのような不安を含むお米に説明不足のまま全量切り替えする奇妙さ

（申し訳ないですが、なにか利権があるのかな？とも感じてしまいます）

・少なくとも、「あきたこまちR」と従来の「あきたこまち」を農家さんによって選べるならまだしも、何故か県内で全て切替を強要する不自然さ

以上です。

厳しい意見を書いてしまいました。県議会の皆さまが秋田の食を守る最後の礎と思い、あえて本音でかかせていただきました。

どうぞ、皆さまのご両親様やご祖父母様のお顔を思い浮かべていただき、正しい決断をして下さいますよう、切にお願い申し上げます。

2-1393 【神奈川県、30代】

以下のすべての要件を満たさなければ、放射線育苗米を栽培することや販売することに反対します。

・放射線育苗米を毎日摂取することによる健康被害がないことを明確に示す*こと

・カドミウム汚染による健康被害が重度であり過半数を超える市民から対策が望まれていることを証明する*こと

・カドミウム汚染自体への対策を講じること、まず根本原因に改善の余地はあるか十分検討する*こと

・消費者側に選択の余地を残すため放射線育苗米の表示を義務付けること

*箇所は前提として利害関係のない第三者機関が実施すること

本当に市民の健康を思うプロジェクトであればこれらを十分検討するのは当然であり、理解が得られてからプロジェクトを稼働させるのが筋ではないのでしょうか？利害関係のない人で誰が放射線育苗米を望んでいますか？人為的な不自然なお米を食べたいと思いますか？現段階では放射線育苗米が日本の食を変えてしまい逆に深刻な健康被害がでるのではという不安しかありません。市民（特に農家自身）が求める対応、納得のいく慎重な対応をすべきだと思います。

2-1394 【京都府、50代】

従来の、あきたこまちを守ってください。

安心安全なお米が食べたいです。

安心安全なお米を後世に残してください。

2-1395 【福島県、50代】

テーマ2

従来の「あきたこまち」がいいです。「R」は、絶対要らない

2-1396 【東京都、50代】

代々受け継がれた日本食のお米を安心していつまでも食べられる様に美味しいあきたこまちを改良しないで下さい。

秋田県が改良を実施すれば日本全国に拡大していくのは、今の日本の政府のやり方を見ていれば確実に実施されます。子供達の為、日本国民の為に、是非考え直して下さい。宜しくお願い致します。

2-1397 【東京都、50代】

これからますます食品、体に取り入れるものには気をつけなければいけないと考える矢先にこのような方法で作られたものが流通することに恐怖を覚えました。食べなければそれで済む問題とは考えられず、このような施策は取りやめた方が良いでしょうに思います。表示もされず、知らずに取り込むことは避けたいです。お願いします。

2-1398 【愛知県、30代】

あきたこまちRの放射線育種米について。

ある遺伝子を放射線で壊して作ったものだと伺いました。

この放射線育種の目的は人体に有害なカドミウムを吸収しにくいお米を作ることだとのことですが。

でも、壊していい遺伝子などなく、この壊された遺伝子は実際には稲の成長にも子どもの成育にも重要なマンガン
を吸収する上で役立っている遺伝子なんじゃないですか？

(マンガンが不足すると、血糖値を高める、血中脂肪酸を増加させる、骨などの発育不全、傷の治りが遅い、糖尿病や性機能の低下、動脈硬化、麻痺、けいれん、めまい、難聴、運動障害などの症状があらわれることがあります。)

ひとつの遺伝子を壊しただけでそのあとの配列が全て変わるので、例えば人体に吸収しにくい形のタンパク質
に変質してしまうなど、とにかく何が起こるのか
わからないそうですよね？

私はそんな米、不安で食べられません。

2-1399 【山口県、60代】

県議会への意見

日本全国に先駆けて、日本の優秀な米のひとつであるあきたこまちの価値を貶め、国民の健康を害する恐れのある「あきたこまちRへの全量転換」決定に落胆しています。

秋田県民に選ばれた優秀な県議会議員の皆様がこのような決定をされたことは、日本国民全員にとって大変悲しいことです。この決定を廃止してくださることを期待します。

秋田の誇りと日本国民の健康を守ってください。

2-1400 【静岡県、40代】

放射線はやめてくれ！！日本の食文化が秋田から壊れる？！

あきたこまちRは食べたくありません 今まで通りのやり方で良いです よろしく願います

放射線は 危険です

2-1401 【千葉県、40代】

あきたこまち 毎日食べている大好きなお米です。

健康被害が出るかどうか未知の「あきたこまちR」転換に断固反対です。

どうか従来の日本の美味しいお米を守ってください。安心安全なお米をお願いします。

2-1402 【神奈川県、40代】

せっかく美味しいあきたこまち

放射能当てて、遺伝子操作？

これだけでも日本人として身震いします

そのような物を食べ続けて、人がどう変化するかもわからないですよ？

影響力はないと思いますが、今後の方向性を見極めてあきたこまちの購入は遠慮したいと思います。

2-1403 【宮城県、70代】

秋田県が、日本を代表する米「あきたこまち」を2025年から放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換することを決定したとのこと。

この決定について、次の理由により反対します。

1. 放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」について、決定前に広く国民、秋田県民に

テレビ、新聞等マスコミを活用しも広報活動をしていただきたい。

Web 検索では芳しくない意見等が多く、あきたこまちを、何のために、どうするのか、するとどうなるのか。行き交う不安を払拭する県の取り組みを期待したい。結論はその後でよいものと思います。

2. この政策について、土壌や肥料のカドミウム汚染が深刻化していることを理由にしておりますが、だからと言って放射線を照射して改良すべきではないと考えます。

カドミウム汚染が原因であれば、なぜ深刻になって来たのか原因を追究し、その対策を行うのが筋ではないでしょうか。対策に対策の上塗りすることは県の施策として考えられません。

3. 先人が育んできた「あきたこまち」を現在の生産者で更に良いものとし、次代に伝えて行くのが、日本の農業、文化であり、これは将来とも大切にしていけるように維持していただきたい。

種子の保有者は先人であり、現在の生産者であり、将来生産するであろう農業後継者に残しておくことが日本文化であるものと考えます。

4. 土壌や、これに育まれている人間を含む動植物が自然な形で将来に引き継がれていく環境を維持すべきだと考えます。全面的に「あきたこまちR」になっていけば、これらの環境への影響が未知であり、未来永劫維持できる保証がないと思います。拙速な判断をするものではないと考えます。未来の人々に責任を持てる判断をお願いしたい。

5. 食品の品種改良は、自然界の摂理に従うことで、今まで進められてきた歴史がある。これを人間の都合による技術で自然界に抗う形での改良は良くないと思う。

歴史に学ぶため、自然を相手に土壌、環境に取り組み、事実を発信している方々の意見も、県はいろんな方法を駆使して積極的に収集してほしい。

自然界に抗う形での、遺伝子組み換え食品、放射線照射による影響は、潜在的な問題も多く、徐々に表面化しつつある状況です。これを主食とする米で展開するという事は、県の判断できる政策なのか疑問です。

以上

2-1404 【埼玉県、30代】

放射線育種米は、食べたくありません。

今まで通りの、あきたこまちが食べたいです。

2-1405 【愛知県、50代】

安全性をもっと確認すべきだと思います。

2-1406 【千葉県、50代】

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。

土壌や肥料を改善することが本当の解決になるのではないのでしょうか。人間の致死量の何倍もの放射線をあてた米を食べたいと思いますか？人体への、環境への害はなにもわからないはずです。

そんな米を知らないうちに食べたくはないので、それこそ、あきたこまちの不買運動に発展してしまうのではないかと危惧します。消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったのはなぜでしょう。日本人の大切な主食を奪わないでください。美味しく安心して食べられるお米を子どもたちのために残してください。お願いします。

2-1407 【東京都、50代】

あきたこまちRへ全量転換を押し通すようであれば秋田からの米には不買運動を起こします

放射性物質は天然にも存在しますが、人工で使用するものとは全くの別もの
人体は未だ謎だらけにも関わらず安全性の検証など不可能
放射性物質はゆっくり時間をかけて体内を崩壊していきます
福島での放射線被害が認められないのも同様です

2-1408 【東京都、40代】

秋田県はこの「あきたこまち」を2025年から放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換することをお聞きしました。

これまであきたこまちを美味しくいただき感謝しております。しかし、放射能照射米にすることは、人為的に遺伝子変異を起こさせることで、日々食事として頂くには危険性高く、今後安心してお米を購入することはできません。

私と同じ考えの人々は多く、利権に魂を奪われて、自然への冒流行為（あきたこまちRへ全量転換）は、秋田、日本を破滅へと導く恐れがあります。どうか安全第一で県民のために再検討をお願い申し上げます。

2-1409 【神奈川県、50代】

「あきたこまち」を2025年から放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換することに異議を唱えたく書き込みします。放射線を利用して突然変異を起こさせる手法は、言葉上では「遺伝子組み換え」には該当しないのですが、人為的に遺伝子を変え

ていることに違いはありません。カドミウム吸収の問題は米の遺伝子を変える方法ではなく別の方法で解決すべきはずです。国や他方面からの圧力などがあるのかも知れませんが、日本を代表する米の一つである「あきたこまち」生産県である秋田県がそのような手法を受け入れて頂きたくありません。これが強行されれば私ども一家は二度と「あきたこまちR」を購入することはありません。お考え直しを切にお願いします。

2-1410 【神奈川県、70代】

大反対です。

実施されましたら、不買運動します。

2-1411 【大阪府、40代】

このコメに関しては、ブログでも紹介しています。

「稲に放射線を放射して、突然変異を引き起こさせて作ったお米」

「人間にとっての致死量の閾値が1.5グレイで、7グレイで100%が死ぬと言われますが、それをはるかに上回る放射線（40～300グレイ）を照射して、稲の遺伝子に損傷を与え、育てた中から従来にはない性格を持つ品種が生まれるというもの」

「現在、稲を育てる土壌や肥料のカドミウム汚染が深刻化していることを理由として、稲の遺伝子の一部を破壊してカドミウムを吸収させにくくする目的だそうです。こうして出来た「コシヒカリ環1号」「あきたこまちR」が、元々のコシヒカリやあきたこまちから全量切り替えになっていく予定です。」

「表示の義務づけがないため、流通に乗ってしまえば消費者が放射線育種米を識別することは不可能です。」

「使われた農薬は表示が義務付けられますが、遺伝子操作は義務付けられておらず、どの品種が放射線育種米か、表示されません。どの品種が放射線育種されているかを知らなければそのまま生産者の方も栽培してしまいかねません。そして、流通に乗る時は「コシヒカリ」「あきたこまち」としか表示されませんので、消費者はまったく知る術がない」

これらがヒトが口にできる食べ物だと言えますか！？米どころの秋田県がこのような政策をすること自体、恥だと思いませんか！？汚染食品を米だとよく言えますね？

即刻中止するべきです。日本のコメ文化を穢すことに反対です。世界中の笑いものです。

2-1412 【千葉県、50代】

安全とは言い切れないあきたこまちRへの転換は愚策としか言いようがありません。

放射能米を子どもに食べさせたい親がいるのでしょうか？

直ちに中止してください。明丈だけの問題ではありません。

米を主食とする日本人全体の問題なのです。

2-1413 【愛知県、30代】

反対

従来通りの自家採取種、固定種を継続してください

2-1414 【神奈川県、50代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全面切替を反対します。

従来の「あきたこまち」を食べ続けていきたいです。放射線を当てる必要が本当に有るのかなど、消費者や生産者にもほとんど詳しい情報が知らせない中で全量転換を決めてしまった事は大問題です。期間を延期の上、公正な場で議論する場を設けるべきです。

全国で「あきたこまち」を購入している消費者にも「あきたこまちR」に変える必要性、その安全性安定生産出来るのかなど広く情報提供をし皆の意見を聞いてからにして欲しい。安全な日本のお米を自分も家族も食べ続ける日本でいて欲しいです。

お願い致します。

2-1415 【茨城県、60代】

あきたこまちRへの全量転換には反対です。

私はこれまで、あきたこまちを食べてきましたが、あきたこまちRに転換された場合は、今後購入しません。

従来のあきたこまちに対して、あきたこまちRが完全に安全だとは思えないからです。

あきたこまちと、あきたこまちRの区別表示があるとしても、混入や交配の危険性があるので購入しません。

2-1416 【東京都、60代】

まず全量切り替えではなく、どちらを選択するかは農家に選択肢を残した方がよいと思います。その理由は、以下の通りです。(1) 通常日本人は新しいものに手を出すのは懐疑的な性質を考えると、秋田県のみ先行するのであれば、秋田県産のあきたこまちRだけ需要が減少する→秋田県農家にとって不利、実施するならば全国一斉だと思います。(2) リスク管理として、あきたこまちRの生育が芳しくないときに、代替となるあきたこまちがないという状況はまずいでしょう。これまでのあきたこまちの生産も許容する必要があると思います。(3) これまで米は完全競争的生産物でした(従って、農家の生産に対するイ

ンセンティブは無い)。近年は地域を盛り上げる風潮の一環として全国的に地域米をブランド化する活動があり、農家のインセンティブをストップさせる懸念があります。

2-1417 【千葉県、50代】

はっきり申し上げます。放射線育種後代交配種など食べたくありません。秋田のお米は全国に流通します。食べたくなくても外食等で食べてしまうこともあるでしょう。遺伝子が組み換えられた食品を継続的に食べた際の長期的リスクが分からない中、全量転換するなど狂気の沙汰です。お米の信頼性を守るためにも今一度立ち止まるべきと考えます。

2-1418 【仙北市、20代】

国際教養大学卒業後も秋田に残っている神奈川県出身者です。

秋田に来てから1番感動したのは、大学のサークルにて関わりのあった、由利本荘市、岩城滝俣集落にて収穫祭の時にいただいた、白米のおいしさでした。

カドミウム含有米への長年の対応、心より感謝しております。

徹底した管理の元に安全なお米が手に入っていることを大変ありがたく思います。

しかしながら、今回のあきたこまちRへの全量変更に関しては

秋田を大好きになった者として、

何より、秋田のあきたこまちを愛するものとして、

秋田県ができる最良の選択かどうか、甚だ疑問です。

まず、全量切り替え決定に関して守るべき最善であろう県民、消費者、への説明が不十分であること。

優れた技術により放射線をあてて長年の問題でありました、カドミウムの吸収を抑えてくれる品種が作られたことは理解いたします。

しかし、それによる影響をどこまで考えられていますでしょうか？

明らかに従来のあきたこまちよりも収量が減っているとあきたこまちR試験栽培者より伺いました。

農家さんへの影響はありませんか？

今まで通りにあきたこまちを作り続けたい、食べ続けたい人のことは配慮されていますか？

あきたこまちRは頑張っって従来のあきたこまちと同じになるように幾度と戻し交配されています。しかしながら、同じあきたこまちではありません。

自然界の中で一部だけ取って変えることは不可能です。

あきたこまちRが従来と同じ「あきたこまち」として売られることで消費者には選ぶ権利が無くなってしまいます。

さらに、あきたこまちRを栽培したところで、

土中のカドミウム含有量は変化しません。

これでは原因である、カドミウム過多地域はいつまでも変わりません。

100年かかっても良いと思います。

私たちの孫の世代、孫の孫の世代でも、いつかカドミウムの量が減り、もともとある種で作物を育てられたらどんなに良いでしょうか。

稲作専門家に知見をお借りしたところ、

日本には米の種類だけでも幾千とあり、うち試験栽培してカドミウムの吸収量だけを減らせる、など気が遠のく話だと知りました。

岡山大学の研究でインド在来種の Pokkali という、土中のカドミウムを吸収し根に留まらせるお米があるという結果が出ています。

また、こちらをコシヒカリへ交配させたものも成功させています。

こちらとあきたこまちを交配させる場合はどれくらいの時間がかかるのでしょうか？

100年あれば実現可能ですか？

放射線育種は最新技術だとは分かりますが、突然変異を人為的に行うことに疑問を持つ人もたくさんいます。

私もその1人であり、県民であり、

説明義務を果たす必要があるのではないのでしょうか。

あきたこまちRへ全て切り替えるという決定を取り消し、

改めて農家、消費者、など関わるすべての人々を交えた上で合意を取りながら

このような大切な事柄の決定を成していただきたく存じます。

また、あきたこまちは日本全国での問題でもあり、

加えて今ではタイなど海外でも栽培されております。

県での風評被害への懸念をされておりましたが、もともと火山地帯が多い日本での栽培自体が世界的な風評被害を受けることも考えられます。

時間をかけても県民の納得のいくよう、

説明義務を果たしていただきたいです。

秋田県はのんびりした県です。他の県と比べてお金にがつつくこともなく、その分観光も不得意だったりします。

だからこそ居心地が良いのです。

どうか、流されず、ゆっくりと決めていきましょう。

あきたこまちRについてたくさん調べて、今もまだ勉強中です。

まずは県民の1人の声としてあげさせていただきました。

どうかこの声が届きますように。

2-1419 【東京都、60代】

私は県外の立場ですが、あきたこまちを常食している者として、放射線育種米の全量転換について意見させていただきます。

以下は、私が遺伝子医療関連の特許出願をした際に弁理士から言われた言葉です。

「物理学には理論物理学がありますが、生物学には文字通りの意味で理論生物学はありません。生物は理論通り行かないことがあるからです。だから、実証データが重要なのです。」

この言葉の意味が分かれば、放射線育種米についても相当な長期間にわたり安全性を確認しなければならないことが理解できます。長期間とは、遺伝子の特性（何世代もの遺伝を経ないと安全性がわからない）から少なくとも20年以上です。

自分の研究を進めたい一部研究者や施策を進めたい役人などの影響もあり、遺伝子技術のリスクが正しく認知されることは少ないですが、実際のところ、遺伝子技術はいまだ発展途上の危うい技術なのです。

研究室の内部であれば問題ありませんが、この技術を安易に広く社会に使うことは大変な危険を伴います。

想定外の事態が起りやすいのが、遺伝子技術なのです（考えていただければわかると思いますが、遺伝子技術は何世代にもわたる遺伝を経ないと、わからないことがあります）。

したがって、現段階で放射線育種米を見切り開始した場合、10年後になってはじめて遺伝子改変による重大な問題が表面化する可能性もあります。

そうなれば、秋田県にとって取り返しがつかないこととなります。

以上の通り、現段階であきたこまちを放射線育種米に転換することは反対です（20年以上の期間の安全性確認後であれば反対しません）。

この問題は食の問題であり、人の生命・健康に直結する問題です。

どうか、遺伝子技術のリスクを見誤らず、慎重を期すよう、お願いします。

2-1420 【徳島県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1421 【福岡県、40代】

あきたこまちへの放射線照射に反対します

カドミウムの吸収を防ぐためとの事ですが、放射線照射された米はカドミウムの吸収を防ぐと同時にマンガンも吸収しにくい米で病気にも弱く栄養価も低くなります。照射する量も人間の致死量をはるかに超える値を照射するなど米が可哀そうです。こんなひどい事をしたらいずれ何らかの形で米に仕返しされるような気がしますので、土壤汚染は土地の洗浄など他の解決方法も検討して頂いて、どうか米への放射線照射は考え直してほしいです。

2-1422 【神奈川県、50代】

放射線育成後代交配種となるのであれば、あきたこまちは食べません！

自然界に存在するものは致したかないものです。

カドミウム米はこれまでの対策を行ってきていて、土壤改良しながらカドミウムの吸収を少なくする方法で継続をお願いいたします。

2-1423 【埼玉県、50代】

県外の者ですが、お米が大好きなので自分が危惧している事を伝えたいと思います。

ただのお米好きの素人の意見なので、解釈に謝りもあるかもしれませんが。

①全量転換とのことですが、いきなり全てのお米をこちらに変えるリスクはないのでしょうか？

薬などでも治験という形で時間をかけて結論を出すものもあります。

②新品種を作ることは、狙った突然変異を交配ことで進められるととらえていました。交配は人の手を介してではありますが、受粉という自然なものと捉えています。時間がかかることとは思いますが。

今回の稲は遺伝子を、放射線を使って破壊してできたものと知り、少し不安になっています。交配ではなく

破壊という部分が今後どのような影響を及ぼすのか？疑問が残ります。(①につながることもなります)

また、この稲はマンガンを吸収しにくくなるということも知りました。

なんだか、今までのお米の姿だけれど中身は異なるものになるようにも思えます。

お米を土壌に適応させることも必要かもしれませんが、土壌の改善も平行に進めるべきかとおもいます。

以上。

2-1424 【埼玉県、50代】

他県ですが、生協で有機栽培米の年間契約をし届けてもらっています当然あきたこまちもですが

放射線で遺伝子操作をするなんてとても怖くて食べられません

日本の農薬や技術の基準、方向性は先進国から逆行していますが

そのご認識はありますでしょうか？あきたこまちというお米界の女王的位置はこれまでのお米農家さんが様々な困難に歯を食いしばり守ってきたからこそじゃないでしょうか
お米は日本の宝で神です そのお米を創り育てる農家さんも宝です

日本の食と文化を守ってください 食べられない時代に足を踏み入れないでください

2-1425 【千葉県、30代】

千葉在住ですが、この件について、日本全国民に影響が及ぶ事と思いご意見させていただきます。一部に汚染が出ているカドミウムに対応するために、重イオンビームを使い、遺伝子破壊をし、将来的には全量転換するという方向性の議論は、消費者と農家の選択の自由を奪う事になるので、反対します。

2-1426 【福岡県、70代】

大変な事です食の安全はどうなるのですか？

いつまで金儲けに執着するのですか。

温暖化で高熱になって、地球が危ないこの時に、情けないです

2-1427 【秋田市、50代】

放射線育種された「コシヒカリ環1号」はそもそも人為的に遺伝子操作した種もみから交配しており、7回もかけながら、なお、放射線育種米の性質を持ったままの問題のある「あきたこまちR」です。

どうか、秋田県民と話し合いの場を持って下さい。

2-1428 【茨城県、60代】

従来にあきたこまちと、あきたこまちRが、表示の区別なく売られた場合、私は、あきたこまちという品種全部を買わなくなります。

従来にあきたこまちを買っていた人々のかなりの数が同じ行動をとると思われ、従来品種を作っている農家さんには大打撃で、別品種への転作を余儀なくされるでしょう。

その際、Rに変えるか、放射線育種されていないものに変えるかは、農家さんの判断でしょうが、放射線育種米反対の運動が大きくなれば、結局Rは作られなくなると思います。もちろん私も、放射線育種米反対の運動に積極的に参加するつもりです。

あきたこまちという品種自体を抹殺する愚挙です。

Rは有機JAS認定が取れない、とか、Rという表示をパッケージに義務化するとか、そういうことがない限り、私はあきたこまち全部、そしてコシヒカリ全部を決して買いません。

自然界の放射線量より桁違いに多い放射線を浴びたコメなど、何度荒交配した後でも決して食べたくはありません。

議員の皆様はチェルノブイリで取れたコメを食べたいと思いますか？

2-1429 【神奈川県、40代】

カドミウムは身体に悪いですよね。では米に放射線をあてることの害はどのようなのですか。それをすることによって、カドミウムの害は減るのでしょうか。

ですが、他のまだ知られていない新たな害を生み出すことになります。

害がない、というデータは不正データですよ。

余計なことをして、誰かが新たに稼ぐネタを提供するだけです。

エセ進歩による害はもうたくさんです。

日本の大事なお米を汚さないで。ここで止めてください。

2-1430 【神奈川県、60代】

放射線米が広がるのは不安です。

2-1431 【神奈川県、40代】

もとのままでいいんだよ。放射線あてる米なんて誰が食うんだ？

殺す気か？生態系も壊れるぞ？気が狂ってるとしか言えない。

今後日本の米は誰も食わなくなるぞ。

余計なことはやめてくれ、農家をいじめるのもやめろ。

2-1432 【福岡県、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としましては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1433 【熊本県、50代】

放射線米を断固反対いたします。

日本の食文化の要である

米を守っていただきたいです。

2-1434 【神奈川県、40代】

あきたこまちを守ってください。

あきたこまちRは、ぜったい反対します。

未来の子供達に、

本当に食べさせたいでしょうか。

秋田の議員の皆さんのお子さんに食べさせられますか？

2-1435 【石川県、30代】

あきたこまちRへの全量転換に反対です。

子どもを育てる親としては安心安全が1番です。

2-1436 【青森県、50代】

放射線育種米についてお願い申し上げます。

私達は従来のお米で命を繋いで参りましたが何か問題があったのでしょうか？食の安全、農業は国防です。放射線による品質改良は奇形品種でありそれを米どころ秋田で進めて行く事、非常に残念で危機感を覚えます。未来の子供達への影響、未来の食の安全は証明されているのでしょうか？

間違った方向へ進んではいませんか。この国の土地、食、水、子供達を失う方向へ向いていませんか？この国はそのように見えてしまいます。

海外に頼らず、御先祖から受け継いだものを取り戻し立ち直って頂きたいと思います。秋田県が先駆けて検討していただきたいとお願い申し上げます。

2-1437 【福岡県、40代】

okシードプロジェクトで勉強し、あきたこまちRへの全量転換に反対をします。農家が種取りできなくなり、ひいては主食である米が日本で食料自給できなくなる話です。またそのお米を食べる身体への影響も懸念されるので秋田の米のお米の不買にもつながると思います。

2-1438 【東京都、70代】

いわゆる放射能米は安全性が未確認なので全量転換せず、かつ消費者が使用有無の確認が出来るようにして頂きたい。

2-1439 【不明、30代】

放射線育種米に今後変わるとの情報を得ましたが、安全性等に不安があります。

県外ですが、あきたこまちも食べています。今後あきたこまちは避ける事になりそうです。安全なお米を作って頂きたいです。

2-1440 【神奈川県、60代】

放射線米の秋田こまちと放射線米の秋田こまち R を
分かる様にまた消費者が選択できる様にしてほしい。
自分の身体には放射線米を入れたくありません。
どうぞ上からの言いなりにならず秋田県のプライドを
捨てないで下さい。

2-1441 【和歌山県、40代】

秋田こまち不買になりますね。
安心して美味しいから買うのに、放射線なんか当てられたら
安全な結果が出てますとか言われても信用できないから
別のところのお米買います。
周りにも他のお米に変えるように勧めます。
残念だわ、もう秋田こまち食べられないなんて、..

2-1442 【東京都、30代】

日本の農業や食料を守るために R への転換反対です。

2-1443 【埼玉県、50代】

断固として反対します。

放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」など食べたくありません。遺伝子特許が取られているものなど、得体が知れず、将来的な身体への影響がわかりません。

納豆を購入する時に、8割の人が「遺伝子組み換えでない」大豆がどうか確認するそうです。

消費者は安全な食糧を求めています。

「あきたこまち R」に変えてしまった場合に、秋田のお米を選ぶ人はいなくなることでしよう。

作っても売れないお米に切り替えるようでは秋田県の農業に未来はありません。

遺伝子操作したものを育てることは、こぼれ種から、他の地域、従来種に対しても影響を及ぼすことがあると、本で読みました。一部の地域で取り入れるだけでも影響を及ぼすものを、全量転換するのは極めて危険なことではないでしょうか。

従来種をあきたこまちを食べ続けたいです。

「あきたこまち」を守るために、「あきたこまち R」への全量転換に反対します。

2-1444 【千葉県、60代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。

カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。
ご検討の程、よろしくお願いいたします。

2-1445 【東京都、30代】

あきたこまち、から全面切替に反対します。理由としては、遺伝子を破壊されマンガン
を吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り
続けることが大事です。将来的な環境破壊、健康不安、食の安全を守るために反対しま
す。

2-1446 【兵庫県、50代】

兵庫県民ですが意見させていただきます

今回 あきたこまちを放射線かけたお米に

全量転換決定との事ですが 健康被害

今後どのように身体に影響されていくか

未確認のまま決定されるのは不安で仕方ないです

今までの美味しいあきたこまちでは

何故ダメなのでしょう

何か政治的な絡みでしょうか

断固反対します

2-1447 【岩手県、40代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本
を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びる
か不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があ
り、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問

題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください

2-1448 【神奈川県、70代】

あきたこまちRの全量転換に反対します。

2-1449 【石川県、60代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛されています。

その「あきたこまち」を守ってほしいです。放射線が放射され、遺伝子が壊されたあきたこまちなんで食べたくないです。食べてヒトにどんな影響が出てくるかわかりません。こんなあきたこまちを食べたいのでしょうか？特に子どもたちが心配です。

又、消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。この問題は、秋田県だけの問題ではありません。全国の消費者、生産者が関わってくる事で、秋田県の動向に目を光らせています。将来の事をよく考えてご考慮ください。

2-1450 【群馬県、80代以上】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・ 「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1451 【福島県、70代】

全量転換は反対です。

私は、現在「あきたこまち」を時々買って食べております。今まで、遺伝子組み換えなどの操作をされている食品は、食べないように十分注意してきました。これから「あきたこまちR」の全面切替になれば、食べ続けることはできません。安全が保障されているのでしょうか？ 長期間食べ続けたときに、どのような病気が起こるかも不明です。今まで、特に問題はなかったのですから、安心、安全を考えて

切替はしないで下さい。

2-1452 【福岡県、50代】

県外のものですが、放射線照射したコメへ転換する場合、その長期的な健康被害はどのようなものか確認はできているのでしょうか？ふるさと納税でも購入しておりましたが、今後はそのようなお米は怖くて購入するのをやめようかと思えます。食は健康に直結します。しっかりとした安全性を確認してから、転換するようにお願いします。また、あきたこまちRに転換する意義についても国民に周知する必要があると思います。放射線照射したコメについては別流通にするべきです。

2-1453 【兵庫県、50代】

まずこの技術は品種改良でなく自然に起こらない技術だと思います

不自然な操作がされ、安全性にも不安があるRを私は食べたくありません。

広がってほしくありません。

どうぞよろしくお願いします。

2-1454 【京都府、30代】

秋田県が誇る、日本中で愛される「あきたこまち」を守ってください！

初めて秋田県議会の方にご意見させていただきます。

「あきたこまち」はこしひかりにも続く日本中で愛されるお米です。

この気候変動が激しく、食の安全が叫ばれる今、

わざわざ放射線育種後代交配種を作って市民の口に入れる必要はありません。

生産者さんは自家採種を続けられるようにし、

美味しくて安全な食べものを私たちに届けていただき、

生産者さん、市民、未来あるこどもたちを守ってください！

自然に育った美味しい食べものを口にして、

未来ある子どもたちが健やかに育ち、
食べものを作ってくれている生産者さんの健康と生活を守り、
市民の健康を守っていただきたいです。
どうかよろしくお願いします。

2-1455 【秋田市、50代】

米どころ秋田県民として、全量転換はなんとも情け無い事だと思えます。

もっと科学的にいろんな検証をしてもらわないと、主食の米が怖くて食べれなくなります。

将来の子供達に何かあれば、これを推進した方達は必ず後悔するのではないのでしょうか？

私はこの全量転換には反対いたします。

2-1456 【東京都、50代】

日本の食糧自立に即さない法改悪に断固反対いたします。

2-1457 【秋田市、60代】

なぜ全量にするのかは疑問です

必要な場所、転換したい人、したくない人を分けずに一律に巻き込んでしまうのは個人の可能性を潰してしまうのではないですか

農業といえど世界を目指さなくてはいけないときに、世界基準に合わず取り返しのつかないことになりませんか

購入者としても、表示義務のないことは、次の世代を思うとひどく不安です

購入者としては確かな表示による選択肢を求め、納得しての購入を望むのはいつの場合も変わりません

本来の有機米を求める人には、輸入米を進めるのですか

多方面から対策を分けて考えることは、面倒であり手間もかかることでしょうか

だからこそ必要不可欠な場所で初めて随時検討してゆくべきで、全量転換してしまうのは手間惜しみに見えます

この多様性の時代に、多方面から対応していくことを期待します

2-1458 【岐阜県、50代】

「県議会への意見」

秋田県は日本を代表する米の産地であり、「あきたこまち」は日本を代表するお米のひとつです。

「食と健康」に関心を持つ人が増え、安全でおいしい食べ物を求める人は増えています。米作りには長い歴史があり、農家の人達の努力の結晶があきたこまちなどのお米です。ここ数年の政府の政策には疑問を感じております。

コロナワクチンによる副反応被害、超過死亡者数の増加、税収は過去最高と言いながら増税につぐ増税

国民の声を本当に聞いているのでしょうか？

誰のため政治なのでしょう？一部の企業のために大半の国民は犠牲になっても仕方ないと思われても仕方がないことばかりです。

放射線育種米についての安全性、環境への影響は充分検討されたのでしょうか？

農家の人達が大切に守ってきたお米をなくしてしまっただけで本当にいいのですか？

失ったものを取り戻すことは簡単に出来ません。

今一度、立ち止まって下さい。

あきたこまちを守りましょう。

何の責任も取らない国の政策に乗っかるのはやめましょう。

守らなければならないものはあります。そのひとつがあきたこまちです。

遺伝子組み換え作物、ゲノム編集作物が本当に安全なのかは誰にもわかりません。

放射線育種米も一緒です。

どうか日本の食と文化を守ってください。

よろしくお願い致します。

2-1459 【奈良県、50代】

あきたこまちR全量転換について 反対です。あきたこまちはおいしいお米と思いますが、食した人間に長い間、どのような影響が出るか誰も分からず、且つ選択の余地が無い品種は残念ながら購入する気にはなりません。私は日本酒も好物ですが、秋田県産の地酒も購入を控えたいと思います。

2-1460 【神奈川県、30代】

放射線が体に与える影響が悪いと言われるのに、農作物へ与えて大丈夫だという理由が分かりません。あきたこまちをよく買わせて頂きますが、避けなければいけないのが悲しいです。

2-1461 【新潟県、40代】

普段から口にするお米の改良品種への意見などがあまりされないまま転換しようとしている。説明が無いまま品種が変えられると売れるお米も売れなくなると思う。

もっとマスコミを通じて議論して安全性を表現した上で転換しないと悪い方にネットを通じて広まってしまい農家が風評被害を受けてしまう。

そうなるとう農者が急速に進む原因となれば食の安全問題、安定供給の問題も生じる。

2-1462 【岡山県、40代】

なぜ、カドミウム汚染のない土地への放射線育種米の作付を行うのでしょうか？長期的に食べた時の安全性や、生育、収穫のデータのない中で、全県にそれを広める必要があるのでしょうか？また遺伝子特許をとっているとのことで、自家採取ができなくなり食糧安全保障上、非常に問題だと感じます。

2-1463 【北海道、70代】

あきたこまちが、2025年から放射線育種「あきたこまちR」に全量転換することを決定するとのことですが、なぜそうする必要があるので、そうした場合のメリットとデメリットを公表して今一度県民ならびに国民に公表して、意見を聞く機会を設けていただきたいと思います。

このままでは秋田県のお米のほとんどが放射線育種米になってしま自家採種もすべて禁止されます。

いま、世界は未曾有の気候変動に見舞われ、単一の品種では対応できない状況が必ず訪れます。次の世代を担う子ども達が、安心して食べる主食、環境を是非みんなが立ち止まって考える機会を設けてください。

2-1464 【千葉県、50代】

日本の米は私たち日本人の命を作る大切な作物です。

遺伝子を組み替えた種から育つ米を、これからの子どもたちが食べその身体となり、命を繋いでいくことになる。今だけ、目の前だけの利益に飛びついて全量転換に移行していくのは、とても危険であり、未来を担う世代への大きな付けになりかねない問題だと思います。

反対いたします。

2-1465 【京都府、60代】

これまで「あきたこまち」は良く購入してきましたが、全てが「放射線育種」になるなら、販売段階で「放射線育種」と日本語で明記していただきたいです。そうすると、その時から購入しません。

また、なぜカドミウム汚染が広まっているのか知りたいです。そちらの原因に対応する

長期的視野を入れた政治選択が、地域の子供たちの今後に、また日本の子供たちの今後にはるかに役立つのではないのでしょうか。

2-1466 【東京都、50代】

農水省はすべてのお米を汚染されていない地域含めて、秋田県は2025年から放射線育種「コシヒカリ環1号」の後代交配種「あきたこまちR」に全量転換させる計画で、従来の「あきたこまち」は秋田県では2024年で終わりになり100%放射線育種米に転換させる事には、絶対反対致します。

現在、カドミウム汚染地域は、3%に満たないのに、カドミウム汚染地をなくすことよりも米に入らなければいいと、農水省は、すでに全国での200品種を超える品種の放射線育種版が作られつつある事を、最近知り日本の食の危険はここまできているのかと絶望しか感じませんでした。

重イオンビームの安全性を裏付けるデータや実験は存在せず、もし、放射線育種米だけしかなくなって、それを毎日食べ続け10年後、20年後、どんな影響が起きるか、誰も予想できない。これを開発し計画実行すり方々は、米を国民の主食として自分の子食べ食べさせたいのか？大変疑問です。

そして、戦争などや干ばつなどの世界情勢で、日本の食料危機は餓死者がでると予測される深刻な状況の今、その土地で育った品種が色々な意味で強く育つと言われるのに、わざわざ遺伝子が1つ壊れていて、人の手を使ってマンガン不足してやらないと育たない生命力の弱い品種が激化する今後の気候に耐えられるか分からない品種に変えるのもおかしいです。

そして、「遺伝子の1塩基しか壊れていないので安全」というが、1塩基を壊すことでその遺伝子はそれまでとは異なるタンパク質を作る（フレームシフト）米を、長期的に食べた時に健康にどんな影響をもたらすか、実験は行われていない。安全は確かめられていない。

「あきたこまちR」は自家採種禁止。他の秋田県品種もすべて放射線育種の後代交配種とする計画であるため、秋田県ではほとんどのお米が自家採種禁止となり、現在の美味しく安全なあきたこまちがこの世から無くなってしまうのは、もし、「あきたこまちR」が健康被害をもたらし、自然や病気に弱い品種と5年後10年後に証明された時に引き返せなくなるとも考えられます。

世界の農薬や添加物の最終処分場の日本が自ら放射能米を作ったと知れば、放射能や農薬・遺伝子組み換えなどに敏感に反応する世界の消費者は、そんなお米は受け入れないでしょうし、それどころかそんな食べ物を食べている国に観光したいとも思わないと思いま

す。

農水省は放射線育種米も有機認証 OK だと言いますが、EU では種苗に放射線をかけることは有機としては認ていず、日本の有機がそうになってしまえば有機に対する信用はがた落ちになり、また世界の消費者の理解も得られないので、日本米は海外市場も失うことになる。すべての有機農業関係者にとっての脅威となる。貧困国日本は、益々貧困化が加速します。

この一連の決定は農家も消費者もまったく関わることなく、農水省一秋田県の独断で行われ、一部の農産物検査機関や流通企業の同意のみが求められ、農家や消費者は蚊帳の外である事にも、恐怖を感じます。

今回のあきたこまち R への全量転換が通ってしまうと、全国でも加速してしまいます。

少子化問題を本当にどうにかしようとして国民がしっかり考え、向き合うのであれば、まずは安全な食品、日本人の身体に一番適して米をわざわざ安全保障されていない品種に変える必要はないと思います。お願いですから、今まで通りの「美味しくて安心なあきたこまち」のままでお願い致します。

どうか、どうか、お願い致します。日本人の食を守ってください。

私の家族も秋田産の「あきたこまち」を毎日食べ、大好きです。山に持って行くおにぎりは最高です。

この全量転換という愚策を絶対に止めたいと思います！！

2-1467 【宮城県、60代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質して頂きたいです。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題です。期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1468 【埼玉県、60代】

どうかんがえても放射線育種米を食べたいとは思いません。

あきたこまち R は、不買致します。

今後表記もあいまいになる様であれば、あきたこまちも不買致します。

目先の事でない、100年先の日本人の食を見据えて、農政を進めて下さい。

秋田県は対岸の火事とは思えません。〈(_ _)〉

2-1469 【千葉県、40代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

日本の米を守って下さい

2-1470 【岐阜県、50代】

安全では無いお米を生産する事と我々の口に入る事を許す訳にはいきません。お米は日本人の魂で有り力で有ります。有害で有る物全て反対です。

2-1471 【東京都、40代】

現在のあきたこまちの栽培の継続を希望します。

自然界や人体に取り返しのつかない恐れのあることをするのは、賢いことではありません。

どうなるか本当はわからないことを安全と言い切る意見は、本当に秋田の、そして日本の子孫繁栄のためになるのでしょうか。

秋田のお米はたくさんの人達の健康を支えています。

転換見合わせをぜひ県議会の皆さまにお願いします。

2-1472 【神奈川県、60代】

県議各位

あきたこまちとササニシキを好んで食べている神奈川に住む消費者です。

秋田県の人から、あきたこまちRの件を聞き、秋田県産のあきたこまちを食べるのは、今年限りとすることにしました。

やめる理由は、新品種の遺伝子ではタンパク質などの性質が変わるので、人体実験には参加したくないからです。

Rのカドミウム減少のメリットは感じません。

カドミウムはどこの米にも含まれているということで、害はほぼないことが実証されていると思います。

一生懸命、稲を育てる農家さんには本当に申し訳けない気持ちでいっぱいです。

また、農家の方々は自家採種もできず、種苗業者に生殺与奪を握られるということで、本当に気の毒です。

できるなら、議会での賢明な検討を今一度お願い申し上げます。

2-1473 【愛知県、50代】

あきたこまちRへの全量転換反対します。

未来の子どもたちに、安心、安全なお米の提供をお願いします。

秋田県議会の良識なる判断、よろしくをお願いします。

2-1474 【神奈川県、30代】

反対です。

安心安全のお米が食べたいです。

子や孫にも、お米を食べさせたいです。

あきたこまちRになってしまったら、

もう あきたこまちは、食べられません。悲しいです。

2-1475 【埼玉県、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

私は県外の住民ですが、従来のおきたこまちを愛好しております。

遺伝子を操作された食品の安全性が担保されていない中での全量転換は非常に危険で、そのことがかえって風評被害をもたらす危険性もあります。

「あきたこまちR」は食べたくありません。再検討のほどお願い申し上げます。

2-1476 【東京都、40代】

自然なままのあきたこまちが食べたい Rに反対 科学的処理などなくても元来お米は生き残ってきた 無数の農家さんたちのおかげだ ありがとうございます

2-1477 【神奈川県、50代】

県外の者です。

何年も前から秋田の農家の方がたいせつにたいせつに育ててくださった減農薬のあきたこまちを直接送っていただいています。

毎日口にするものだからこそ安全でおいしいものを、子どもたちに安心して伝えられるものを、切に希望します。

放射線により改良されたものであることを堂々と宣伝できますか？

しかも全量?!

いつの間にか変えられてしまうことへの恐ろしさを感じます。

どうかどうか白紙撤回してください。

秋田のお米、日本のお米を守ってください。

2-1478 【石川県、40代】

壊していい遺伝子はこの世にあるのでしょうか？

それを人間がしても良いことなのでしょうか？

人間に都合のよい植物は自然界には必要ないと思います。

難しい言葉を並べられると自分には関係ないことのように考えがちです。

でも、誰もが不自然ではない安心して食べられるお米を自分の家族、子孫に食べさせたいと思っています。

何が安心、安全で、何が農家さんにとって大切なことなのか今一度考えて欲しいです。

2-1479 【群馬県、50代】

「あきたこまち」を放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」に転換することに反対です。

カドミウムを吸収しない代わりにマンガンも吸収しにくい、歪な米だと思います。

2-1480 【石川県、60代】

テーマ2

放射線育種米について

日本を代表するお米、秋田こまち、日本有数の米どころ秋田県が、日本人の食の根幹のお米をたった3%のリスク地域しかないカドミウムの被害からお米を守るためと意味不明な理由で放射線育種米に切り替える方策には反対です。後世へどう影響するのかなんの研究もされていないお米に全面切り替えはあまりにも考慮が足りないのではと思うしかありません。それも当事者の農家さんや消費者の国民になんの承認も得ずのやり方は行政の在り方にも疑問を持ちます。放射線育種米を食することの長期的な観点からの影響等、今だけ、金だけ、自分だけの考え方から少し離れて、行政の方々の人として、なにをすべきかを聞いて欲しい。これは我々世代だけの話に終わらない。孫子の代へどう影響していくのか真剣に考えて政策を決定頂きたい。

2-1481 【秋田市、20代】

少ない知識からの意見で大変申し訳ありません。

たくさんの動画や意見を拝見しましたが、

難しい成分内容、また両者意見の主張が強く一般的に見た際にとっても理解が難しい状態です。

どちらの趣旨にも信憑性がありながら、自分自身で方針を決定するのは難しいと判断しました。

ですがせめて、お米1袋辺りのあきたこまち R の配合率や含まれているのかどうか。(温泉施設含む)を必ず記載すべきだと思います。

日本全国的に認められた場合はまた別だとしても、いつからどれくらいの割合で...等の情報をもっと公式のニュース、新聞などで発信をお願いいたします。決定のされた内容だとしても、県民の情報共有への不安を煽らないためにも、よろしくをお願いいたします。

2-1482 【東京都、30代】

2024年であきたこまちの苗終了で、
2025年からはあきたこまちRという放射線を当てた品種に全て置き換わると聞きました。

今後も安心安全な日本の食を継続してほしいので、断固反対します！
秋田から、安心を全国に広めてブランドを堅持してほしいです！

2-1483 【滋賀県、40代】

今のあきたこまちが大好きです。
長期安全性が確認されていないイオンビーム照射による放射線育種には反対です。
Cd汚染対策であれば、インドの在来種 Pokkali との交配など、従来技術を用いた品種開発をしていただきたいです。
全量転換されるのであれば、残念ですがあきたこまち以外のお米をいただきます。
今後も美味しく安心していただける、あきたこまちの生産をお願いいたします。

2-1484 【横手市、50代】

あきたこまちRのデメリットが大き過ぎると感じます。諸外国では安心安全な食を求めている中、日本では農薬の緩和、食品添加物の非表示等、逆行する流れです。秋田県の大切なあきたこまちの評価を落とす事をわざわざ行う必要はないと思います。どうか県民の健康を守るため、賢明なご判断をお願いいたします。

2-1485 【秋田市、70代】

あきたこまちからの全面切り替えに反対します。
理由は秋田で作られて皆に愛されているお米です。
またあきたこまちRはマンガンが不足になるのでマンガンを追加することになります。
農家の負担になります。
従来なあきたこまちを食べたいです。
Rは食べたくないです。放射線を当てたり健康が心配です。
よろしくをお願いいたします。

2-1486 【新潟県、50代】

県外の者ですが『「あきたこまちR」への全量転換』に反対します。
放射線育種については未だ安全性についての確認が取れたとは言えず、その影響が何世代にも渡って及ぶ可能性も考慮すると、その検証には今後数十年～数百年単位でかかるものと思われます。

私は県外に住む者ですが、あきたこまちは頻繁に食する者であります。

風評被害を気にされているようですが、私としましては、もしあきたこまち R に全量転換となれば、その後一切あきたこまちを食べたいとは思いません。

カドミウムの問題は大きな問題なのでしっかりした対応が必要ですが、だからといって放射線育種された作物で一気に解決を図るというのは間違った選択であると考えます。

2-1487 【埼玉県、60代】

あきたこまち R

放射線処理した新種を明示しないで流通させるとのこと。安全性、確認出来ていないのに、流通させることには反対です。

秋田県に対する信用ご失われます

2-1488 【京都府、20代】

大学卒業まで秋田で生まれ育ち、就職で県外に出た今も、お米は大潟村のあきたこまちを通販で購入し、食べ続けています。

あきたこまち R への転換に反対です。まず、農家さんや消費者は蚊帳の外で議論をしている時点で納得がいきません。2025 年以降、私たちには「あきたこまち」か「あきたこまち R」か知る術も選ぶ術もなく、混乱しています。また、「あきたこまち R」誕生の背景や安全性に関する説明も不十分で、信頼できるとはとても言いがたいです。

したがって、私は「あきたこまち R」への全量転換に反対します。方針撤回を要求いたします。以上、よろしく願いいたします。

2-1489 【東京都、80代以上】

放射能を浴びたお米だなんて、決して食べたくないです
どうしてこう言うことになるのでしょうか、。

2-1490 【兵庫県、40代】

あきたこまち R への全量転換、やめてください。

兵庫県も同じです。

お願いです。利権に負けずに

大切な種を守ってください。

2-1491 【埼玉県、20代】

反対です

2-1492 【北海道、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守りたい。

・遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも議論してください。

2-1493 【福岡県、50代】

県議会への意見

一般にはほとんど知らされることなく、消費者や生産者の選択肢がなくなっていくことには反対です。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。

Rは食べたくありません。

2-1494 【山口県、50代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

2-1495 【兵庫県、50代】

そんな不自然な訳のわからないもの食べたら、人体にどんな影響があるかわかりません。絶対にやめてほしいです！

2-1496 【秋田市、40代】

反対

誰も影響が出た時に責任を取れない

県で健康被害が生じた場合に保証してくれるのか
余計金が無くなるだけな愚策
反対
わざわざ手を煩わせることをするな

2-1497 【埼玉県、50代】

「あきたこまち」が好きで買ってました。
おいしくて信頼していたブランドです。
全て遺伝子組み換えするなんて飛んでもないです。
そうなればもう買いません。
安全が保証されていないのに
遺伝子組み換えにするなんてやめて欲しいです。
アメリカからの激安遺伝子組み換え輸入米を
解禁の口実に悪用されかねません。
そうなればコメ市場をアメリカに奪われてしまいます。
さらに
秋田全体の作物のイメージダウンにもつながると思います。
遺伝子組み換え米なんて
やめて頂きたいです。

2-1498 【埼玉県、50代】

あきたこまちRとはなんでしょうか？
あきたこまちが好きで買っております。美味しく安心安全で信頼して買っております。
放射線で品質改良したのと農家さんのあきたこまちと見分けがつかなくなると心配で買
えません。しっかり別の物としてほしいのです。
まずRとあきたこまちを一緒にする意味とは？
購入者にわかるようにしてもらえるのか説明をお願い致します。

2-1499 【神奈川県、20代】

従来にあきたこまちを放射線を当てて品種改良したあきたこまちRをあきたこまちとし
て販売する計画を、反対いたします。
国民の誰が、放射線米を望むのでしょうか。
また、米には放射線に関して何も表示されないことが問題だと思います。

農薬の表示は義務付けられていますが、遺伝子操作は義務付けられておらず、どの品種が放射線育種米か、表示されません。そして、販売時にはあきたこまちとしか表示されませんので、消費者はまったく知る術がありません。

放射線米を食べたくないなら食べなければいいと思いますが、現状放射線米の記載がないため、それを区別することすら出来ません。

考えるべきです。

2-1500 【長野県、30代】

あきたこまちを守ってください。

米農家さんを守ってください。

日本の食卓を守ってください。

あきたこまちRは食べたくありません。

2-1501 【北海道、40代】

1. カドミウム汚染対策について-地域のカドミウム低減に役立たない

この「あきたこまちR」が必要とされた背景としてはカドミウム汚染問題があります。カドミウム汚染は人びとの健康に有害であり、その除去に向けた総合的な対策が不可欠であると考えます。未来の世代に秋田県のすべての地域からカドミウム汚染を少なくしていくことは重要で、そのために秋田県が並々ならぬ努力を図られてきたことに敬意を表します。

その努力によってもまだ国際標準からすると高いカドミウム汚染米が出てしまう現状があります。その地域からカドミウム汚染をどうなくすか、ということがまず大きな方針となるべきです。

しかし、ここでカドミウム低吸収性品種である「あきたこまちR」を導入することで、その根本原因である汚染は減っていくのでしょうか？ その点を検証すべきです。確かにカドミウムを吸収しにくいという点は利点になるかもしれませんが、それは地域のカドミウムが減ることにつながるのでしょうか？

カドミウム汚染の主因は鉱山事業にあります。汚染地域の農家は被害者であり、汚染の責任はありません。でも汚染した企業はその責任をしっかりとったのでしょうか？ 結果として、その犠牲は地域の農家に転嫁されていないのでしょうか？ 十分、被害農家は補償されているのでしょうか？ 十分な汚染対策は施されたのでしょうか？ しっかりとした補償を前提とした汚染対策事業は不可欠です。

その財源は汚染した企業が現在存在しないのであれば、国策として鉱山開発を進めた国にも求めることが必要です。「風評被害」とは本来、責任を取るべきものが取らないこと

に起因して生まれます。その被害を断つためには汚染責任をしっかりと取らせることが必要不可欠です。

現在の「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律施行令」では米 1kg からカドミウム 4mg 検出された場合、汚染対策地域に指定され、カドミウムの低減に向けた対策事業が行われます。

もし「あきたこまち R」に全量転換してしまえば、カドミウムを吸わない「あきたこまち R」では汚染が検出されなくなり、事業の対象になりません。その結果、「あきたこまち R」の導入によって、汚染はあるのにも関わらず、汚染対策がまったく行われなくなることになります。これで県民は安心して生活できるでしょうか？

また、これまでの「あきたこまち」であればカドミウムを吸って高汚染米となって流通に出せないとしても、その土地からのカドミウム低減に役立てました。それもカドミウムを吸わない「あきたこまち R」では期待できません。カドミウムは長く地域に残りますので、地域は汚染されたままになります。

日本においてはカドミウム汚染は 43%程度がお米経由とされており、最大の原因となっています。しかし、過半数を超す 57%は米以外から来ています。米からの汚染を無くせば終わるものではありません。お米の安全性の確保はもちろんのこと、地域からカドミウム汚染をなくしていく総合的な政策が不可欠となります。

2018 年に科研費で行われた研究で「忘れられた我が国最大のカドミウム汚染地—秋田県—における実態調査と保健・医療対策」と題された研究報告があります。それによると、秋田県にはイタイイタイ病患者の存在が確認されており、秋田県は県民を被害から十分守れていない可能性があります。

汚染対策事業も一部の土壌への客土（土の入れ替え）に頼るだけでは本格的な安全な農地に戻すことはできません。ファイトレメディエーション（植物による浄化）に適した作物の耕作などを通じて、その地域からカドミウム汚染を減らしていくことをめざす長期計画を作ることが必要です。

秋田県は今後、しっかりと実態調査と補償政策、カドミウム低減政策を打ち立てて、県民の健康と命を守る姿勢を打ち出す必要があります。

「あきたこまち R」の導入では汚染地域のカドミウム汚染が減ることにはつながりません。秋田県民が安心して住める秋田県になるよう、県議会には安全な環境を作るための総合的、長期的なビジョンをご議論いただきたいと思います。

2. 「あきたこまち R」の安全性について

秋田県や農水省の関係者は放射線育種がすでに 1950 年代から使われ始めた歴史の長い手法であり、すでに安全性は確かめられていると言っています。しかし、その断定には 2 つの問題があります。

まず放射線育種による安全性についての科学的研究は行われておりません。調べるためには、放射線育種による食品を食べた集団と食べなかった集団とに分けて、長期間変化を検証しない限り、安全を確認することはできません。放射線育種由来の食品がどんな健康被害を作ったのか、作らなかったのか、わからない状態のままです。

また、ガンマ線照射による品種改良は効率が悪く、米国も撤退しており、世界のほとんどの施設は閉鎖されており、行っているのは日本くらいだと考えられます。そのため、世界的にも知見は十分得られていないことを考慮する必要があります。

また歴史的に長く放射線育種が行われていると言われていますが、放射線育種による品種のシェアは独占的なものとはなっておらず、日常的にそればかり食べたという経験を誰もしていません。

しかし、「あきたこまち R」に全量転換してしまえば、少なからずの人が毎日、そればかりを食べることになるでしょう。これまで放射線育種食品を毎日主食として食べ続ける経験をした人はいません。ですので、どんな問題が発生するかわかりません。それを考えれば予防原則で放射線育種米を食べないという方針を市民が立てることは十分合理性があります。

ですから、本来、地域住民の安全を守るべき地方行政はその予防原則に則って、行動するのが筋だと思いますが、少なくとも、それを食べるか食べないか、その選択の自由すら市民に与えないことは人権問題とならざるをえません。

また、もう 1 点、「コシヒカリ環 1 号」は従来の放射線育種とは異なる重イオンビーム照射によって作られた品種であり、従来のガンマ線よりもはるかに強い破壊力を植物の DNA に与え、その二重鎖を破壊するものです。そのため、従来の放射線育種とは違う検証が必要です。この分野の知見もほとんど得られていません。ですので、今回のケースは古くから行っている方法であるということとはできない、ということになります。

現実には重イオンビーム照射によって「コシヒカリ環 1 号」の OsNramp5 という遺伝子の 1 塩基を破壊したとしています。1 塩基しか破壊されていないから安全そう、という話にはならず、1 塩基破壊されることによってフレームシフトが起こり、これまでにないたンパク質が作られます。それが安全と言っている科学的検証はまだ見ることができません。

ですので、今回の「あきたこまち R」が安全であると言い切る根拠はどこにも存在していないのが現実です。それを今後、すべての秋田県民、さらには日本列島住民に安全の確証もなく食べさせることの是非は十分議論されたでしょうか？

3. 「コシヒカリ環1号」と「あきたこまちR」について

ある秋田県職員が「コシヒカリ環1号」は放射線育種だけれども、「あきたこまちR」はそうではない、という説明をしたと聞きました。しかし、この説明は受け入れることはできません。

「あきたこまちR」は「コシヒカリ環1号」が重イオンビーム照射によって破壊された遺伝子 OsNramp5 を受け継ぐように戻し交配しています。つまり、同じ OsNramp5 を持つ点において、「コシヒカリ環1号」と「あきたこまちR」は、それぞれがコシヒカリ、あきたこまちな性格を持つという違いはあるにせよ、放射線育種された遺伝子を持つ点において、まったく同等品です。つまり「あきたこまちR」の OsNramp5 遺伝子は放射線育種によって作られたわけですから、「あきたこまちR」を放射線育種でないとするのは科学的な説明とは呼べません。

もし、「あきたこまちR」は放射線育種でないとして、その来歴を消してしまうのであれば、戻し交配しさえすれば、かつての遺伝子破壊はなかったことにできることになってしまいます。遺伝子組み換え作物でも戻し交配すれば遺伝子組み換えでない、と言えるでしょうか？ この言い方は明らかに非科学的で、人を騙す方法といわざるをえず、今後はやめていただきたいです。

「あきたこまちR」が放射線育種の後代交配種であることは事実であり、小手先の言い換えで、ごまかしせずに、しっかりと事実を伝えるように県をご指導ください。

4. 重イオンビームで破壊された遺伝子の影響について

重イオンビーム照射によって破壊された OsNramp5 という遺伝子はカドミウムの吸収に関わっていた遺伝子だったため、これが破壊されたことで「コシヒカリ環1号」や「あきたこまちR」はカドミウムの吸収がほとんどされないという結果になります。しかし、1つの遺伝子は多数の機能を持つケースが多く、まだ人類はその機能のすべてをつかんでいないわけではありません。

この OsNramp5 がマンガンの吸収にも関わっており、それを破壊してしまったことで、「コシヒカリ環1号」や「あきたこまちR」はマンガンをもっと吸収できないため、ごま葉枯病などになりやすくとされます。これはこうした品種を栽培する農家に新たな負担となることが考えられます。

マンガンは稲の成長や子どもの成長にも欠かせないミネラルで、それが不足するとさまざまな病気の原因になりえます。毎日食べる主食でミネラル不足となれば、その不足を

補うことはそう簡単ではなく、サプリメントを買えない家庭の子どもは発育が大幅に劣るという格差を生み出すことになってしまったら、大きな問題になるでしょう。

そして、まだこの OsNramp5 が現在はまだつかめていない他の重要な機能を持っている可能性も否定できません。そのため気候変動が激化する現在、この OsNramp5 が破壊されてしまったことで対応できなくなる可能性は否定できません。急な気候の変化に耐えられないことがわかったとしても、全量転換してしまえば、元に戻すことはきわめて困難になり、食料危機を招く事態も想定できます。その事態が起きてから「想定外だった」と弁解することは許されないはずです。

秋田県は到底負いかねる責任を負うことにならないでしょうか？ どう責任取ることができるでしょうか？

5. 消費者の知る権利、農家の選択の権利

このような性格を持つ、従来とは異なるお米が作られようとしていることを、多くの消費者はまだ知りません。開発側の農水省や秋田県が積極的に情報公開はしていないですし、マスメディアも報道していませんのですから当然でしょう。

しかも、消費者には放射線育種品種なのかどうかを知る術がありません。「あきたこまち R」は従来の「あきたこまち」という銘柄名で売られる方針だからです。

これは消費者の知る権利を踏みにじるものであり、またその十分な情報開示をしない全量転換の決定プロセスはまったく受け入れることができないと言わざるをえません。

また農家にとっても「あきたこまち R」が放射線育種であることは伝えられていないので、このままでは多くの農家が単に新しい「あきたこまち」として栽培することになってしまうでしょう。そして全量転換にしてしまうということは実質的に農家にも選択の自由を奪うこととなります。

まず、これまでの一方的な秋田県の決定を白紙に戻し、秋田県議会で今後のプロセスをどうすべきか、再度審議し、農家、消費者にしっかりと情報を知らせた上で、その政策のあり方をもう一度、検討しなおすことが不可欠です。

6. 矛盾する「風評被害」論—秋田県産「あきたこまち」へのダメージ

秋田県は「あきたこまち R」の全量転換にする理由を「風評被害」対策と説明しています。つまり、特定の地域だけ「あきたこまち R」を栽培すればそれがカドミウム汚染地であるかのように取られてしまう、あるいは従来の「あきたこまち」のカドミウム残留量が高

いかのように取られてしまう、だから県内すべてで「あきたこまち R」に全量転換しなければならない、という話でした。

しかし、この理屈で考えるのであれば、日本全体で一斉にカドミウム低吸収性品種に代わるのでなければ、秋田産米への「風評被害」が生まれてしまうことになるはずです。その意味では今回の 2025 年に秋田県だけ「あきたこまち R」に一気に全量転換させるというのはあまりに拙速すぎることになります。

その結果、これまで「あきたこまち」を買ってきた人は秋田産ではない「あきたこまち」を求めるようになるかもしれません。そうなれば秋田の農業に対する大きなダメージになってしまいます。その点でも 2025 年の全量転換は一度、止める必要があります。

また、日本全体で転換について合意ができたとしても、世界全体で見れば、こんな放射線育種米を作っているのは日本のみというのが現実であり、日本全体に対する「風評被害」を止めるために世界でも放射線育種米を育てさせるということは不可能であり、日本産米は忌避され、農産物輸出にも影響を与えてしまう可能性があります。さらにいわゆるインバウンド、海外からの日本への観光にも影響を与える可能性があります。ですので、この「風評被害」論は到底、成立しがたく、これを根拠に全量転換するというのは説得力がないのが現実だと思います。

7. 自家採種禁止について

「あきたこまち R」は自家採種が認められません。農水省などは自家採種をやっている農家は少ないとして、影響はないと考えているのかもしれませんが、しかし、自家採種は日本の農業にとって不可欠な技術と言わざるをえません。

農業の基本をなすのは種であり苗です。戦後、手間がかかる種採りをする農家が減っていったことは事実でしょう。しかし、その基本技術であるがゆえに、農業技術の真価が発揮される分野でもあり、また地域の多様性のある種苗を守っていく上でも、鍵となる活動でもあります。

実際に現在、世界で地域の農業が発展しているところを見ると、そこでは地方自治体などが積極的に関与して、在来種の種採りを奨励し、種採り農家に補助金を出し、地域に合った種苗を豊富に確保できていることがその地域の経済発展の背景にあります（イタリアや韓国、ブラジルなど）。つまり、自家採種は農業の発展、特に地域の有機農業の発展では欠かすことができないものです。

「あきたこまち」をはじめとする品種を自家採種不可能な品種に全量転換してしまう

ということは秋田県の農業の発展を困難にする方策であるといわざるをえません。

8. 今後激化する環境に耐えられるか？

「あきたこまち R」では OsNramp5 という稲の生存にとって重要な役割を果たしていると考えられる遺伝子が損なわれています。それによってカドミウムが抑制できることは利点とも考えられますが、同時に 1 つの遺伝子が持つ機能は 1 つのみではなく、その遺伝子を損なうことによって、その機能が失われてしまい、その結果、今後の激化する環境変化に耐えられなくなる可能性があります。

実際に、すでにこの遺伝子欠損に伴い、マンガンの吸収能力に大きな影響を受けており、通常の「あきたこまち」に比べ、マンガンを吸収する能力は 3 分の 1 ほどの減っており、そのため農水省や秋田県はマンガンの少ない水田ではマンガンを余計に足してやる必要があるとしています。

この遺伝子がマンガン吸収以外にも他の機能を持っていることはおそらく考えておくべきでしょう。残念ながら現在の科学をもってしても、遺伝子解析まではできても、その遺伝子が持つ機能までは知ることはできません。この遺伝子が破壊されているがゆえに病気にやられてしまう可能性はごま葉枯病の他にもあります。

もし、そのお米が市場のシェアの一部に留まるのであれば大きな問題にはならないかもしれませんが（交雑によってその影響が広がることはありえるのでまったく問題にならないとは言えませんが）。しかし、これが全量転換となると話は大幅に変わります。収穫が激減してしまう事態が起きてから、元に戻そうと思っても、全量転換後に戻すのは難しく、できるとしても時間がかかります。

この転換ゆえに収穫が激減して、秋田県の農家がやっていけなくなった、あるいは日本全体にまで広がってしまえば、日本中で食料危機に見舞われることも想定すべきでしょう。もしそうなった時、この決定をした責任者は責任をどう取れるのでしょうか？

実際に心配になるデータがあります。この「あきたこまち R」の親である「コシヒカリ環 1 号」を日本で最初に採用したのは石川県でした。石川県は 2020 年に「コシヒカリ環 1 号」を産地品種銘柄に指定します。しかし、その生産は年々減り続け、去年は生産が確認できない状況になりました。埼玉県でも「コシヒカリ環 1 号」の試験栽培は収量が低かったために、採用は進んでいないようです。秋田県の試験場ではいい結果が出たから採用となったと思いますが、環境変化が大幅に進んだ場合、うまくいかなくなる可能性は十分考

えられます。

そのような品種に全量転換してしまうということはあまりにリスクが大きすぎると考えます。

9. 有機農業への影響について

有機農業では放射線の使用は基本的に認められないと考えるべきです。現在でも食品の殺菌目的や発芽防止で放射線を使用することは禁止されており、EUでは放射線育種による種苗の使用は有機認定では排除されており、タネから流通まで放射線を使うことはできません。

しかし、農水省や秋田県は日本では放射線育種米であっても有機認証可能だという姿勢を見せています。そして、日本が有機農作物と認めてしまえば、有機同等性の確認をしている国に対してはそのまま有機食品として輸出することも可能だとして、EUにも輸出が可能としていますが、この理屈が世界で通るとは到底思えません。

というのも、有機認証というのは究極的には有機食品を食べたいと考える消費者が受け入れるかどうかにかかっているからです。なぜ、有機食品を選ぶのでしょうか？ より安全な食品を求めているからでしょう。もし、日本の有機が安全性の確認できない技術、放射線育種を使っているということを知ったら、消費者の側が日本の有機農産物を回避することにつながる可能性が十分あります。ルール上は農水省が言う通り、有機産品として認められることが通ったとしても、実際には市場を失うことになるでしょう。

日本の消費者も日本の有機認証に対する信頼を失い、海外からは日本の有機は信頼できないとして、日本の有機産業全体に信頼が失われる可能性もありえます。この放射線育種米を有機認証で認めることはこのように日本の有機農業そのものに大きな打撃を与える可能性があります。

またこのような放射線育種米を全量転換してしまえば、本当の意味の有機農業は秋田県では実質、稲作では不可能となり、みどりの食料システム戦略で有機農業の奨励を全国的に行っている現在、大きなハンディキャップを秋田県の農家は背負うことになります。

10. 「コシヒカリ環1号」系だけが唯一の道ではない

「あきたこまちRの問題点はわかったけれども、一方で低カドミウム対策米の必要性はある。どうすればいいのか」と思われるかもしれません。しかし、放射線育種を使わな

くても解決策は存在します。

インドのケララ州で3000年前から栽培されていると言われる Pokkali という在来種の稲はケララ州の高い塩分濃度を持つ水田でも生きていくように自然の中で進化した品種です。この Pokkali は「あきたこまち R」では破壊されてしまった OsNramp5 という遺伝子を重複してもっており、高い塩分濃度に対してミネラルの吸収をコントロールする能力を得たと考えられます。同じ遺伝子を重複して持つというのは、環境に対応するための進化の過程でよく見られる自然なプロセスです。この Pokkali はこの遺伝子を重複してもつことによって、マンガンもカドミウムも吸収します。しかし、カドミウムは根の液胞に留まり、種にはあまり行かない特性を持っているため、お米の方はカドミウムが比較的高い地帯であっても安全性を確保できます。

この Pokkali はカドミウムを根に蓄えるので、安全な米を得るだけでなく、収穫後、その根を処分することで、水田のカドミウムを除去することも実現することができます。「あきたこまち R」がほとんどカドミウムを吸収しないので高カドミウム汚染地域でも栽培可能となりますが、それに対して、Pokkali は6割減ということで、高カドミウム汚染地域ではお米は食用にすることは難しくなるかもしれません。しかし、そのような地域ではやはりカドミウム除去を優先すべきであり、食用の作物を育てる前に、カドミウム低吸収性品種ではなく、カドミウム高吸収性品種を栽培することでファイトレメディエーションによってその場所におけるカドミウム低減をめざすべきではないかと考えます。

この Pokkali についてはすでに岡山大学でコシヒカリとの交配を試みて、それに成功しており、この例にならえば、秋田県で Pokkali と「あきたこまち」の交配をすることで、「あきたこまち R」では解決できない難問を解決するカドミウム低吸収性品種を作り出すことができます。インドや日本で長く愛された品種を交配させるものの方が多くの方が安心できる品種になるでしょう。有機農業での利用にも問題はありませぬ。新たな問題を作り出す放射線育種に頼る必要はありません。

11. 危険な下水汚泥肥料の使用について

いったん汚染してしまった農地を除染することがいかに困難か、秋田県で担当されている方は深くご存じのことだと思えます。しかし、農地をさらに汚染させてしまう可能性が今、高まっています。農水省や国交省が下水汚泥から作った肥料を全国的にプロモーションしているからです。特にウクライナへの侵略戦争によって、化学肥料の原料が高騰し、確保も難しいという状況になってきたことに対して、両省は下水汚泥肥料の増産を全国に働きかけ、その肥料の活用を拡げようとしています。

もちろん、安全な糞尿を肥料に活用することは日本でも江戸時代以来、使われてきた

有効な実践です。しかし、下水汚泥となると話は別です。下水汚泥の活用の本場である米国ではこの下水汚泥肥料は大きな問題を作り出しています。なぜなら、下水汚泥には除去が困難なカドミウムをはじめとする重金属や、さらに永遠の化学物質と言われる PFAS が入っているからです。PFAS は水を弾く特性を持つ化学物質で、フライパンや消火液、服や紙製品など広く使われていますが、自然にはなかなか分解されず、健康被害を引き起こすとして世界では大問題となっていますが、日本では規制がほとんど進んでいません。

そのため下水汚泥を肥料に使えば、PFAS とは無縁なはずの農地が PFAS によって汚染される可能性が高いです。米国はこの下水汚泥肥料利用の先進地ですが、米国ではすでに 800 万ヘクタール（日本の農地の約 2 倍）がすでに PFAS 汚染されているとされています。そして昨年、米国メイン州は下水汚泥を肥料に使うことを禁止しました。それほど深刻な汚染を引き起こしており、いったん汚染された農地の回復方法はまだ見つかっていません。だから汚染させるな、が重要になっているのです。

日本では下水汚泥肥料のカドミウムの基準値が設定されていますし、それよりも低いから大丈夫だと農水省は説明していますが、カドミウムは半減期がなく、生物濃縮し（生物半減期もとても長く）、長期的に蓄積する可能性を考えると、基準以下であるからどんどん使っていけるとは言えず、その使用によって農地の汚染が高まる可能性があります。

そして PFAS については未だ測定方法も基準値も設定されておらず、下水汚泥肥料の中の PFAS の値は不明な状況です。

いったん汚染してしまった農地を元に戻すことはとても困難です。地域の有害物質の汚染をさせない政策をしっかりと確立することが重要です。そのために下水汚泥肥料の使用についてはしっかりチェックすることが重要であり、その危険性についても十分告知する必要があると考えます。

結論

「あきたこまち R」の全量転換は秋田県にとって、そして日本にとって取り返しがつかない大きな問題を引き起こす可能性があります。これを実施するメリットをはるかに上回るデメリットがあります。これらのことを総合的に検討すれば、まずはこの全量転換をいったん延期させ、秋田県の地域の有害物質汚染対策政策を今一度、再検討することが必要になると考えます。

2-1502 【埼玉県、60代】

「あきたこまち」から「あきたこまち R」への全面切替に反対です。
反対の理由は以下の通りです。

- ・今まで食べ続けてきた「あきたこまち」をこれからも食べていきたいです。
- ・「あきたこまちR」の安全性に関して不安があります。子供や孫がこれから何十年も食べ続けても安全なのか、誰もわかりません。米は日本人の主食です。だからこそ一層安全性には慎重であって頂きたいです。
- ・遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲が果たして今後の気象状況に順応していけるのか、これも不安です。ただでさえ日本の食糧自給率が低いのに、更なる低下を招きかねないのではないかと危惧しています。

「あきたこまち」に愛着を持つ一消費者として、他県からですが意見を申し上げました。何卒よろしく願いいたします。

2-1503 【大阪府、30代】

放射線育種米、大反対です！！

放射線をあてて、それを食べて身体に無害だと言い切れるのでしょうか？

そして、こういったお米を作る、広めていくということを住民(国民)にきちんと周知しているのでしょうか？

どれだけの人がこのお米のことを知り、メリット・デメリットを確認できているのでしょうか。

あてることよってのデメリットも含めきちんと周知議論があるべき。

私は絶対にこのお米を食べたくありません。

デメリット面を考えると恐ろしくて口にできません。

あきたこまちは今後買うことはないでしょう。

生産者さんから、安心信頼できる方から、直接お米を購入します。

あきたこまちは購入しません。

放射線育種米への切り替えは考えなおすべきです。

種の問題も含め、危機感しかありません！！

2-1504 【沖縄県、30代】

断固、反対します！

いま日本の食が危機的状況です。

心も身体も、こんなにも病気だらけの世の中。

身体は食べたもので出来ています。

大人が気付き、行動を変えていかないと

次世代を担う子どもたちも守れません。

これ以上、食の汚染をしないでください。

今だけ金だけ自分だけは、もうやめましょう。

2-1505 【兵庫県、60代】

あきたこまちへの放射線照射を行わないでください
放射線の人体への悪影響は周知の事実です
米への照射でそれを食べた人体への影響は未知ですが
既存の悪影響から想像するに放射線照射米を食べた
人体への影響は不安しかありません
あきたこまちへの放射線照射に強く反対します
意見を聞いて頂きありがとうございます

2-1506 【神奈川県、40代】

結論から言いますと、Rへ転換したらあきたこまちは購入しません。
世代が違えば放射線が残留していないのは当然ですが、
一番の問題は奇形種を長期常食しても健康被害がないのか、誰も検証していないこと
です。

自然現象とは異なり短期集中して放射線を照射していることから、
自然現象を比較対象として、安全性をうたうことはミスリードではないでしょうか。
成り立ち、進め方ともに不安しかありません。
全量転換どころか一部販売にも反対です。

2-1507 【神奈川県、40代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。
私は岩手県出身で、小さい頃から食べてきた東北の米が大好きです。
あきたこまちは確か子供の頃に市場に出てきて、
今でも良く食べます。
そのあきたこまちが放射線処理され、
栽培されたものが人の口に入ると言うのが恐ろしいです。
人体にどのような影響が出るか想像がつかないからです。
放射線処理の概要を読むと、
遺伝子組み換え処理と変わらないと言う印象で、
放射線によりピンポイントでカドミウム吸収をなくすことは無理で、
なんらかの弊害が出ていると思うのです。
(今の技術では、選択した遺伝子だけを破壊・入換などは出来ないため)
まずは、土壌のカドミウムを減らす技術、

そして土壌のカドミウムを吸収しない稲作の技術を推進することが先だと思えます。秋田県と同じように土壌のカドミウム濃度が高いと言われる富山県では、稲作の段階でカドミウム吸収を抑制する取組みをしていたことも知りました。一朝一夕で出来ないことは重々承知しています。ただ米は日本人の国民食であり、毎日口に入るものです。これからの子供たちの食生活・日本の農業を守っていくためにもどうか、あきたこまちへの全量転換は廃止して頂きたいです。何卒よろしくお願いたします。

2-1508 【鳥取県、40代】

遺伝子操作をしたお米を食べたく無い！
何の副作用があるか分からない物は口にしたくない。
もし全て転換されるなら「あきたこまち」を食べません。
農家の負担も増して、お米を作る人がますます減ってしまう。
変えるメリットが何も無い。

2-1509 【千葉県、30代】

安全かどうか分からない危ないものを子供たちの口に入れさせることは、長い目でみておかしい、危ないとおもうべきでは。
農薬や化学肥料たっぷりつかうことや、放射線浴びた米をつくることよりも、もっと自然にやさしく、体にやさしいものを作るべきだし、率先してそういう活動をしていくほうが、いまの世の中的に目立つとおもう。
どことの利権でこうなってるかわからないが、いいことない。考え直すべき。

2-1510 【兵庫県、30代】

放射線育種米で、ゲノム編集同様、体の中にどんな影響が出るのか心配です。インドのポカリという品種は、低カドミニウム米でマンガン吸収ができないので、コシヒカリと交配に成功した岡山大学の馬教授が研究の成果を発表されています。放射線育種米ではなく、ポカリと交配させたコシヒカリを採用いただくよう強く要望します。

2-1511 【宮城県、50代】

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本

を代表するお米だと思えます。

その「あきたこまち」を守ってください。遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事ではと思います。従来の「あきたこまち」を食べたいです。放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」は食べたくありません。どうかよろしくお願いします。

2-1512 【長崎県、40代】

カドニウム汚染地域は全体の3%未満と聞いています、その為に全量をRにするのは危険すぎます、人体への影響や正常に育成出来るかもわかりません。種の問題もあります、種を売ってもらえなければ食糧難になってしまいます、国防上大変問題と思います。また農水省は全国300種のうち200種で同様の準備を完了しているようです、議論の前に結論ありきな行動です、国民として不信感しかありません、まずは秋田県で十分議論していただき、日本の国益を守って下さい。

2-1513 【千葉県、50代】

秋田県における稲作を「あきたこまち」から「あきたこまち R」へ全面切替することに反対致します。

秋田県で長年に多くの方が手掛けて作り出し、日本中で愛されてきた「あきたこまち」を放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」に全量転換することが決定している事を知り、大変驚き、心配しております。

食品としての安全性や日本の生態系への影響がしっかりと確認されるまでには相当の時間がかかるはずですが、いきなり全面転換とはどういう理由からなのでしょう？カドミウムの吸収を抑える為とは言え、遺伝子を破壊されてマンガンを吸収できなくなった様な脆弱な稲が、今後予測のつかない気候変動の中で生き残れるのかどうか疑問があります。世界情勢もこのように不安定な昨今、ただでさえ食料自給率の低い日本の、最後の砦とも言える米の栽培にはもっと慎重になる必要があるのではないのでしょうか？従来の品種を作り続けることが大事だと確信します。

またこれらの放射線育種後代交配種には遺伝子特許が取られており、自家採種もすべて禁止されるという事ですが、それではせっかくこれまで頑張って来てくださった農家の方々が益々苦境に立たされることとなります。農業離れを更に加速する事でしょう。かと言って、将来的に日本の農業を大企業のコントロールに任せて、私たちに食の安全が保障されるとは到底思えないのです。

そもそもこの様に重大な問題を、消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で決めて

しまったことは大問題で、期間を延期の上、十分に議論する場を設けるべきだと思います。

どうか出来るだけ多くの人々が健やかに、幸せに暮らせる為の、日本の食の安全と環境作りに心を尽くしてくださいませ、秋田県議会の方々にお願い申し上げます。

2-1514 【愛知県、30代】

「あきたこまち」が大好きでたくさん頂いております。

が、放射線など人工的な加工を加えたものに対して強い抵抗があるので

これからも「あきたこまち」を食べられるように、

どうか変換はしないで下さい

2-1515 【愛知県、20代未満】

「あきたこまちR」への全量転換に反対です。

理由としては安全性が確認されていないものを

口にすることは健康面で問題が発生すると考えること、

そして日本の第一次産業を守るために農家の方々に

これ以上の負担をかけてはいけないと考えるからです。

2-1516 【長野県、50代】

あきたこまちRへの転換に反対します。

健康への安全性に関するデータを示してください。

主食である米は毎日、長期に渡り食べ続ける物です。

安全性のデータがない物を全面的に転換すべきではありません。

カドミウムの汚染は別の形で対処すべきではないでしょうか。

長年あきたこまちを食べてきましたが、Rになったらもう購入は致しません。

農家さんの意見、消費者の考えを聞き、十分な議論と周知をするべきだと思います。

人の健康に関わることなので慎重に進めるべきだと思います。

宜しく願いいたします。

2-1517 【神奈川県、20代】

放射線反対。食の安全を求めます。

2-1518 【東京都、60代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31 都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質問してください。

2-1519 【滋賀県、30代】

お疲れ様です。

あきたこまちRの全量転換はやりすぎです。

良いものであるのなら自然と農家さんもそちらを選択していくと思います。

農家さんを守ってください。

よろしく申し上げます。

2-1520 【県外、40代】

不安なお米をつくらないでください。

秋田のお米、あきたこまちを選ばなくなりますよ？

2-1521 【埼玉県、50代】

放射線照射は危険性が高いので早急に中止してください。

カドミウム対策というならまず土壌を汚さない事が先決だと思います。なぜ放射線照射と言う発想・方向になるのか理解できません。

表示義務もないのなら消費者は選択する事もできず公平・誠実ではありません。そのようなお米など食べたくもありません。

どうぞ日本の誇る主食・お米の安心安全を守って下さるようお願いします。

2-1522 【石川県、40代】

子供達の未来を守るために大人が闘わなくてはいけないのに、どうして日本の大人達は自分の国を壊すことばかりしているのか。日本人の主食のお米まで汚染するのか。絶対に

やめてほしい。自分の愛する人に放射線で遺伝子をいじった物を食べさせたいですか？

2-1523 【富山県、40代】

秋田県だけの問題ではなく、日本人としての問題として投稿しました。食べてはいけないものを作ってはいけない。未来を考えて行動してください。県議の皆様ご家族、子や孫に食べさせたいですか？子や孫に何を残したいんですか？未来のためのお仕事をされるのであれば、健康な食べ物に投資をしましょう。

2-1524 【秋田市、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1525 【福島県、60代】

県議会への意見

あきたけんのあきたこまちを守って頂きたい。

放射線育苗米をなぜ作るのか？

未来の子供達を守ってほしい。

秋田県のお米を守ってほしい

ご検討頂きたい！！

2-1526 【秋田市、40代】

あきたこまちRの話于今年に入って初めて知った消費者です。

ネットの情報だけでは偏りがあるかなと思い、8月に潟上で行われたあきたこまちRの

勉強会にも参加し

県庁の方のお話を聞いた上で、意見させていただきます。

母親の立場から考えると

今後、こまちRの全面作付けが行われ、表示も「あきたこまち」と「あきたこまちR」も区別がつかなくなる、と

子供たちへの給食にも一斉にこまちRが使われてしまうのだろうか。と不安になりました。

大人は、農家とつながって消費行動を選択すればいいと思うのですが。

生産者に、消費者に十分な説明がないまま

あきたこまちRに転換すること。

正直、不信感が払拭できずにあります。

秋田のカドミウム汚染の状況はそれほど深刻なのでしょうか。

全国で一番早く名乗りを上げて、転換しなければいけないほど、人体や土はカドミウム汚染されているのでしょうか。

情報の公開を求めます。

秋田と言えやお米。

私たちが秋田県民が自慢だった、お米、あきたこまちです。

県で十分な検討、治験、研究をしていただけるとありがたいです。

2-1527 【群馬県、30代】

絶対反対！！

2-1528 【大阪府、40代】

放射線量が被曝の域を超えた量のお米を作るとは、許されません。

カドミウムなんかより、内臓被曝の方が怖いと思わない政治家や議員さんたちがいる事に憤りを覚えます。

また、日本人を駆逐するためにやっているとしたら考えられぬ事を次から次へとやっている。

食べ物とは、人を良くする物と書いて、食べ物です。

あなた方がされているのは、人の命を守る立場にありながら、それとは真逆に行く方向へと舵を切っていますよね。

今すぐに、そんな米を作をやめてください。

まともな稲作を今まで通りしてください。

大豆、米、お水、塩は日本や生命の全ての源、大切にしてください。不自然な遺伝子組

み換え植物はやめてください。

未来ある子どもたちの命そのものが消えて亡くなってしまいます。

今さえよければいい政治は、結局、そんな人たちの未来はありません。

2-1529 【群馬県、40代】

放射線を照射して、遺伝子を破壊したあきたこまちR

は食べたくありません。

従来なあきたこまちを食べたいです。

2-1530 【宮城県、40代】

あきたこまちRへの切り替えについて。その米は食べ続けても本当に安全なのか？だれが証明してくれるのか？私たちが食べ続けて異常がないかを証明していくようになるのか？身体に異常が出てからでは遅いのです。子供たちに安全な食べ物を食べさせるためには、遺伝子操作した作物ではなく、環境作りの方を見直すべきです。子供たちに良い未来を残してゆくために秋田県は考えるべきだと思います。放射線米反対です。

2-1531 【三重県、40代】

あきたこまちRにしたら、どういう健康被害があるとか考えないのですか？

せつかく、この有名なあきたこまちをこんな放射能汚染米にするんですか？

今回のコロナワクチンで、新しいものがどれだけ危険かと言うことが身を持って感じました。

いくら生産性が上がるからといって食べることによって、食べた人の体にどういふ影響が出るかもわからないし、今までご先祖様が代々、受け継いできた正式な種を、こういう形で全部変えてしまうと言うことにすごく危機感を感じます。生産性よりも、食べる人の身になってください。

最近健康になる食品を作り出すよりも、病気になる食品を作る事に販売者の方は一生懸命になり過ぎていませんか？

どうか、この素晴らしいあきたこまちを、あきたこまちRにして、生産するのはやめてください。

販売するなら大きく放射能照射米と大きく書いてくださいね。

絶対買いませんから。

2-1532 【兵庫県、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

従来の「あきたこまち」が食べたいです。

「あきたこまちR」は食べたくないです。

食べたい人だけ食べて下さい。

選択の自由を奪わないで下さい。

2-1533 【岡山県、40代】

「県議会へのご意見」

あきたこまちを放射線育種後交配種米として販売された場合、拒否反応を示す方々がいると思います。拒否反応を示された方々から口コミで風評被害を拡大する可能性があると思います。

風評被害を受けた場合、秋田県の農家さんの方々が作るあきたこまちの売上が落ちると思いますので、放射線育種後

交配種米の生産の中止をお願い致します。

2-1534 【兵庫県、60代】

あきたこまちの不買運動をします。

2-1535 【東京都、40代】

あきたのお米は、日本の食を支える役割を担ってきました。美味しく、素晴らしいお米です。

放射線をあてて、遺伝子を破壊する事は、長期的にみた時、品種にどのような影響をもたらすか

分からず、安全性に大きな懸念があります。カドミウム汚染地域は全体の3%未満にも関わらず

全てのお米を切り替えるのは、秋田米のブランドを破壊し、農家の生活を直撃します。

考えられない暴挙であり、人体の健康、食の安全、環境への影響など

遺伝子を操作する危険性を、包括的に判断しなければ、次世代に良い食を継承することは

出来ません。また、種籾の栽培が不可になるということは、農家の自律性や、研究意欲を削ぎ

奴隷のように、翌年につながらない生産で、管理されていく流れです。

このような暴挙を、許すことは、秋田県を破壊するだけでなく、日本全国の食を破壊し、外資依存にします。お米は日本の象徴です。

放射線などあてたら、必要な栄養素も同時に破壊されます。

どうか、議員様、お一人お一人の力で食い止めて頂きたいです。

2-1536 【福島県、40代】

「あきたこまちR」への全量転換を廃止してください。理由は人体への影響が無いとはいえないからです。従来種での作付を継続しなければ、何かあったときに引き返せなくなります。

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

関連情報

河田昌東さん「放射線照射による品種改良 何が問題か」 学習会報告

<https://okseed.jp/news/entry-179.html>

2-1537 【兵庫県、60代】

カドミウムを吸収しにくい米への転換は歓迎するが、放射線育種というのはそんな単純なものなのか。全量転換したあとは「あきたこまちR」という表示を（義務的に）守って欲しい。放射線育種だとはっきりするので。問題ないのであれば、そういう情報を隠す必要はないはずだね。

2-1538 【埼玉県、60代】

県議会へは放射線照射の事は提出されていないと聞きました。安心してあきたこまちが食べたいです。ただでさえ農薬がいっぱい使われているのにこれ以上余分な手を加えないでください。

まるでコロナワクチンと一緒にメリットだけ伝えてデメリットを隠しているように思い

ます。

日本人の食の安全を第一にお考えください。

2-1539 【大潟村、30代】

今後の主要な品種にしようとする大事な主食について、この件が幅広く知られていないことから、県民への徹底した周知また意見を伺ってほしい。

美の国あきたネットで安全性についても拝見したが、本当に安心できずにおります。

一般的な日本人における食品からのカドミウム摂取が健康に悪影響を及ぼす可能性が低いとされているなか、なぜ全量転換させようとしているのか。

また、全量の切り替えということは元祖の種子は流通しなくなるのか。

有機米についてはどうなるのか。

詳細な説明を求めます。

2-1540 【群馬県、40代】

全量転換に強く反対します。

日本で作られている300品種のうち、すでに200品種以上の放射線育種後代交配種が準備されつつあります。

このままでは日本のお米がすべて放射線育種米になってしまいます。

お米の安全性もさることながら、今後の激しくなる環境変化に耐えられるのか、わかりません。

また、その自家採種も禁止になりますので、日本のお米はすべて自家採種禁止となってしまいます。

日本人が日本人としてあるべき姿を否定する行為ですので、是非とも廃案にしてください。

全国から県議会を見ています。

2-1541 【東京都、40代】

私はあきたこまちが好きでよく食べるのですが、あきたこまちRには長期的な安全性や栄養面に不安を感じるため、全量転換は中止して頂きたいです。

放射線を当てた食品を食べて、人体に長期的な影響が絶対に無いという保証はあるのでしょうか。ミネラルが不足した品種になるとも聞いています。そんなものより、今までのあきたこまちを食べたいです。

あきたこまちRの育成・販売計画自体を白紙に戻して欲しいくらいです。

2-1542 【東京都、30代】

従来のあきたこまちを守っていくべき。なぜ変えなきゃいけないのか。なぜ変える必要があるのか。変わらなきゃいけないのは人間の考えです。お米では無い。絶対にお米を変えてはいけません。絶対に反対です。

2-1543 【愛知県、40代】

あきたこまちの安全性を問うのであれば
放射線を浴びたお米を認可するのではなく
自然農で農業に携わる方々の方々の信頼や補償を
見直してください。
口にすることは自然でなければ
痴呆など病気の一因となる事実もあります。
被爆した広島の方が断固と反対している
理由 後世までも続く被害です。
未来の子どもたちのために
健康を守る意識が日本の未来を変えたいと思っています。
断固反対です。
議会で 見直しを求めます。
よろしくお願いします。

2-1544 【茨城県、40代】

全量転換には断固反対。
専門家も警告を発しています通り、
この施策がもたらすリスクは計り知れないものがあると感じます。
何より「米は日本の宝」
国内屈指の生産地「秋田県」が
前例を作ってしまうと、他県、
他品種への波及も。
安全安心な米を子供達に
残して下さるよう意見とさせていただきます。

2-1545 【栃木県、60代】

「あきたこまちR」への全面切替に反対します。
そもそも「あきたこまちR」の長年にわたる効果や負の影響について十分にわからないま

まに、全面転換するなど狂気の沙汰です。これを採択しようとしている秋田県および県議の常識を疑います。

百歩譲って、まずは試行するなら1割未満から5年10年かけて行うべきです。

種の多様性にも全く逆行するこの暴挙を見過ごすわけにはいきません。

これまで、あきたこまちを好んで選ぶことが多かったのですが、もし全面転換するような事態になれば、日本のコメを守るために、全力であきたこまちRの不買運動を仲間とともに展開せざるを得ないと考えています。

全国のあきたこまち愛好者のためにも、今回の暴挙に対して反対していただける県議の皆さんの良識に訴えたいと思います。

この問題は、種苗法改正と同じく、グローバリストの策略であることをよく認識してください。

日本の農業を一緒に守っていきましょう。

2-1546 【千葉県、50代】

食の安全面から、あきたこまちRへの全量転換を反対します。

放射線照射は他にも、ジャガイモの発芽を抑えるために使われていると聞きます。そもそも、人体にレントゲン撮影の為に放射線照射においても少量ですが被爆しダメージを受けると聞いています。蓄積すれば悪いものです。それと同様、植物・食物に施すのはその植物・食物に対しても同じ事が言えると思います。

現に新型コロナワクチンがmRNAワクチンという、今までになかった方法で製造されたものでした。治験も終了していない、安全性がしっかりと確認されていない段階で摂取されたことで今、ワクチンによる死亡者や後遺症に苦しむ人々が大勢います。

このような中で、日本人の命となる米の元からいじってしまうのは大変危険と考えます。古代からのお米の歴史から見てもそのような転換は必要ないと思います。

実父が秋田県出身だったこともあり秋田県には愛着を持ちあきたこまちにはいつもお世話になっております。どうかこれからも安心して家族と食卓を共にできるよう、転換はやめてください。よろしく申し上げます。

もし転換されるようなことがあったらあきたこまちを購入することはなくなります。

2-1547 【大阪府、20代】

汚染されたお米を日本の方々に食べさせないでください。

安全で健康的な食事を望みます。

2-1548 【岡山県、40代】

放射線米など、いません。

ご自身の子供にも喜んで食べさせたいものですか？

2-1549 【東京都、30代】

あきたこまち R への全量転換に反対します。

私たちの食に対して、このような強引なやり方を早急に進めて何か悪い影響が出た後では遅いのです。

日本のお米は日本人の体と精神をつくる大切なものです。

米所の代表である秋田県の動きは、日本全体を変えてしまいます。

早急にこのようなことを推し進めず、国民の意見を聞いてください。

2-1550 【東京都、30代】

R 米反対します

環境、人体、全ての循環する自然を守り

子どもたちの未来を繋ぐ為に

不自然な作物は不要であるから

2-1551 【大阪府、30代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31 都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。R は食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1552 【神奈川県、50代】

あきたこまち R は食べたくありません。

今まで通り あきたこまちを作り続けて欲しいです。お願い致します。

2-1553 【茨城県、70代】

放射線育種米と聞くだけで遺伝子組み換え等人体に害をもたらすイメージがあります。風評被害を防ぐために全県同一にするとのことですが、喜んで購買する消費者がいるとは思えません。

結局安値で叩かれ外食産業や社食等に頭を下げて買ってもらおうのでしょうか？

キックバックや利権であなた達に一時的にお金が入りますか？

秋田県農家さんの為にも県民全体のためにも長い目で見て利益に繋がるとは思えません。科学的に安全や不利益部分を確認して本当に人々や自分達の子孫の為になるものなのか？の再考をお願い致します。

2-1554 【北海道、50代】

生産者や消費者にほとんど情報がないまま全量転換を決めたことは大問題です。

遺伝子を破壊されてマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機のなか生き延びることができるのかも不安です。

従来品種を作り続けながら研究、議論を重ねていくことが大切だと思います。

2-1555 【秋田市、50代】

あきたこまち R に切り替えをするためには農家や消費者の大多数が納得のいく説明と話し合いが必要だと思います。切り替えを決めたみなさんはあきたこまち R を召し上がってみましたか？これからずっと食べ続けていきたいと思いませんか？正直なご感想を伺いたいです。

カドミウム汚染地域の土地改良は計画しないのですか？根本的な問題点は土地にカドミウムが含まれてしまい人体等に害をなす事ですよね。その点も含めて県民とオープンな話し合いができればいいと思います。

2-1556 【愛知県、30代】

あきたこまちがあきたこまち R になるならば、あきたこまちは食べません。家族や友人、みんなに秋田県のお米あきたこまちは

食べないほうがいと伝えるでしょう。

昔ながらの種やちゃんと栄養の不足のないお米を作っていただきたいです。

なんでもかんでも遺伝子組み換えやゲノム編集は長期的にもどのように

人体に影響するかまだわからないもの。

そんなものを一般の人の意見も聞かずに決定してしまうなんておかしいし科学的なことや身体に関することは責任が大きいです。

考え直していただきたいです。

あきたこまちRになるなら、あきたこまちはスーパーで選びません。

2-1557 【東京都、30代】

あきたこまち自体に安全性の不安があるわけではありませんし、そもそも実害が出ていない状況にも関わらず日本で育てるお米を全て放射能を当てていないと育てられないようになるという事実が信じられません。

未来を歩く子どもたち、これからも生きる私たち、日本の土壌や環境を守り豊かに暮らしていけることを願います。

あきたこまちRに全量転換に反対します。

これからも美味しく安全なお米を家族です食べたいです。

2-1558 【広島県、50代】

あきたこまちRのパンフレットを見ました。とても危険なものを秋田県から、全国にばら撒くのは、秋田県の信頼だけでなく、秋田県の農家さんの命取りになります。もう秋田県のお米は、買わないようにしましょう、、とみんなで情報交換をすることは簡単ですが、そんなことはしたくありませんし、311の後、東北のお米が全国の学校給食、コンビニ、チェーン店の食材として流れた経緯もあるので、一旦流れてしまったら、とうにもならないでしょう。

秋田県は、人殺し、、そう言われてしまいます。

秋田県だけの問題ではありません。あきたこまちRを、即刻廃棄されますように。

2-1559 【長崎県、50代】

放射能育種米への全量変更を止めてください。

人の身体にどんな影響を及ぼすかもわからないものをたべたくありません。

そういうものが全国に出回って子どもや孫達が食べると考えると不安になります。

今までの『あきたこまち』を食べたいです。

お米の一大産地の秋田県が県議会での慎重な議論なしに始めるのを考えなおしてください。

2-1560 【茨城県、40代】

あきたこまちRは安心安全とは言えません。秋田県が始めたら他の自治体も始まります。国は放射線米栽培において補助金をばらまくでしょう。

そうなる前にあきたこまちRは中止してください。

2-1561 【秋田市、30代】

生産者や消費者、事業者など関係者に情報公開もなく、パブリックコメントもないまま「あきたこまちR」への全量転換を決定するのはおかしいと思います。意見も聞かずに勝手に決めないでほしいです。

あきたこまちは全国で愛されているお米なので美味しいお米が食べられなくなるのはとても悲しいです。学校給食に出されるのが怖いです。子供達には絶対食べさせたくないです。子供には安全な物を食べさせたいです。

放射線育種米は

放射線で破壊する遺伝子は「土壌からカドミウムを吸収する」という特徴を持つ遺伝子。その遺伝子を破壊すると同時にマンガンも吸収しなくなる。

マンガン不足は骨格異常、糖代謝異常、糖質代謝異常、生殖機能低下に繋がる。

マンガンは胎盤形成にも不可欠で、動物はマンガン不足で流産することが家畜業界では常識であるそうです。

放射線育種は危険です。

放射線育種米反対です。

2-1562 【愛知県、20代】

「あきたこまちR」への全量転換に反対します。

理由は以下の3点です。

1. あきたこまちRには重イオンビームが照射されているが、安全性を裏付けるデータや実験は存在していない

2. 重要なのは汚染カドミウム汚染地を無くすことであり、米が吸収しなければよいという問題ではない

3. 人の手を使ってマンガンを供給する必要があり、農家の負担が増加する

2-1563 【大阪府、40代】

全面的に反対します。

2-1564 【千葉県、30代】

日本の大切な主食である「お米」を壊して、日本人を殺す計画でしょうか？

常識的に考えておかしいでしょう？

秋田県議員の方々、本当に秋田県民？と言うか本当に日本人？

県民、市民の大切な税金から給料をもらってるんだから、もっと

日本人の為になることを考えてください。

2-1565 【岐阜県、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては、遺伝子が壊されるためにマンガンを吸収しにくいお米になり、ごま葉枯病などの病気になりやすいこと、ミネラル不足のお米になることは不安材料です。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1566 【福岡県、50代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。

放射線をあてて作る事の安全性が保証されていないのに全量転換することの意味が分かりません。

今までのあきたこまちは安全性も確かですし、とても美味しいお米です。

今までのあきたこまちを守ってください。お願いします。

2-1567 【茨城県、50代】

農業関係者が育成した『秋田こまち』を、残したい。

美味しい『あきたこまち』を継続したい。

日本農業を破壊する方向の政策には反対です。

日本人とその文化や営みを、もし放射能なゲノムで操作する政策は、

中止して欲しいです。それが公務員の仕事と思います。

多くの市民、国民の知らない施策は、よく吟味して下さい。

『反対です。』宜しく申し上げます。

2-1568 【埼玉県、50代】

放射線育種米について意見を述べさせていただきます。今回の事は知り合いから聞きました。消費者にあまりにも情報公開されないままいつのまにやら安全性が確認されない放射線育種米が口に入るのは正直言って怖いのです。お米は日本人の主食です。毎日食べる物は特に安心安全な物を子供達にも食べさせたいです。

土壌や肥料がカドミウムに汚染されているのであれば、そちらを安全で自然なものに変えていく方向はお考えに無いのでしょうか？

農薬や肥料に頼らない農業の重要性を考えて頂きたいです。

消費者は安心安全な食べ物を欲しています。

そして何故、表示義務がないのでしょうか？消費者が選択できる表示にして頂けないのでしょうか？

風評被害がという話を聞きますが消費者の健康より利益を優先なののでしょうか？

放射線照射が食の安全や環境保全、生態系に及ぼす悪影響についてもっと議論すべきではないでしょうか。

秋田県議会の先生方も安心安全なお米を食べたいですよ？

家族にも食べさせたいですよ？

自分ごととしてのご検討をぜひよろしくお願いいたします。

2-1569 【美郷町、40代】

あきたこまちRってなんですか？

米農家であきたこまち作ってます。

あきたこまちRについて詳しく説明がほしいです

2-1570 【神奈川県、30代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

2-1571 【千葉県、50代】

あきたこまちを放射線育種米にするのは断固反対致します。あきたこまちは大好きで何度も購入しています。本当に美味しいお米だと思います。それを放射線育種米?!絶対身体に悪いですよね!!そんなお米は食べたくありません。放射線育種米になったら絶対に購入いたしません。本当にやめてください!!絶対に反対です!!

2-1572 【広島県、60代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1573 【神奈川県、20代未満】

従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

2-1574 【秋田市、20代】

なぜ、大きく情報公開もせず、しっかりと議論もされずに、このような大切なことをきめてしまうのでしょうか。私たち子育て世代が秋田県にとどまる理由は、極めて少ないと感じます。その上、子どもにとって重要な「食育」の領域までもが、勝手に危険な方向に進んでいくことに、大きな不信感を感じてしまいます。本当に、あきたこまちRは、安全なのですか？子どもたちのミネラル不足の心配はないのですか？人口流出を防ぎたいのなら、しっかりと情報公開をし、子育て世代の意見も聞いた上で、審議も慎重に行なっていたきたい。私たち税金を払っているのだから、やる事はしっかりしてください

2-1575 【大阪府、50代】

あきたこまちを守りましょう

昔から育ててくれた先人達の知恵を守りましょう

余計なことしないで下さい

子供達に安心安全なお米を食べさせてください

宜しくお願いします

2-1576 【東京都、60代】

「あきたこまち」の全面切替に反対します。その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米です。不自然に大量の放射線を浴びせていない「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲が、生物環境にどのような影響をもたらすか、誰にもわかりません。従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。不自然に大量の放射線を浴びせたRは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのは議論のすり替えであり、Rの安全性が100%確認できるまではやるべきではありません。少なくとも表示をきちんとし、消費者が選べるようにしておくべきです。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めるのは大きな問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1577 【奈良県、20代】

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

国はこういうことを推進する時、メリットしか話しませんが、便利や楽の裏には確実にデメリットがあります。

短期的なデメリットだけでなく、長期的なスパンで物事を考えて、日本のお米をぜひ守ってください。

2-1578 【大分県、30代】

風評被害を懸念してとのことですが、

放射線育種米を食べたくないの、

従来「あきたこまち」も残しておいてください。

遺伝子を損傷した食物の安全性は長期的に調べてください。

ワクチンやマスクしかり、

個人の選択を尊重しつつ導入をお願いします。

2-1579 【神奈川県、40代】

大反対です。

マンガン不足により大切な子供達の健康が脅かされる。

自分の子供に積極的に食べさせたいと

思えるようなお米を作ってほしい。

食の安全性は120%確保してほしいのに、

このようなことをする秋田県の食べ物は

これから全て食べたくないなと思えてしまう。

2-1580 【埼玉県、40代】

現行のあきたこまち廃止へ反対します。

そして放射線育苗種あきたこまちRへの全量転換を反対します。

健康にとって長期にわたり安全性を確保できない米の品種を

つくっていくことは、日本の農家さんの自由を奪うことであり

われわれ米を買って食べるものとしてもいままでの安全なお米を

とれなくする秋田県の選択は非常に残念です。

自然なものやオーガニックを大切にすほうにすすむ地球全体の流れと逆行するものです。

また自家採取禁止についても反対です。

そのような禁止をする権利は国にはないと思います

2-1581 【栃木県、30代】

あきたこまちを安心して食べたいので転換に反対します。

従来のもものではなぜ行けないのでしょうか。

2-1582 【東京都、40代】

大変悲しいことです

あきたこまちが大好きでしたが、育種米になると、買うこと、あきたこまち使用の店で食べることはなくなるでしょう

議員の皆さんは育種米のリスクをご存じですか？

大切な家族に食べさせたいですか？

よくお考えになり、いままでの美味しいあきたこまちを守ってください

切にお願いいたします

2-1583 【京都府、50代】

放射能の問題はまだまだ未確認な部分も多く、長期にわたっての安全性はより不確実なため在来方法で採種したものを使っての稲作をお願いしたいと思います。また、農家が自家採種をしているならばその点も今後継続してゆけるようにしてほしいと考えます。これ以上手を加えることでお米のお米としての力を失うようなことを（人体に与える影響が悪影響に触れるなど）は避けていただきたいです。

2-1584 【茨城県、40代】

絶対に反対です。放射線米を作る事で子供達の世代に残せない土地になってしまうと思います
秋田県の綺麗なイメージまでなくなり日本の将来がまだあると希望を持たせて下さい。
お米をどうか守って下さい。

2-1585 【東京都、20代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
 - ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
 - ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
 - ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
 - ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください
米が切り変われば、あきたこまちを食べることはないでしょう

2-1586 【奈良県、40代】

反対します。

単純に気持ち悪いので食べたくないし、

市場に出回ってほしくもないです。
長期的に見て、人体にも環境にも
良くないのは明らかです。
対策の方向性がおかしすぎます。
やめてください。

2-1587 【千葉県、50代】

「あきたこまち」からの全面切替に反対です。
遺伝子を破壊したお米ではなく、従来の「あきたこまち」を食べたいです。
また風評被害があることを懸念してということですが、カドミウム汚染がされていない
地域では本来不要な変更だと考えます。
農家さんによっても考えは異なると思いますので、強制ではなく、任意での切り替えが
できるようにしていただきたいと思います。

2-1588 【神奈川県、70代】

あきたこまちRへの転換に断固反対する。絶対に購入は、しないが、知識のない方の手
に届く事も大変恐ろしさを感じます。先先、どのような健康被害が起こるかも分からない。
利益重視の日本の農業が現在の日本人の健康を損なってきたか、本当に恐ろしさを感じ
ます。

2-1589 【大仙市、40代】

あきたこまちの全面切り替えに反対します！
「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本
を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

2-1590 【三種町、50代】

目的はカドミウムを吸収しにくい米を作る事との事ですが、今までにあきたこまちを食
べてそのような健康被害があったのですか？ 私が知る限りはそのような話を聞いたこと
がありません。それに放射線育種米が健康に全く害が無いと言い切れるんですか？ 在り
もしない事柄を理由に勝手に品種改良するようなことは辞めて下さい。
私は大反対です！

2-1591 【東京都、50代】

絶対反対です。改良しないで下さい。これ以上日本の農業、農家を苦しめないで下さい。

日本人を窮地に立たせないで下さい。

遺伝子操作してしまったら終わります。何かあってからじゃ遅いのです。

あきたこまち R に全量転換しないで下さい。

どうかお願いします、止めて下さい。

2-1592 【東京都、40代】

あきたこまち R には絶対にしないで下さい。

2-1593 【東京都、60代】

こんにちは。長年スーパーであきたこまちを買い続けております東京都在住の者です。

あきたこまちは安全安心でおいしいお米と信頼し続け、家族で10年以上いただいております。

このたび、令和7年から全量放射育種になると聞き、ご意見させていただきたくメールさせていただきました。

放射線育種米を食べたくありません。食べたいという人は周りに一人もいません。

それよりも、その流れに逆らって、「あきたこまちは従来種で作ります。そのぶん手間がかかりますので値上げします！」とアピールすれば、たとえ2倍になろうとも買いますし売れると思います。

とにかく放射能には嫌悪がありますから、知ったとたん拒否いたします。虫がついていたほうがずっと安全と判断します。

どうか全量変換はお考え直してください。せめて放射能育種米と

従来種米の二種を用意し、消費者に判断をさせていただきませんか。

2倍だったとしても多くの日本人は従来種米を買うと思います。まずは実験してみてください。

そして従来種米を作る農家様には納得行く価格設定をしていただき、皆様に十分潤っていただきたいです。

全量を放射能育種に変えるのは消費者の選択の自由を奪います。お考え直しをお願いいたします。

2-1594 【山口県、30代】

ご担当者様

あきたこまち R に関して、以下のとおり意見を提示いたします。

①「こしひかり」との差について

出穂時期や収量、味だけで「あきたこまち」と「あきたこまち R」と形質や品質に差がないと決めつけるのは如何なものかと思えます。

放射線育苗なのですから、「人体への健康被害の有無」など人間や昆虫、動植物を含む環境への影響の有無を比較する必要があるのではないのでしょうか。

②銘柄の表記変更について

カドミウム吸収性が低い特性があるのならば、「あきたこまち」とは別のモノですから、銘柄の表記は「あきたこまち R」とすべきと考えます。

以上、よろしくお願い申し上げます。

2-1595 【山口県、60代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

《理由》

- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1596 【三重県、30代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・ 「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があります、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1597 【大仙市、60代】

恥ずかしながら、「あきたこまち R」という新品種の存在を昨日(8/16)知ったばかりです。私の勉強不足なのか、はたまた行政やマスコミの周知不足なのか... 私は後者だと思います。

そもそも、そのような新品種に全量転換しなければいけない程、秋田県の土壌は汚染さ

れているのでしょうか？しかも再来年から全量転換など性急過ぎます。

「あきたこまちR」のメリット・デメリットを県民に周知し、十分な時間をかけて審議を尽くされるよう強く要望いたします。

放射線育種米だという事で、あきたこまちが信用を無くし売れなくなったら、農業県秋田はいったいどうなる事でしょう。行政の暴走を止めるべく、何卒よろしくお願い致します。

2-1598 【茨城県、50代】

あきたこまちに放射線をあてて品種改良をする、ということをどれだけの県民国民が知っているのでしょうか。縄文時代から続いた私たちの大切な主食の品質を不安の多い放射線に変える、という重要なことをきちんと周知してから行うべきです。拙速過ぎます。

2-1599 【東京都、50代】

県議会への意見

放射線米あきたこまちRを、あきたこまちとして販売する事はおやめ頂きたい。

消費者に選択肢を残すべきです。

放射線米を、未来ある子供達に食べさせたくありません。

放射線米は買いたくないのです。

現状通り、区別して販売して下さい。

2-1600 【千葉県、50代】

「あきたこまち」は秋田の代表する農産物です。

そんな大切なお米を安全性が担保されていない「あきたこまちR」に変更しないでください。

不安点①・放射線育種米だけしかなくなって、それを毎日食べ続けるということを、10年後、20年後、続けたらどんな影響が起きるか、誰も予想できない。

不安点②・EUでは種苗に放射線をかけることは有機としては認められてない。

不安点③・こんなに重大な決定を農家も消費者もまったく関わることなく、農水省一秋田県の独断で行われた。

上記の点から、今後不安な気持ちで購入したくはありません。

美味しいお米を安心して購入出来る事を切に願います。

2-1601 【京都府、60代】

あきたこまちR断固、

反対致します。

人為的に作り出す

新しい品種にも程度が

あるのではないのでしょうか？

新しいものを作り出す行為が

自然の摂理を越えてしまうと、

それを食べる人への影響を

もつともつと検証し

慎重を期するべきではと

思います。

次の世代、末代まで繋がる米文化が失われてしまうのではないかと懸念しています。

2-1602 【高知県、40代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

もっと幅広く議論して、方向性をしっかり検討していただきたいと思います。

よろしくお願いします。

2-1603 【東京都、60代】

五代以上前から秋田に住む先祖を持ち、秋田に思いを寄せるもののひとりとして意見を申し上げたいと思います。

この度の令和7年度からのあきたこまちRへの全面切り替えは、これから五代先の子どものたちのことを真剣に考えるほどその危険性が憂えてなりません。放射線の影響は長時間、世代を超えて現れるのは明らかです。カドミウムの影響は放射線照射以外の方法で対処可能であると考えます。

安全な食の確保は国づくりの基本です。自然豊かで真面目

温かな秋田人こそが今こそ、本来の安全安心な米、食糧生産に立ちかえるべきと思います。

人口減少の問題もありますが、安全な食、地域の健康づくり、地産地消や他地域との連携、有機野菜や米の学校給食提供をしている自治体には若い移住者も増えていると聞きます。大阪泉大津市、長野県松川町などはその一部です。

秋田県は学校教育のレベルの高さでも話題を集めていますが、県の魅力に、是非安心安全な食と学校給食、地域づくりを上手活用して子どもも大人も老人も笑顔で豊かな県になってほしいと願っています。

あきたこまちR導入は、今後秋田県がどういう未来を目指すのかを全国の若い人たちから試されていると考えて是非勇気をもって取り止めていただきたいと切に願います。

2-1604 【宮城県、60代】

いったい、日本人の健康をどう思っているんですか？

遺伝子組み換えやゲノム編集、放射線照射など、何か手を加える事で、ある目的は達成できるかもしれないが、その他の予想できないマイナスな結果を招く事は想像に難くありません。

既に、遺伝子組み換え食品を日本に先駆けて流通させたアメリカでは、成人病の急激な増加やアレルギーの増加により方向転換し、今や脱遺伝子組み換え、N-GMOが市場のメインでオーガニック食品を多くの方が志向しています。

日本だけ、世界の流れと逆流し、より不自然により加工し、より添加物や農薬を増やす傾向にあるのは承知できません。

このような「あきたこまちR」に転換しようとする人たちは、私たちの何代先の子孫について考えも及ばないのでしょうが、私たちは食べ物でできていますから、私たちの身体と健康を壊すのは食べ物です。特に主食の米が重要です。伝統的な素晴らしいあきたこまちを守ってください。

日本を滅ぼすのはやめてほしいです。

2-1605 【潟上市、40代】

「県議会への意見」

放射線育苗への移行に強く反対します。

しっかりと時間を掛けて議論して下さい。

本当に安全か？

米の成分のマンガン等が不足し、

かえって広く影響が出るのではないか？

全ての農家が種を買わないといけない！

秋田県がしっかりと議論しているとは思えません。

広く情報開示し、危険性を認識して下さい！

目先に左右されず、

あの時の秋田県は、素晴らしかった

と言われる様な判断をして下さい！

秋田を誇れるように！

日本の見本となれるように！

国など…色々なしがらみに流されないで！

秋田県が素晴らしいと思えるように！
県議会の皆様、宜しくお願いします。

2-1606 【美郷町、40代】

知人の SNS でこの問題を知り、いてもたってもいられず、意見をお送りする次第です。

普段選挙には行きますが、政治や行政に声を届けるなんて思いもしませんでした。それは小さな声を上げたところで何も変わらないと思っていたからです。でも今回、この件についてたくさんの意見が寄せられているはずです。私と同じように、小さな声でも届けずにはられない、普通の生活を送る普通の人々の声をどうか無視しないでください。

私はあきたこまち R の全量転換に反対です。何よりこれほど大きな問題を県民、生産者、消費者の知らないところで決定されていたことに、恐怖を感じています。

一消費者として、あきたこまち R を買いたい、食べたいと思いません。子どもたちにはなおさら食べさせたくありません。毎日食べ続けるお米に不安を持ちたくありません。

あきたこまちに愛着のある私ですらそう思うなら、県外、外国の消費者ならなおさらでしょう。このままでは先人が築いた秋田を代表する産業、米であるあきたこまちの灯が消えてしまいます。

今まで食べていたあきたこまちを食べ続けさせてください。子どもにも、次の世代にも。どうか数多く届いている生産者、消費者の声を無視しないでください。

あきたこまち R の全量転換に反対します。

2-1607 【大阪府、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

国民の安全第一です。

国民に説明して、了承を得てください。

2-1608 【福岡県、60代】

日本の農業を、安心、安全な作物をつくる体制に保つ為。
全量転換に反対します。

2-1609 【東京都、30代】

「あきたこまち」から「あきたこまち R」への全面切替に反対します。

東京に住む私たちも大好きな「あきたこまち」をぜひ守ってください。

- ・ 消費者・生産者にもほとんど情報がない状況のなかなぜ全量転換を決めてしまったの

でしょうか？転換するにしても期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・また遺伝子を壊して作られている食べ物を自分の子どもに食べさせたいとは全く思いません。将来的なリスクほどの程度議会で検討されているのでしょうか？

・従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは買いたくないし、食べたいと思いません。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。本質的な解決のためのロードマップを県議会で議論していただきたいです。

2-1610 【不明、30代】

秋田の米が大好きですが、2025年にはあきたこまちが全量放射線育種米になってしまうと知り本当に残念ですし、この決定に驚いています。なぜ全量にする必要があるのでしょうか？農家の方々と十分な話し合いがなされているのでしょうか？米でなく肥料や土をなんとかするという考え方はできなかったのでしょうか？消費者の意見をお伝えすると不自然に作られた放射線育種米は食べたくありません。あきたこまちを全量放射線育種米にするのであっても放射線育種米であることがわかるように表示をしていただきたいです。消費者には知る権利と選ぶ権利があります。

2-1611 【東京都、30代】

日本の自然の米を守りぬてください。

どうして自然からはみ出ることをするのですか？

「あきたこまちR」断固反対です。

2-1612 【三重県、40代】

あきたこまちを遺伝子を壊さずこのまま残してください。

食の安全が失われてしまう日本に、残された子どもたちの未来に絶望しかない日本ではなく、これからをもっと自然豊かな日本へと守るためにもぜひ、お願い致します。

2-1613 【横手市、50代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

- ・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1614 【北海道、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

よろしく願いいたします。

2-1615 【男鹿市、40代】

秋田県男鹿半島にて農家民宿と飲食店を営んでいる〇〇〇〇〇〇 〇〇〇の〇〇と申します。

当店でも宿泊の食事やランチには地元男鹿産のあきたこまちを使用しております。現段階において、当店で使用しているあきたこまちはお客さまの評判も高く、新しい品種や他県のお米に比べて総合的に高い評価を得ております。

あきたこまちRについては資料等を読ませていただきましたが、一方で様々なご意見が交わされておられるかと思えます。既にSNS等でも様々な心配や声が上がってきているのを目にします。

今後懸念されるのは、仮にあきたこまちRがどのような品種であっても、きちんとした調査や研究結果、報告がわからなければ、消費者や生産者の皆様にとって誤解をひきずったままの普及により これからのあきたこまちへのブランドや評価そのものまでが落ち込んでしまうのではないかと心配です。

そういった事も視野に入れて判断していかなければ、本件そのものが風評被害の様に広まり、更なる米離れ等、取り返しのつかない事になりかねないと思われます。

農作物や食べ物はその味もさることながら、第一印象やイメージもその後の評価にずっと影響を与え続けます。お米が商品や政策上の礎となる以上、その信頼が揺るぐ事は生産者や各事業においても、また政策においてもマイナスに働きかねません。決めるのは消費

者やお客様、そしてほぼ毎日の様に食する私達なのですから、ただ美味しいだけのお米でもいけません。

また、本件は米や稲そのものだけを評価基準とするだけではなく、秋田県内全域の土地や環境（土壌）に対するイメージ、そして次世代を担う若者の就学就労や子育て世代の移住、国外や県外からの観光やグリーンツーリズム等への全体的な評価も懸念されます。今後地方へのインバウンド需要も多く見込まれる中、日本のロケーションや食に関する海外からの評価、東北の自然や食文化は宝に値します。

私もお店を営んでおりますが、お客様に安心して食べていただき、これまでの様にあきたこまちが美味しいねっていただく事が仕事の自信とモチベーションに繋がります。

農業に限らず何においてもそうですが、主観的に発信するだけではなく、需要があり、人に求められるあり方で広く将来を見据えた判断をしていただきたく存じます。そして農業は長い歴史の中で国の礎でもあるでしょうから、どうか秋田県におかれましても今一度原点に立ち返り 農業の未来と誇りをお守り下さいませ。

2-1616 【東京都、30代】

稲へ放射線を当て品種改悪を行うことに反対です。

そのお米を食べることで放射線被ばくのような影響が起きないと断言できないにも関わらず、この品種改悪が是とされることが理解できません。

カドミウムが問題とのことですが、食べ物の根本である土壌や肥料、農薬を改善することが最も重要なことではないでしょうか。

人の体は食によって構成されており、食は大地から出来るものです。

人が大地を汚したために起きている問題なのであれば、この問題を解決することこそが我々がすべきことではないでしょうか。

お金がないためできないという言い訳で体に悪影響のあるかもしれないものを生産してしまえば、向かう先は絶滅です。

2-1617 【北海道、40代】

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

また、「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さな

いための国や県のロードマップを県議会でするも質してください。

今後の日本の未来のため、世界の未来のために本来のお米を守っていくべきだと思います。

2-1618 【長野県、70代】

大反対です、壊して良い遺伝子などありません。

不自然な作物は病を発生させます。

人々の病の原因になっているのは、現代に溢れかえっている不自然な食べ物や過剰な医療です。

命を育てる者がそんなこともわからないとは何と悲しいことでしょう。

どこまでも堕ちているのですね。

そこをそのままにして汚染ありきで次々と不自然に手を加えた食材で上塗りしていく。

そうしたまやかし・誤魔化しの愚行は、断じて許しません。

地域でソーラーパネルなどの根本的な汚染原因に真剣に立ち向かうのが正道ではないですか。

利権でそういう事をしようとしているのですか。

何という罪深さでしょうか。

そのようなものには反対を突きつけて。

そして、自然な食材を作って社会に流す農家や企業がもっと多くなるように尽力してください。

2-1619 【茨城県、40代】

放射線育種米に反対します。

どのような影響が食べることによって起こるのか？不確かなこと、ゲノム編集に近いことを行ったお米を子どもたちが口にするのは悪影響でしかありません。

これからも安心安全なお米を食べることができるよう、放射線を与えたお米を作らないでください。

よろしく願いいたします。

2-1620 【広島県、50代】

いったいどうしちゃったのですか？日本人にとって大切な米に何をしようとしているのか？理解に苦しみますね。

カドミウム汚染地域は全体の3%未満とのこと。その3%未満の為に他の97%を巻き込むのですか？まるで共産主義のようなやり方ですね。米をどうにかするんじゃなくて、カドミウムをどうにかする方法はないのでしょうか？

日本の米をなんだと思っているのでしょうか。秋田県だけの問題ではありませんが、米どころ！と豪語するならば秋田県から正していくべきではないですか？国が決めたからと何も考えず、ただただ従うのですか！？いい加減目を覚ましてはどうでしょうか。国の最大の決定権は「国民」にあります。民意をないがしろにしては罰が当たりますよ。その前に、日本の命ともいえる米にそんなことをしたら罰が当たると思いませんか！？秋田県、しっかりしてください！！

2-1621 【長崎県、50代】

安心安全を最優先にさせていただきたいです。遺伝子操作をしたお米なんて食べたいと思いません。本来の秋田の米、日本の米を守ることに努めてさせていただきたいです。

2-1622 【山口県、30代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

《理由》

- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でもしてください。

2-1623 【大阪府、40代】

あきたこまちRへの全量転換 全面的に反対いたします。

放射線を浴びたお米は純粋に食べたくありません。

子どもたちにも食べさせたくないです。

今まで愛され受け継がれてきた日本の食文化、お米、農家さん

自然を大切にしていかなければなりません。

すべてにおいて安全だとはとても思えないです。

日本人から純粋なお米を取り上げないでください。

未来の子供のために…どうかよろしくお願い致します。

2-1624 【京都府、30代】

前略

本件で最も重要なことは、「あきたこまちR」固有の要素である遺伝子の改変や、放射線

育成種（の後代交配種）であることを主要な論点に据えない事です。

これはあくまで TPP・日米 FTA に端を発する経済の自由化の問題であり、つまるところ国民の共有財産であった種子を企業等の、さらに言えば外資を含む資本家の財産として譲り渡すことになる、という点に問題の本質があります。

ゆえに「あきたこまち R」が（特に安全性の面で）一切の懸念なく、あらゆる面で既存の種より優れたものであったとしても、国民一人ひとりに紐付けられた（主食という極めて重要な役割をもつ）財産を大きく毀損するという一点において、断じて転換を許容してはならないのです。

それは米国等における、所謂モンサント法の整備と事後の訴訟問題の例を見れば、火を見るより明らかでしょう。

県境付近における他県育成の在来種との交雑や種子の混入、知財侵害訴訟等のリスクを考慮した場合に想定される影響は県内や隣県のみならず、短期間のうちに日本列島すべての農家自治体に及ぶであろうことは想像に難くありません。

他県在住で、秋田県に縁もゆかりもない私にとっても、もはや対岸の火事では済まされない事態なのです。

今後、国は国家間の条約を正しく履行するための国内整備として、今回のような圧力を継続的に、そして一切手を緩めることなく掛け続けてくる事でしょう。

日本政府が私たち国民の下から去ったいま、“わたしたち”を守れるのは私たちだけです。

たとえ「国＝わたしたち」が崩れ去ろうとも、「わたしたち＝地方”自治”体」が防波堤となり、その流れを断固として許容しなければ、先人たちが命を賭けて繋いできた財産と、最低限の未来は守ることが出来るのです。

秋田県の皆さんの奮闘を期待します。

2-1625 【神奈川県、60代】

放射線米あきたこまちは

米にかかわる麴、酒、その他食品にも影響が有り、

秋田だけではなく輸出など全国、世界に多大なる影響が考えられます

放射線米は絶対に作らないで欲しい。

2-1626 【神奈川県、60代】

放射線を被曝したお米など、公認すべきではない。

人体にいかに悪影響があるか、明白である。

これが、原材料となる、加工品にも多く混入され、避けようとしても避けられない事態になることは必至、

市場授業の何らかの意図があるのであろうが、将来、自分たちの体、または、子供、孫、環境汚染に返ってきて、どうしようもなくなってからでは遅い。

すぐに、撤廃、禁止してください。

2-1627 【三重県、40代】

あきたこまち大好きです!!!

2-1628 【香川県、50代】

初めまして。

あきたこまちRへの全量転換についてですが、食の安全が叫ばれながら、長期的な影響がまだはっきりとわからない遺伝子組み換え食品や諸外国では禁止されている農薬などが日本では逆に緩和されている現状があります。

農業従事者の負担が、農薬等近代化によって大幅に軽減され持続出来るようになった現実ではありますが、私たちの健康という根本的なものが効率や合理化という名の下に蔑ろにされている側面も否定できないと感じることがあります。

あきたこまちRへの全量転換については、そういうことを踏まえて、慎重に審議されるべき案件かと思えます。

2-1629 【愛知県、60代】

絶対にやってはいけない事です!!!

子どもたちの未来のため、今直ぐやめてください。

そうでなくても、この日本は添加物まみれ、水道水には塩素、それが原因で、2人に1人が「癌」に罹る。先進国でありながら、こんな国はあり得ません。

トランス脂肪酸も当たり前の様に使われ、農薬、除草剤の使用基準も緩んでしまいこの先安心して安全な食べ物は無くなってしまおうのでは?と懸念されます。

いま一度、原点に戻って、放射能を浴びた米を作るのはやめてください。

子どもたちの未来を守ってください。

2-1630 【神奈川県、40代】

・「あきたこまちR」への全量転換へ反対します。「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなったお米を子どもたちへ食べさせることは不安です。長期的にどのような影響があるか未知のものです。昔からある自然のものを子どもたちへは食べ

させたい。

・ 「あきたこまちR」への全量転換に反対します。消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題です。本当に国民がそれを望んでいるのか、議論する場を設けるべきです。

2-1631 【三重県、50代】

お米を守りたいです

2-1632 【千葉県、50代】

テーマ2 「あきたこまちR」への全量転換

いつもあきたこまちにはたいへんお世話になっております。

この度、放射線育種米に全量転換と知ってびっくりしました。

いつも安心して美味しく食べているあきたこまちが放射線育種米となってしまうなんて。

安全ということですが、後から安全でなかったとわかった時にどう責任がとれるのか。

稲の改良より、土地や肥料のカドミウム除去と改良をすべきかと。

安全なお米、安全な食品を常に提供している秋田県。秋田県産は安全なお米と食を常に生産流通させているということのほうが秋田県や秋田県の物産に対しての信頼とイメージアップが大きいように思います。あきたこまちRに転換してしまったら、私としては後ろ髪引かれる思いで、あきたこまちの購入と食するのはやめにせざるを得なくなります。

どうかご検討して頂いて、従来通りのあきたこまちのままであり続けられますようによりしくお願いいたします。

2-1633 【宮城県、50代】

あきたこまちRへの全量転換をやめ、今まで通りにしてください

2-1634 【千葉県、40代】

放射線育米への、全量転換などありえません。

断固反対します。日本を食糧難へ導く政府の方針に乗ってはいけません。どうか、再検討をお願い致します。

2-1635 【兵庫県、50代】

放射を照射したお米はいりません！
絶対食べません！
あなた方はお子さんやお孫さんに
訳のわからないお米を食べさせるつもりですか？
あとの責任は誰がとりますか？
昔の食べ物は栄養がありました。
是非調べてみてください。
それからでも遅くはないはずです。
よろしく願いいたします。

2-1636 【兵庫県、50代】

放射線による遺伝子組換えした製品を食べたいとは思いません。
最低限、消費者にその旨公開し、選択肢をもうけるべきです。

2-1637 【徳島県、40代】

秋田県民ではありませんが意見を言わせてください。どうか放射線育苗米にするのはやめてください。日本の米所秋田県の名に恥じぬよう今まで通りの種を使って米を作ってください。私も地元で米作りの一端を担っています。秋田県が導入を許せば必ず全国に広まるでしょう。どうか踏みとどまり従来の苗を育ててください。これからの日本を左右する分岐点です。子や孫に正しい食べ物を食べさせませんか。今農家は自分たちでどうにかできるレベルにありません。県や国の力添えが必要です。いったいどんなものなのか訳も分からないようなものは誰も口にはしたくないと思います。食べることは生きること。どうかよろしく願いいたします。

2-1638 【広島県、50代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。
従来の「あきたこまち」を食べたいです。
Rは食べたくありません。

2-1639 【大阪府、60代】

大阪府民ですが、消費者としてコメントさせていただきます。「あきたこまち」は大好きな品種です。しかし、放射線を浴びせ遺伝子を破壊したコメなど、気持ち悪いです。消費者として秋田県産のお米は、今後もう買えません。やめてください！

2-1640 【秋田市、50代】

反対です。

なぜ一律なんですか？

農家によって選択できないのでしょうか？

少なくとも私は「安全」の根拠がないので、Rであれば、せつかくの秋田産あきたこまちを買わなくなります。

Rのことはすでに意識の高い全国の方から問題視されています。

これでは、いままで県外の友人知人に勧めてきたのに、勧めることができなくなります。

意識の高い富裕層はじめ、海外への、輸出拡大の可能性もなくなってしまいます。

お米だけではなく、Rを使った原材料ということで買わない人も出てきます。

秋田の農家の未来にかかわる重大な問題です。

私は県外からの移住者を増やすための活動をしていますが、

今状態でRを全量転換されては、秋田の印象が悪くなるばかりです。

お米を買い上げて、販売にも協力しようと思っていましたが、

それもできなくなりますし、大好きな秋田産あきたこまちを買えなくなるは本当に困ります。

ぜひ、撤回いただくようお願いします。

2-1641 【東京都、30代】

お米は私達日本人には欠かせません。

私達、そしてこれからの子供達のためにも、

安全な「あきたこまち」を守って下さい。

2-1642 【群馬県、40代】

放射線育種米に全量転換に断固反対します。

無くしてしまったら取り返すことはまず無理でしょう。

米は日本の宝です。

農業は日本からはろくな支援を受けられず

農家潰しとも言えることばかりです。

困難を極めています、どうか秋田の誇りとして守って下さい。

どうかお願い致します。

2-1643 【福島県、30代】

私は福島県に住んでいます。「あきたこまちR」と「あきたこまち」は明確に分けて出荷して欲しい。福島県産の農産物は原発事故によって外国への出荷制限が何年も続きました。輸出される場合の諸外国の反応は大丈夫でしょうか？放射線を当てたものと当てていないものを一緒にしてしまうことで、「あきたこまち」という美味しいお米のブランドイメージを汚してしまうことになりませんか？そして、私たち消費者には選ぶ権利もあります。

「あきたこまち」と「あきたこまちR」の違いを説明し、消費者がどちらを選ぶのか、その結果を分析して欲しい。そうやって品種改良を重ね、研究していくことで日本の農産物を日本だけでなく世界基準で拮げて行って欲しい。

2-1644 【埼玉県、50代】

あんなに美味しいあきたこまちがある、売れているのに、
ゲノム編集された種を毎年高い値段で買わなければ農家は作れない？！

よくもそんな話を進めますね。

お金ですか？！

日本を潰す始まりが秋田ですか？！

一生恨みます。

撤回してください！！

2-1645 【秋田市、70代】

鉱山の多い秋田県は昔から重金属汚染では苦労が多かったと思います。対策とすれば廃坑からの流れ込みの防止、汚染田畑の除染、客土などでしょうか。そして結果的に数値の高いお米の全量買い取りということで先人は大変苦労したのだと思います。戦前から殖産興業、富国強兵政策での色々な矛盾は、弱いほうへ弱いほうへ、農民へしわ寄せされてきた、これはチッソ水俣病などと同じです。これは、加害企業があり人災です。この場合被害者への救済はこれまで行われてきたように国、地方自治体が行うことは仕方のないことだと思います。ここは基本出ないでしょうか。

ところが、ここから現代はいろいろな科学的操作、技術によって作物がつくりかえられはじめました。遺伝子が壊されたコシヒカリ環1号と掛け合わせたこまちアール、それはあきたこまちではないです。秋田県全部があきたこまちではない米を作り始めるそれは県全体が大事なブランド米を捨て去ることでもあまりにも乱暴で短絡的な考えです。

マンガンも吸収しにくいからマンガンを足す？吸収しにくいのに、さらに足す。それでは自然のバランスがおかしくなります。マンガンを売るほうは儲かっていいのでしょうか。マンガンだれが作り、だれが運び、だれがいつまくのですか？雑草にもマンガンがか

かるのでは。余計な作業を皆さん強いられるのでは。それでおいしいのですかね。虫には弱くないですか。高温が続けばどうなりますか。石川県ではじめられたコシヒカリ環1号は、収量が落ちて今では誰も作っていないというではありませんか。良かれと思つての計画されたのですが、余計なことをしてして元も子もなくす。秋田が誇る石川理野之助や森川源三郎の先達たちはこんな短絡的な農業を是とするとは思われません。

釜の蓋を開け炊きあがったご飯の湯気に幸福を感じる時に、アールとかいう偽物のお米では全く幸せではありません。ここは立ち止まってみませんか。

強力な放射線を当てて突然変異を起こさせ、カドニウムを吸収しにくくした「コシヒカリ環1号」と「あきたこまち」を7回交配させて作られた「あきたこまちr」は、「コシヒカリ環I号」のOsNr a m o 5という遺伝子？を引き継いで、カドニウムを吸収しにくくと同時に、マンガンをも吸収しにくく「ごま葉枯病」になりやすいと聞きます。植物としてマンガン吸収しにくいというのでは、光合成をするうえで決定的な欠陥ではないのでしょうか。育成中もヒ素との兼ね合いで複雑な作業があり、またマンガン不足を補うためにマンガンを施す必要があるとか。カドニウム吸収のおそれのない大多数の非汚染田んぼでは特にメリットのない「あきたこまちr」。それにマンガンを入れなければならないという作業が加わるわけです。そしてマンガンの後から補足してはたして間に合うものなのでしょうか。その水田は一般的にはマンガン過多になるのでは。その場合の水生動植物に対する影響は？微生物たちへの影響は？

全県ではどれだけのマンガンが必要とされるのか。溶融性マンガンの河川等への流出は、水質汚濁防止法では公共用水域では $200\mu\text{g}/\text{l}$ ですが、水道法では $0.05\text{mg}/\text{l}$ 以下です。マンガンは水道水の着色障害だけでなく、不味い水の原因にもなります。水道施設ではマンガン除去の行程があるのでしょうか。マンガン過剰では、作物には綿の縮れ葉、ジャガイモの壊死、リンゴの木の内樹皮の壊死。ヒトにおいての過剰摂取では神経毒性等、肝硬変、パーキンソン病の原因になるそうです。

秋田市の上水道水からカメムシ防除に使われている、ネオニコチノイド系成分の「ジノテフラン」が1リットル当たり868ナノグラム、EU基準の8.7倍が検出されたという報道は6月下旬のことでした。あらゆる流入物の混じった河川の終末で採取される秋田市水道水、その安全性はどなたが責任を取られるのでしょうか。最終的には数値での整合性で語られるのでしょうかできるだけ政策的にリスクを避ける方途を採ることが政治の選択というものではないのでしょうか。

2-1646 【徳島県、50代】

私は、県外ですが、まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本

を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1647 【大仙市、40代】

健康被害の可能性がある以上、あきたこまちRの全量転換に慎重になっていただきたくメールしました。このままでは、こどもには食べさせたくはないので、こまち以外のお米を食べざるをえません。給食も拒否せざるをえません。そんな事はしたくないです。

不自然にも遺伝子が壊された、いわば奇形の種をなぜわざわざ食べようなどと考えますでしょうか。

もっともっと県民を信じて、公平な判断ができるように情報を公開してください。よろしく願いいたします。

2-1648 【岐阜県、40代】

放射線育苗種への転換に反対です。

あきたこまちRの安全性が不明確ですので、

一般消費者として、あきたこまちRは購入しません。

昔ながらの安心なお米の生産を続けることを希望します。

また、自家採種が禁止になるとのことで、

農家さんへの負担が高くなることが想像できます。

大切な農家さんを苦しめるような転換はしないでほしいです。

2-1649 【三重県、60代】

あきたこまちを守る為

2-1650 【広島県、60代】

お米に手を加えてはいけない！

開発、改良では無い！

改悪でしか無い。

少なくとも最低限表示義務を守る事と、市民が選択出来る自由を守ること。

それが出来ない、約束出来ないならやめて下さい。

食の安全を安易な考えで決めないでください。

2-1651 【京都府、40代】

放射線育種米を食べ続けることで体内に放射性物質が蓄積される可能性がある事が否定出来ない以上、放射線育種米に全量転換する意義が理解できません。悪しき手本を作らないで下さい。

2-1652 【山梨県、30代】

「あきたこまち」から全面切替に断固反対します。

「あきらこまちR」などの放射線育種米は食べ続けた場合の長期の安全性が分かっておらず、食べたくありません。特に食べ物は遺伝子を意図的に破壊したのではなく、自然のものを育てていくべきだと思っています。それに消費者に殆ど知らせず、殆どの国民が何も知らないまま全量転換を決めるのは非常に危険かつ、卑怯だと思います。遺伝子を破壊したものと少しの異常気象で全滅するかも分かりません。そうすれば食料の危機に直結する問題であり、品種の多様なコメ作りこそが稲作を守ると考えています。また、マンガンを吸収しにくくなることで逆に土壤汚染がすすむという考えも聞いています。

私は今までの普通のお米が食べたいです。消費者から選択を奪う全量転換を直ちにやめてください。

2-1653 【神奈川県、40代】

私は神奈川県在住の者です。

あきたこまちが大好きで毎日美味しくいただいております。

今回、従来のおあきたこまちとは異なる「あきたこまちR」が秋田県で全量転換する方針である事を知り衝撃を受けました。

「あきたこまちR」の全量転換に反対します。

以下に理由を述べます。

1、安全性について

「あきたこまちR」は本当に安全性の高いお米なのでしょうか？

新しい技術で作られているのでそもそもデータが無く、答えられないはずですが。

だからこそ時間をかけて十分に議論されるべきです。

今後納得の行く説明がされないのであれば、秋田県産のお米の購入を躊躇うようになり

ます。

「あきたこまち」の購入をやめるかもしれません。

これこそが風評被害であり、秋田県の生産者を苦しめる事にもつながります。

2、「知る権利」の侵害

私は「あきたこまちR」の全量転換について、SNSで偶然知りました。

新聞やテレビのニュースなどで全く周知されていないのは何故でしょうか？

このままではほとんどの国民が何も知らないまま「あきたこまちR」を「従来のあきたこまち」であると思って購入し、食べ続ける事になります。

新しい「あきたこまちR」がどういうお米なのか広く国民に周知するべきです。

また、予防原則の考えに基づき「あきたこまちR」を避けようと思っても、商品に「あきたこまちR」である事の表示がされていなければ避ける事ができません。

表示義務がなく消費者の知る権利が奪われている事、生産者ですら従来のあきたこまちと区別がつかなくなってしまう事など非常に大きな問題です。

従来の品種を守るためにもはっきり区別されるべきです。

3、カドミウム汚染について

「あきたこまちR」は人体に有害なカドミウムを吸収しないというメリットがあるとの事ですが、お米のカドミウム汚染を防いだところで問題の根本的解決にはなりません。

カドミウム汚染の原因は、国策として進められた鉱山事業です。本来であれば国が責任を取るべきであり、被害者である地域の農家にカドミウム対策を押し付けるのは筋違いです。

実態調査の継続、被害者への保障政策、地域のカドミウム除去を優先とした具体的な対策を求めます。

以上です。

あきたこまちは全国から人気があり信頼されているお米のブランドです。

日本人の主食であり伝統文化であるお米が信頼性の低いものになってしまうよう、今一度立ち止まり再検討して頂くようお願いいたします。

2-1654 【埼玉県、20代】

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

放射線によって遺伝子が組み換えられたようなお米が今後人体や環境にもたらす影響は考えられていますか？

2-1655 【大仙市、20代】

あきたこまち R への全量転換に反対します。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31 都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

そして、消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1656 【東京都、50代】

あきたこまちをまもりたい

日本の宝であるお米を守りたいです。

2-1657 【栃木県、50代】

あきたこまちから、全面切り替えに反対します。

その理由としては、カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決出来ないと思います。

カドミウムを未来に残さない為にも国や県のロードマップを県議会でも質問するべきではないでしょうか。

あきたこまちは、好きです。

あきたこまち R は、食べたくはありません。

2-1658 【東京都、30代】

転換せず、従来 of 品種でお願いします。

2-1659 【兵庫県、40代】

今回の放射線育種米は、カドミウム汚染対策として従来と異なる重イオンビームという放射線を遺伝子にぶつけ吸収を抑制するものと聞きました。私は、この方法は遺伝子操作と同じだと考えています。日本で抱えるカドミウム汚染の問題は、環境保全、環境改善を進めることで解決すべきです。食の操作で対策することに反対です。また、重イオンビームが照射された種は、ヨーロッパでは有機認証を受けられないようです。世界ではオーガニック市場が拡大してます。日本を代表するあきたこまちが、世界の人たちから受け入れられない食べものになる事が悲しいです。

2-1660 【広島県、30代】

このままでは秋田県のお米のほとんどが放射線育種米になってしまいます。そして、これらには遺伝子特許が取られており、自家採種もすべて禁止されます。

米所の秋田県がこれをとおしてしまうと、日本全国に広がり安心安全なお米を日本人は二度と食べることはできなくなってしまいます。わざわざ、そのような国民を危険に晒す様な方向転換を県をあげて、国をあげて、する必要が本当にあるのでしょうか？そこまで危険でしか、対処することはできないのでしょうか？食料自給率も低い、農薬や添加物の使用許可されている数も世界的にみて多い我が国日本でなぜこれ以上の危険を受け入れないといけないのですか。もっと真剣に、自分と自分の家族、孫やひまがの代にまで胸を張れる様な行動を今団結しおこなっていきたいです。

絶対にこの様な危険なものを通す事は反対です。

2-1661 【島根県、70代】

消費者にも生産者にも、ほとんど情報が無い中で、全量転換を決めてしまった事は大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです！従来の「あきたこまち」を食べたいです！Rは食べたくありません！

2-1662 【大仙市、30代】

米農家です。

あきたこまちを作っていますが、今回の件で家族で揉めています。

消費者も生産者も選択肢があるように表示義務をしっかりとってください

秋田県民なのに全国であきたこまちを食べたくないという声は聞きたくないです。

2-1663 【東京都、40代】

長年、化学肥料、農薬を未使用の玄米を直接農家さんから買わせていただいております。おかげさまで子供含め家族皆が健康でいられるのも秋田の農家のお陰です。

本当に感謝しております。

しかし、全量転換は納得できませんし、強制性を感じます。

もはや共産主義や社会主義のような全体主義的なやり方です。

消費者の健康を無視して、全量変換する事で行われる人体実験に強く反対いたします。

二宮尊徳の五常講を学び直してください。

先人、先祖に恥ずかしくない生き方をお願いします。

全量変換は恥ずかしい事です。理解できるまで勉強頂くようお願いします。

そして慣行農業を有機農業へ変換する努力をお願いします。

モンサントの農薬は日本以外では禁止されています。

閾値を超えていないから合法ではなく、毒そのものを盛らないでいただきたい。

以上。

2-1664 【東京都、20代未満】

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。なぜわざわざこのような取り組みをするのでしょうか？

米の生産を独占するような動きはあってはならないと思います。

2-1665 【東京都、30代】

本当にそのような転換を考えておられるのでしょうか。

安全性が検証されていないともあるようですし、

せめて切り替えでなく選択制とかでだてはないのでしょうか。

となるとあきたこまちは我が家で今後食べることがなくなってしまいます。

何卒ご検討をお願いいたします。

2-1666 【青森県、40代】

放射線育種米について

カドミウム汚染地域の対策として、カドミウムを吸収しにくいお米を開発したようですが、

カドミウム汚染そのものの対策をするのが先ではないのでしょうか。また風被害対策として汚染地域以外のものまで放射能育種米にする必要はありますか？

農薬や食品添加物、遺伝子組み換え食品など、私たちの食と農にはこれまでも危機感を感じていました。遺伝子組み換えの影響は2世代先の子孫に影響を及ぼすとも言われています。その上更に放射能育種米という、将来的な安全性も分からないものまで、私たちは何を食べさせられていくのでしょうか。

放射能育種米という、自分たちが子ども時代に食べたことのない、将来的な安全性も分からないものを、今の子ども達に食べさせる事はできません。無責任です。

それを秋田県が先駆けて取り組もうとしている事に、同じ東北に住む者として残念なりません。

放射能育種米は、子どもの成長に重要なマンガンというミネラルが吸収されにくいお米になっていて病気になりやすいとも聞きました。

お米は活動力の源であり、1日2回3回と毎日毎日食べるものです。安全なお米を食べ遅く生きる力を子ども達には身につけてほしいです。食と農の安全をどうか脅かさないで下さい。

2-1667 【由利本荘市、20代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。理由は下記の通りです。

・放射線育種米が問題あるにしろないにしろ、秋田県の顔とも言える「あきたこまち」を、国や県の意向だけで、遺伝子の一部が人為的に破壊された「あきたこまちR」に全面切り替えするには、納得がいきません。なぜそれをする必要があるのか、なぜ秋田県が先駆けてやる必要があるのか、5歳児でも分かるように噛み砕いて、一人でも多くの県民がきちんと理解できるように説明していただきたいです。それでも皆が手放しで賛成するのであれば、「ああ秋田ってこういう人たちの集まった県なんだな、日本ってこういう国なんだな」と諦めがつきます。

・私は農家ではありませんが、種籾の自家採種ができなくなるというのも強い違和感を覚えます。農家の自由を奪うということは、消費者の自由も奪うということではないでしょうか。

放射線育種米のみの育成とすることで、利益を得る人たちや組織がいるのではないのでしょうか。その裏で不利益を被るのは、米農家や私のような一般消費者、未来の子どもたちではありませんか。この転換は本当に必要なことですか？納得がいきません。

・率直に、今までのあきたこまちが食べたいです。これからもです。違いや副作用が目に見える見えない関係なく、食べ続けた場合の安全性が保証されていない「あきたこまちR」は食べたくありません。

・「あきたこまちRが安全ではないという証拠を求める」のではなく、「あきたこまちRを10年、20年食べ続けても安全であるという証拠」を示してください。またその場合は、『安全』の定義もきちんと示してください。

・あきたこまちRが有機農産物として認められるとのことですが、それは日本国内だけのことではないのでしょうか。世界的に見ても、有機農産物として認められるのでしょうか。日本国産として、誇りを持って輸出できるものなのではないのでしょうか。私は甚だ疑問を持っています。日本国内だけでなく、信憑性のある国際機関の基準などとも照らし合わせ、『あきたこまちR』が本当に有機農産物として扱われ（続け）得るのか、確認して県民に伝えてください。

・日本国内でも既に、様々な農産物が遺伝子操作されていたり、放射線育種されていたりすることは知っています。でもそれが、「あきたこまちR」に全面転換していい理由になるとは思いません。どうして、全国で低カドミウム米に切り替える必要があるのですか？カドミウムに問題があるのなら、国土3%未満を占めるという汚染地域の除染を行うべきと考えます。そちらを行わない理由、行っているのならそれでも低カドミウム米を強制する理由を示してください。

・令和5年第2回定例会（6月議会） — 07月03日 予算特別委員会 総括審査の議

会中継動画で、加藤麻里議員が「あきたこまちR」について質疑しているものを拝見しました。一部、佐竹知事が答弁をされておりますが、質問の的を得ないのらりくらしとした答弁に憤りを感じました。『放射線っていう言葉が怖いんでしょ？皆いつも浴びてるんだから大丈夫』というような旨を仰っしゃりたかったようですが、県民が気になっているのはそこではありません。なぜ、わざわざ、放射線を浴びせて遺伝子の一部を破壊した米を、しかもそれだけを、私達は食べることになるのか、それしか食べるができなくなるのか。秋田県の歴史に名を残す人物として、この行政施策を本当に評価しているのか、未来には一抹の不安もないのか。誤魔化さずに、感情に流されずに、データに基づいて説明していただきたいです。

・秋田県民として、この全面転換には非常に不安を覚えます。『米の多様性』を一度に無くしてしまうことにも、強い危機感を覚えます。議会で十分に審議された上、行政を質してください。そして、経過を県民に発信してください。何卒、よろしくお願い申し上げます。

2-1668 【静岡県、60代】

あきたこまちは美味しいお米で、
地元の生協を通じて購入しておりましたが、
放射線育種米になったら、購入をしません。
事前に消費者の意見は聞いたのでしょうか？
望んでいない人が大多数ではないかと思います。

2-1669 【美郷町、50代】

本当にあり得ない方針です。

知り合いの農家さんにこの事を伝えたらなにも知らない。と。生産者にすらしっかり説明せず(ちゃんと知ろうとしない生産者も悪いけど)もっと生産者、消費者にしっかり告知し納得してもらってから始めるべきです。

アンフェアです。

この政策を実行してしまうと秋田の農業は終わります。県が農家を滅ぼすのです。
がっかりです。

とても大事なことなのでまずは立ち止まってもらいたいです。

期日ありきの日本の政府なようなやり方はやめましょう。

2-1670 【神奈川県、30代】

秋田出身、あきたこまちは長く食べてきました。

あきたこまち R なんて必要ないです。

地方に行ってもあきたこまちを選んで食べてます。

今もこれからも従来のあきたこまちを選んで食べます。

2-1671 【群馬県、30代】

食の安全、次世代への影響を考えると転換に不安が否めません。日本の食と子どもたちを守るようご検討お願い致します。

2-1672 【愛知県、40代】

もと秋田県の農家の嫁です。あきたこまちがあきたこまち R に全量転換されることは、どれだけ秋田の農家さんに理解を得てもらっているのでしょうか。作りたい作柄を自分たちで選ぶことができなくなることに、心配や不満、疑問はないのでしょうか。農家さんはとても作業が忙しいですし、農協からのお達しには従わざるを得ない現状があります。疑問に思っても、県が、農協がこういうのだから…とその疑問に蓋をせざるを得ない状況ではないのでしょうか？果たしてあきたこまちをあきたこまち R に全量変えることは、秋田の農業の未来にとって良いことなのでしょうか？もともとお米を専業で作っていた夫は4年前に亡くなりました。夫はきっと、あきたこまち R を植えることになったら、何かおかしいなあ、よく分からないお米をこどもたちには食べさせたくないなあと言うのではないかと思います。

2-1673 【千葉県、60代】

秋田に住む友人にいつもあきたこまちを送ってもらっています

私はあきたこまちが大好きでとても気に入っています

す 今後も今までのあきたこまちが食べたいです

転換しないで下さい 今までのあきたこまちをずっと繋いでいってください 日本の主食であるお米大切につくり続けて行ってほしいです

2-1674 【秋田市、30代】

「あきたこまち R」への全面切替に反対します。

除草剤不使用、農薬不使用が求められている昨今に

遺伝子を操作した放射線育種米に全面切り替え？言語道断だと思います。

あきたこまち、売れなくなってしまいますよ。

私自身も従来のあきたこまちが食べたいですし、子ども達にも従来のあきたこまちを食べさせたいです。日頃からなるべく地元で作られたものを食したいと思っておりましたが、もしあきたこまちが全面切替になるのであれば、私はもうあきたこまちを食べません。

日本を代表する米の生産地である秋田こそが
最後まで従来のお米の生産を続けて行くべきではないでしょうか。
どうか、秋田のお米を
日本のお米を、子どもたちの健康を守っていただきたいです。

2-1675 【大阪府、30代】

放射線育種はやめてください。
安全性がわからないことはしない方がいいです。

2-1676 【宮城県、40代】

『あきたこまちR』を『あきたこまち』と言って流通させることには違和感を感じます。
全量を『あきたこまちR』としてしまうのではなく、生産者が選べるようにして頂きたい
と思います。

あきたこまちが大好きです。大切な友人は「あきたこまち」を生産する事に誇りに思っ
ています。

最終決定をする前に、詳しい説明会を設けていただき、心配している私達と秋田県の担
当者の方々が対話出来る機会を作っていただけたらとても嬉しいです。

2-1677 【東京都、30代】

これが真の国民の健康につながると思いますか。海外からの批判も殺到すると思います。
健康被害が出て賠償責任となったときはどうされるのでしょうか。そんなお米は食べたく
ありませんので、もし本当に全転換するのであれば、あきたこまちはもう買いませんし、
秋田県産のものも買いません。全転換してからでは遅いのです。反対です。いちばん大切
なことは、利権ではないはずです。

2-1678 【埼玉県、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本
を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びる
か不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありませんし、子供にも食べ
させたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

というか風評被害が出る可能性があるると少しでもあるならば慎重になるべきです。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。

カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1679 【北海道、60代】

遺伝子が人為的に傷つけられた作物が、その作物自身に与える影響、食べた人に与える影響は、分からない、と考えるのが普通だと思います。分からないから安全だ、ということはいえないと思います。そのようなお米は食べたくありません。あきたこまちは美味しいお米だと思いますが、すべて あきたこまちRになるなら、秋田県のお米は食べるものがなくなってしまいます。残念ですね、そうなったら。全量転換は嫌です。

2-1680 【宮城県、20代】

知人から聞くまで知りませんでした！情報が少ない状態で進むことに違和感があります。秋田だけでなく宮城や東北、全国にもかかわることです。徹底的な情報開示、説明会、対話をする機会をつくるなどしていただきたいです。あきたこまちRをあきたこまちとして流通するのではなく選択できるようにするなどしていただきたいです。

2-1681 【福岡県、20代】

日本から安全なお米が無くなったらおしまいです。

断固反対します。子どもたちの明るい未来を願ってます。

2-1682 【香川県、40代】

このような人体への影響が全く分かっていないものを、注意喚起の表示を伴うことなく実行するのであれば、

「あきたこまち」は絶対に買わないし、日本産の米も買えなくなるだろう。

これは日本の米農業を破壊するものである。

2-1683 【大阪府、20代】

全面転換に反対します。

どうか

日本の国民の健康、日本の未来を担う子ども達のけんこうを守って下さい。
子ども達が大きくなった時、伝統的な日本のお米が無いなんて悲し過ぎます。

2-1684 【東京都、40代】

こんなことが許されると思いますか？

断固強く反対、抗議します！！

子供たちが生きるための大事な米、代々大切に育てここまで種をつないできた米をおおもとから汚染し広げるとは何を正義と考えた食への取り組みですか？自然界には、必要な成分などありません。人間にとっての米の成育や生産にとっての手間となるものを手っ取り早く排除する、その考え方こそ、全ていまの食品のあり方につながっています。スーパーで買えるものなんてほぼありません。子供が毎日たべて安全で栄養のあるものなんて、売られていません。全ては、今の私たちの怠慢、おごりです。このあきたこまちRを我が子、孫、ひ孫、と代々毎日たべさせたいですか？これが安全で栄養もあって、植物の命をいただくんだと子供に胸を張れますか？無理です！あきたこまちだけの問題ではありません。利益や有益なことだけに傾いた食の考えは間違っています。全量転換などということはありません。そもそも放射することじたいも慎重にならなければなりません。

断固強く強く、これに反対します！

2-1685 【千葉県、60代】

そのままで充分美味しい秋田の代表でもある秋田こまちに放射線をあてるような、人体に後々影響があるであろう事はぜひしないでいただきたいです。

2-1686 【青森県、40代】

絶対反対です。

むしろ、なぜ秋田県議会ではこれを良しとしたのでしょうか？

米どころとして、先人達が作り上げて来た歴史や文化をここで終わらせるのはあまりにも軽んじていると思います。

それとも、秋田県産の米の不買を招き、米農家を廃業へ追い込むつもりでしょうか？

その水田だった土地を外資や外国人へ売っておつもりでしょうか？

農家を守れない自治体にはなりませんよう、この転換をやめるべきです。

2-1687 【宮城県、60代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのと思います。

全て反対というわけではありません。「あきたこまち」が好きで誇りに思っている方も多いです。

ただ、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話ができる機会を作っていただけたら嬉しいです。

2-1688 【宮城県、50代】

なぜ全量転換する必要があるのでしょうか？

長い歴史の中であきたこまちが国民の糧となっていたのでは無いでしょうか？

消費者からは健康への不安がまだ払拭出来ません。

転換する事で購入を躊躇してしまう飲食店も出て来ます

お願いします

私達の気持ちも汲んでください

先に進んでしまっ

て気持ちが追いつきません

2-1689 【愛知県、50代】

放射線を使い、品種改良をするのには反対です。

ある意味奇形です。そのお米を食べたらどうなるかを、何も知らない購入者が実験台にされている様なものです。有害物質を流さない、有害物質を含んだ肥料を使わないで、環境を整える方にシフトしたら良い話だと思います。

2-1690 【千葉県、40代】

自分たちの子孫に「あきたこまち」を残し、主食として食べ続けたいと願っています。人間の体を作る大切な植物を、末永く後世に残して頂きたいと、切に願います。

2-1691 【大仙市、50代】

あきたこまちRに転換してもカドミウム汚染の解決にはならない。

安全性が確認されていない、遺伝子を破壊された米は食べたくない。

情報公開をきっちりして欲しい。

2-1692 【埼玉県、50代】

秋田のお米は日本の宝です。

毎年毎年あきたこまちの新米を二か所から購入しています。

どれだけ楽しみにして、毎日の糧になっているでしょう。

壊されて良い遺伝子などありません。

全量転換を説明する時に放射線育種米なんて、のちの影響について

どんな科学者だって分かりません。

もう秋田のお米食べられなくなるのは嫌です。

秋田だけの問題ではありません。

農家さんや食の安全を守るのはそんな方法ですていただきたくありません。

どうか、そんなバカな真似はしないでいただきたいです。

2-1693 【宮城県、40代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。

また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのになと思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

あきたこまちが好きだし、誇りに思っている友だちも多くいます。

ただ、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話が出来る機会を作っていたら嬉しいです。

2-1694 【神奈川県、30代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。

子どもの頃から今までずっと毎日食べてきたあきたこまちへの信頼が無くなってしまいます。

放射線育種米なんて子どもに食べさせたくないです。

従来「あきたこまち」を食べさせたいです。

Rは食べません。買いません。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1695 【宮城県、40代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言うようにする事はやめてほしい。

「あきたこまち」をすべて「あきたこまちR」に変えることをやめ、選べるようにしてほしい。

放射線育種とは何なのかの住民への徹底的な説明を希望します。

2-1696 【秋田市、50代】

まだ安全性に疑問がある放射線をつかった育種技術によってつくられたお米に全量転換するとはどういうことですか？秋田県民には周知されていません。秋田県の他のお米の品種も2029年以降、続々とすべて放射線育種のものになり自家採種もできなくなる計画とは恐ろしい限りです。ニュースにも大きく出さず、秘密裏に事を進めるのですか？県民を欺く様なことは止めなさい。こんな恐ろしい物を食べさせて秋田の子供達の将来をなんと心得ますか？

2-1697 【鳥取県、60代】

あきたこまちR.米たべたくないです。やめてください。お願いします。

2-1698 【静岡県、50代】

私を含め放射線米に転換することを知らされないまま、国の方針で実施しようとしていると思います。今現在日本の政治は日本のためではなく利権やアメリカの言いなりで国民や日本の未来の子供たちのための政策は全く実施していません。テレビや新聞でも報道されません。生産者である農家さんの声、利権がない専門家の意見、日本国民の声を聞きみんなが納得するまで転換をしないで下さい。おかしいことはやめる勇気を持ってください。正しい情報提供をしないまま、知らない間に転換することやめてください。よろしくお願いします。

2-1699 【神奈川県、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1700 【岐阜県、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

理由は

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米です。その「あきたこまち」を守ってもらいたいです。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事だと考えます。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは絶対に食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1701 【大仙市、30代】

確実な安全性が保証されていない、7回交配したと言ってもすごいパワーの放射線を浴びた苗を全量変えることに反対です。そして、有機という表示やあきたこまちRで育てた苗である事も明記しないのも不親切では無いか？

このままでは。あきたこまちを食べたくないです。

食べ続け、健康被害が出た場合の責任の所在は決まっていますか

全量転換に反対です。

2-1702 【宮城県、60代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのになと思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

あきたこまちが好きだし、誇りに思っている友だちも多くいます。

ただ、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話ができる機会を作っていただけたら嬉しいです。

2-1703 【兵庫県、60代】

放射線育種米については、まだその安全性は十分に検討されていません。長期間の試験期間が必要と思われます。

また、カドミウムは少量ですがコメには含まれており、今までの長い歴史において特に問題はおきておりません。

「あきたこまちR」へ全量転換するのは、危険です。希望者のみにするべきと思われます。

私は兵庫県の住民ですが、あきたこまちは買ってよくたべております。

放射線育種米への全量転換には反対です。

議員の皆様、よろしくお願い致します。

2-1704 【大阪府、20代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、

従来品種を作り続けることが大事です。

- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

2-1705 【東京都、30代】

放射線育成種への転換という記事を拝見しました。

我が国の主食である米を全量転換するというのは

国の方針でもあるかもしれませんが、

国民の食の安心・安全も考えず、どこに向かうのかと憂慮しています。

秋田県には一度しか伺ったことはありませんが、

素敵な土地、人、文化がありました。

秋田県の今回の決定は大きく日本全土に影響するものと思います。

食の安全が保障されない国では希望が持てずさらに少子化が進むことでしょう。

秋田県の誇りを忘れずに、未来の子どもたちの正しい選択をお願いします。

2-1706 【大仙市、50代】

あきたこまちRへの全量切り替えは、時期尚早ではないでしょうか。
大事な主食のお米です。もっと説明や話し合いが必要だと思います。
あきたこまちRになったら、従来品との区別は無くなると聞きました。
そんな遺伝子組み換えのあきたこまちは食べたくありません。

2-1707 【富山県、30代】

私たちの大切なお米になんて事をしてくれるんですか！
遺伝子組み換え、ゲノム編集は反対です。これから大きくなる子供たちが、健康を害し国を守れなくなってしまう。自然から離れると
病気になるのは当たり前。先人たちの思いを踏みにじった行為は許されません。

2-1708 【岡山県、40代】

あきたこまちのファンで、いつもあきたこまちを食べさせて頂いています。
この度、あきたこまちが全て放射線育種米に変わってしまうという話しをお聞きし、大変、困惑しております。
全量転換では無く、私の様な消費者が、また生産して下さる農家さんがあきたこまちなのかあきたこまちRなのかを選べる環境にして頂けないかと思い、ご連絡させて頂きました。

2-1709 【富山県、40代】

放射能育種米反対です
このお米を食べ続けて 身体にどのような作用があるのでしょうか
子どもに食べさせたくないです

2-1710 【東京都、30代】

毎年あきたこまちの新米を楽しみにしています。
放射線米への切り替えを検討されていることを知り、もう秋田県の美味しいお米を食べることができなくなったことにショックを感じております。
放射線米の恐ろしさをご存知ですか。

どうか、秋田県のあきたこまちを守ってください。
美味しいお米を守ってください、お願いします。

2-1711 【神奈川県、40代】

放射線育種米なんて、絶対反対です!!!

実家が由利本荘市にあり、いつも田んぼで収穫されたあきたこまちを送ってもらっています。

秋田の宝、あきたこまちに放射線当てるなんて危険な事はしないで下さい!

素人が考えても、放射線当てたお米を食べたら身体がおかしくなる事ぐらい分かります。

美味しく食べても安全なあきたこまちを奪わないで下さい!

佐竹知事、どうか考え直して下さい! よろしくお願いします。

2-1712 【神奈川県、60代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させないで欲しい。

全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べるように表記はしてほしい。

どちらを購入するのは消費者任せとし、どちらかが悪いという事ではありません。

最終決定をする前に、詳しい説明会や対話ができる機会を作っていただきたく、お願い申し上げます。

2-1713 【三重県、30代】

あきたこまちRへの転換については全面的に反対の意を表します。

放射線を照射するよりも、ゲノム編集をした方が安全かつ確実に品種改良ができるからです。

また今回の放射線の値は非常に高く、人体にどのような影響が出るかわかっていません。今回お米に照射される放射線は40~300グレイとされています。

ですが人体への放射線の危険で言えば0.1グレイで染色体に傷がつき、0.5グレイでリンパ球が減少、1.5グレイが死亡のしきい値とされています。

この事からも今回の放射線照射は非常に危険で、その様なお米を作ることはやるべきでないことは明らかです。

また放射線を照射した粳穀では有機農法ができなくなります。

農家は粳穀を自家栽培することも禁止されているので、一度放射線照射米が世に広まってしまうと二度と後戻りできなくなります。

以上の理由から放射線照射米を作ることに反対します。

2-1714 【富山県、40代】

秋田住まいではありませんが、今まで通りの「あきたこまち」を食べたいです。Rではなく今まで通りのあきたこまちを愛し育ててください。お願いします。

2-1715 【秋田市、60代】

あきたこまちRという品種が長く食べ続けても、健康を損なわないか否か分からない状況で、全面的に置き換えることに不安を感じています。聞くところによると、遺伝子の一部に放射線をかけているということで、そのような自然界に存在しなかった米を秋田県で生産することになるのであれば、県民が納得する説明をしてから導入に踏み切るべきだと思います。充分菜説明がされていない状況でのあきたこまちRへの転換は、時期尚早と反対いたします。

2-1716 【神奈川県、50代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いと思います。あきたこまちが好きだし、誇りに思っている友だちも多くいます。外国の人は本当に日本のお米が好きで美味しく安全だと言ってくれます。あきたこまちも日本の宝です。どうか大切に守ってください。

2-1717 【埼玉県、30代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さ

ないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1718 【東京都、30代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1719 【宮城県、40代】

全量切り替えでは無く、生産者も、消費者も「選択する権利の担保」が必要だと思っております。

あきたこまちR自体は、開発から育苗、一般種子のステージに漕ぎつけるまで多大な努力が払われており、それ自体を否定するつもりは毛頭ありません。

どちらを選ぶことも出来るように、あきたこまちR自体を全量切替するのではなく、希望者に対しての頒布。

そして、購入側も違いが分かるように名称も「あきたこまちR」のまま流通することでいいのではないかと感じました。

2-1720 【宮城県、40代】

気候もどんどん変わる中、突然全量転換して育たなかったらどうなるのでしょうか？

従来「あきたこまち」を食べ続けたいです。

カドミウムの問題など、まだまだ考えなければいけないことは山積みだと思うのですが、なぜこんなに急いで決めようとしているのか不安しかありません。

もっとしっかり議論していただきたいです。

2-1721 【福岡県、40代】

放射線の影響がないとするならば、全面的に周知して欲しい。ラベル表記にも小売り店への説明など行うべき。カドミニウム汚染の解決にもならないし、他の野菜もしていることだから、という説明は安全性の証明にはならないし、何のメリットがあるのだろうか？何十年、数百年経った後に、やっぱり安全ではなかったね、となる可能性を否定できるのでしょうか？

毎日食べるお米、古来から日本人が食べてきたお米、それを育ててきた風土にプライドを持っていただきたい。既に品種改良されてきているとはいえ、これ以上、子ども達に不自然な命を食させることを当たり前にはさせたくない。三世代先の環境や、人間の身体に全く影響ないはずがないです。少しずつ倫理観が麻痺していること、麻痺させていることに気づいていただきたいです。

2-1722 【東京都、30代】

ご担当者様

この度は、あきたこまちRに関しての意見を送信させていただきます、〇〇と申します。私は今現在、農家さんから直接購入しているため、安心なのですが、あきたこまちRのように放射されたお米は買いたくないと思います。推進していらっしゃる方は、子供達に放射されたお米を毎日食べさせたい食べさせたいと思いますか？私は思いません。人間の、本来の自然な食べ物で良くないですか？わざわざあきたこまちRを推進する必要がございますか？表示されずに売り出されるのであれば、あきたこまちの不買にも繋がります。是非とも再考していただき、種の自家採取の自由や農家さんに対する補助金の有無等で差別などなさいませぬよう、何卒宜しくお願い申し上げます。未来の子供達へ、日本の美しい食を残していきましょう！

2-1723 【栃木県、50代】

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1724 【香川県、40代】

自家採取の禁止や商品名になる際の消費者が見分けがつかなくなる取り決めは、生産者

にも消費者にも寄り添っていないのは明白です。

日本の食を本気で守って行くと言う姿勢も心意気も感じられないです。

米所としてしっかりと農家を日本を守って下さい

2-1725 【千葉県、50代】

あきたこまちは、日本を代表する有名なお米でみんな大好き、安心のブランド米です。口に入れる物は安心安全が1番大切な事です。長年、培って来られた農家の方々のご苦労と消費者の立場もお考え頂き、誰も望んでいない放射能米などにせず、未だで通りの安心安全なあきたこまちをお守りください。

パスコのコオロギ食パンの様に、あきたこまち 放射能米のイメージが定着し、誰も買わなくなります。フィンランドにも22年に15トン輸出されたとか。素晴らしい事です。日本のお米は世界一美味しいお米です。ゲノム食品も発癌性が認められ、消費者が望んでいないのに流通しています。アメリカでは、日本は世界初、ゲノム寿司を出しているので危険、食べるなどポスターまで出ているそうです。

悪いニュースは直ぐに世界中に広がります。あきたこまちは秋田県の特産品。議員の判断で大事なブランド米を潰さないでください。上からの圧力に負けないでください。応援しています。あきたこまちR反対します。宜しくお願いします。

2-1726 【宮城県、40代】

全量切替をする前に各農協や農業委員会を通じて農家さんとの対話の機会や意見を吸い上げる機会等などを作って頂く事は出来ないでしょうか？

2-1727 【宮城県、20代】

あきたこまちRとあきたこまちが同じになる事は、ササニシキとササシグレが同じになる様な違和感を覚えます。

生産者も消費者も選べる権利を担保する為に、名称を分けて頂く事は出来ないのでしょうか？

2-1728 【宮城県、40代】

品種改良で起こした品種を元の品種名前で流通させるのは違うと思います

2-1729 【宮城県、40代】

品種改良したお米と、品種改良前から存在しているお米が同じ名前で売られてしまうことに違和感を覚えます。

せつかく多くの時間をかけて創り上げた種子ですので、ちゃんと名前を付けて別品種と

してしっかりと差別化して流通させてはどうでしょうか？

2-1730 【宮城県、30代】

コシヒカリはコシヒカリです。
あきたこまちRはあきたこまちRです。
同じ名前にする必要は無いと思います。

2-1731 【北海道、40代】

放射線照射された米が安全だと言われても、これまでの日本の農薬や遺伝子組み換え、ゲノム編集食品導入の現状を考えるととても許容出来ません。あきたこまちは美味しいお米ですが、これからはあきたこまちは選ばれなくなると思います。受け継がれた大切な種を撲滅させるようなことは反対です。日本の誇りである水田、稲作を守るために是非廃案のご検討をお願いいたします。

2-1732 【茨城県、40代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。
私は食糧安全保障が未来の子供たちのために大切と考えて三食お米を食べてます。
あきたこまちも大好きなお米です。従来種
のあきたこまちが食べたいです。

2-1733 【東京都、30代】

放射線によるゲノム編集をしたお米を食べて生きられるとは思えません。人為的に操作した作物は、必ず私たちの身体へ悪影響を及ぼします。生産者や消費者に相談も無しに勝手に政府が決めた政策に憤りを感じます。お米を作る生産者の方々への健康被害も容易に想像できます。断固としてあきたこまちRを反対し、拒絶します。

2-1734 【東京都、30代】

断固反対 従来の生産方法で、
お米は日本の心です。
守るべき物をもう一度かんがえた方がいいと思います。

2-1735 【山口県、40代】

放射線による固有遺伝子の破壊が、人間にとって都合の良いカドミウム含有を減らす事だけに上手く作用するといった化学的機序は無く、他の多くの性質や特性に与える影響、

人体への害についても全くの未知数の放射線育種米を、自信を持って安全だとして生産流通させられるのでしょうか？

一つ分かっている懸念であるマンガンの取り込み抑制によるマンガン不足が生育に悪影響を与える事は必至で、他にもまだ解明されていないリスクが懸念される不可逆的な遺伝子操作に対し危機感を感じないのでしょうか？

多くの国民に愛される、秋田の自然で育まれた安心安全な美味しいあきたこまちを未来に残し、将来的な不安材料（改悪や品種根絶に繋がりがねない）としかならない様な安全性も確認されていない放射線育種米に置き換える事は是非とも考え直すべきだと思います。

また、苗作りから始まる脈々と受け継がれて来た日本の伝統的な米作りを根底から覆し、日本の農業の衰退や食糧自給の低下にも直結するこの様な愚策は、いくら補助金等で政府に推奨されようとも、決して地方が推進すべき事では有りません！

2-1736 【宮城県、60代】

数年前まで秋田に30年ぐらい住んでいました。秋田で農薬や環境に配慮し農業をしている方のお米をずっと食べてきました。

今回の「あきたこまちR」への全量転換とう話を聞き、大変驚いています。誰がいつどこで、どのようにして、決めたのか。何故消費者の私達が1種類しか選べないようなことを秋田県がやろうとしてしているのか、全く理解できません。消費者だけでなく、農家の方もそれぞれの土地や作法によって品種を選んできたのではないかと思うのです。多様化の時代に1種類だけに転換する方針は、なんの根拠があって決めたのでしょうか？ わからない点も多いので、断定はできませんが、何か間違っている気がします。

秋田県民だけでなく、秋田の物を好んで食べている全国の者達の事も考えて下さい。

2-1737 【熊本県、30代】

初めまして。コメント失礼します。

お米を愛している県民、国民の思いを踏み躪らないで。

日本人の事を思うなら、将来の事を思うなら、

国民を家族と思うなら、放射線米という理解不能な行為は

断固として許される事ではありません。

伝統的な固定種を守ろうとしない、モンサントを筆頭とした愚かな

グローバル企業らの犬に成り下がるのはやめて頂きたい。

2-1738 【神奈川県、70代】

あきたこまちRに全面的になると、今無農薬有機栽培米を食している私達は、不自然な

米を食べさ

せられるので、選択肢がなくなるので
絶対反対です。将来の子供達にも、人工的な米を食べさせて
日本人の将来を駄目にしないで下さい。

2-1739 【福井県、40代】

反対です！！

こんなお米食べたくありません。子供にも食べさせたくありません。秋田県は日本一自殺が多いと聞きます。こんなお米食べてたら身体と精神に悪いと思います。わたしは福井県民ですが、秋田県が転換を進めると福井も危ないと思って投稿させていただきました。遺伝子組み換え作物と一緒にですよ。もし転換ならあきたこまちはもう食べません。

2-1740 【兵庫県、40代】

兵庫県からですが意見させてください。

放射線による遺伝子操作の米は絶対に反対です。

すでに酒米であります、美山錦や出羽燦々など、
それらから感じる不味さを知っている身として、
大反対です。

普通に食べる米にまでそれらをされては
たまったものではありません！

兵庫県からであろうと、秋田の米は日本中に出回ります。

被害を被るのは兵庫県であろうが同じです。

しかも全量とはなんですか！！！！

少量でもやめて欲しいのに、人々に選択肢をも奪うつもりですか！

カドニウム汚染されているのは、全国の農地の3%と聞きました。

たった3%のために全量を変える！??

放射線遺伝子操作の米から発せられるエネルギーが本当に苦手です。

やめてください！

まるで一部のLGBTのために女子トイレを他の人にも
使えるようにしたみたいな話ですね。

歌舞伎町の女子トイレがどうなったかご存知ですか？

女性がどれだけ苦しんだかご存知ですか？

その3%の農地のために多くを犠牲にして

被害を多くにばら撒くのですね。

やめてください！

全量切り替えるのをやめないのであれば、
全国各地から、苦情が来ることを願っております。
米どころとしての秋田県が終わることを願っております。
また、あきたこまち R の表記をせず、
あきたこまちとして売り出すことも大反対です。
秋田は詐欺師としてやっていくおつもりですか？
今すぐ全量切り替えをやめなければ、
もう秋田は終わりですね。
ブランドが地に落ちることを願っております。
国の政策、上の政策だろうが、
いち消費者としてお考えください。
あなたの子供に放射線遺伝子操作の米を食わせるとは
どういうことなのか、
人々に選択肢を与えず、全量を切り替えるということはどういうことなのか、
米の表記を真実と異なることを表記するとはどういうことなのか
をいち消費者として、お考えください。

2-1741 【神奈川県、50代】

あきたこまち R への全量転換に反対します。

放射線育種後代交配種が安全であると言い切れる根拠はどこにもないのに選択の余地が残されないのは危険です。

また自家採種の禁止は日本の農業の発展を困難にし、日本の食、生命をいちぶの企業にコントロールされることにつながります。

理由づけもこじつけであり、お金の流れを見れば何が目的かはわかります。

取り返しがつかないことになる前に中止撤回していただきたいです。

どうぞよろしくお願いします。

2-1742 【神奈川県、30代】

日本の食の安全、未来あるこども達の為にも断固反対です！！

まさかこんな馬鹿げた事を秋田県がやるとは思いませんでした。

しっかりと県民、国民の声を聞いて欲しい。

2-1743 【宮城県、50代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのになと思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

あきたこまちが好きだし、誇りに思っている友だちも多くいます。

ただ、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話ができる機会を作っていただけたら嬉しいです。

秋田出身で、普段あきたこまちを食べております、

これから安心して食べて行けるかとても心配しております。

2-1744 【宮城県、40代】

知人の投稿であきたこまちRの存在をやっと知れました。

先ず言いたいことは、多くの人が知らない内に放射線育種米が広まっていくことへの疑問です。

お米を食べる全ての方が説明をきちんと受けるべきだと思うので、あきたこまちRの説明をもっと詳しく聞きたいです。

壊されて良い遺伝子はないと思います。人体への影響は計り知れません。

現在も流通している遺伝子組み換え食品も表記があるからこそ、消費者は選べます。

あきたこまちが全てRに変わってしまうのは、従来なあきたこまちを好む者達にとっては選択肢の無いこととなり、多様性に欠けます。

どうか日本の皆んなで考える時間を作っていただきたいと思います。

2-1745 【岡山県、30代】

日本の誇れる「あきたこまち」をこれからも守ってください。

カドミウム汚染地域はごく一部です。全量転換する意味がありません。

元々ある素晴らしいものをこれからも守ってください。

放射線をあててほしくありません。

どれだけ放射線をあてていても安心だと言っても、その影響が出るのはすぐではありません。

安心安全なものを食べさせてください。

あきたこまちとあきたこまちRは別物です。

見た目等に違いがないからと、あきたこまちと表示してはいけないと思います。

消費者に対して、正直でないといけません。

全量転換について、秋田の米農家の方々は本当に納得されているのでしょうか。

疾患や障害が増えているのは、昔とは違う食べ物が増えているからだと思います。

昔からあるものに手を加えず、今後も守ってください。

日本の未来を守るため、どうかお願いします。

2-1746 【大阪府、30代】

「あきたこまち」が食べたいです。Rは食べたくないです。

2-1747 【東京都、30代】

放射線育種米、反対です。

日本のお米の代表である、あきたこまちからこんなことをするなんて

。やめてください。

2-1748 【山形県、30代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。

また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのになと思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

ただ、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話が出来る機会を作っていたら嬉しいです。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

従来「あきたこまち」を食べたいです。

Rは食べたくありません。

2-1749 【北海道、60代】

あきたこまちを全量放射線育種米にすることに反対です。また、あきたこまちRをあきたこまちとして販売することにも反対です。区別がつかないようにするのはやめてください。あきたこまちファンとしては本当に困ってしまいます。違いを明記せずによくやむやにすることに大変違和感を感じます。秋田県民があきたこまちを大事にしないでどうするのですか。カドミウム汚染地域が全ての地域でないのに全量とは酷すぎます。もっと慎重に検討すべきです。安全を優先するなら違いを明記する、名前を混同するような紛らわしい

名前ではなく別の名前にするなど配慮しても良いと思います。今回のこの話は、秋田県民が決めたこととは思えない酷い内容だと思います。白紙撤回を希望します。

2-1750 【千葉県、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対です。

その理由として

- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であると同時に今の子どもたちの将来の安全面から鑑みても従来の物を栽培していただきたいです。

この話を聞いた上でスーパーでRを見つけたら、もしかしたら今後あきたこまち自体も買い控えるかもしれません。

その理由は消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことが原因で信用を落としてしまったからです。消費者にもしっかり理解できないよう説明し期間を延期の上、議論するべきだと考えます。

日本の食文化をぜひとも守っていただきたいです。

2-1751 【三種町、40代】

農家の方や私達があきたこまちRしか選ぶ事ができなくなるというのは選択の自由がなくなるという事だと思います。もう少し説明や学習会などがあってもいいと思います。

2-1752 【神奈川県、30代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。

また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのになと思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

あきたこまちが好きだし、誇りに思っている友だちも多くいます。

ただ、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話ができる機会を作っていただけたら嬉しいです。

2-1753 【東京都、50代】

毎日何かを食べなくては生きていけないので、食に関心があります。

お米は毎日必ず口にする主食なので、同じ銘柄を食べ続けられない等、色々気をつけています。

”あきたこまち“と“あきたこまちR”、買う側の立場で言わせて頂くと、
選べるようにして頂きたいのです。

自分がどういうものを食べるのか、納得して買いたい。

何故なら、全て自己責任だと思うからです。

2-1754 【千葉県、70代】

太古より日本人が主食としてきたお米の遺伝子を破壊するようなことは止めて頂きたいです。

の遺伝子を破壊するようなことは止めて頂きたいです。次代を担う子供達に安心安全なお米をつないでいくのが今を生きる私達の努めだとおもうので。この問題は期間を延長の上議論する場を設けるべきかと思います。

2-1755 【福岡県、40代】

なぜ、あきたこまちを

しかも、全量

あきたこまちRに転換してしまうのですか。

もし、後になって健康被害が明らかになった場合

の事は考えないのでしょうか。

日本人にとってお米とは一番大切な食糧です。

伝統的な方法で作られたお米が食べたいです。

賢い消費者も増えてきました。

私は絶対に買いません。

危ないという事をまわりにも拡散します。

私は少しでも農薬を減らした自然米を生産して下さる農家さんのお米を沢山食べ続けたいと思います。

今までの「あきたこまち」というブランドの価値を下げるだけの愚策はやめてください。遠く九州より願っています。

2-1756 【神奈川県、50代】

絶対に反対です。

放射線で突然変異させた米が、

今後人体にどのような影響が出るのか

100%安全とは言えないはずです。

日本の食が、自給率や後継者難、種採取の問題で

ますます危うくなっている今、
秋田県はますますそれを加速させている...としか
消費者の目には映りません。
本当に全量転換になったら、
令和7年度以降は二度とあきたこまちを
買わないと思います。
最後まで読んで頂きありがとうございます。
どうか、一消費者の声が届きますように、
祈っております。

2-1757 【大館市、30代】

あきたこまちRへの全量転換を反対します。
とても美味しいあきたこまちが食べられないものになります。
そんなあきたこまちは食べたくないので反対します。

2-1758 【新潟県、30代】

転換をやめてください。

2-1759 【愛知県、50代】

秋田こまちはとても美味しいお米です。今のままでも十分美味しいです。人間が手を加えて違う、お米に変える必要なく、今でも問題は起きてないので、このまま自然のお米で育ててほしいです。安全なお米はできるだけ自然のままできていくものだと信じています。秋田の方々、良く考えて検討していただけるようよろしくお願い致します。

2-1760 【兵庫県、40代】

子供を持つ母親として意見させて頂きたいと思います。

放射線を当てたお米を食べて、どんな影響があるか分からないものを、子供達に食べさせたくありません。ご自身のお子さん やお孫さん達にそんなお米を食べさせたいですか？

秋田のお米も、日本各地で食べられています。美味しいお米を作れる土地です。未来に悪影響あるお米ではなく、日本の子供達に良いお米を届けてもらえるように、踏みとどまって放射線米にNOを突きつけて下さい

宜しくお願い致します。

2-1761 【岩手県、20代】

幼い頃からあきたこまちを食べて育ちました。

全量転換に踏み切る理由に関して、はっきりとした説明があると素敵だと思います。

2-1762 【仙北市、30代】

種子はあきたこまちRとあきたこまちで農家ごとに選択制にした方が良くないかと思う。

全面一気にあきたこまちからあきたこまちRに変えるのは合理的すぎる気もしないでもない。

2-1763 【秋田市、80代以上】

放射線育種米に100%転換？

一体何を考えているのですか？

何に動かされているのですか？

なぜ今までと同じではいけないのですか？

絶対に反対です。

県知事は食べたいですか？

怒りしか出てきません。

2-1764 【秋田市、60代】

福島第一原発の放射能被害がまだ解決されていないにもかかわらず主食の米に放射線育苗を使うなどもっての外です。

2-1765 【長野県、50代】

従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

県議会の皆様はRが放射線育種米であることを本当に理解されたうえで導入を検討されているのでしょうか。人類が自然の遺伝子を変えることができたとしても、日本人の食文化の主食を永遠に変えてしまうことで、未来の世代にどのような影響を及ぼすかまでは予測できないことを意識するべきではないでしょうか。

2-1766 【大阪府、40代】

なぜ、放射線をかける必要があるのでしょうか。

今まで、日本はお米と長い歴史があります。

何も問題ありません。
それを、意図的にわざわざ加工し、
さらにそれしか使えないとはどういう理由があってなされるのでしょうか。
それにより健康被害が出たらどのように対処されるのでしょうか？
我々は自然と共に生きていかないといけません。
そんなことに手間暇かけるくらいなら、
もっとすべきことがあると思います。
食の安全を脅かすような決議は絶対反対です。

2-1767 【神奈川県、30代】

わたしは小さい頃から「あきたこまち」を食べて育ちました。
遠く離れた土地でも、「あきたこまち」が大好きです。
今でも「あきたこまち」を選んで購入していますが、Rになったら確実に購入しなくなります。
それはとても悲しくて苦しい決断になります。
従来の「あきたこまち」を食べたいです。
Rは食べたくありません。
どうか考え直してください。
日本のために宜しくお願い致します。

2-1768 【大阪府、40代】

日本が誇るお米の産地、秋田県議会にご参加の皆様、そしてお米作りのために田んぼを守り続けてくださっている農家の皆様。
どうかどうか、お米のゲノム処理、遺伝子組み換え、自然の摂理に反するようなこと、
人の健康を微量の毒で害していくこと、どうかどうかやめていただきたいです。

毎日口にするお米。
日本人の体作りの源となるお米。
どうかどうかお守りください。
あらゆる圧力がある中、
日本の伝統である世界に誇る食文化を汚してはいけないと思います。
安心して食べられる、秋田のお米、美味しいお米を、潰さないでください。

深くお願い申し上げます。

2-1769 【岐阜県、40代】

「あきたこまち」からの全面切替には反対です。秋田県で作られた「あきたこまち」は31都道府県で生産される日本を代表するお米だと考えています。その「あきたこまち」を守っていただきたいですし、この先もあきたこまちRではなく、「あきたこまち」を食べたいです。

そもそも、低カドミウム米だけではカドミウム汚染は解決できないと考えます。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質していただきたいです。

今回の件について、消費者・生産者ともにほとんど情報がない中で全量転換を決定されたことは問題だと思います。期間を延期の上、きちんと議論する場を設けるべきではないでしょうか。

どうぞよろしくお願いいたします。

2-1770 【宮城県、50代】

秋田こまちRについて。低カドミウム米に切り替えて売るのは断固反対です。

せめて、表示を正直に書いて、

消費者が購入の選択権を持てるようにして欲しい。

あまりにも強引に市民の声を聞かずに押し進めるのは民意に反します。

2-1771 【神奈川県、50代】

あきたこまちRは止めてください

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

あきたこまちRになったらもう食べません！

2-1772 【秋田市、40代】

秋田県民が誇りに思い、大事にしている「あきたこまち」。詳しい説明がないまま新たな「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。決定される前に県民にわかりやすく丁寧な説明をしてもらいたいと思います。よろしくお願いいたします。

2-1773 【神奈川県、30代】

放射線への不安の声がたくさんある中で、仮にメリットがあるとしてもあきたこまちR

のような品種は受け入れられません。安全性の確保もままならないのに、消費者を実験体として扱っているとしか考えられない。大切な子どもたちに食べさせられません。表記義務もないと聞きました、怖すぎます。このまま転換が進むようであれば、あきたこまちは食べません。

どうか食の安全、安心を守っていただきたい。

2-1774 【神奈川県、30代】

あきたこまち R への全量転換に反対いたします。

理由として下記2点をあげます。

1 遺伝子編集によりマンガンを吸収しにくくなったお米を食べることにより、栄養摂取面でミネラル不足になるため。

更にゆくゆくは「お米には栄養価がない」という風評被害にも繋がりがねないため。

2 自家採種が禁止される、マンガン追加が必要になることにより農家の負担が増加するため。

赤子を抱える母としても、従来のおきたこまちの方を子供に食べさせてあげたいです。

以上です。

2-1775 【大阪府、40代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1776 【大阪府、40代】

Rは食べたくありません。誰にも食べてほしくないです。

2-1777 【埼玉県、40代】

貴方はこれがもたらす健康被害を自分の孫子に与えたいと考えているのでしょうか？

日本の主食である米を何故侵すのか？

身体は食べ物で出来ています。その事が理解できていないのでしょうか。だからこのような事をするのですよね？

身体は食べ物で出来ています。その食べ物が侵されていけば肉体も侵されます。

種無しの果物を食べ続けると、種無し（精子なし）になります。

私はあきたこまちRが作られてしまったら、今後秋田で育ったあきたこまちは信用出来ず、購入することはないでしょう。もちろん子供にもそう伝えます。

秋田の米は食べれない物。になりません様、この計画は廃止にして下さい。

日本人なら対抗してください。よろしく願い申し上げます。

2-1778 【大阪府、30代】

あきたこまちRへの全量転換をやめてください

あきたこまちを守ってください

2-1779 【宮城県、50代】

東北は311で太平洋側のお米は他地域からまだまだ避けられていると私は思います。その中で秋田県といえば秋田美人、美しさにかけてはピカイチであり安全に関しても安心第一な印象がバチっとあります。

この度のRへ全量転換した場合、SNSで不買するよう騒がれるのが目に見えています。あきたこまちを選ぶ方々は安全性には敏感だからです。マイナスイメージやレッテルはなかなか剥がれません。昔ながらのあきたこま치의存続を切に願います。

どうかよろしく願いいたします。

選択の余地だけでも残していただけたら助かります。

いつも最善の策を議論する中で不躰に意見させていただけることに感謝します。

放射線を通った種から出来たものは口に入れたくないのが本音であります。

2-1780 【潟上市、40代】

「あきたこまちR」の販売に不安があります。

全てを「あきたこまちR」にする以外の選択を検討していただけないでしょうか。

私はあきたこまちが好きだし、あきたこまちで育ちました。親族もあきたこまちを作っ

ています。

最終決定をする前に、生産者や消費者と意見交換ができる場を設けて貰えると嬉しいです

2-1781 【宮城県、40代】

放射線を使った米作りがどこまで安全かははっきりしない中の全量転換はやめるべきと思います。

ましてや秋田県の議会を通さないなどあり得ません。決定ありきで裏で進めているのではないかと県民は考えるのではないのでしょうか？

県民の選択する自由も奪い、中長期的な健康被害も分からないのだから一旦立ち止まるべきと思います。

2-1782 【秋田市、60代】

これを食べた子供たちの身体はどうなるのでしょうか？

どれだけの健康被害があるのか知りたいです。

このような米だと言うことを農家さんは知りながら作るのでしょうか？

この米を作る意味があるのでしょうか？

まず佐竹知事や市長のトップの方々が長期間食べて安全性が高いことを示して欲しいです。

2-1783 【埼玉県、50代】

全量転換には反対。選択の余地を残して欲しい。

風評被害が起きるから全量転換という話も聞くが、そもそもで消費者からはあきたこまちR表記がされないようなので、

むしろ後から知った消費者が騙されたと感じるんじゃないかという気もする。

自家採取禁止になっていく流れは食料自給に関しても危うい流れと感じる。

個人的にあきたこまちは普段食しているお米の中で最も高頻度で食しているのに、Rになった場合は購入対象から外れる可能性が高い。

2-1784 【神奈川県、40代】

不信感しかありません。イオンビーム照射による放射線育種米が必ずしも安全な食品とは思えないですし、食べたくもありません。子どもたちにも食べてほしくない。カドミウムを吸収しにくいからといって、他の様々な汚染物質や重金属の混ざっている下水汚泥を

肥料として使うことにも反対です。ブランドである「あきたこまち」が全量、放射線育種米の交配種になってしまうことに悲しみしか感じません。日本の有機認証がこれを受け入れていることにも落胆します。せめてきちんと表示をして、消費者が選択できるようにしてください。

2-1785 【愛知県、40代】

あきたこまちRへの全量転換に対して、反対いたします。わたしは被爆3世。わたしの祖父は広島の実験者です。食の安心安全はなんですか。放射線を浴びせたようなお米を食べたらどんな影響がでるのでしょうか。わたしはアトピー性皮膚炎が治りません。身体も弱いです。母も同じです。立証はできない、ここがポイントです。

大切なあきたこまち。そのあきたこまちに放射線を浴びせるような手法は用いるべきではありません。農家さんたちも反対されています。被爆したお米を食べたらどうなりますか？政治は国民の命や生活を守るためにあります。農業もどうか守ってください。日本人にとって本当に大切なお米。そのお米をどうか守り、わたしたちに安心していただけるお米をこれからもいただけるようにこんな馬鹿げた政策は即刻中止してください。強く反対いたします。

2-1786 【大阪府、50代】

大阪府在住ですが、あきたこまちを購入しております。

でも、あきたこまちRに転換されましたら、もう購入は致しません。

導入決定したとは驚きです。

是非とも放射線品種改良していないあきたこまちなのかRなのかは表示して欲しいです

2-1787 【神奈川県、50代】

あきたこまちを長年愛用している横浜住民です。今回、「あきたこまちR」のニュースを知り、不安を覚えています。

本当に必要なのは地域からカドミウム汚染をなくしていくことだったはず。「あきたこまちR」の導入はカドミウム汚染をなくすという本来の目的からすれば逸脱する結果をもたらす、高汚染地域の放置をもたらしてしまうのではないのでしょうか？

安全な食品を選ぶ消費者は「あきたこまち」ブランドから離れていってしまうと思います。

「あきたこまちR」の導入に反対します。

2-1788 【東京都、60代】

なんでわざわざ問題のないお米を改良しないといけないのでしょうか？

ただでさえ未だに遺伝子組み換え食品のエビデンスはでていません。どう見てもアメリカの私たちは人体実験にされているとしか思えません！

どうか日本のお米を守って下さい。利権がらみとしか思えない

今の自民公明

そして各団体県議会目を覚まして下さい。

2-1789 【埼玉県、30代】

カドミウム問題がありあきたこまちRへの全量転換を行うとありますが、カドミウムの汚染問題の根本的な解決にはならずより長期的に汚染されてしまった土をどう除染していくかの方が未来に向けてできることだと思います。

汚染米がうまれてしまっているという事実があるのであれば汚染対策事業はまだ解決したとはいえず、ファイトレメディエーションやYM菌なども活用して時間をかけてでもカドミウムを減らしていくべきと考えます。

宜しくお願い致します。

2-1790 【神奈川県、50代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」へ全面切替に反対します。

風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1791 【宮城県、40代】

あきたこまちRを「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。

また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのになと思います。宮城県民ですがあきたこまちが好きです。

最終決定をする前に、詳しい説明会や対話ができる機会を作っていただけたら嬉しいです。

2-1792 【神奈川県、40代】

放射線育成米大反対です

10年後、100年後の日本の未来考えてますか

2-1793 【北海道、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

放射線育種の目的は、人体に有害なカドミウム等を吸収しにくいお米を作ることですが、放射線で遺伝子が破壊されたものを私たちが食べるということに、かなりの不安を感じます。

ミネラル不足のお米になるのではないか？という疑問もあります。

昔からの作り方の美味しいお米が食べたいです。

権利・生産性・コストなど、課題は多いとは思いますが、基本的な考えに戻っていただきたいです。

自然界に手を加えるというのをすると、必ず何かしらの不都合で返ってきます。

日本の農業や農家さんと消費者を守るため、放射線育種を断固反対いたします。

宜しくお願いいたします。

2-1794 【静岡県、70代】

全国的ブランドのあきたこまちをダメにする気か、と消費者を代表して

言いたい。放射体で品種改良してどんな立派なものが出来ても、それは生産者の自己満足であり、消費者側とはミスマッチすること位提案者は判らないのでしょうか？個人的にするのであれば自己責任なので自由にやってください。県議会で議論するなど、県民代表の県議会のレベルを疑います。それでも誰かので通したいなら、やってください。消費者側は離れますから

2-1795 【岩手県、50代】

岩手県でも、あきたこまちの人気は高いです。近隣でも作付面積で1番か、2番に人気の品種です。また、消費者にはさまざまな考えがあることは今の時代に当たり前のことではあります。このたび、あきたこまちがあらたな品種に全量転換ということは、農家も消費者も選択や好みからは、択一の選択できないという事態になります。結果的に買わないという判断も出てしまうはず。特に育種の方法が好みの分かれるところであり、私はこれ

までの美味しいあきたこまちのままで良いと考えます。

2-1796 【福島県、50代】

県議会への意見

あきたこまちを美味しく食べてます

しかし、放射線育種米の全量転換に反対します。

遺伝子を壊したあきたこまちを食べたくはありません。

2-1797 【岩手県、50代】

今ある品種、あきたこまち、淡雪こまち、めんこいななど

現状の品種で十分です。

生産者の負担を増やして

廃農を推進するような行為に反対です。

2-1798 【湯沢市、30代】

あきたこまちRへの全面切替に反対します。

理由として

・遺伝子操作されたお米がわたしたちの体、特に子どもたちへどのように影響するかを考えると心配要素しかないです。

実際、遺伝子組み換え作物をとり続けた結果、ガンの発症が見られるとの実験結果があります。

その他、農薬や除草剤、化学肥料もそうです。

海外ではモンサント社の農薬によりガンを発症したとのことで裁判が行われ、モンサント社が敗訴、多額の賠償金を支払った事実は有名です。

一般に販売されているラウンドアップも発癌の危険があるため海外では使用禁止に、世界中で使用しているのは日本だけだそうです。

・カドミウム汚染の問題とありますが、なぜそこで作物の遺伝子組み換えという方法が選択されるのでしょうか。

もっと根本的なところから見直し、自然環境や子供たちにとって安全策を、愛ある選択をしていただきたい。

もっといえば農薬も除草剤も化学肥料もいらない。

それらがなくても作物はより本来の姿で元気に育ちます。

一部の少数派だけの都合(ビジネス、利権、お金儲け)で大事なものを進めないでください。

もうその社会システムから脱却していかなくてはならない時期です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

以上の理由からあきたこまちの全量転換に心から反対いたします。

2-1799 【愛知県、60代】

秋田県の特別栽培米のあきたこまちを数年来いただいています。

土壌や肥料がカドミウムに汚染されているのであれば、そちらを安全で自然なものに変えていく努力をするべきではないでしょうか。なぜ稲に放射線という発想はどこから来るのでしょうか。1つの遺伝子は多くの機能を持つことが多く、1つの遺伝子の機能が損なわれればその影響は多方面に及ぶ可能性

があります。また、表示の義務づけがないため、流通に乗ってしまえば消費者が放射線育種米を識別することは不可能と聞きました。私は冷めても美味しく食べられるあきたこまちが大好きです。美味しい、安全なお米を愛してやみません。どうぞ、放射線米への転換は止めて下さい。

2-1800 【宮城県、20代】

まずはじめに怒りで震えています。

放射線を利用することや遺伝子組換えを利用しようと、

少しでも是としようとしていること自体が正気の沙汰ではありません。

私は貴方方公務員のように高学歴ではありません。

しかしいろんな歴史や科学情報を調べることができます。

つらつらと書きます。

カナダで行われた調査で、93%の妊婦、80%の胎児の血液から、遺伝子組み換えトウモロコシに含まれるBt毒素(害虫を殺す成分)が発見されました。飼料を米国に依存している日本でも、同じ結果が出る可能性が高いと思われます。

遺伝子組み換え企業は「遺伝子組み換え作物と通常の作物は実質的に同じものであり、危険はない」と説明してきました。しかし、世界中では遺伝子組み換え作物を食べることにより、免疫疾患や不妊などさまざまな健康被害が出るという調査結果が報告されています。日本のマスコミはこうした情報が流れるない。

加えて、こうしたモンサント等が絡んでるところは、

結局そこらへんの会社で作った農薬等バンバン投入しており、

人体のみならず周辺の環境にも甚大な被害を与えています。

もちろん日本では報道されません。

何故かというとな莫大なお金が絡むからです。

こうして真剣に調べ、
真剣に環境や人間を守りたいと考えるならば
「遺伝子をいじくる。放射線をあてる」等論外です。
なぜかあなたがた公務員は上から言われたり外国から言われると全て脳死で従っていき
ます。

県民や国民の命などどうでも良いのでしょうか？
大体にしてこうした新技術による悪影響は
急激な影響はせず、またその検証も難しくお金がかかるため、
公務員様達の経歴にも傷がつくため、まったく調査すらされない。
故に長期的にみて甚大な被害をもたらす例があります。
それもまた問題です。だからそもそもが導入すべきではないのです。
今までの、歴史ある手法で十分以上やれていたのだから、
本当に人間のことを考えるなら、
むしろ江戸時代に学ぶくらいの気概で生産していくべきだとおもいます。
なぜリスクばかりある(調べればわかる)ルートを選択してしまうのか
少しまともな思考で考えればわかることばかりなのに、
金持ち外国人の言いなりになってしまうのか
私にはわからない。
私は私より上の世代のそういう人達全員に絶望しています。
そんなに自分達だけ、自分達のお金や地位だけが大切なんだろうか
なんでそんな目に見えない
権力者から与えられる紙くずや安心感にそこまで執着するのか…
本当に少しでもいいから人間の心をとりもどしてほしいです。

2-1801

あらゆる品物の値上げが相次いでいる昨今、価格的に買いやすいあきたこまちを長年購入してまいりました。

2025年からの放射線の件は率直に言って品質への不安や疑念を抱いております。どこからのお達しか存じませんが白紙撤回を強く求めます。このまま進むようでしたらRは購入対象から外すしかありません。

2-1802 【福岡県、30代】

放射線育種後代交配種への転換は大反対です。日本を代表する秋田のお米を守ってください。国内全体が転換の流れになる前に、秋田県が再検討し目先の利益よりも未来の為に良い方法を選択してください。放射線育種後代交配種は体に悪いので絶対に食べません。

秋田県の間違った選択は今後の全ての日本のお米を衰退させることとなります。

2-1803 【横手市、40代】

カドミウム低吸収品種が導入されることにより、生産現場では汚染米発生リスクが無くなり、必要以上の湛水管理も必要なく、圃場管理労力の低減が図られます。

販売面では、今後ますます拡大が見込まれる輸出米において、厳しいカドミ基準値が各国に設定されており、輸出先国によってはリスクを鑑みて出荷を断念する場合もあるので、このリスクを回避できるカドミ低吸収性品種導入は販売戦略上のメリットとなります。

玄米カドミ分析も全ロット自主検査で実施しており、この検査数を大幅に低減できれば、これに係る経費(機械装置、人件費等)や労力も削減できます。

以上のように、カドミ低吸収性品種の導入は、生産販売や保管管理に対するメリット部分への貢献が多であり、今後の「あきたこまち」以外の品種への拡大を期待しております。

2-1804 【愛知県、40代】

いつも、おいしいお米をありがとうございます。

県外より意見を伝えさせていただきます。

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

他からも同じ意見が届いていると思いますが、わたしも全く同じ意見です。

どうか日本の伝統のお米を守っていただきたいです。

宜しく願いいたします。

2-1805 【茨城県、50代】

日本の主食である米を守ってください。
利権や拝金主義はもうたくさんです！
国民や県民や市民の命、健康を無くすような政策はすべきではありません！
コロナワクチン接種も同じくです！
HP で説明を読んでも、もっともらしいことを言っているだけ。
秋田県民ではありませんが、日本人です。
わたしは反対致します。
これが始まってしまったら茨城県や全国にも普及してしまうかもと考えると、
恐ろしいです！
対岸の火ではありません！
日本人から安心安全な米をどうか守ってください。
よろしく願い申し訳いたします。

2-1806 【東京都、40代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることに反対です。
全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、
「あきたこまち」の生産もつづけて欲しいです。
生産者も、購入者も、「あきたこまちR」と「あきたこまち」を区別して選べるようにして頂きたいです。

2-1807 【東京都、50代】

友人がイギリスで普段あきたこまちを食べているそうです。今回の話を知り、心配しています。広まれば、売り上げは落ちます。カドミウムは環境から排除する形にして、米はいじらない方が
人間のためになります。
世界が日本の美味しいお米に期待しているはずです。
健康に心配なお米にしないよう、いじらないでください
よろしく願い申し上げます

2-1808 【千葉県、30代】

秋田県在住ではないですが、祖父が秋田出身で私自身秋田が大好きで秋田のお米もお酒も日常的にいただいているため、是非意見を述べさせていただきたいです。
下記の理由から、あきたこまちを全量放射線育種米に切り替えることに反対です。
①放射線育種米の安全性は確立されているのか。毎日放射線育種米を食べ続けても健康

を害する可能性はゼロなのか。そのエビデンスは十分に揃っているのか。

②放射線育種米はごま葉枯病にかかりやすいということがわかっている。今まで以上の農薬が必要になるのではないか。また、近年の異常気象の中で今まで通りの収穫量が期待できるのか。

③消費者と米農家に十分な説明がされていない。米を作るのは農家であり、米を買うのは消費者である。消費者と農家への十分な周知をしたうえで、消費者・農家を交えた検討の機会を設けるべきではないか。

④現代は食が欧米化しており、今後さらに米の消費量が減る可能性がある。そういった状況で「放射線育種米」というマイナスイメージの米を広げるのは米の消費量の低下に拍車をかけるのではないか。

全国で放射線育種米を普及させるのは国の方針とのことですが、なぜ秋田は国の方針に従おうと思ったのか、あきたこまちを全量放射線育種米にする必要性を教えてください。

まずあきたこまちを全量放射線育種米に切り替えることについて消費者や米農家へヒアリングを行い、そのうえで是非本件について再検討していただきたいです。どうしても放射線育種米を作る必要があるのであれば全量ではなく、カドミウム汚染されている地域のみ作る等してあきたこまちと放射能育種米であるあきたこまちを区分けしていただきたい。そして表示はしっかりとしていただきたい。

自分は秋田は日本一の米所だと思っています。秋田の米と酒が大好きなので、これからも購入したくと思っています。秋田に行った際には安心してお米もお酒もたくさんいただきたいです。

本件について再考何卒よろしくお願いいたします。

2-1809 【愛知県、50代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」として売るのはなぜなのか

そもそもすべてを「あきたこまちR」に全面切り替えする必要性がわかりません。

とてもこわい事だと感じます。

従来の「あきたこまち」の種粃の提供は秋田県では2024年が最後になってしまいます。

「あきたこまち」だけでなく、

他の秋田県が提供しているすべての品種が放射線育種後代交配種に代えられようとしており、

このままでは秋田県のお米のほとんどが放射線育種米になってしまいます。

そして、これらには遺伝子特許が取られており、自家採種もすべて禁止されます。

また、これは秋田県に限られず、日本全ての都道府県でやることを農水省は計画しており、日本で作られている300品種のうち、すでに200品種以上の放射線育種後代交配種が準備されつつあります。

個人的には絶対に買わないし食べたくないのですが
外食や給食に出たら全くわからないので、子どもたちも食べてしまうかもしれません。
未来に大きな責任があることです。
秋田県だけの問題ではなく、とても心配です。

2-1810 【島根県、50代】

あきたこまちから全面切替に反対します。
あきたこまちはいつも美味しく頂いております。
日本中で愛されており、日本を代表するお米だと思っています。
素晴らしいあきたこまちは食べ続けていきたいと思っています。
日本を代表するお米あきたこまちは是非とも守って頂きたいです。

2-1811 【福岡県、50代】

『県議会への意見』

「あきたこまちR」への全量転換について以下に私の意見を述べます。

「あきたこまちR」の全量転換に私は反対します。

従来品種の「あきたこまち」も私は食べたいです。

私達の食の選択の権利・チャンスを奪わないでください。

いろいろな食の選択肢があること（食の多様性があること）が文化レベルの高さに繋がります。

食の選択肢が乏しいほど、文化は下がると思います。

この全量転換により秋田県のみならず、全国の食文化ならびに全文化レベルが下がることに繋がることを危惧します。

自家採種を禁止すると農家に負担を強いることになり、食物自給率が低下します。それは国益を損ないます。

この放射線育成米はマンガンを吸収しにくい米になりますので、マンガン不足になり、それは未来を担う子どもの成長にとってマイナスとなります。そのことも国益を損ないません。

マンガン不足にならないように農家がマンガンを追加するという新たな負担も我が国の農業の衰退に繋がり、国益を損なうと思います。

秋田県は県議会に対して、「あきたこまちR」の全量転換を説明する際に放射線育成米であることは説明していないということも非常に遺憾です。

2-1812 【島根県、20代未満】

あきたこまちから全面切替に反対します。
いつもあきたこまちを美味しく食べてます！
これからもあきたこまちをたべたいです。
あきたこまちを守って貰えないでしょうか？
よろしくお願いします！

2-1813 【東京都、40代】

全量転換した際は「あきたこまち」というだけで購入することはありません。
安心安全なものを、食に求めるのはそれが一番です。

2-1814 【愛知県、30代】

「あきたこまち」から全量転換に反対します。
その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1815 【秋田市、50代】

あきたこまちRへ2025年より全面切り替えは反対です。安全性が確かでないものをあきたこまちかあきたこまちRか消費者には分からない状況で市場に出しそれがいいとは思えません。市場に出すのであれば、県民や国民のことを考えるというのであればまずは食の安全は必須だと思います。

2-1816 【福岡県、50代】

2025年からの放射線育種後代交配種あきたこまちR
全量転換の中心を求めます。

遺伝子の破壊は今後重大な影響を与えると思います。

日本は添加物でもだいぶ汚染されています。食の安全をこれ以上破壊してほしくないです。

日本のお米、あきたこまちを守ってください。

2-1817 【神奈川県、60代】

全国の消費者にきちんとした情報を提供してください。どの様な食の安全に関する試験をどれくらいの期間行って、それを判断しているのかは、私たち消費者は非常に気にしています。どこかのエライ（と言われている）先生とか研究機関とかの権威がお墨付きを与えただけでは、私たちの安心には繋がりません。

それから、全量転換はいかかなものかと思います。消費者から選択の自由を奪う様な判断はやめてほしい。それがとっても素晴らしい商品だとすれば、自ずと市場から支持を得ることになるのだから、生産者にも消費者にも自然と広がっていくでしょう。

それを、あらかじめ行政が一部の人たちの意見を元に決めてしまっただけでは、その決定によって利益を得る一部の人たちの為に政治が利用されている様に感じてしまいます。

2-1818 【大阪府、40代】

秋田県由利本荘市の出身です。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛されていて、31都道府県で生産される日本を代表するお米になっています。その「あきたこまち」が放射線育種米となり、安心して食べることができなくなるのは非常に困ります。消費者が気にするのは、食味や価格ではありません。世界にも誇れるブランド米だと思っていますが、ゲノム編集や放射線照射などを行うことで食の安全への意識が高く予防的思考のヨーロッパ等では輸入が難しくなると思います。

また、カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。根本的な解決策を考えて、カドミウムを未来に残さないための方策を県議会でも質しいただきたいです。そして大潟村周辺で盛んになってきている有機栽培を拡大し、「全県有機栽培米の秋田県」として全国初として名乗りをあげてほしいです。

秋田県の土地広さがあれば、有機栽培用に堆肥肥料を作ることも可能ではないでしょうか。

今後の県議会にも注目していますので、よろしくお願いします！！

2-1819 【秋田市、30代】

あきたこまちRを「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。

また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのになと思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

あきたこまちが好きだし、誇りに思っている友だちも多くいます。

ただ、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話ができる機会を作っていたら嬉しいです。

2-1820 【神奈川県、60代】

放射線米絶対反対。

強行した場合不買運動します。

2-1821 【大仙市、30代】

子育て世帯の母親として、未来のために反対します。せめてきちんと表示してほしい。

2-1822 【福島県、70代】

私はあきたこまちのお米を美味しく頂いています。

あきたこまちRへの全量転換は取りやめて頂きたいと思います。

理由は放射線育種はゲノム編集と同じで、私達の人体への影響が確認されていないため、危険だからです。

放射線育種は止めて頂きたいと思います。

原種を残してください。

放射線育種以外で品質改良をして頂きたと思います。

EUの種子基準に沿って、種の遺伝子を入れ替えないようにしてください。

2-1823 【岡山県、30代】

あきたこまちRへの全量転換に反対です。従来の美味しいあきたこまちが食べたいです。よろしく願いいたします。

2-1824 【東京都、60代】

全量転換に反対します。従来の作り方で安心なお米を作り続けて下さい。

2-1825 【神奈川県、30代】

長期的に摂取して人体にどの様に影響出るか

分からないものを世に出してはいけません

従来型ので充分です

2-1826 【鹿児島県、60代】

あきたこまち 全量転換 反対します
素晴らしいあきたこまちを 守ってください。

2-1827 【埼玉県、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

あきたこまちは、そもそも日本を代表するお米です。

遺伝子を組み換えたら、もはやあきたこまちじゃないです。

Rは食べたくありません。

私たちが愛してきたお米を奪わないでいただきたい。

従来なあきたこまちを絶対残してください。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1828 【千葉県、40代】

放射線で遺伝子組み換えしたお米なんて、絶対に食べたくないです。

最近はそのような物を避ける人々が増えているのに、どうして変なことをして自然をいじくるのでしょうか？

秋田県の信用がなくなります。絶対にやめてください。

2-1829 【神奈川県、60代】

県議会への意見

あきたこまちを長年選んで買っていましたが、あきたこまちRの件を聞いて以来、あきたこまちは買っていません。

まだ大丈夫なのでしょうけど、イメージが悪くなりました。私の周りでも、もうあきたこまちは買わないという方が多くいます。ブランド米としても全国屈指でしたのに残念です。

新品種の遺伝子ではタンパク質などの性質が変わってしまうそうですね。まるで人体実験です。

Rでカドミウムが減少するとのメリットがあるようですが、カドミウムはどこの米にも含まれており、害はほぼないものと思います。

どうか皆さまの力で考え直していただき、また安心してあきたこまちを食べられるようにしてください。

よろしくお願いします。

2-1830 【東京都、50代】

「あきたこまちR」の全量転換は秋田県にとって、そして日本にとって取り返しがつかない大きな問題を引き起こす可能性があります。これを実施するメリットをはるかに上回るデメリットがあります。これらのことを総合的に検討したうえで、まずはこの全量転換をいったん延期させ、秋田県の地域の有害物質汚染対策政策を今一度、再検討することが必要ではないかと思います。

2-1831 【神奈川県、30代】

反対します。

私は長年あきたこまちを美味しく頂いてきました。それが突然放射線米に全量転換したうえで、自家採取の禁止とはどういうことですか？

私の周りの人間にこのことを聞いても誰も知りませんでした。

あきたこまちRの品質以前に、長年あきたこまちを購入し、ファンだった消費者に全く周知されないまま全量転換を決定するなど、あまりにも人間として誠意がなさすぎると思います。

100%問題ないとしても、それを長年あきたこまちを愛してきた消費者に周知してもらってから、双方納得のうえで少しずつ転換していくのが礼儀でしょう。

逼迫した緊急性が無いのであれば、一部ずつ流通して消費者の反応や、人体、生態系、田んぼ等に与える影響を数年に渡って観察するのが常識でしょう。

研究段階で全く問題がなくても、実用段階で予想しなかった反応がでる場合もあります。

全量転換と一部転換のメリットとデメリットを比較衡量しても、風評被害という説明だけでは、一気に全量転換する理由にはなりません。

公表していない、公表できない理由が他にありとしか思えません。

今のあきたこまちを全面禁止にする緊急性はなんですか？

あきたこまちを丹精込めて作られてきた農家さんは皆納得しているんですか？

「あきたこまちR」は、「あきたこまち」と形質や品質に差がないため、産地品種銘柄を品種群として設定し、「あきたこまち」として表示できるように手続きを進めております。」

なんですかこれ？

形質や品質に差が無いのなら、なぜそんなに急いでコソコソ全面切替するのですか？

国民の全ての疑問を調べて解決し、それを一定期間マスコミやネットを使って大多数の

国民に周知してもらい、納得を得られてから決議して下さい。お願いします。

2-1832 【群馬県、50代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。日本は世界一遺伝子組み換え食品が多いと言うのに、日本人になくってはならないお米さえも毒まみれにしてしまうのはやめて下さい。カドミウムより放射線の方が危険なのでは??そして農家さんをも窮地に追い込むのは許せません。撤回を求めます。

2-1833 【大分県、50代】

放射線育種後代交配種は遺伝子の突然変異を
起こしやすくする育種法との事

植物が既に持っている遺伝子の変異を促して
新たな品種を作るもので、自然の突然変異の
延長になりますが今までの美味しく安全な
あきたこまちではいけないのでしょうか?

どんな突然変異のお米を食べさせられるのか

非常に不安です、もし放射線育種後代交配種の発売

された場合は自分はもちろん、周囲の方々にも購入を
控えさせたいと思います。

2-1834 【北海道、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。理由として・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題です。

議論する場を設けるべきです。

・放射線米は長期間にわたって人体へどういう影響が出るかわかりません。

2-1835 【群馬県、30代】

あきたこまちが好きでいつも食べています。

今後も従来のあきたこまちを安心して食べたいです。

あきたこまちRへの転換、見直しをお願い致します。

宜しく願い致します。

2-1836 【東京都、50代】

様々なご苦勞をされながら放射線をあて品種改良されたかと思いますが、私は遺伝子破壊させたお米を体に入れる不安はどう考えても拭えません。食べるものが無くなれば私たち大人が食べて遺伝子破壊した罪を償わなくてはいけないと思いますが、それを未来を背負っていく子どもたちの口に入れる事はしたくありません。子どもたちの健康を守れるのは県議会の皆さまにかかっています。どうか従来の「あきたこまち」を守っていただきたいくなにとぞよろしくお願いいたします。

2-1837 【大阪府、40代】

放射線育種米反対です。

大阪人ですが

「あきたこまち」よく購入します。

もし、放射線育種米になるなら

購入しないです！

取りやめて下さい！

よろしくお願いいたします！

2-1838 【千葉県、50代】

強く反対致します！！

私たち日本人にとって、一番大切な食事はご飯です。

いつも秋田のお米を購入しており、家族全員毎日美味しく頂いています。

どうか余計なことは何もしないでください。

いつまでも秋田のお米が安心して食べられますように。

どうぞよろしくお願いいたします！

2-1839 【東京都、30代】

もう美味しいあきたこまちを食べることができません。

恐ろしいです。反対させていただきます。

2-1840 【千葉県、50代】

2025年からの放射線育種後代交配種「あきたこまちR」全量転換、及び自家採種禁止に反対します。県土の3%カドミウム、ヒ素汚染地対策を怠り、安易に重イオンビーム照射、遺伝子組み換え米に転換する事は非常に拙速で愚策と言えます。日本は恵まれた国土ゆえ、外国から狙われています。土地、水、資源が欲しくてたまらないので、国民を根絶やしにしたいのですよ。この度の新型コロナ遺伝子組み換えワクチンでは多くの死亡者と重大な後遺症が発生していますが、秋田県では何名の尊い命が奪われましたか？政治家や政府の

トップは隣国のカルト教団の一員か、グローバルエリートからの金や利権に魂を売った売国奴です。そういう輩から県民の命を守るのが県議会議員の仕事です。日本は情報鎖国ですから、海外の情報をしっかり勉強して、県民を守る為に国やグローバル企業と戦って下さい。

その覚悟のある方のみ、県議会議員になって欲しいです。

2-1841 【長野県、50代】

遺伝子の働きはまだ十分にわかっていません。人間が不要だと考えたある遺伝子が実は、大切な働きをしていたということが後になってわかったということは十分にあり得ます。あきたこまちRに転換をしたほうが良いと考えた方たちは、その分野をどの程度ご存知なのか、気になります。難しい分野であるとは思いますが、負の面もしっかり学んで決断してほしいです。あきたこまちRへの全量転換は、秋田県のコメ農業の衰退につながる可能性は大きいと思います。

私個人としては、あきたこまちRのような遺伝子が人為的にいじられたお米は食べたくありません。従来のはあきたこまちは大好きでしたが、それがなくなってしまうのはとても残念です。

2-1842 【兵庫県、60代】

「あきたこまちR」への全量転換に反対します。

理由

① 「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、日本を代表するお米です。どうか「あきたこまち」を守って下さい。お願い申し上げます。

② 放射線育種の目的は人体に有害なカドミウムを吸収しにくいお米を作ることです。放射線照射によってカドミウムをほとんど吸収しにくいお米ができましたが、放射線で破壊された遺伝子は稲の成長に必要なマンガンを吸収する上で役立っている遺伝子でした。マンガンが吸収しにくくなった稲が病気にならずに成長できるか不安です。放射線育種米の収量不足に備えて、従来品種を作り続けることが大切です。

③ カドミウム汚染で問題なのは、ウクライナへの侵略戦争以降、利用が急拡大している下水汚泥肥料です。下水汚泥にはカドミウムが含まれている可能性が高いので、それを肥料に使えば農地のカドミウム汚染が深刻化します。低カドミウム米だけではカドミウム汚染を解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

④ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきはないでしょうか。お米の種籾の元となる原種の生産は地方自治体が担っています。その自治体が種籾を放射線育種米にすると

決定した場合、そうでないお米を作りたい・食べたいと思っても、作れない・食べられない状況になってしまいます。

⑤ 放射線照射に関する表示が義務付けられていません。これも大きな問題です。放射線育種米でない従来のお米を選ぶ権利が失われたといっても過言では無いでしょう。

以上

2-1843 【岐阜県、40代】

いつも有難うございます。

あきたこまち R への全量転換は、やめて下さい。

放射線育種米ですよね。それが未来にわたって安全だと、絶対に言いきれますか？

カドミウムのためだそうですが、カドミウム汚染の心配な地域は3%なのですよね
3%の為に全量転換する必要がありますか。

秋田は日本の大切な米どころです。どうか子ども達の為に安全なお米を守って下さい。
心よりお願いいたします。

2-1844 【島根県、30代】

植物に人為的に細工するのが怖いです。

従来からの「あきたこまち」はじめ、お米を食べたいです。

対策すべきは米の性質ではなく、環境ではないでしょうか。どうか短絡的な、考えに走らず、未来の生きる人々にも思いをよせてください。

あきたこまち R への

全量転換に反対です。

2-1845 【埼玉県、60代】

あきたこまちの放射線育種米への変換に反対します。

あきたこまちは一大ブランドです。

コシヒカリやササニシキに並んで、とても、美味しく、埼玉県に住む私も選びますし、日本全国にファンが多いです。

このお米は遺伝子を欠損させて、カドニウムを吸収しにくい、とのことですが、他の重要な微量ミネラルは、どうなのでしょう？

そして、そのお米には特許があり、自家採取して次の年に蒔くことが出来ないお米と聞きます。

これは大問題です。

もし、秋田県がこのお米を採用するなら、
私は、秋田県産のお米は、もう買いません。
息子は寮生活をしていますが、学校にも秋田産のお米は使わないようにお願いします。
ほかの人にも、そのように伝えます。
また、この生物多様性を壊すような農政を行うなら、
秋田県は、全国から批判を集めるでしょう。
どうか、立ち止まり、方向転換し、やめていただきたい。
どうか、お願い申し上げます。

2-1846 【東京都、60代】

私はあきたこまちが好きでよく食べています。でもRへの転換の話を聞き、もう食べられなくなると残念に思いました。
遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。
どうか従来の品種を作り続けて頂けませんか？
心からお願いします。

2-1847 【茨城県、40代】

お米は日本人の主食です。
私は毎日パンではなくご飯を食べています。
そんな大事な食料である米に放射線をかけて
遺伝子を壊して安全性が心配です。
そんなお米は食べれないし食べたくない。
安全性がわかっていないものを実践しなくてはいけない事に納得が
できません
私はあきたこまちRに断固反対します。

2-1848 【福岡県、30代】

「あきたこまち」大好きです！
あきたこまちR放射線米反対！！

2-1849 【神奈川県、20代】

あきたこまちR全面切替に反対します。
理由は、

今までのあきたこまちで健康上の問題はなく、全てを放射線育種後代交配種米にする必要性がわかりません。

風評被害以前にあまりに時期尚早と思われます。国民の何割がこの放射線育種米を認知しているのでしょうか。

わたしはお米を主食として食べてきました。

この国に生きる一人の人間としてあきたこまちR全面切替に反対します。

2-1850 【福島県、40代】

『あきたこまちR』食べたくありません。秋田も終わったな…信頼を失えば終わる。こんな米、未来ある子ども達に自信を持って安全安心などと言えません。愛する子ども達に毒を食べさせることは殺人と同じです。あきたこまちは危ないと広めさせていただきます。

2-1851 【愛知県、60代】

あきたこまちについて

あきたこまちに放射線をあてないでください。

日本を代表するお米をいじらないでください。

日本の食を守って下さい。

2-1852 【兵庫県、60代】

ずっと、従来のあきたこまちを頂きたいです？

2-1853 【神奈川県、40代】

環境の変化について数年後、数十年後まで予測通りに進むことはあり得ないと考えます。全量転換した先に予想外の環境変化があった場合に備えるため、また、放射線育種米が予測通りに成長しない場合に備えることが必須であると考えます。つまり「全数」という選択肢はあり得ないと考えます。

是非とも予測不能な未来に備え、不測の事態が起きた時にも選択できる余地を残した結論を出していただけることを望みます。

私は横浜の人間ですので関係ないと考えられる方もいらっしゃるかもしれませんが。ただし同じ日本人として、そして心ある人間として、未来ある子供達への責任を我々大人達がしっかりと考え、判断する事を望みます。ぜひ一度立ち止まりしっかりと議論を尽くして決定していただけますようお願い申し上げます。

2-1854 【大阪府、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
 - ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
 - ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
 - ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
 - ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1855 【神奈川県、70代】

秋田県は教育に熱心な県だと聞いていましたが、なぜかコロナワクチン接種率が日本で人口減少率も日本一。

暗記力だけが高く、自ら考え分析するという事が非常に苦手な県民性なのかもしれません。

一体、何の為の学力でしょう？

体の至る所でウイルスを作り、例えば脳細胞でウイルスが作られたら、自己免疫が脳を異物だと認識し、脳ごと攻撃してしまう様なコロナワクチンを何故、日本一打ってしまうのでしょうか？

自己免疫が自分の脳を攻撃するとどうなるでしょう？脳だけではありません。体の至る所でこれがおきます。心臓、血管、腎臓、肝臓、肺・・・害はこれだけではありません。

そしてワクチンで犯した失敗を今度は放射線育種後代交配種の採用で犯そうとしています。

ワクチンの危険性を理解していない秋田県民にとっては、この問題を理解することは難しいかもしれません。普通の感覚を持った人にとっては簡単な問題で中止一択ですが。

遺伝子をいじる危険性やそれを食する危険性を軽く考えているから、ワクチンでも簡単に接種してしまうのでしょうか。少しは失敗から学んだらどうでしょう？ワクチンでこれだけ死んでいるのですから。

秋田県民の民度を日本中が注目しています。

子や孫がどうなろうが知ったこっちゃないと言う選択をするのでしょうか？秋田県民は。

「照射じゃがいも」とか調べてみても良いかも知れません。賛否両論出てくるので秋田県民には見極めが難しいかも . . .
<https://twitter.com/satomihiroshi/status/1490194516967526402>

ワクチンも照射米も遺伝子をいじってしまう点が共通点です。では、ワクチンで秋田県民はどうなったのでしょうか？答えは出ている筈です。

水質基準・食品添加物・残留農薬基準・畜産潰しなど、日本は兵糧攻めが進んでいます。照射米もその一環でしょう。

秋田県民が加担者になるのか見届けます。

2-1856 【愛知県、50代】

私は他県在住者ですが、今回の秋田県による全量転換決定が他の都道府県にも多大な影響を及ぼすと考えられるため、パブコメに投稿させていただきます。

まず放射線処理した種苗の利用についてですが、カドミウムを吸収しない様にする処理で逆にマンガン不足の米ができると聞きます。

そもそも自然界に壊していい遺伝子などあるはずがなく、この処理でごま葉枯病などの病気になりやすくなる事や、ミネラル不足のお米になることが懸念されます。

カドミウム汚染地域は全体の3%未満であるにも関わらず、汚染地域だけでなくすべての水田で同じお米を作るべきという方針も意味不明です。

カドミウム汚染と何の関係も無い地域で、上記の様なりスクを受け入れる理由がありません。またすべての農家にマンガン不足にならないようにマンガンを追加するという新たな負担が課されることになるという事で、一体全体誰の利益のためにこんな事をするのか？疑問しかありません。

この事は全国波及が見込まれ、秋田県が踏みとどまって、日本の米作や国民健康破壊の先例にならない様、強くお願い申し上げます。

2-1857 【兵庫、40代】

県議会への意見

あきたこまちからの全面切り替えに反対します。

遺伝子組み換えの恐ろしさはすぐに現れるものではありません。従来種を守って下さい。

放射線の害を軽く考えていませんか？なぜ日本に原因不明の病気が増え続けているのか考えてから生産者と消費者と良く話し合ってください。よろしく申し上げます。

2-1858 【神奈川県、30代】

あきたこまち R への全量転換に反対いたします。

理由はいままでの有機無農薬栽培あきたこまちで健康上の問題はまったくないこと、一部転換ならまだしも、全量転換の必要性が無いからです。全量転換の停止をよろしく願っています。

汚泥に含まれるカドミウム被害が発生する原因のほうをしっかりと調査し、米をつくる農家さんや消費者も含めて議論を行う場を経て対策を決めていてもらいたいです。」

2-1859 【兵庫県、60代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31 都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。R は食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1860 【高知県、60代】

R7 年度「あきたこまち R」への全量転換反対について

県外から失礼とは思いますが、「あきたこまち」は全国で栽培されている有名な品種ですので意見申し上げさせていただきます。

秋田県内の汚染地域の割合は約 2%、カドミウム高汚染発生割合は 0.4~2.6%程と日本全体でみても高い水準とは言えないと思います。それにも拘わらず、カドミウム吸収を抑える遺伝子操作をした「あきたこまち R」に全量転換するのは将来のことも含めて立ち止まるべきではないかと考えますので、その理由を下記致します。

記

まず一点目、品種に関する疑問として、重イオンビームで遺伝子の二重鎖を二本とも切断した食品の安全性については確認できる情報がない。一つの遺伝子は複数の機能を持っており、1塩基を破壊するとフレームシフトを起こし、それまでと異なる毒性やアレル

ゲンとなるたんぱく質を作る可能性がある。遺伝子情報が壊れた品種は環境の激変に対応できず、明らかに生命力の弱い品種となることも考えるべき。この新しい品種ではカドミウムは吸収できないかもしれないが、米の成育に必要なマンガンも除去される。マンガン不足は、子供や胎児を育てる母親のカルシウム不足による健康被害にも繋がる。

二点目、世界と比較した場合、現在放射線育種米を作っているのは実質日本だけ。遺伝的多様性の重要性が世界で認識されており、不味くても気候変動に耐えうるなど今残っている在来種を守るのが潮流。

三点目、日本の農業戦略に反するのではないかということ。みどりの食糧システム戦略でも農業基本法でも輸出が日本の農業成長の軸としているのに、その妨げになるのではないか。EUは放射線育種米を有機米と認めていないことと、メディアの情報量が日本とは違うので、消費者は様々な情報を入手できる。日本米の安全性についても確認することが容易。故に敬遠されるということ想定しているのだろうか。例え国内の消費者が有機米と誤解されたとしても、他国では無理だと思う。

四点目、R4年8月18日岡山大学資源植物科学研究所 馬 建鋒教授が「イネのカドミウム集積を抑制する遺伝子の同定により、収量と食味に影響しない低カドミウム集積イネ」の育成に成功している。こちらの品種はインドで3000年栽培されてきた実績があり、土壌のカドミウムを根の液胞に溜め、米には取り込まれずマンガンは豊富に取り込む。おまけに土壌からカドミウムの除去が進む。カドミウムを吸収しない「あきたこまちR」ではカドミウムが土壌に残ったままで減ることはない。秋田県だけではなく、工業化と都市化によって全国の農地が汚染されている。それなら「低カドミウム集積イネ」をまずは汚染地区で転換してはいかがだろうか。それでも風評被害があるというなら、徹底した検査結果を公表すれば良いと考える。

以上の理由により、試行錯誤のうへ開発された「あきたこまちR」だとは思いますが、失礼ながら将来まで見据えた品種であるとは考え難いです。馬教授の品種を取り入れるつつ、今ある「あきたこまち」など多様な品種を守るよう立ち止まりご再考いただきたく、切にお願い申し上げます。 以上

2-1861 【宮城県、30代】

あきたこまちを今まで、食べてましたが。

あきたこまちRに全量転換されてしまうと、

あきたこまちを食べられなくなります。

健康への安全性も不安です。

もう一度ご検討いただければ、幸いです。

2-1862 【群馬県、50代】

遺伝子組み換え作物は人の精神と身体に悪影響を及ぼすのは解っているのに何故？
一部の人間の利権と、人口削減に加担しているとしか思えません。

現にコロナワクチン接種率日本一で、死亡率日本一です。

勿論解っていると思いますが、こんな狂気な人道を外れた行いは、止めて貰いたい。

因みにロシアでは、遺伝子組み換え作物

生産禁止で、生産した場合逮捕です。

2-1863 【東京都、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1864 【秋田市、30代】

遺伝子操作による「品種改良」は決して
うまく行っているとは思えません。

これまで様々な遺伝子操作による品種が
作られてきたと思いますが、

ほとんどのものは遺伝子操作を使わない、

従来品種改良で作られたものの方が優れた品種が
得られていますよね。

例えば塩害耐性、

干ばつや高温に耐えられる品種、

収量の多い品種など、

さまざまなものが作られましたが、
たいがいのは遺伝子操作使わない
従来品種改良の方がよりよいものが
実現できているのです。

カドミウムおよびヒ素汚染対策として、
今後の日本の食をカドミウムやヒ素汚染から防ぎ、
また環境中の汚染をどう減らしていくかは
重要な課題です。

でも、世界の中に存在する多数の在来種、
そして農法によって解決する道は
存在していると思います。

もしその道が見つからなければ
有機の「あきたこまち」は姿を消してしまいます。
有機農業こそ生態系を守り、安心安全なお米です。
もし放射線育種を選択するというのなら、
それは政府や地方自治体が勝手に決めるのではなく
お米の生産者やお米を食べる人が
その議論に参加する必要があると思います。

放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」ということを
全面に出したうえでの国民の反応を確認していますか？
決定事項のように伝えられただけでは、
子どものことや食の安全面を考えると納得できません。
軽率な判断だとお見受けします。

せめて全量転換ではなくして頂きたいです。

あきたこまちRは選びたくありません。

どうしても転換したいのであれば、国民にも選択させて下さい。
従来品種、有機品種は残すべきです。

2-1865 【大阪府、50代】

放射線育種米に反対します。

安全性も良くわからず、国民に周知されていなく、
しかも全量転換など言語道断です。

私達国民はそんなものを望んではいません。

中止を求めます。

2-1866 【徳島県、30代】

従来のおきたこまちを続けて下さい。普通のお米が食べたいのです。

2-1867 【秋田市、20代】

放射線育種後代交配種に変えないで下さい。

安心して食べられるお米を残してください。

私は化学物質過敏症という病気で人が多いところへ
行くと具合が悪くなります。行けません。

化学物質過敏症は誰しもがなる可能性のある病気です。

この病気には薬はありません。

ですから、自分で普段の食事から炭水化物、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラルの
栄養バランスを整えていかないと常に体調不良で寝込みます。

お米には炭水化物のほかに微量ミネラルがたくさん含まれていて欠かせません。

そのお米を放射線育種後代交配種に変えられたら、安心して食べられません。

安心して生きられません。

勇気を持ってご意見させていただきました。

どうかひとりひとりの心と身体の健康を第一にした選択をしてください。

本当にお願いします。

2-1868 【奈良県、50代】

全面否定をしたいわけではなく、議論のないまま進めるのは民主主義の根幹を揺るがせ
かねないことだと思います。

まずは、エビデンスなどの研究結果や、市民たちの意見をしっかりとテーブルにだす場
を作ることを心から願っています、

どうか声を聞いてください。

2-1869 【秋田市、40代】

本当に安全なのか。臨床実験的なものはなされたのか。毎日食す一般市民の殆どは賛成
反対以前に何も知らない状態なので、まずはそれがどのようなものなのか、地元のメデイ
ア、SNS、WEB あらゆるチャンネルで周知することが不可欠だと思う。

2-1870 【岐阜県、60代】

これまでの「あきたこまち」を守ってください。県民ではありませんが、これは大変重
要な案件です。日本の米が壊されていくきっかけを秋田県はしてはいけません。大事な日
本のお米を守ることは日本を守ることに繋がります。日本の農業を守ることは日本をま

もることです。米どころの秋田県は日本を代表する農業県です。どうか我々の食を守ってください。

2-1871 【鹿角市、50代】

当地域はカドミ汚染米で非常に苦勞している地域のひとつです。客土他、カドミ吸収抑制湛水管理等の対策は進めてきましたが、未だ無くなっておりません。消費者に安全で安心な米を届けるため、全量カドミ分析も実施しています。あきたこまちRの全量転換に期待はもちろん切望しています。

2-1872 【秋田市、80代以上】

あきたこまちRへの全量転換について（意見）

秋田県農業の将来を考えての施策だとは思いますが、以下のような問題点があると考えますの

で、全量転換の実施時期を延期し、県民(生産者、消費者)の議論を深め、合意を得る努力をしていただくよう要望します。

1 秋田県農業の将来に関わる重要な問題でありながら、生産者、消費者はもちろんその代表である県議会の論議も不十分（と認識します。7代にわたる生育実験をしてきたと言いますが、当初の予算要求において県議会に詳細な説明はされたのでしょうか？）な中で決定されすでに実行されています。本当に県民の将来に必要な・有益なのか、明確にはされていないと思います。以下に指摘する問題点を考えれば、むしろ、秋田の良さを失いかねないと危惧します。

2 この方針は、農水省が令和元年に更新した「農産物中のカドミウム低減対策技術」に基づいていると思います。その技術の必要性は否定しませんが、問題は同文書中で「全国の主要な水稻品種や多様な業務用米品種に迅速にカドミウム低吸収性を付与する」としている点です。つまり日本のコメ生産を「カドミウム低吸収性を付与された品種に一元化」することが意図されているという点です。多様性に逆行するその方針は何のためか、同文書中にその理由は示されていません。

3 秋田県はその先端を切ることになります。秋田県の水田面積に対して1%に満たないカド

ミウム、ヒ素汚染水田に対応するために全県農家のコメ生産をこまちRに全量転換しなければならない理由はない、つまり全量転換はカドミウム汚染対策ではないということだと考えます。

そのことは、農用地汚染対策法が「汚染の防止及び除去並びに汚染に係る農用地利用の合理化に必要な措置を講ずること」と定め、そのための手法として「汚染防止のためのかんがい施設等の新設等、汚染除去事業、汚染農用地の合理的利用のための地目変換等

(5条)」が挙げられ、品種の転換などは想定されていないことから明らかだと思います。

4 他方、低カドミウム米技術の確立を推進する国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（研究機構と略称）法は、種苗法による登録品種を独占的に利用する権利（育成者権）について規定し、併せて、他者にそれを専用利用させる権利も規定しています。従って、専用利用権を認められた各県試験場の育成品種（例えばコシヒカリ環など）は「環」を付して育成者権に服することを公示していると思われま。

そして、種苗法4条は、「誤認を生じさせる場合や混同を生じる恐れがある場合」は品種名を登録できないとしていますから、県がこまちRを品種登録するためには現在の「秋田県産あきたこまち」の品種登録を抹消しなければならないことになるのではないかと思います。全量転換の必要性はそこから生じており、農家は自家採取により「あきたこまち」を生産してもそれを「あきたこまち」として販売することはできなくなるのではないかと考えられます。

5 結局、全量転換の必要性は農水省の「コメ生産をカドミウム低吸収米に一元化」する方針によるものであり、風評被害等の秋田県独自の必要性の問題ではないと思います。では、農水省はなぜ全国のコメ生産をカドミウム低吸収品種に一元化する必要があるのでしょうか？

この点を5年ごとに策定される「食料・農業・農村基本計画（令和2年3月策定）」で見ますと、食品の安定供給のために「講ずべき施策」の2番目に「グローバルマーケットの戦略的拡大」が位置付けられています。そしてその内容として①少子高齢化によって食料の消費量は減少するので輸出の拡大に努めねばならない②そのために、輸出先国の衛生、食糧安全基準に適合するよう輸出阻害要因の解消に努めねばならない（農林水産物及び食料の輸出促進に関する法律R・元）③グローバルマーケットに意欲的に対応する事業主体の育成、を挙げています。

この②への対応が、農水省がカドミウム低吸収性を備えた品種にコメ生産を一元化する理由ではないでしょうか？

6 つまり、全量転換は、秋田県農業の将来像をグローバル産地形成として描いていることになると思います。そうだとすれば、①グローバルマーケットに意欲を持つ事業主体（農家）以外は離農促進政策ということになり②消費者にとっては国際需給に対応する消費構造を強制されることになると思います。全量転換に当たって、こうした疑問に答えていただき、冒頭要請した対応をしていただきたく、意見を提出します。

2-1873 【高知県、40代】

私は秋田のお米が大好きです。

どうか、あきたこまちを放射線育種後代交配種にするのを辞めてください！

子供達にあんしん安全で美味しい秋田のお米を食べさせてあげたいです！
どうかどうか宜しくお願いします！

2-1874 【埼玉県、40代】

遺伝子組み換えのお米に反対します。
美味しいあきたこまちを守りたいです。
せめて、自由な選択ができるように
何故、全量転換なのでしょう？
消費者も知らない生産者にも情報が
十分ない状況で正しい判断ができるとは思いません。

2-1875 【鹿児島県、50代】

テーマ2

秋田県は、日本を代表する米どころです。放射線処理を行うと遺伝子の変容が懸念され、食の安全を守る事ができなくなる危険性があります。日本国民の大切なお米を自然な形で育てる事が大切だと考えます。放射線育後の生産に反対します。

2-1876 【東京都、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があります、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1877 【東京都、50代】

美味しい従来のあきたこまちが大好きです。

私達消費者や生産者さんの意見を聞かずに、
種籾を変更されることはとても残念なことです。
Rに変更されるならば、我が家の食卓はのせることは
よくよく考えないとならないことです。
同じ考えの方が多ければ、あきたこまちRの
消費量は激減するとおもいます。
どうぞ、安全面や農家の方への負担などを
熟慮していただきたいとおもいます。

2-1878 【兵庫県、30代】

私は、今のままの美味しいあきたこまちを安心して食べ続けたいです。
全体の3%未満しかないカドミウム汚染地域。その風評被害を避けるために全量を放射
線育成米に転換。しかもそれと引き換えに全ての農家が不足してしまうマンガンを追加し
ないとならない負担付き。

「あきたこまち」という秋田を代表するブランドが「あきたこまちR」という放射線育成
米に。この話し、既に周りで広がっていて、「あきたこまちは放射線汚染米」だから買わな
い方がいいと。

東北=放射能汚染

残念ながら、まだまだ消費者はそう思っています。

そんな中であきたこまちが放射線育成米に変わったら…

特許を持つ大手企業以外の誰が得をするのでしょうか。

風評被害はどうなるのでしょうか。

2-1879 【埼玉県、40代】

日本の農業の素晴らしさは今まで通りのお米を作ることだと考えています。

我々の子供が健康に過ごせるお米を作り続けてほしいです。

2-1880 【福岡県、50代】

県議会への意見

県は県議会に対して、この全量転換を説明する際に、放射線育種米であることは説明し
ていないという事がなぜなのか。始まりから疑問点しかありません

議論の重要性さえ失われているのではないのでしょうか。

国民皆様が納得行く行程を経て、決定していくべきです

秋田から、この間違った農業が始まらない様に、未来を守る為にも是非議論を重ねて尽
力頂けることを祈ります

どうか宜しくお願い致します

2-1881 【富山県、50代】

日本国民の体の根幹をなす米にこのような放射線をあて遺伝子を変えるとということでもない技術で品種改良されているとはまじめてしりました。とんでもないことです。もしそうなったらあきたこまちは二度と買いません。大豆、トウモロコシなども遺伝子組み換えは買ってません。もし、他県でやっているのならその逆にすすむことが価値を高めます。日本人と共存してきた米を壊さないでほしい。

2-1882 【大阪府、30代】

県議会への意見

あきたこまちRへの全量転換には反対します。人体にも耐えられないレベルの放射能をあびたお米を食べる事は不安に思います。カドミウムが取り除けてもマンガンが不足する米になると言う結果も出ているそうでそれは子供の発育不足や、女性は不妊につながるとも言われています。未来ある日本の子供達に食べさせたくはありません。もし作付けされていけば、花粉などにより交雑が進み今ある有機栽培の米も食べれなくなります。これでは消費者には選択権はありません。不買運動をしようにも出来ませんし、なにより今日まで誠実に田畑に向き合ってきた農家さん達が潰されてしまいます。このような流れが全国に広まるのは非常に不安に思います。有機の表示義務もない、これも世界的にみればおかしいです。日本の食は美味しく安全ではなかったのでしょうか？今や各国にある日本企業チェーン店でも日本製食品は使用してませんと、張り紙が出される始末です。世界からみて安全でないと思われているのです。こんな日本ではなかったはずです。日本人としては、今ある豊潤な土壌を守り、人を傷つけず、作物を傷つけず、環境を守りながら、安全な食の道を模索すべきです。今懸命に有機、自然農をしてる農家さん達を守る選択をしてほしいです。大阪からですが、秋田からはじまり全国に作付開始されてはとんでもない事態になるのではと思い、意見させて頂きました。どうか全量転換しない選択をして頂きたいです。

2-1883 【宮城県、50代】

「あきたこまち」のことを、
大切に思っている友人がいます。

「あきたこまちR」とは、
別という表記をお願いいたします。
同じであるという事に対し、

違和感を覚えます。

よろしく願いいたします。

2-1884 【奈良県、40代】

品質改良したあきたこまちは食べたくないです。

今まで通りの、あきたこまちは食べたい。

2-1885 【東京都、50代】

品種改良に放射線を使う事は断固反対です。

人間が3世代通して影響無しと言い切れるのですか？

エビデンスも無いまま食の安全を軽んじては

未来の子供達を守れません。

そのような品種改良種を

例え一部の区画だけに制限しても他への受粉を

止められないので、そのような品種改良品を

生産しては、いけません。

2-1886 【宮城県、70代】

「あきたこまちR」とは放射能で遺伝子が改変された米、つまり、放射線を当ててカドミウムの吸収に関わる遺伝子を破壊してできた品種だそうですね。放射能で遺伝子を壊すというだけでも恐ろしいのに、さらに、そのような放射線育種の米に全面転換する、つまりそれ以外の品種を認めないという秋田県の方針は、想像を絶するほどの大きな間違いだと思います。放射能技術で自然を操作・支配しようとする人間の傲慢は、(原子力発電がそうであるように)人間自身の生存基盤をも脅かすことになるでしょう。秋田県が「あきたこまちR」への全量転換の方針をやめ、決定を撤回されるよう切に訴えます。

2-1887 【千葉県、70代】

一体この法案を通そうとしている力の背景はどこにあるのですか!?

本当に日本や、日本人の命を守る意志があるならこんなことを

考えるはずがありません!!

日本人の命のためにこんな法案は通さないで下さい!!

放射線照射されたり、ゲノム編集されたお米など食べたくありません

自然の恵みに満ち満ちたものを日本人は食べる権利があります

2-1888 【神奈川県、40代】

おいしいあきたこまちを食べたいです。

得体のしれないあきたこまちR全量転換には断固反対です。

農家の方の事も考えて下さい。

2-1889 【愛知県、60代】

放射線育種米になってしまうと、お米の安全性が不安です。

また、日本の農と食に多大な影響を与えざるをえません。

慎重な検討をしていただく必要があります。

2-1890 【石川県、40代】

安全とは言えません。

絶対に反対です。

秋田県でのこの動きが、将来的に日本全体で追随する動きになることは考えればわかります。

従来からの日本の食の安全を守ることを第一に考えてください。

よろしく願いいたします。

2-1891 【福岡県、50代】

今すぐやめるべきですね。

オーガニックの時代にわざわざ放射線を照射して変異させるなんて、ありえません。

あきたこまちをよく買っていました。一切やめます。知人にもできるだけこの情報を拡散して、買わないように勧めます。

2-1892 【宮城県、50代】

あきたこまちに放射線つかうなら2度と買いません

危ないと警告して拡散して健康被害から国民を守ります。

2-1893 【千葉県、50代】

あきたこまちRに切り替わった場合、もうあきたこまちは買いません。

安全性にも不安がありますし、長年続いてきたあきたこまちは種籾を、

ここで途絶えさせてしまうその感覚が全く理解出来ません。
周りのものにも、あきたこまちRを買わないように伝えます。
他の野菜なども安全性度外視にされるのかと疑ってしまいます。
もう秋田県の農産物は買いません。

2-1894 【奈良県、40代】

県議会への意見

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

人体への影響にも不安を感じます。

2-1895 【静岡県、40代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。
また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのになと思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

最終決定をする前に、詳しい説明会や対話ができる機会を作るべきと考えます。

2-1896 【愛知県、30代】

以下の点から全量転換に反対の意見を持ちます。

・多様性が重要視される情勢の中で、既に数多くの人に愛されている今のあきたこまちを差別して禁止する必要性がどこにあるのか全く不明である。新しい品種を打ち出すことには賛成であるが、禁止する必要は無いかと思われる。より良い品種であれば、昔の品種を買う人数が減り、自然淘汰されるかと思われる。

・新しい品種であれば、生産者も消費者も放射線育種の有無がしっかり分かるように表示する責任があると思います。表示無しは、無責任の極みかと。

・長期的な消費者の健康への影響が不安である。しっかり品種を表示した上で、食べた人間の健康データまたはそれに準ずる科学的なデータで以て安全性を主張すべき。非科学的な転換は、不信感を煽るだけになるかと思われ、せっかく良い品種を打ち出したのにも関わらず広まらない可能性が出てくるかと思われる。

2-1897 【埼玉県、50代】

「あきたこまちR」への全量転換に反対します。

あきたこまちは冷めてもおいしく、家族みんなが好きなお米です。

遺伝子を操作されたお米は、将来においても安全性が不明ですし、是非ともやめていた

だきたいです。Rになってしまったら、購入することはないと思います。

2-1898 【宮城県、50代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と表記して販売等するのは違和感があるどころか許せない。有機栽培や無農薬、減農薬などの審査、区別があるのであれば当然その前の種の発生の経緯も明示するべき。遺伝子組み換えなどの表示されるものもあるのに（米は対象ではないかもしれませんが）それ相当の手を加えているものなのに、一切の表示、または区別がないのは、消費者や生産者に対してどう考えているのか？今後子供やその先の未来に誇れるあきたこまちと言えるのか？全国でも一切の明記なく販売される謎の発生の米が出回る動きがある前に、お米の美味しい秋田ではこの動きを止めて、全国への指針になるお米の旨い県になる事を願っています。

2-1899 【岡山県、50代】

あきたこまちへの放射線照射についての意見を送らせていただきます。
カドミウム汚染されたあきたこまちだけでなく全てのあきたこまちへの放射線照射を実施されるとのことですが、そもそも放射線の照射はゲノム編集につながる技術ではないですか？
ゲノム編集は遺伝子組み換えと同様に安全性は確認されていないのが現状です。
あきたこまちRへの転換をきっかけに全ての品種への放射線照射が実施される可能性も考えられます。
この事は食の安全保障の点からも極めて問題であると思います。
あきたこまちRへの全量転換は見送るべきではないでしょうか？

2-1900 【和歌山県、60代】

あきたこまちは日本を代表するお米です。従来のあきたこまちを食べたいです。Rは食べたくありません！消費者、生産者にも情報がないなかで全量転換を決めてしまうのは大問題です！カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。もっと議論する場を設けて今までのあきたこまちを守って下さい。

2-1901 【神奈川県、40代】

放射能育成米反対でございます。

デメリットなど詳細にお知らせください。

従来通りのお米で安全安心が重要と思われます。

食の安全が不安視させられる昨今、

お米までとなると健康障害が心配です。どうか、従来通りのお米をお願いします

2-1902 【宮城県、30代】

いつもありがとうございます。

日本の主食である米の品種に関してのはずなのに、あまり必要な説明がないまま全量転換されることが決定した印象です。

生産者がえらべるようにすること、売るときには以前のとは違いがわかるような名前にしてもらえると購入者もわかりやすいです。

2-1903 【大阪府、40代】

カドミウム汚染地域は全体の3%未満であるにもかかわらず、汚染地域だけでなく、すべての水田で同じお米を作るべきという方針が作られたようですが、お米を品種改良することは、そもそも根本的なカドミウム対策にはなっていない。

『カドミウム汚染地域を改善すること』が優先的な行動であると思います。

それと、自然にも放射線はあるという文言がありますが、『故意に放射線を当てて遺伝子を破壊し』放射線育種米を作るとは、根本的に次元が違うように思いますし、放射線育種米を作る必要は無いのではないのでしょうか？

さらに、自家採種も禁止ということですが、『自家採種』こそが各農家の要の部分であり、種を紡いでいくことが農業だと思えます。自家採種も禁止で、買わされた種を用いての農業は、農業ではなくお米育成工場だと感じます。

「あきたこまちR」への全量転換は中止して下さい。

農家さんの命を守って下さい。

未来を担う子供たちに、これからも変わらぬ美味しいお米を食べさせてあげて下さい。

いつも、あきたこまちの玄米を自分も食べております。

全量転換の中止、宜しくお願い致します。

2-1904 【青森県、40代】

あきたこまちRへの全量転換をやめていただきたい。
小学校の頃、あっさりしたお米しか食べたことのない
自分は、初めて食卓にあきたこまちが出た時の、
あのもっちりとして甘味のある味に衝撃を受け、
こんなにおいしいお米が世の中にあるのかと幼少期
に思ったものです。

誇り高い県産米を守り続ける意味をぜひ考えていただき、
私のように、これから未来ある若者にも、おいしいと
感動を与えることができる、あきたこまちを、
ぜひ、この世に残していただきたい。

2-1905 【兵庫県、50代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。県外の消費者としての意見です。私は、あきたこまちが好きで、スーパーでよく購入していました。しかし、あきたこまちRへの全量転換のニュースを聞いてから、購入するのを止めました。食べ続けた場合、どのような影響が出るか、わからないからです。行政は安全だといいますが、全く信用できません。私の中で、あきたこまちは、気味の悪い、避けるべきブランドとなりました。残念です。

2-1906 【山口県、30代】

長期的に見て、身体にどんな影響があるか分からないものに、いきなり全量変えてしまうのは如何なものでしょうか？カドミウム汚染のある地域は全農地の3%ほどだと聞きます。たった3%のために、放射線をかけたお米ばかりにしてしまうのでしょうか？この話が進んでしまえば、安心してあきたこまちを買えなくなります。家族や友人も買わなくなるでしょう。ぜひ、撤回をお願い致します。

2-1907 【新潟県、50代】

新潟の米農家です。反対意見の多い転換、まだ十分な議論が必要です。県民全農家が納得いく形を取っていただくことを切に願います。

2-1908 【鳥取県、50代】

放射線を浴びたお米は買いたくないです。買いません。
我が子に絶対食べさせたくないです。

放放射線を浴びせた。という表示義務がない。というのもおかしいと思います。消費者が食品を選ぶ事ができません。

2-1909 【埼玉県、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

あきたこまちは、秋田県の方々が苦勞して作りあげてきた、日本中で愛される日本を代表するお米です。その「あきたこまち」を守ってください。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

Rは、遺伝子が破壊されています。従来のお米とは違っています。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

どうぞ、秋田県民、日本国民のために、

私たちの主食であるお米をお守りください。

よろしくお願い申し上げます。

2-1910 【大阪府、30代】

自家採種ができなくなったり、遺伝子組み換えの可能性がでてきたり…色々と調べて見ても何も安心できる要素がないのでやめて欲しいです。

秋田県は自給率が高い素晴らしい土地なのに、その土地の名産を変に改良しないでください。

新しいものを作ってみて世の中に出すのはいいと思いますが全改正は本当にやめてください。

消費者も選択できなくなり悲しいです。

古き良きはぜひ残してください。よろしくお願いいたします。

2-1911 【愛知県、50代】

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があ

り、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1912 【宮城県、60代】

なぜ秋田はいつも東北の足並みを乱す選択をするのでしょうか。東北地方にあって、日本の米を守ろうと一生懸命の人たちを尊敬しています。無自覚でいると、知らないうちに利益だけが優先になり、気づいた時は、大きなものに巻かれています。次は東北全体へ、そして日本全国へとこの流れが広がっていくのでしょうか。「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのになと思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

あきたこまちが好きだし、誇りに思っている友だちも多くいます。

最終決定をする前に、詳しい説明会や対話ができる機会を作っていたら嬉しいです。

2-1913 【愛知県、60代】

長男のお嫁さんが秋田出身で、あきたこまちのお米をもらったことがあります。とても美味しいお米でした。

今回、そのあきたこまちを、全部あきたこまちRにすることを聞きました。

何か良いことがあるから、あきたこまちRにしたいのだろうとは思いますが、それだと、種籾をとってはいけないことになるとも聞きました。

毎回、種籾を買わなきゃいけないのは、困る農家さんもいると思うし、今までのあきたこまちが好きだという方もみえるだろうと思うので、選択制にしたら良いと思います。

関係ない話かもしれませんが、学校の制服も何でも選べるのが良いと思います。

秋田県議会の皆さん、よろしく願いいたします。

2-1914 【宮城県、40代】

秋田に住む友人からパブコメを求められました。

パブコメを求める前に、農家さんの話は聞かれましたでしょうか？

科学の進歩による技術の導入は、慎重に慎重を重ねなければなりません。

また、「あきたこまちR」を「あきたこまち」として生産することの危惧を、どれほどの方が訴えているのでしょうか。

まずは住民の皆さんとの対話で、進むだけでなく、立ち止まる勇気を持ちつつ挑むことを求めます。

宜しくお願い致します。

2-1915 【愛知県、50代】

秋田県議会さまへ。

日本人のお米、あきたこまちを
そのままの状態です。安心して食べたいです。

これは秋田県だけの問題ではなく、
全国の消費者の問題です。

日本人の健康問題です。

また、農家さんに、Rの丁寧な説明をされたのでしょうか？

農家さん全員が進んでのことでしょうか？

私はご先祖さまから繋いでいただいたこの身体。

昔ながらの主食で生きていきたいです。

そのような人は農家さんも消費者もいますよね？

一斉に変えるなどと言うことは

一方的で民主主義ではないように感じます。

2-1916 【石川県、40代】

あきたこまちの放射線育種米への全面転換に反対します！！

全国であきたこまちを愛する人はたくさんいます。2025年より全面転換すると表明していますが、それを食べる全国の人達の体がどうなるか？としっかりと調べたのでしょうか？

安全性をまともに結果を発表されていないと聞きます。

なぜ放射線米に変えなければならないのでしょうか？

食の安全は日々脅かされています。日本の主食はお米です。昔から大事に育てられてきました。こうして受け継いできた農業を変えるのは何故ですか？秋田の農家さんには全て説明し納得されたのでしょうか？今後放射線米のあきたこまちRが販売されても購入しません！それに有機の表記が出来る事にも疑問を持ちます！私は石川県民ですが、放射線米を販売されるなら必ず深い運動で風評被害もでます。考え直して頂きたいです！石川県も放射線米が販売されれば買いません。

よろしく申し上げます。

2-1917 【北海道、60代】

放射線で突然変異を起こさせ、低カドミウム吸収米として確立した品種のようですが、希望する農家が栽培するのならまだしも、全量転換というのは理解できない。あきたこまちRは、あきたこまちとは似てもつかぬ遺伝子改変米だと理解している。ほとんどの消費者はそうではないか。これまで秋田の農家の努力によって確立したブランドをドブに捨てるようなものだ。

私はいまだに福島県産の農作物、海産物はどんなに安くても一切購入しない。それは、安心、安全という政府のお墨付きを全く信用していないから。秋田県がいくら安全だといっても信用していないからあきたこまちRについても、購入することはないと思う。そういう消費者は多いのではないか。そればかりか、秋田名物きりたんぽもあきたこまちRが使われていると思うと、食べる気も起らない。秋田のブランド戦略としてはまったくマイナスになると考えている。低カドミウム吸収網をつくるくらいなら、カドミウムが漏出しない水田をつくるべきだと思います。食の安全に疑義があるものを購入する人はいないと思いますよ。考え直してはどうでしょうか。

2-1918 【埼玉県、60代】

あきたこまちは、よく購入させて頂き、有り難うございました。
この度、Rが付く放射能汚染米に全量転換されるのでしょうか？
そうなった場合、とても怖くて、食する事は出来ません。
是非、ご一考を!!
折角の美味しいお米を…。
一度そうしてしまうと、後戻り出来ませんよ。

2-1919 【東京都、60代】

県議会への意見

です。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-1920 【神奈川県、70代】

安全性が確保できないので、辞めてほしい
別の方法でカドミウムを除去する方法を考えるべきです
放射線育種を使った米であることを表示してください

食の安全性を高め、有機農法を広げて行くべきなのに時代に逆行しています

この政策を進めるのなら、あきたこまちは買いません

「生態系の攪乱のおそれがある。持続可能な環境の保全ために、予防原則として避けるべきだ」

2-1921 【愛知県、50代】

植物の遺伝子は長い時間をかけて環境に適応してきた物なので、今の技術が進んでいると思って放射線などでゲノム編集してしまうことは、後々取り返しのつかないことになる可能性がある。カドミウムを吸収しない様に遺伝子を変えてしまったことで、実際にミネラルが不足してしまうという問題が出ているとのことなので、検討が必要だと思われる。

また、種の自家採取を禁止してしまうことは、今後の日本の米作りに大きな影響を与えることになるので、再検討していただきたい。

2-1922 【東京都、60代】

あきたこまちファンとして「あきたこまちR」の全量転換に反対です。従来のあきたこまちは食べ続けたいです。農水省は重イオンビーム照射して育種した「コシヒカリ環1号」の安全性は問題ない、さらに県は「あきたこまちR」の安全性も問題ないとしています。その根拠として、放射線育種は長く、広く行われてきたので安全性は証明されているということですが、今回の「あきたこまちR」は従来の放射線育種品種と異なり、重イオンビーム照射を使っています。重イオンビームは従来の放射線育種でよく使われたガンマ線と異なり、集中的に狭い領域にはるかに強い威力の放射線を当て、DNAの二重鎖を破壊します。そんな農作物は世界では他に例がないと言われ、それが安全であるという根拠、知見は確立していないと思うからです。

また、「あきたこまちR」やその親の「コシヒカリ環1号」ではOsNramp5という遺伝子の1塩基が壊されていますが、そのためにフレームシフトが起きて、これまでにはないタンパク質が生成され、それが毒性やアレルギーとなる可能性は否定できないと思います。

さらにこの遺伝子は生物にとって不可欠なマンガン吸収に関わるもので、それが壊されたことで、その吸収能力が3分の1未満に落ちてしまっています。マンガン不足が原因になって稲も病気になりやすくなっているため、栽培上でも特別の配慮が必要になっています。マンガンは成長期のこどもを含め、人にとっても重要なミネラルです。それが吸収できないお米を選びたくありません。

2-1923 【羽後町、40代】

私は秋田県の農産物が国内外で高い評価を受けており、その安全性が確保されているこ

とを誇りに思っています。

2025年に向けて放射線育種後代交配種の開発が進められていますが、その安全性については検討が必要です。

①科学的根拠に基づく安全性の確認

放射線育種後代交配種の安全性については、科学的な根拠に基づいた評価が求められます。県内外の専門家による独立した安全性評価を行い、その結果を透明かつ広く公表することが重要です。

②遺伝子組み換えとの違いの明確化

放射線育種後代交配種が遺伝子組み換えとは異なることを明確に説明し、遺伝子組み換え作物との違いについて理解を深める取り組みを行うべきです。

③情報提供と県民の参加

放射線育種後代交配種に関する情報は広く県民に提供されるべきです。県民の理解を得るための情報セッションや意見交換の場を設け、県民の意見を尊重しながら進める姿勢が必要です。

秋田県の農業の発展と食の安全を大切に考えており、放射線育種後代交配種の導入についても、慎重な対応が求められると考えております。

どうか、青森の奇跡のリンゴを参考に

地球と人に優しい安心、安全な農業の先駆者と秋田県がなる様にお願い致します。

2-1924 【埼玉県、50代】

せっかく安心安全な国産のお米が放射線にさらされて、危険になります。せめて照射したものとそうでないものを選ばせてください。

2-1925 【北海道、60代】

今住んでる町は秋田との縁が深く、秋田はとても好きな土地です。今回の放射線育種米について、米どころほど反対すべきものと考えておりましたが、むしろ進める側に立っていることに驚きました。生産者が自分たちの作り上げたものの価値を、それほど貴重(日本のごく近い将来にかかわるはず)とは判断していないのなら、秋田に限らず農業の未来はないのだらうと思います(企業による工場生産で充分)。一応、理学や工学で生きてきた者として、やり直しのきかない選択肢は選ぶべきではないと考えます。

2-1926 【福岡県、40代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたらと思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

ただ、最終決定をする前に詳しい説明会や対話が出来る機会を作っていただきたいです！

2-1927 【山形県、20代】

テーマに関する文章拝見しました。

率直に感じたことは

「選ぶ権利をなくさないでほしい」

生産者のこだわりや想いを持ってその品種を育てる権利

消費者が好きなお米を選べる権利

何の為に全量転換するのかが伝わってきません。

あきたこまちRへの批判ではなく全量転換への疑問です。

ぜひ、対話の機会を設けてください。

秋田県民ではありませんが日本に生きるものとしての責任とおもっています。

よろしく申し上げます。

2-1928 【埼玉県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては放射線で遺伝子を破壊されたお米を食べて、それが人体の中でどのような作用を及ぼすのか、わからないからです。

日本は、原爆の被爆国です。放射線の恐ろしさを知っている国は日本です。その日本で、人の命にかかわる食べ物に放射線を浴びさせて、何十年も主食である米を食べ続けた時に本当に安全なのでしょうか？

コロナのワクチンもワクチンを打ったからと言ってコロナにかからない訳でもなく、重症化しないということもよくわからない現実であり、更に副反応の被害が大きかったと世界では物議を醸し出しているのが現状です。

いま、無害と思って取り入れたものが、後に有害ということはあるということです。

そもそものカドミウム汚染を起こさないという問題の根本解決が先決であり、放射線をあてればよいということではないと思います。放射線をあてればよいということになれば、カドミウムやその他の汚染を許すことになりかねません。私は放射線で処理されたお米は食べたくありません。

放射線を照射した第一号のお米として逆に汚名を着せて、「あきたこまち」のブランド価値を下げることになるのではないのでしょうか？

どうか、お米を食の安全を守ってください。お願いいたします。

2-1929 【東京都、70代】

あきたこまちとあきたこまちRを同化する必要はあるのか？
きっちりと区別して消費者から選択の自由を奪わないでほしい。

2-1930 【福岡県、40代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。
遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲が
この気候危機の中、生き延びることができるが不安です。
従来品種を作り続けてほしいと思っています。
Rへ転換するのであれば、未来を担う子どもたちには
「あきたこまちはRになって変わってしまったから、買ってはいけない、食べてはいけない」と
教えざるを得ません。

2-1931 【東京都、60代】

放射線育種が悪い訳ではないが、あきたこまちを無くさないでほしい。

2-1932 【埼玉県、70代】

テーマ2 あきたこまちR

このようなお米は食べたくありません。秋田県産のお米は、食べないようになると思います。
主食は、とても大切なものです。安全なものを食べたいと思います。
特に次世代には食べさせたくありません。放射線処理したお米は作らないようにしてください。

2-1933 【東京都、40代】

小さい頃からあきたこまちを食べています。
あきたこまちを「R」と一括りにしないでほしい。
技術の進化も大事ですが、消費者として選択の自由を失いたくありません。

2-1934 【東京都、40代】

昔から家族で愛してきた純粋なあきたこまちが失われるのは悲しいです。

放射線照射によって突然変異を起こさせた米はなんとなく気持ち悪いです

2-1935 【愛知県、70代】

従来の「あきたこまち」の種粃の提供をやめて、放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換することに反対します。

秋田県が提供している、すべての品種が放射線育種米になってしまいます。

これらには遺伝子特許が取られており、自家採種もすべて禁止されます。

自家採種が禁止され、「その行為が犯罪」になり、「処罰の対象」になる事は断じて受け入れられません。

稲穂の国、日本において、「末代への恥」になるような行為には絶対反対します。

2-1936 【宮城県、40代】

なぜ十分な話し合いをせずに全量転換するのか。

カドミウムを吸収しないのも大事かもしれないが無理矢理一つにすることは無いと思う。

全国にファンがいるあきたこまちだからこそ慎重に議論してほしい。

2-1937 【神奈川県、60代】

八郎潟の農家さんから定期的にあきたこまちを取り寄せさせて頂いている者です。

祖先をたどると久保田藩に関係がありましたので秋田県とは多少のご?もあります。

さて、Rとは放射線育種米であるとの認識で本案につき意見を申し述べさせて頂きます。

このたびの議案をたまたま知りまして大変なショックを受けております。

正直なところ、背景、理由、目的が全く理解できません。本案についてですが、

秋田の米農家さん総意または多数意見の上でのものなののでしょうか?

遺伝子組み換え、放射線照射などは日本人の今後の行く末から反対です。

子供や孫に安心安全な国産の食物を食べさせたいという強い思いがございます。

人の口に直接入るものについては、いかなる背景があるにせよ慎重であるべきと考えます。

Rへの全量転換が農家、秋田県、日本国民全体にとって将来的にどんな効果をもたらすか

今一度熟考頂き、できれば撤回頂きたく心よりお願い申し上げます。

今までのような、おいしく、心のこもった、あきたこまちを将来にわたって頂けるように

なることを切に願っております。

2-1938 【宮城県、40代】

あきたこまちとあきたこまちRは区別されるべきだと思う。

差別化された方がRの価値がフォーカスされ、開発者も功績を認められると思う。

2-1939 【宮城県、20代未満】

放射線はこわいです。

普通のお米が食べたいです。

2-1940 【宮城県、20代未満】

純粋なあきたこまちが食べたい。

放射線になったらもう買わない。

2-1941 【宮城県、20代未満】

Rもそうじゃないのも選べるようにしてほしい。

2-1942 【岡山県、30代】

あきたこまちRは放射線育種米であり、遺伝子を破壊された稲であり、食すると人体にどのように影響が出るのか長期的に分かっていません。また、マンガンを吸収しにくくなり、米の栄養がなくなります。従来品種を作り続けることが大事です。さらに、放射線育種米のあきたこまちRが放射線育種米であるという食品表示義務もなく、消費者は遺伝子が破壊されているかどうか購入時に知ることはできず、食べたくない方が選択することもできません。そのため、従来なあきたこまちからあきたこまちRへの全量転換に反対します。

2-1943 【宮城県、20代未満】

健康のためとはいえ、意図的に突然変異を起こすのは不気味。

普通なあきたこまちがいいです。

2-1944 【静岡県、30代】

絶対にやめてください。

2-1945 【千葉県、50代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。あきたこまちR、ほとんど情報がない中で、将来的に健康被害が出たりしない、という保証はあるのでしょうか？放射線、不安です。今まではあきたこまちを食べ続けていましたがあきたこまちRは食べない。他のお米は転換しないのにあきたこまちだけどうしてこんなに早く実行する必要があるのでしょうか。

2-1946 【東京都、50代】

テーマ2 県議会への、意見

日本の代表ともいえるお米、秋田こまちを放射線米や遺伝子組み換え米にしないでください。

日本の子、孫、その先の世代までも、安心安全なお米を守って下さい。宜しくお願いします。

2-1947 【茨城県、40代】

飲食店経営です。

あきたこまちは非常に美味しくお客様からの評判もいいです。

放射線育種米が悪いとは思いませんが、中には拒絶するお客様も出てくると思うので通常のあきたこまちとあきたこまちRを選んで購入できると助かります。

2-1948 【佐賀県、50代】

あきたこまちから あきたこまちRへの全面切替に反対します。

従来のおきたこまちを食べたいです。放射線育種後代交配種のおきたこまちRは食べたくありません。

2-1949 【宮城県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1950 【東京都、60代】

秋田県人ではありませんが、横手市で種苗業を営んでいる知人もおり、また個人で所属している団体からも情報をいただき、掲題状況について知りました。最初に小生の意見を申し上げます。推進に「反対」です。”R”に関する将来的な安全性の確認はどのような機関で、どのようにされていますでしょうか？せっかく地域ブランドを確立できたのに、それを消費者が安全性を危惧して購入を控えることになってしまうことも考えられ、それは地域にとってマイナス要因にしかならないと思います。再考いただけるように意見を記述いたしました。

2-1951 【栃木県、40代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。

あきたこまちは、秋田県が育種した優良な品種です。また、お米は日本人の食生活において最も重要な作物です。

自家採取も認められており、農家にとってメリットが大きい品種を栽培できなくなることに反対します。

種子法の廃止や種苗法改正に加え、共謀罪の277の対象犯罪に種苗法の育成者権の侵害が記載されたことなどからも、日本の種子や種苗を取り巻く環境は切迫しています。

また、将来に渡るリスクが評価できないあきたこまちRを食べるリスクと、カドミウムの接種が減るベネフィットを比べたらリスクの方が大きい
です。

秋田県が前例を作れば、他県はそれをみて従う県も出てくるのが想定されます。

農林水産省の言うなりではなく、秋田県民や秋田県の農家の利益になるようなことをすべきで、中央集権的な行政ではなく、地方自治的な行政があるべき姿だと思います。

地方自治体が最後の砦として、国の誤った行政から県民を守ってほしいと心から願います。

2-1952 【大阪府、50代】

今まで通り「あきたこまち」が食べたいです。

「R」は純粋に気持ち悪いです。全量転換になったら、もうあきたこまちは買わないです。

2-1953 【横手市、40代】

何の問題もなく口にしている美味しい秋田こまちは放射線を用いて栽培するのには、反

対です。国の政策に反対している訳ではありませんが秋田県が率先して行う事では無いと思います。もう少し専門家の実績や評価を聞いてから取り組んで見ても良いのでは無いでしょうか？ 被爆米見たいな悪いイメージが目立ちたくありません。よろしくお願いします。

2-1954 【神奈川県、30代】

放射線を照射され遺伝子を破壊されたお米は食べたくありません。
未来の子どもたちへ安心安全な食を引き継いで下さい。

2-1955 【静岡県、50代】

放射線を照射した「あきたこまちR」全量転換しないでください。人間に有害な放射線を照射した米を何故使う？表示さえされない。

2-1956 【広島県、40代】

あきたこまちRを販売するとき、消費者が「放射線育種された品種であること」がわかるように表示をしていただきたいです。

どうかお願いします。

ゲノム編集や放射線育種の農産物に表示義務がないということに、心から危機感を抱いています。

あきたこまちRを販売に際して、この表示義務の件をもう一度でいいので、議論だけでもいいので、本当に、お願い致します。

放射線育種でつくられた生物を主食にするということに、恐ろしさを禁じ得ません。

これは、はっきりと日本人の、人類の、未来に影を落としていくベクトルの案件です。

目先の利益を追って、真の持続可能性を破壊しています。

考え直していただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

2-1957 【愛知県、50代】

県議会への意見

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

「あきたこまち」は秋田県が作り出した日本中で愛されるお米ですよね。「あきたこまち」を守ってください。従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。Rになったらもう「あきたこまち」は食べません。

2-1958 【千葉県、60代】

県議会への意見

あきたこまちを守りたいです。

2-1959 【兵庫県、40代】

カドミウムの吸収を抑える為に放射線を稲に照射するとの事ですが、安全性がとても不安です。

あきたこまちだけの事なら、あきたこまちは食べない、という事も出来ますが、兵庫県も予定されていますし、ゆくゆくは全てのお米に照射予定だとか。

前例が出来てしまうと後は早いと思われるので、秋田県さんにはぜひ慎重な姿勢をとって頂きたいです。すでに一部の農作物には使われているそうですが、お米は日本人の主食ですので、毎日食べることを考えると、とても不安です。

2-1960 【宮城県、50代】

秋田出身の一般の主婦です。

普段からあきたこまちを好んで家族で食べております。

この度、今までのあきたこまちから、あきたこまちRに変わるという話を聞きました。

長年あきたこまちを好んで食べている消費者として、あきたこまちRがどのようなもので、なぜ全てのあきたこまちが全てあきたこまちRに置き換えされなければならないのか戸惑っております。

一般の消費者にもどのような経緯で全量転換という方針で進んでいるのか、また、今までのあきたこまちと、あきたこまちRを選択して購入出来るようにはならないか、どうかももう少し段階を踏んで選択の余地を頂けるよう願います。

私たちにとって毎日主食としているお米のことはとても大事なことです。

何卒よろしく願い申し上げます。

2-1961 【横手市、40代】

放射線育種にはメリット、デメリットがあり、安全性についても賛否両論あるようだが、果たして現場である農家の者たちはどれの程度理解しているのか疑問である。

まだまだ議論の余地があると思われ、それを尽くさずにほぼ全国に先駆けて推し進めるのは尚早ではないか。

全量転換では反対派から不満が出るのは当然であり、反対派とは言わずともこだわりを持ってやっている者たちに選択権がないのは問題である。

2-1962 【千葉県、40代】

放射線による遺伝子異変の安全性に
疑問を感じるので反対です
美味しいお米があるのにわざわざ
人に対して将来なんらかの影響があると
予想されるものに変える必要があるんですか？
安心安全なモノを食卓に届けてください

2-1963 【宮城県、40代】

『あきたこまちR』を『あきたこまち』と言って
流通させることに違和感をかんじます。

また、全量を『あきたこまちR』にしてしまうのではなく
生産者が選べたら良いのになあ…と思います。

あきたこまち、本当に美味しなあ…と思っています。
最終決定をする前に、詳しい説明会や対話をする機会を
作っていただけたらうれしいです。

2-1964 【広島県、40代】

私は従来のおきたこまちが好きです。

いつも美味しいお米を作ってください、ありがとうございます。

私は従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか
不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さない
ための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、
秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題
で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

どうか宜しくお願いいたします。

2-1965 【埼玉県、30代】

「あきたこまち」は今のままが良いです。
不自然なお米は子どもに食べさせたくありません。

2-1966 【愛知県、50代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1967 【東京都、20代】

この全量転換という策で解決する課題は1つもないと思います。

ただただあきたこまちというブランドに傷がつくだけです。

それでなくても日本の食の安全性が見直されている昨今、自分の周りでも添加物等食に気を遣う人が増えてきました。

そんな中でこんな将来の影響が未知の品種に全量置き換わるなんて消費者にとっても生産者にとってもプラスな面が一つも見当たりません。臭いものに蓋をするだけです。

もしこの策が覆らないのであれば、今まで30年間あきたこまちを食べ続けてきましたがもう二度とあきたこまちは買いませんし食べません。

2-1968 【宮城県、20代】

放射能汚染米やめろ！！地方議員も訴えるぞ！！

2-1969 【山形県、20代】

放射能汚染米やめてください。海外の人にばらしています。お願いします。

2-1970 【不明、20代】

放射能汚染米やめて下さい。なまはげ総出で抗議します。

2-1971 【千葉県、30代】

あきたこまちR、インターネット界限でも随分話題になっております。
私は青森県弘前市でリンゴと米農家を生業とする祖父母から
農業の大変さ、その大変さを上回るやり甲斐を聞いて育ちました。
地産地消、国内の食料自給率を上げることを意識する消費者がいます。
農産物に限らず、酪農などもどんどん工業化が進み
その結果、現在のような過剰生産と大量廃棄を繰り返す仕組み。
世界の貧困や食糧不足を危惧するようなCMを流したり
テレビ番組を放送するのに、大食い対決だグルメ通販だと
相反するメディアも馬鹿馬鹿しいです。
あきたこまちRは誰が望んでいるのでしょうか？
生産を切り替えることによって得をするのは誰ですか？
この全量転換が正式に決定、施行されるようになれば
今まで長い年月をかけて先人たちが築き上げてきた
秋田県の伝統やブランド、全てを捨てることと同様です。
ご存じないかと思いますが、意識高く食料品を選ぶ人たちは
JA組合のおかしなやり方にも目を向けています。
種苗法が改正されたことにより、出荷出来る農作物が
改正前よりも制限されていることも知っています。
日本人であれば、お米は古くからの主食ですから
このようにお米の生産料の高い秋田県の暴挙には
秋田県民でなくても注目しているんですよ。
どうか、この全量転換についてのお考えを
今一度しっかりと考え直していただきたい次第です。

2-1972 【愛知県、40代】

日本人には米が必要です！小麦でなくて米が。それさえも奪ってしまうんですか！？さんざん遺伝子組み換えは危険だと分かっているがどうしてわざわざ自然に反するようなことをするのですか？しかも選択肢がない！止めて下さい。日本の大切なお米に変なことしないで下さい。

2-1973 【千葉県、60代】

あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

2-1974 【広島県、50代】

県議会への意見

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。
- ・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-1975 【鹿児島県、30代】

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。安全性にとっても不安があります。日本人の主食であるお米についてどうか真剣に考えていただきたいです。

2-1976 【東京都、40代】

「あきたこまちR」への全量転換へ反対します。

日本伝統の自然由来の安全なお米を食べたいからです。

2-1977 【長崎県、50代】

日本を代表するお米である「あきたこまち」。

秋田県はこの「あきたこまち」を2025年から放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換することを決定しました。

と言う話を聞いて

私は秋田こまちはファンだったのですが

秋田のお米は食べない様にしたいと思います

秋田の方は放射線は安全だとお考えの様でがっかりしております

2-1978 【秋田市、40代】

従来にあきたこまちをこれからも生産していただきたい。

有機米や農薬を減らして、食の安全にこだわる農家さんの努力を、全量転換などと一瞬で無駄にしないでください。

2-1979 【秋田市、40代】

2025年からのあきたこまちRへの全量転換へ反対します。

消費者、生産者へほとんど情報も無いまま全量転換を決めてしまったのは大きな問題だと思います。

この事について知っている県民の方がどれだけいるのでしょうか。

あきたこまちRがどうやって品種改良されているか（放射線を照射して品種改良されたこしひかり環1号との掛け合わせで作られた育苗種米）大切な内容の説明、議論が全くないのは県民はじめ全国のあきたこまちのファンの方々へ

不信感しか生まれないう様に思います。そのことであきたこまち事態の売れる量が減ってしまつては農家さん生産者の

方々の負担が増えるだけではないでしょうか。

加えて放射線による品種改良が人の体へどんな影響を及ぼすのかまだ分かってない事も多く子供たちへ食べさせるのは怖くて考えられません。

秋田県の大切な財産ともいえる、あきたこまちを品種改良することを簡単に決めてしまわないで下さい。

毎日食べている大好きなあきたこまちについてもっと時間をかけて深く議論されることを希望します。

2-1980 【福岡県、40代】

私は、少し前まで関東に住んでいました。子どもの頃から我が家はあきたこまち派！

コシヒカリよりも、ごはんの香りが良くて、ベチャベチャしてなくて大好きでした！

今でも実家へ帰ると食べています！

今のままのあきたこまちでいてほしい！

普通に考えて被爆した米なんて食べたくない！と思ったのが第一印象。

その後、いろいろと放射線育種を調べて、やはり納得できない心配なことの方が大きい

です。

どうか、秋田の米を守って下さい。

2-1981 【神奈川県、60代】

初めまして

神奈川県のお〇〇と申します。

突然変異は自然界で起こる現象とはいえ、自然界で強い放射線を浴びるということは自然界では有り得ないことです。そのような遺伝子に異常のあるものを人間が食べるということは全く自然に逆らったことだと思います。もうこれ以上不自然なことをしないでいただきたいです。。地球を自然を人間を・・・子どもや孫たち達のためにも守りたいです。

現在の日本は食品は添加物だらけ、海外ではNGの発がん性があるといわれている遺伝子組み換え食品が表示なしで売られています・・・もう絶滅危惧です

お米はできれば無農薬のお米にしたいところですが私は金銭的事情から現在は生協さんで農薬を抑えたあきたこまちを購入しております。もし、あきたこまちRになったら購入は絶対にしたくないです。

どうかこれ以上自然に逆らうようなことは止めて頂きたいです。

どうぞ宜しくご検討ください…

2-1982 【東京都、40代】

「あきたこまちR」への全量転換に反対です。

秋田のお米、とっても美味しいです。よく頂いています！

お世話になった方もお住まいの秋田県が大好きです。

でも、もし「あきたこまち」が「あきたこまちR」になってしまったら、私は安全性を信じられなくなりそうです。せっかくここまでの一大ブランドになった「あきたこまち」を安全性の高いものとして、今のまま、作り続けて頂きたいです。

どうぞ宜しくお願い致します。

2-1983 【愛知県、50代】

「状来のあきたこまち」から「あきたこまちR」への全量転換に反対いたします。

理由：

消費者にも生産者にもほとんど情報がないなかで、全量転換を決めてしまったことは大問題だと思います。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲が本当に安全なものなのかとても不安です。

私は従来のあきたこまちが大好きです。どうか「従来のあきたこまち」を守ってください。

宜しくお願いいたします。

2-1984 【大阪府、40代】

そんなこといいわけ無いでしょう。必ず従来のあきたこまちを守って下さい。

何故わざわざ放射線等を浴びたものに変えるのか。自家採種出来なくするためですか？

私はそんな米食べたくありません。

2-1985 【大阪府、30代】

今まで守り抜いてきた品種のあきたこまち。

日本ならでらの米の品種の1つであり、それを守るのが県民及び国民の使命です。

昔ながらの品種を守らず改良された品種に全量転換するなど言語道断。

国政・県政は日本を国民を県民を守る気がないように感じる。

そのお米を守るためには田んぼが必要であり、土地が必要です。

にも関わらず脱炭素だメガソーラーだと大騒ぎして、減反政策に拍車をかけ田んぼとして活用できる土地を埋め立ててきた。

そのメガソーラー建設には、日本企業のみならず上海電力などの外国企業も誘致され、土地ごと格安で売却されて日本が日本でなくなってきました。

またメガソーラー建設後の点検をまともにされておらず、雑草がパネル上に生え出すこともしばしば。

そうなるとう電力をも発電しない負の遺産です。

目先の利益や利権に惑わされず、日本を守るため国民をまもるために、日本のお米を昔ながらの品種を保って維持していただきたい。

人手が足りないのであれば、支援をし農家を育てる、米農家でもまともに生活できるように手助けをする、日本の米を守りましょう。

2-1986 【東京都、50代】

あきたこまちは好きなお米でした。が今回の新しい品種になることを受けて、今後は購入を止めますし、極力秋田の農産物は避けます。

同様の自治体ではK県があります。その表示を見た途端に購入するのは止めています。

2-1987 【神奈川県、30代】

県議会への意見

放射線を浴びせて遺伝子を破壊した米など、もはや食べ物ではありません。それに加え、自家採種禁止など言語道断！もはや、あなた方は日本人の敵です。

遺伝子破損したクズ米という歴史に残るレベルの大失敗と自家採種禁止により生じるであろう秋田県に対する甚大な風評被害はこれまでとは比べ物にならなくなります。そうなることが分かかっててやっていますよね？

それでも強行しようとするのなら、秋田県の米は今後、二度と買いません！

2-1988 【福岡県、40代】

放射線によって遺伝子を改造あるいは破壊した農産物は発がん性が高まるなど健康へのリスクが数多く指摘されています。

これまで多大な手間暇をかけて開発してきたすぐれたお米の品種を捨ててまで健康リスクの高い品種を推進するのか、まったく理解ができません。

もしあきたこまちRに全面転換した場合、秋田県のお米は一切購入しませんし、家族や知人にもその危険性を周知するつもりです。

外資に県民の誇りと財産を売り渡すのはやめたほうがいいでしょう。

2-1989 【鳥取県、40代】

放射線育種米はお米の安全性はどうなんですか？

知らない間に口に入ったり 表示しないとかわからないようにしたりされそうで信用できません。(遺伝子組み換えとかそうなりますよね)

断固反対です

少し話はそれますが

種籾は購入しなければならない…インド綿花農家が生活できなくなり多数自殺

自家採取は禁止…遺伝子組み換え作物を勝手にまいたと農家を訴え廃業まで追い込んだり農地も買収してたっけかな？を思い出した。

<https://wired.jp/2004/05/24/%E9%81%BA%E4%BC%9D%E5%AD%90%E7%B5%84%E3%81%BF%E6%9B%BF%E3%81%88%E8%A8%B4%E8%A8%9F%EF%BC%9A%E3%82%AB%E3%83%8A%E3%83%80%E8%BE%B2%E5%AE%B6%E3%80%81%E6%9C%80%E9%AB%98%E8%A3%81%E3%81%A7%E3%82%82%E3%83%A2/>

どちらもモンサント

ラウンドアップを販売してるどころ

販売権は 2002 年に日本モンサントから日産化学工業へ譲渡され、保有しています。

モンサント社ラウンドアップ訴訟で調べてください

日本もこうなるかもしれません

2-1990 【大阪府、60代】

消費者にも農家の生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、慎重に議論する場を設けるべきだと思います。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも共有してください。

この案件により、遺伝子を操作することはゲノム編集に繋がり、ミネラルの低下が安易に予想つきます。その米を食べる事で、心身にどれだけの変化が起りうるか、考えても怖い事です。

どうか、現状の苗で稲作が出来るよう切にお願い申し上げます。

2-1991 【宮崎県、60代】

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事、人間の手で行う放射線育種米で全量転換とは、無謀で自然の摂理に逆らう高慢な人間の欲を満たす行為。特許も有り、自家採種禁止とか、ルールが変わって行くとすれば作り手は手足を縛られる。

作り手の自由と裁量を奪うのは止めてください。

2-1992 【愛知県、30代】

放射線を利用したお米と聞き、食べたくないという気持ちになります。

またその育種米に特許がとられている事も気になります。

ゆくゆく全てのお米(種)に特許がとられた場合のことを考えると

私達の孫の時代にお米は購入できるのでしょうか？高価になりすぎて食べられなくなる人もいそうで不安になります。

どうか本物のあきたこまちを守ってください。よろしく申し上げます。

2-1993 【群馬県、50代】

あきたこまちの消費者として、「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては、

不安なので調べました。1つの遺伝子は多くの機能を持つことが多く、1つの遺伝子の機能が損なわれればその影響は多方面に及ぶ可能性があります。

放射線を照射して突然変異したお米など、絶対に食べたくありません。家族にも子ども達にも食べさせたくありません。お米は毎日食べるからです。

なのに、表示の義務づけがないため、流通に乗ってしまえば消費者が放射線育種米を識別することは不可能です。この国の政府は、消費者から選択する権利を奪い、どこまでも国民から安全な食物を奪い、不健康にさせようとしているようです。秋田県はそれを積極的に助けています。

人びとの主食のお米が放射線育種米になろうという今回の動きには、はっきり言って本当に失望しました。本当に国民の健康を考えているのでしょうか。リスクがベネフィットを上回っているのは、消費者の目から見れば明らかです。これが実現すればあきたこまちだけでなく、秋田産の食品全てに対して食の安全軽視のネガティブイメージがつき、買い物の際選択肢から外します。

従来「あきたこまち」を食べたいです。美味しいですよ。どうか守って下さい。

2-1994 【東京都、60代】

県外のものですが、あきたこまちRの全量転換に、消費者の一人として、延期、再考を希望します。

自分の食べるお米の育種の由来がわからなくなるのは困ります。

放射線育種、ゲノム編集など、人為的に遺伝子を欠損させた食品については、個々人で賛否が分かれます。

十分な情報を得られない消費者が多い段階で、遺伝子を操作して性質を変えたあきたこまちRが、食味が似ているからと言って、あきたこまちと同じ銘柄で売られるのは納得できません。主食のお米は命の要ですから、しっかり選びたいのに、選択の余地なく、あきたこまちRを食べることになります。

再考をお願いいたします。

2-1995 【376、30代】

あきたこまちとあきたこまちRは全くの別物です。

従来「あきたこまち」を食べたいです。

Rは食べたくありません。

あきたこまちを守ってください！！

お願いします！！

2-1996 【長崎県、60代】

今の農水省並びに全ての行政が国民の生活や健康を損なう方向に進んでいるとしか思えません！

自然な農業こそが自然と人間の健康になるのに全く無視した制度には反対です！

日本は食料自給率を上げるべきです！そのための補助金を出し若い農業従事者を増やすべきです！

もう、いい加減グローバリズムにのみ込まれるのは止めて下さい！

このままでは日本は滅びます！

2-1997 【長崎県、60代】

転換に反対です。自家採種できなくなってしまいます。

2-1998 【愛知県、50代】

以下の点について問題であると考えます。

①放射線育種米という、安全性が未知数な技術の拙速な市販化。

②実際に食べる消費者、生産者の全く預かり知らぬ所で一方的に全量変換を決定している。

③【あきたこまち R】が放射線育種米である事について、県議会への説明が為されていない

④【風評被害】対策より、根源的な汚染対策を優先すべきである。

⑤放射線育種米以外にも、在来品種を用いた汚染対策の研究が成果を上げている事実は、農水省が把握しているはず。

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/project/seika/2020/r2_seikashu_14.html

秋田県議会の皆様、どうか慎重かつ賢明なご判断を願っております。

悪しき前例を作ってしまうと、

秋田県のみならず日本の食糧生産への悪影響を及ぼす事を危惧しております。

2-1999 【奈良県、40代】

ご担当者様

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

此れからの日本の農業が守られていくのか、とても不安です。

こういった政策は具体的にどんな意図があるのか国民に詳しく知らせて欲しいです。

2-2000 【千葉県、40代】

全量転換に反対します。

放射線により遺伝子を破壊された奇形種の長期安全性はどう確認したのでしょうか？

既にマンガンの吸収も減ってしまっているという欠点、危険性が指摘されています。

現代人の微量栄養素欠乏はご承知かと思います。他の食品やサプリでと安易に考えるかも知れませんが、それらはほとんどは輸入です。

最後の砦である米をどうか守って下さい。日本の伝統を遺伝子と同じように壊すのは止めて下さい。

カドミウム汚染というならば大失敗が明白である、最初から明白であった太陽光発電を今すぐ止めて下さい。

世界中で無効であり過去最悪の薬害が報道されているコロナの mRNA ワクチンですが、その危険性は最初から指摘されていたものでした。しかしながらそれらをデマと切り捨て安全一色の報道で埋め尽くした事でどうなったのでしょうか？今の戦後最悪の超過死亡です。世界ではとっくに止めているワクチンを税金負担で7回目という現状です。

全量転換などという愚策はやめて下さい。比較すれば良いだけなのです。良いものならば残ります。

どうかお願いします。